平成23年3月11日発生
東日本大震災の記録

# 第1回
# 中間報告

増刷版

平成23年9月11日現在

## 相馬市災害対策本部

# 平成23年3月11日発生 東日本大震災　相馬市災害対策本部 配置職員等（8月1日現在）

**●本部長：　市長　立谷秀清**

**●副本部長：　副市長　佐藤憲男、教育長　安良紀男**

**●本部員：**　総務部長 菊地利宗、企画政策部長 橘川茂男、民生部長 青田稔、保健福祉部長 星光、産業部長 吉野光一、建設部長 小山健一、教育部長 臺内吉重、生涯学習部長 渡部卓、議会事務局長 長沢宏昌

**●市職員**　総務課：宮崎富由、中野俊一、伊東充幸、高橋照吉、渡邉宏子、奥山大、飯島正之、目黒奈保子、木幡好孝、坂本弘次、鈴木洋平、竹岡博之、古市浩次、庄司功　財政課：持舘直正、佐藤芳男、半谷修一、三瓶雅之、遠藤学、岸昌彦、但野陽子、菅野大亮、佐藤英雅、鈴木浩和　税務課：木村一三、小山典男、神戸伸一、唯野恭子、荒川洋子、吉田絵理子、阿部ひろみ、高橋伸弥、佐々木国秀、青田規秀、荒直之、佐藤英光、村井貴美恵、荒武範、高松潔、宗像雅詞、高野友洋、川村大志、丹野賢、菅野正浩、齊藤浩司　企画政策課：谷津田政弘、遠藤真、横山哲也、遠藤智、宮崎摩由子、陶裕人、松田早苗　秘書課：宇佐見清、横山英彦、阿部勝弘、西映美、森誠　情報政策課：野坂隆男、原史朗、大谷和正、荒川誠、只野聡一、佐藤広教、田原秀雄　市民課：福迫光平、鎌田祥子、牛安澤美智、志賀聡子、齊藤真弓、三宅一博、三瓶望、天野昭光、高橋寿江　出張所：佐藤吉典、大槻和子　保険年金課：佐藤賢一、加藤一男、村井智一、阿部美香、半谷久美子、谷津田吉弘、四方美貴、石井明子、門馬マサ子、鈴木佑介　生活環境課：桑折光信、赤石澤珍夫、佐藤英樹、木村幸治、塩谷修司、谷上郁夫、阿部浩宗、佐藤春夫、坂本勝美、石田富祐、杉茂　環境公園課：吉田睦生、立谷容正、谷津田香織　社会福祉課：齋藤典雄、桑折克弘、高橋広美、小泉香菜子、金沢彩香、荒秀明、門馬優樹、寺島隆太　健康福祉課：島和夫、半谷和宏、高橋圭子、増子廣子、仁田幹夫、佐藤幸子、齊藤幸江、井上拓士、青田和之、高橋裕宗、高橋美佐子、反畑浩一、佐藤訓子、杉上俊一　愛育園：木下旬、岡田泰子、大井雅弘、逸見久美子、佐々木まり子、佐藤美紀、前田道子、渡部絹子、渡部裕子、天野郁子、持舘希　保健センター：岡和田忠一、佐藤久江、渡部 賢治、若松由美子、齋藤悦子、尾形由恵、太田美由紀、佐藤宏美、阿部由美子　農林水産課：植田富雄、村岡一二、伊東博之、川崎陽一、片平正秀、佐伯智一、目黒良、寺島賢二郎、杉晴香、米倉利宗　商工振興課：佐藤栄喜、住吉康男、佐藤雄一、立花克圭、落合武志、太田ゆかり、松本純　観光物産課：根本賢、齋藤秀浩、山木正博、但野拓也、小泉沙織　都市整備課：門馬善治郎、木幡洋、渡部隆、加藤功嗣、奈良信寛、森雅博、佐藤秀俊　土木課：真壁達男、渡部英、持舘和夫、村上芳輝、多田眞一、保坂友則、齋藤渉、星義二、小野眞市、菅野直哉、日下陽介　建築課：金山安彦、立花康稔、佐藤哲、増田克彦、寺内祥人、青田洋子、新妻暁生、早田洋平、郡央任　下水道課：小賀坂正廣、阿部誠、蛯原永吉、竹澤雄二、大槻千恵、丹野由美子、寺島健司、菅野真弘、荒貴志、鹿又一紀、山本貴美子　会計課：大河内富治夫、四栗和広、廣畑幸枝、但野直治、船山幸江里、中塚麻希子　議会事務局：高橋利宗、髙野恵久子、渡邉学、中塚綱紀　農業委員会：横山幸弘、村上武光、遠藤智子、小関善之、木村祐貴　監査委員事務局：寺島昭一、若竹郁子　選挙管理委員会：伊東一夫、横山祐子　教育委員会総務課：阿部和夫、田中昭美、志賀謙寿、飯島道子、今野公文、荒好、草野周司　学校教育課：林宗一郎、島義一、佐藤武、鈴木孝守、岩崎明子、小倉康雅、秋山久美　生涯学習課：坂本郁雄、紺野薫、橋本博幸、佐々木康一、但野文枝、木田朝子、佐藤崇、野坂京子、杉原朱美　スポーツ振興課：荒幸弘、太田昌彦、橋本庸介、鶴岡英彰　小学校：酒井信義、阿部正子、遠藤晴美、門馬洋子、小野田理紀、萩原晴子、高橋昌芳、小野田幸夫、松橋康文、佐藤雅子、唯野澄夫、髙橋志保、管野孝子、高橋洋一、木下由紀子、渡部久美子、阿部恵久美、山本真佐美、佐藤和幸　中学校：太田節子、吉内恵、久田たき子、門馬広治、武澤英樹、鈴木三奈、菊地知子、目黒文江　幼稚園：荒川のり子、寺島浩子、國分裕子、谷津田まゆみ、佐藤智子、佐藤美奈子、橋本千春、本田肖子、齋藤和枝、遠藤智子　中央公民館：岡本孝、菅野昌孝、髙成田一彦、花澤和弘　図書館：千枝章一、遠藤孝、迫野智子、井口久美　市民会館：荒川仁親、森茂　出向：佐藤一弘、松野泰章、荒政明、鈴木博、横山充、渡部昭一、小林信一、中塚記章　7月31日付退職者：渡辺良行、鈴木裕、反畑正博、戸田博、花田政志、鈴木重晴、髙玉洋子、折笠明子、管野勝美、鈴木みゆき

**●相馬市消防団**　◎本団：団長　荒忠夫、副団長　菅野勇、副団長　山田行雄
鎌田重昭、阿部繁雄、武内裕明、石川勝衛、佐藤壮、森範雄、佐藤祐一、森聖仁、林貫一、渡邉嘉孝、立谷誠浩、池田康男
◎第1分団：分団長　齋藤基次、副分団長　佐藤良夫　第1班：門馬隆行、斎藤正一、住井健吉、中野秀次、福田浩一、山田栄一、武島竜太、若竹一也、齋藤眞一、菅野賢、折笠優、西形朋和　第2班：斎藤広幸、高見仁一、佐伯栄一、門馬明、荒安宏、阿部和美、寺島豊昭、森健一、門馬任、佐々木健、秋山貴広、菅野哲生
◎第2分団：分団長　米山宏志、副分団長　米本薫　第1班：三坂孝俊、金子裕樹、阿部哲也、小川善道、伊東利真、横山英彦、荒和人、西村昌浩、米山真弘、小田祐樹、大浜尚喜　第2班：阿部茂治、阿部家伸、立花一夫、志賀規秀、宝槻純一、安達昭仁、横山和雄、志賀正彦、山田博志、高玉裕貴　第3班：齋藤初男、豊田光信、岩崎光則、阿部吉忠、前田昌幸、阿部真武、愛澤伸一郎、米本吏、高玉栄智、阿部真行、紺野智史
第4班：鈴木弘二、斗蔵久仁彦、佐竹耕一、鈴木正彦、岩本和之、岩本宏美、佐藤信幸、岩本泰志、太田信二、山本和宏、藤田裕宣、佐藤義明、坂本大輔、中和田真志
◎第3分団：分団長　立谷耕一、副分団長　嶋田正照　第1班：佐藤正人、南部浩幸、宍戸典顕、鈴木紀博、茂木一徳、佐藤耕司、川村大志、鈴木日出男、齋藤智英、佐藤光延、立谷知之、佐藤通靖、島健太郎、庄子博章　第2班：鈴木実、佐藤浩司、高橋一泰、吉田隆由、鈴木貴之、佐藤洋壽、高橋伸次、吉田洋史、菊地俊文、鈴木秀和、宍戸大樹
第3班：大川智典、木村泰志、山岡芳裕、草野良、管野芳正、西内伸明、佐藤直樹、高力仁秀、菊地裕司、相沢伸一、齋藤智英、菊地明彦　第4班：齋藤喜則、寺内祥人、高橋伸弥、宍戸克彦、今村圭一郎、中谷祥之、渡部真一、中尾忠久、高玉典正
◎第4分団：分団長　山崎長生、副分団長　荒雄一　第1班：齋藤喜一、柳澤裕真、渡部和義、鈴木邦彦、本田真一、鈴木強司、鈴木学、木幡賢太郎、芳賀寿光、菊池啓市、青田哲知、森裕也　第2班：只野聡一、中塚真光、小関正一、伊達幸一、森佳生、高野道洋、鈴木雅之、早水真一、青田好史、田中諒、新開崇、沖野剛司　第3班：渡邉憲博、渡邉訓佳、猪狩祐吾、菊地寿也、猪狩洋一、田村正和、和田山学、渡邉武彰、志賀悠司、志賀裕司　第4班：荒鉄男、金澤裕高、小川守一、松岡一雄、齋藤豊治、山中賢一、大浦直也、渡部武、只野信一朗、佐藤一志、小林伸彦、佐藤貴幸　第5班：今野利政、荒川雄久、神長健司、木幡公俊、桃井秀幸、荒川隆茂、品川守亥、武田泰彦、立谷憲一、鎌田精一、大森実喜夫　第6班：川村清一、野崎龍也、櫻井隆行、今野忠之、四栗和也、蓑野真樹、西内知浩、大内大輔、西内隆志、早坂利昭、鈴木直人　第7班：田代知章、渡部芳彦、武山剛、森聖明、吉田達也、板倉由幸、吉内文昭、清野翔太、高山敏一、早川浩平、中根秀幸
◎第5分団：分団長　荒雄一、副分団長　島田光司　第1班：渡邊和彦、荒賢一郎、村田健二、杉森善雄、半谷安信、佐藤好正、大友広、菅野勇二、荒克弥、島浩史、坂脇裕高　第2班：木幡保教、伊藤武志、島村和彦、杉岡和喜、津田浩幸、岩崎友一、三浦哲郎、佐伯卓志、志賀良太、清野慎介、志賀貴之　第3班：笹崎幸夫、荒淳一、高玉智雄、菅野正浩、武澤康雄、岡和田賢毅、畑中勇一、齊藤智英、齊藤慎也、遠藤貴之、米山辰徳　第4班：渡辺昌幸、持立良文、星武彦、渡邊真一、荒裕之、渡辺崇、鈴木勝彦、小田原睦、佐藤昌幸、佐藤敦、齊藤康彰
◎第6分団：分団長　門馬正広、副分団長　荒忠浩　第1班：中島圭一、齊藤宗裕、門馬広幸、愛澤勝、門馬和人、武澤孝道、愛澤佳伸、佐藤恭弘、斉藤裕樹、天野雄介
第2班：寺島優治、門馬邦典、岩佐幸市、只野俊晴、新関清一、阿部清昭、但野雅春、大久保浩之、津田大、持建晃平、反畑克彦　第3班：佐藤智英、佐藤真一、但野邦男、森大輔、岡本雄一、荒秀樹、松本一宏、冨田聡、佐藤佳太、佐藤崇徳　第4班：五島範明、高橋敏幸、伊東一博、佐畑俊幸、木村幸治、武内成典、森大考、大槻佳志、伊東秀和、伊東桂祐、荒昌司　第5班：新開康一、高橋嘉宏、加藤智正、末永伸行、佐藤勉、阿部和好、鈴木勝、鎌田博昭、阿部新太郎、太田裕之、齋藤和也
◎第7分団：分団長　桑折健一、副分団長　横山和洋　第1班：渡邉弘之、石附諭、青田和正、齊藤修一、横山貴司、渡部智、杉本勝之、佐土原孝之、遠藤渓正、石附誠、佐々木国秀、鈴木宏徳　第2班：佐藤博之、猪狩浩孝、植田真光、高橋弘、高橋栄暁、青田洋一、門馬正幸、持舘孝典、青田弘記、新妻峯崇、遠藤隆広、横山翔大　第3班：河内兼司、大谷和正、太田徳、荒和徳、只野純也、太田朋義、遠藤真弘、持立広高、星良一、植村卓馬、濱名弘真　第4班：菅野真弘、坂本政浩、横山邦芳、平田崇、坂本和章、菅野一規、小迫政人、山下博貴、横山友紀彦、稲村大助、菅野瞬、茨木祐賢　第5班：高橋信幸、横山広一、荒幸治、青田光彦、荒有平、齊藤浩司、霜山宗貴、田中幹生、佐藤大輔、齊藤和也、鈴木徳良　第6班：但野直治、佐藤伸彦、青木和典、村上紘一、信成和彦、飯塚知之、前川克美、川崎祐弘、竹中一輝、横田裕一、秋葉雄司
第7班：岩崎祐一、青田一博、今野宏則、蔭山智彦、森慶彦、岡俊宏、鈴木佑介、湊尚哉、荒川武志、佐藤栄一、佐藤智一、佐伯智一
◎第8分団：分団長　佐藤博、副分団長　安齊博幸　第1班：坂本安彦、山田伸也、渡部真典、桑折智裕、荒武彦、山田勲、丸山竜平、丸山良太、遠藤博信、木幡好孝、佐藤慶信　第2班：三品克巳、早坂範義、谷津田吉弘、草野亮、佐藤康長、泉井卓、草野昌美、三品光信、岩崎正幸、泉祐太朗、谷津田昌郁　第3班：門馬弘幸、谷津田寛、前川正樹、愛沢洋行、大和田真介、今野能宗、荒典正、岡田浩司、笠原大希、門馬恭一、齋藤修一郎　第4班：紺野健一、太田和人、前川真洋、西内光一、山田浩也、高野明彦、太田剛宗、渡部陽介、武澤昌一、草野明　第5班：前山裕一、松橋信好、山田陽一、蓬田裕一、太田康男、谷地田誠、鈴木重伸、藤澤和貴、松田修一、長岩崇博、桑折健
◎第9分団：分団長　信成洋志　第1班：小野田功一、遠藤一美、竹岡博之、寺島裕一、荒功一、荒武範、宮崎裕之、佐々木貴生、大谷竜虎、岩崎恵信、渡部伸一、桜井勝利　第2班：寺島克浩、唯野幸、大川泰一、鎌田幸一、坂田猛志、唯野善広、佐藤淳、平井真、岩崎豊和、寺島淳一、村岡輝美、佐藤栄伸、岩崎達郎　第3班：大和田光夫、鈴木正一、佐々木和広、佐々木健一、福島清一、林譲二、狩野貴幸、金子智、石橋徹也、船競太、狩野美智　第4班：佐光大和、守屋隆一、稲山光博、門馬将高、河西英哲、佐藤敦、島裕太郎　第5班：蛯原芳一、岩崎純一、阿部敦、長井憲章、島卓之、薮内雅人、佐藤友裕
◎第10分団：分団長　吾妻正昭、副分団長　後藤成美　第1班：管野仁、門馬秀一、齋藤信明、松山昭広、高橋賢一、島幸司、荒明、鈴木隆、髙野秀樹、島直人、齋藤尚平　第2班：赤石澤直人、幕田吉一、渡部裕幸、吾妻功、赤石澤務、高玉克己、佐藤和徳、高橋清和、菅野孝弘、工藤博史　第3班：千葉一司、阿久津弘之、菅野弘、大橋靖彦、熊坂行則、遠藤晃、伊藤博文、大橋正広、土屋忍、小賀坂浩二

**●相馬市議会災害対策本部**　議長 波多野広文、副議長 佐藤満
草刈敬三、村松恵美子、伊東和幸、河内幸夫、立谷幸雄、立谷耕一、熊倉一巳、荒秀一、植村恵治、浦島勇一、只野敬三、佐藤建雄、米山光喜、荒川五郎、菊地清次、小泉正人、石橋浩人

# 震災前後の航空写真

平成 22 年 11 月 4 日の尾浜周辺（撮影：相馬市）

平成 23 年 3 月 12 日の尾浜周辺（撮影：国土地理院）

# 震災前後の航空写真

平成 22 年 11 月 4 日の柏崎周辺（撮影：相馬市）

平成 23 年 3 月 12 日の柏崎周辺（撮影：国土地理院）

# 震災前後の航空写真

平成 22 年 11 月 4 日の磯部周辺（撮影：相馬市）

平成 23 年 3 月 12 日の磯部周辺（撮影：国土地理院）

# 東日本大震災後の主な取り組み項目

3月11日～9月11日

| 月　日 | 主な取り組み | 主なうごき |
|---|---|---|
| 3月11日（金） | **14時46分　三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震発生** | |
| | 市災害対策本部設置 | 公共施設等を中心に避難所を開設 |
| | 市役所を毎日開庁（～6月18日） | |
| 3月12日（土） | **福島第1原子力発電所1号機で爆発** | |
| | 災害対策本部会議開催<br>（毎日2回/日:8時及び18時）（～4月29日） | 旧相馬女子高体育館に遺体安置所設置<br>（～17日） |
| 3月13日（日） | 市内での放射能測定開始 | 16時44分　孤立者を全員救出 |
| | おにぎり炊き出しボランティア開始<br>（～4月17日） | |
| 3月14日（月） | **福島第1原子力発電所3号機で爆発** | |
| | 広報そうま号外No.1発行<br>（～5月19日、No.16まで発行） | 日本医師会へ支援要請 |
| 3月15日（火） | **福島第1原子力発電所2号機損傷、4号機で爆発** | |
| | 南相馬市からの原発避難者受入（旧女子高）<br>（～4月18日） | |
| | 平成23年第1回相馬市議会定例会本会議<br>（最終日） | |
| | 市仮設ホームページ設置（～3月17日） | 相馬市議会災害対策本部設置 |
| | 「ろう城」宣言 | ダウケミカル㈱より義援金（200万ドル） |
| 3月16日（水） | 被災者生活支援金支給開始 | |
| | 市民向けガソリン支給開始 | |
| 3月17日（木） | 仮設住宅等受付開始 | |
| 3月18日（金） | 市ホームページ本復旧（災害情報を随時掲載） | 遺体安置所をアルプス電気㈱相馬工場跡に移設（～6月22日） |
| | 電力・ＮＴＴ調査 | |
| 3月19日（土） | | 相馬港2-4バース供用開始 |
| 3月20日（日） | 市民向け灯油支給開始 | |
| 3月21日（月） | 相馬市災害ボランティアセンター開設 | |
| 3月22日（火） | 避難者支援（天明カントリーゴルフクラブ・ホテル飛天で避難者の入浴・スポーツアカデミー相馬のシャワー利用開始） | 相馬市区長会開催 |
| | | 避難所おでかけミニバスの運行 |
| | 相馬卸売市場を南相馬市への物資輸送拠点として利用開始 | 雇用促進住宅への入居開始 |
| 3月23日（水） | 市民へのコメの配給（～3月25日） | 自衛隊入浴施設供用開始 |
| | | バス運行開始（相馬～福島） |
| 3月24日（木） | 避難者支援（はなますの湯利用開始） | 麻生元総理大臣視察 |
| | 相馬市長メールマガジンNo.248発行 | |
| 3月25日（金） | 自衛隊ヘリによる被害状況調査 | 九州整備局の輸送船入港 |
| | | バス運行開始（相馬～仙台） |
| 3月26日（土） | 応急仮設住宅の建設に着手（東グラウンド） | |
| | 避難所・市庁舎でのラジオ体操開始 | |
| | 相馬市長メールマガジンNo.249発行 | |
| 3月27日（日） | | 谷垣自由民主党総裁視察 |
| 3月28日（月） | 水道水モニタリング開始 | 生活路線バス運行再開 |
| 3月29日（火） | 公立相馬総合病院に臨時の精神科外来開設 | 国土交通省輸送船（防災フロート）入港 |
| 3月30日（水） | 災害時要援護者調査（～4月4日） | 相馬市区長会開催 |
| | そうまさいがいエフエム開局 | 医療機関送迎バス（避難所～医療機関）運行開始 |
| | 水稲作付協議 | |
| 3月31日（木） | | 福島県災害廃棄物処理対策協議会 |
| | | ジャンボタクシー運行開始（相馬～南相馬） |
| 4月1日（金） | 「罹災証明書」発行開始 | 自衛隊陸海空と米軍による行方不明者の海中集中捜査（～4月3日） |
| 4月2日（土） | | 全国市長会　森会長（長岡市長）来相 |
| 4月3日（日） | 消毒用の消石灰配布開始 | 南相馬市との区域外就学に関する協議 |
| | 応急仮設住宅の建設に着手（刈敷田） | |

| 月　日 | 主な取り組み | 主なうごき |
|---|---|---|
| 4月4日（月） | 避難所巡回法律相談会開始 | |
| | 家庭ガレキ収集開始 | |
| | 相馬市長メールマガジン No.250 発行 | |
| 4月5日（火） | 応急仮設住宅の建設に着手（東グラウンド） | |
| 4月6日（水） | | |
| 4月7日（木） | 震災孤児のための義援金受入口座開設 | |
| | 23時32分頃　震度5強の余震 | |
| 4月8日（金） | | |
| 4月9日（土） | 被災家屋調査開始 | |
| 4月10日（日） | | 三原じゅん子参議院議員視察 |
| 4月11日（月） | 常設無料法律相談会開始 | 犠牲者へ黙とう（14時46分） |
| 4月12日（火） | 心のケア研修会 | バス運行開始（相馬～亘理間） |
| 4月13日（水） | 行政区長への移住計画説明 | 江田みんなの党幹事長視察 |
| 4月14日（木） | スクールバス運行計画策定 | 福島県災害廃棄物処理対策協議会準備会 |
| 4月15日（金） | | 山口公明党代表視察 |
| 4月16日（土） | | |
| 4月17日（日） | | |
| 4月18日（月） | 避難所で給食提供開始 | 市立小・中学校入学式 |
| 4月19日（火） | | 県立相馬高校入学式 |
| 4月20日（水） | 学校給食用お弁当配布（～4月22日） | 県立相馬東高校入学式 |
| | 相馬フォロアーチーム活動開始 | |
| 4月21日（木） | 放射線対策アドバイザーを委嘱<br>（東京大学医科学研究所　上研究室） | |
| 4月22日（金） | | 相馬市区長会開催 |
| 4月23日（土） | 玉野地区放射線量測定開始 | 野田財務大臣視察 |
| | | 玄葉国家戦略担当大臣視察 |
| 4月24日（日） | 相馬市長メールマガジン No.251 発行 | 仙谷内閣官房副長官視察 |
| 4月25日（月） | 浪江町民へ簡易宿泊所提供 | |
| 4月26日（火） | 第2回相馬市議会臨時会<br>（『相馬市災害孤児等支援金支給条例』可決） | |
| 4月27日（水） | | 衛藤衆議院副議長視察 |
| 4月28日（木） | | |
| 4月29日（金） | 区長等の現地確認（～5月6日） | |
| | リュックサック、米、水を市民へ配布 | |
| 4月30日（土） | 応急仮設住宅入居者へ鍵引渡し | 橋本聖子参議院議員視察 |
| | 災害対策本部会議日程変更<br>（1日1回：18時） | |
| 5月1日（日） | 仮設住宅で夕食用弁当配食開始 | |
| 5月2日（月） | おでかけミニバス運行再開 | 東日本大震災復興構想会議視察 |
| 5月3日（火） | | はらがま朝市開催（～5月5日）<br>※以降週末など開催 |
| 5月4日（水） | | 大島自由民主党副総裁視察 |
| | | 松本防災担当大臣視察 |
| 5月5日（木） | 本部長被害状況視察（自衛隊ヘリによる） | 在宅寝たきり老人に担架配布（48名） |
| 5月6日（金） | | |
| 5月7日（土） | 本部長被害状況視察<br>（行方不明者捜索状況確認） | |
| 5月8日（日） | | 消防団による捜索活動終了 |
| 5月9日（月） | 応急仮設住宅入居者へ鍵引渡し | 片山総務大臣視察 |
| | 建設業者によるがれき撤去開始 | |
| 5月10日（火） | | 道路整備促進期成同盟会全国協議会理事会 |
| 5月11日（水） | 公衆衛生に関するレクチャー | 天皇皇后両陛下　相馬市ご訪問 |
| 5月12日（木） | | 相馬地方広域市町村圏組合管理者会 |
| 5月13日（金） | | |
| 5月14日（土） | | 鹿野農林水産大臣視察 |
| 5月15日（日） | | |
| 5月16日（月） | | |

| 月　日 | 主な取り組み | 主なうごき |
|---|---|---|
| 5月17日（火） | 第3回相馬市議会臨時会 | |
| 5月18日（水） | | 在日メキシコ大使来相 |
| 5月19日（木） | | 道全協通常総会・震災から命を守る道づくり全国大会（東京・市長出席） |
| 5月20日（金） | 相馬市長メールマガジンNo.252発行 | 東北市長会（仙台市・市長出席） |
| 5月21日（土） | | |
| 5月22日（日） | 放射線と健康影響説明会開催（～6月27日） | |
| 5月23日（月） | | レソト王国在日大使来相 |
| 5月24日（火） | 応急仮設住宅入居者へ鍵引渡し<br>玉野小・中学校校庭表土入替開始（～5月27日） | 東北の港湾振興を考える意見交換会（仙台市・市長出席） |
| 5月25日（水） | | 徳山東北地方整備局長と意見交換 |
| 5月26日（木） | | |
| 5月27日（金） | | |
| 5月28日（土） | 玉野地区で健康相談会開催（～5月29日）<br>ハエ・蚊対策で消毒を実施 | |
| 5月29日（日） | | |
| 5月30日（月） | | |
| 5月31日（火） | | |
| 6月1日（水） | 東京都稲城市と災害時相互応援協定締結 | |
| 6月2日（木） | 相馬フォロアーチームNPO化設立総会 | ＪＲ常磐線復興調整会議 |
| 6月3日（金） | 第1回相馬市復興会議開催 | |
| 6月4日（土） | 消防団分団長会議<br>「ヘドロやがれきの撤去・除去に携わる作業員や住民の健康対策」講演会 | |
| 6月5日（日） | | 知事・副知事と各市長との意見交換会（福島市・市長出席） |
| 6月6日（月） | 私立幼稚園と保育園へ線量計配布<br>相馬市長メールマガジンNo.253発行 | |
| 6月7日（火） | | 全国市長会（～6月8日）（東京・市長出席） |
| 6月8日（水） | | 社会資本整備を考える首長の会（東京・市長出席）<br>全国医系市長会（東京・市長出席） |
| 6月9日（木） | | |
| 6月10日（金） | 災害廃棄物中間処理業務をプロポーザル方式にて公募開始（～6月20日） | 区長説明会<br>アスベスト濃度測定開始 |
| 6月11日（土） | | 応急仮設住宅全戸完成 |
| 6月12日（日） | 広島の陸上自衛隊活動終了<br>相馬市長メールマガジンNo.254発行 | 被災者の孤立死を防止するための有識者会議（仙台市・市長出席）「相馬井戸端長屋」構想を発表 |
| 6月13日（月） | 第4回相馬市議会定例会（～6月28日）（災害公営住宅（集合住宅）建設を予算化） | |
| 6月14日（火） | | |
| 6月15日（水） | 第2回相馬市復興会議開催<br>災害対策本部会議日程変更（水曜日は本部会議を行わず、復興会議とする） | |
| 6月16日（木） | | 参議院東日本大震災復興特別委員会（東京・市長が参考人として招致）<br>※住宅供給と津波被災地再生への提案 |
| 6月17日（金） | 市独自ヘドロ健康障害対策システム実施 | 市内全避難所閉鎖 |
| 6月18日（土） | 市内各地の放射線量測定　メッシュ調査実施 | |
| 6月19日（日） | 第1回相馬市復興会議顧問会議開催<br>本日から市役所を日曜日閉庁とする | 内閣府末松副大臣視察 |
| 6月20日（月） | | お出かけバス（仮設住宅～市街地）運行開始 |
| 6月21日（火） | 小・中学校のミニホットスポット調査開始 | |
| 6月22日（水） | 第3回相馬市復興会議開催 | |
| 6月23日（木） | 「被災証明書」発行開始 | 静岡県医師会JMAT報告会 |
| 6月24日（金） | | |

| 月　日 | 主な取り組み | 主なうごき |
|---|---|---|
| 6月25日（土） | | |
| 6月26日（日） | | 命を守る小田原をどう作るか講演会（小田原市）（市長講演） |
| 6月27日（月） | 仮設住宅に夕食おかず配食開始 | 仮設住宅組長会議 |
| 6月28日（火） | | |
| 6月29日（水） | 第４回相馬市復興会議開催 | パナマ大使館・キューバ大使館主催　相馬市震災孤児等支援金支給基金募金イベント（東京・市長出席） |
| 6月30日（木） | 災害廃棄物中間処理業者選定会議開催 | 相馬港湾施設建設促進協議会総会 |
| 7月1日（金） | 災害対策本部会議日程変更（月曜及び金曜日に本部会議を開催） | |
| 7月2日（土） | 相馬市消防団合同慰霊祭 | |
| | 震災孤児支援金支給式 | |
| | 飯舘村避難者仮設住宅入居開始 | |
| 7月3日（日） | | |
| 7月4日（月） | | |
| 7月5日（火） | | |
| 7月6日（水） | | 東北地区港湾整備促進協議会中央要望活動（東京・市長出席） |
| 7月7日（木） | | 相馬地方広域市町村圏組合管理者会 |
| 7月8日（金） | 災害廃棄物中間処理業者選定会議開催 | 仮設住宅組長会議 |
| 7月9日（土） | 玉野地区10ｍメッシュ調査実施 | |
| 7月10日（日） | | |
| 7月11日（月） | 仮設住宅支援員訪問開始 | 玉野地区住民代表と放射線除染対策について協議 |
| | 夕食の配食を全仮設住宅で開始 | |
| | 相馬市長メールマガジンNo.255発行 | |
| 7月12日（火） | | 早稲田大学大学院での市長講話（東京・市長出席） |
| 7月13日（水） | 第５回相馬市復興会議開催 | 全国市長会経済委員会　全国市長会理事・評議員合同会議（東京・市長出席） |
| 7月14日（木） | | |
| 7月15日（金） | | 政府現地対策本部視察 |
| 7月16日（土） | | オーストリア特認全権大使来相 |
| 7月17日（日） | | 相馬光陽サッカー場開場式 |
| 7月18日（月） | | |
| 7月19日（火） | 仮設住宅でリヤカー販売開始（買い物・生活支援事業） | 政府復興計画策定に関する意見交換会（福島市・市長出席） |
| 7月20日（水） | 南相馬市避難者仮設住宅入居開始 | 仮設住宅組長会議 |
| | 第６回相馬市復興会議開催 | 東北中央自動車道建設促進合同大会「市長特別講演」（東京・市長出席） |
| 7月21日（木） | 第５回相馬市議会臨時会（『相馬市災害危険区域に関する条例』可決） | |
| 7月22日（金） | | 相馬野馬追安全祈願祭・前夜祭 |
| 7月23日（土） | | 相馬野馬追 |
| | | 鈴木文部科学副大臣視察 |
| 7月24日（日） | | 上げ野馬御神事 |
| | | 相馬市少年親善使節団結団式 |
| | | 平野復興大臣視察 |
| 7月25日（月） | 大野台地区仮設店舗工事着工 | 飯舘村仮設住宅組長との意見交換会 |
| 7月26日（火） | 東京電力株式会社に要求書を提出 | 県復興ビジョンに係る意見交換会 |
| 7月27日（水） | | |
| 7月28日（木） | 放射能測定講習会開催（～７月29日） | 全国都市港湾協議会（木更津市・市長出席） |
| 7月29日（金） | 浪江町避難者仮設住宅入居開始 | ソーラーパネル寄贈式（マスク財団） |
| | | 玉ノ井部屋夏合宿土俵開き |
| 7月30日（土） | | |
| 7月31日（日） | | |
| 8月1日（月） | | NPO法人相馬はらがま朝市クラブ認可 |

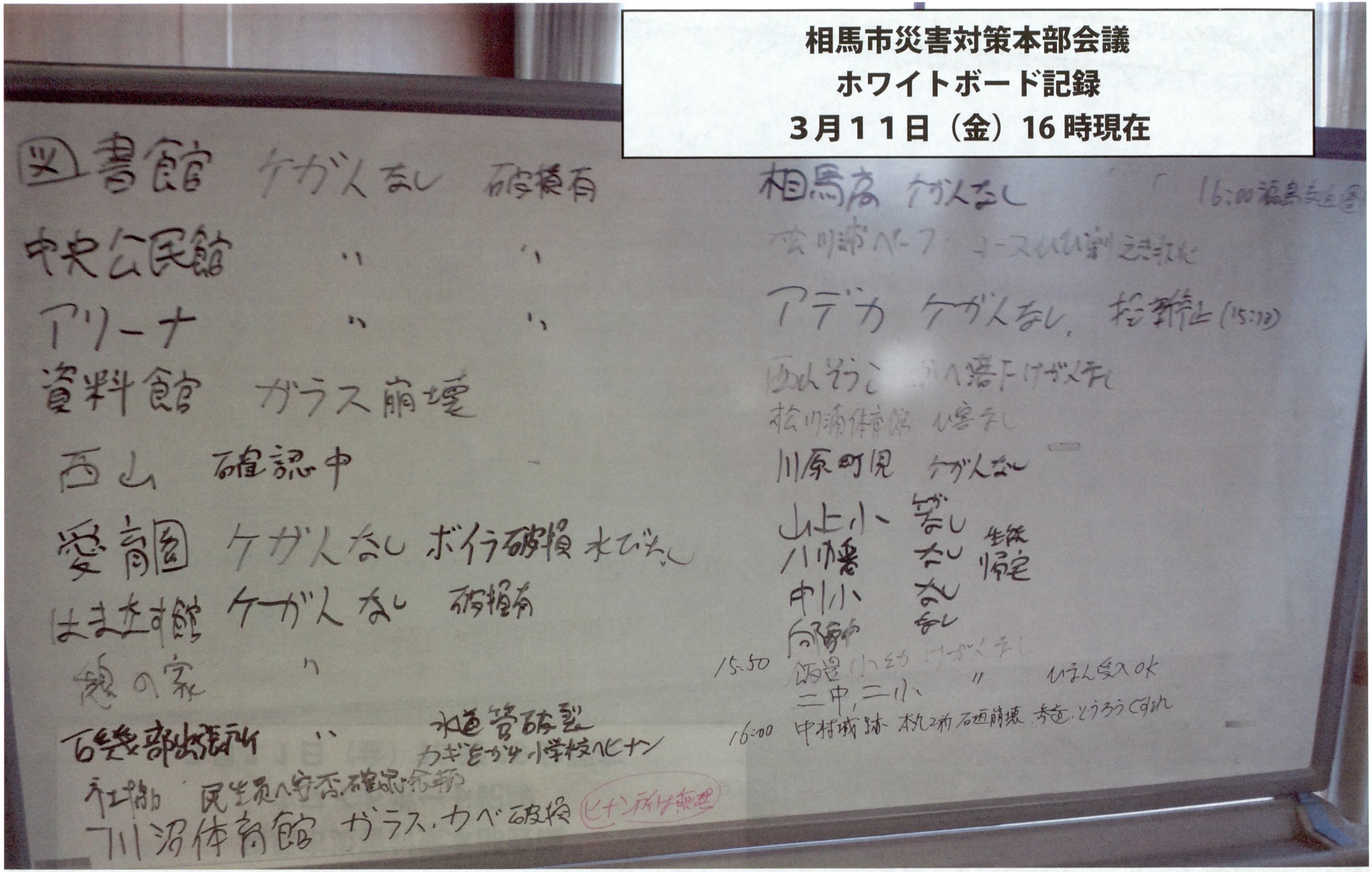
| 月　日 | 主な取り組み | 主なうごき |
|---|---|---|
| 8月2日（火） | | 相馬市誘致企業連絡協議会総会 |
| 8月3日（水） | | |
| 8月4日（木） | 市立幼小中学校の校庭の表土削り作業開始 | ダウ・ケミカル社が市に災害公営住宅を寄付 |
| | 玉野地区全戸に高圧洗浄機配布 | ＪＲ常磐線復興調整会議 |
| 8月5日（金） | | 市民七夕まつり（～7日） |
| | | 相馬港建設促進期成同盟会総会 |
| 8月6日（土） | | 東北の農業・林業・水産業振興支援集会 |
| 8月7日（日） | | |
| 8月8日（月） | 相馬市長メールマガジン No.256 発行 | 潘基文国連事務総長視察 |
| | | NPO 法人相馬フォロアーチーム認可 |
| 8月9日（火） | 「東日本大震災後の福島・伊達・相馬地方の幹線道路整備を考える緊急フォーラム」開催 | |
| 8月10日（水） | 「除染に関する説明会（玉野地区）」開催 | 8月9日の緊急フォーラム決議を受け国土交通大臣に要望書提出 |
| 8月11日（木） | | |
| 8月12日（金） | | 大凧市、流灯会 |
| 8月13日（土） | | そうま慰霊花火大会 |
| 8月14日（日） | 柚木地区応急仮設住宅でキッチンカーによる夕食配食開始 | 盆踊り大会 |
| 8月15日（月） | | |
| 8月16日（火） | | |
| 8月17日（水） | | 宮城教育大学学生による学力向上支援（～19日） |
| 8月18日（木） | 土地利用規制に関する住民説明会（～28日） | |
| | 相馬市長メールマガジン No.257 発行 | |
| 8月19日（金） | | |
| 8月20日（土） | | |
| 8月21日（日） | | 厚生労働省　大塚副大臣が市長と面談 |
| 8月22日（月） | | 福島県市長会議 |
| 8月23日（火） | | |
| 8月24日（水） | | |
| 8月25日（木） | 第2回復興会議顧問会議開催 | 日本精神病院理事長等研修会での市長講演 |
| 8月26日（金） | | |
| 8月27日（土） | | |
| 8月28日（日） | | |
| 8月29日（月） | 第1回相馬市災害対策復興会議開催 | フジモールド工業株式会社と工場立地に関する基本協定書を締結 |
| | 『相馬市復興計画 Ver.1.1』策定 | |
| | ガレキ中間処理の設備着工 | |
| | ＰＴＡに対する放射能説明会開催（～30日） | |
| 8月30日（火） | 相馬市区長会総会開催 | 東北中央自動車道の整備促進を求める伊達市総決起大会にて市長が基調講演 |
| 8月31日（水） | | 自衛隊活動終了 |
| 9月1日（木） | 除染対策プロジェクトチーム第1回会議開催 | |
| | 応急仮設住宅で生涯学習講座を開講 | |
| | 9月から市役所の体制を通常体制とする | |
| 9月2日（金） | | 原子力損害賠償の完全実施を求める福島県総決起大会 |
| 9月3日（土） | | |
| 9月4日（日） | | |
| 9月5日（月） | 被災農家経営再開支援事業説明会（～8日） | ひまわり会情報交換会 |
| 9月6日（火） | | |
| 9月7日（水） | 相馬井戸端長屋新築工事起工式 | |
| 9月8日（木） | | |
| 9月9日（金） | | 自治体災害対策全国会議での市長講演 |
| 9月10日（土） | 相馬市東日本大震災慰霊祭開催 | 東日本大震災鎮魂行事「天灯」 |
| | | 文部科学省　森副大臣が市長と面談 |
| 9月11日（日） | **東日本大震災から半年の節目を迎える** | |

# 災害対策本部 初動体制（1週間目まで）

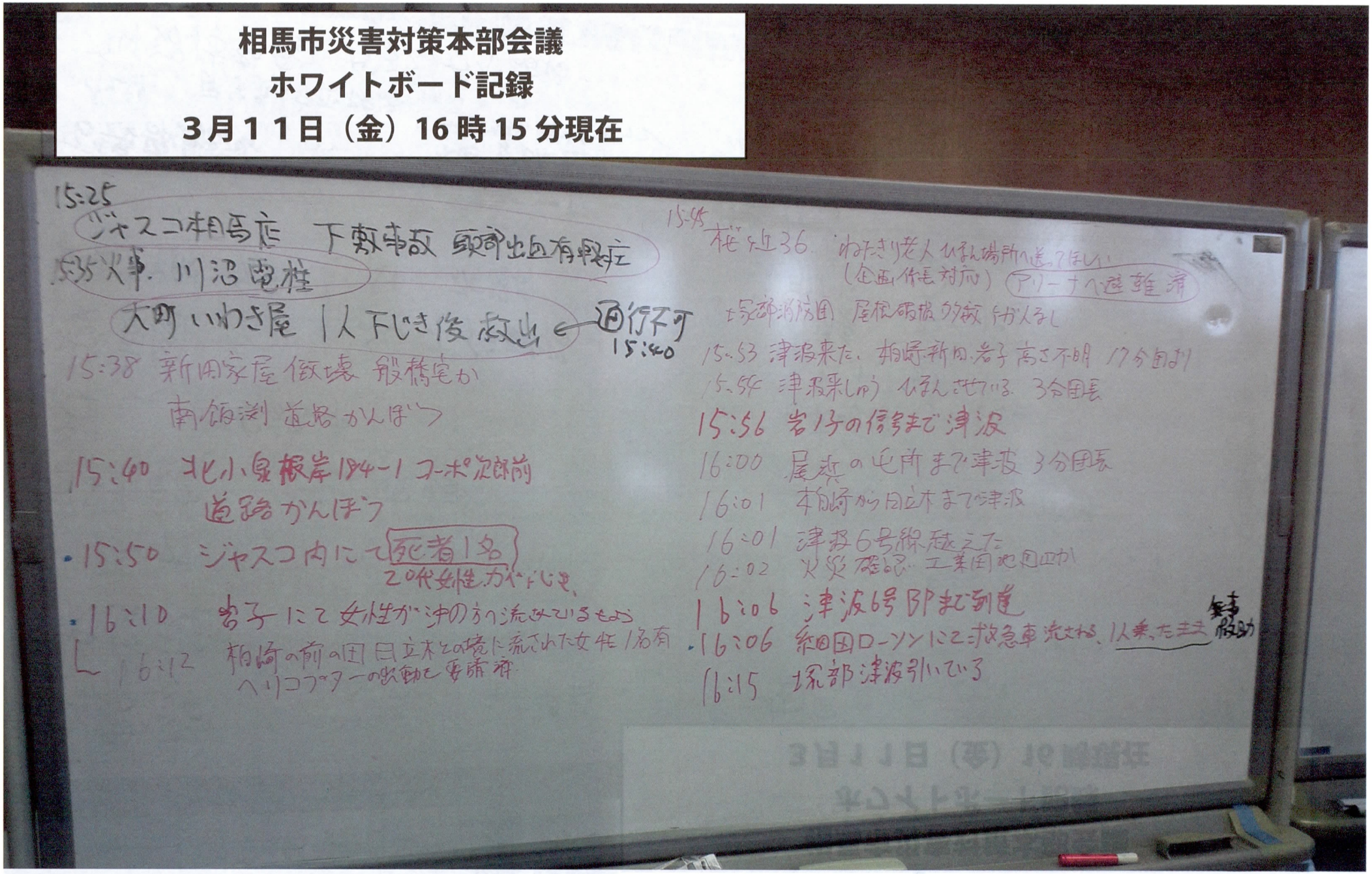
| 項目 ／ 時間 | 発生事案 |
|---|---|
| 3月11日（金）<br>午後2時46分 | 地震発生<br>市役所の震度計　午後２時４６分　震度５強　（５．３）<br>午後２時４７分　震度６弱　（５．７）<br>午後２時４８分　震度５強　（５．１） |
| 午後2時49分 | 地震発生直「津波警報」その後「大津波警報」発令<br>警報発令後に直ちに防災行政無線により避難広報の放送を実施<br>相馬消防署と消防団の各分団積載車による避難広報開始 |
| 午後2時55分 | **「相馬市災害対策本部設置・第１回災害対策本部会議」**<br>**市長を本部長に関係機関団体及び各部長が参集し、情報収集にあたる**<br>◎本部長指示<br>①内陸部の消防団に倒壊家屋のチェック、生存者救出<br>②海岸部の消防団は、津波の避難誘導を急げ<br>③市職員は、災害弱者施設のチェックと対応しろ<br>④公共施設のチェックをしろ<br>⑤その他被災状況を逐次報告しろ |
| 報告事項<br>午後3時25分 | ジャスコ相馬店商品陳列棚倒壊し、買い物客が下敷きとなりケガ人発生 |
| 午後3時35分 | 中村川沼地内の電力柱から出火<br>中村大町地内のいわき屋付近の家屋が倒壊１人下敷きとなったが救出<br>午後３時４０分から通行不能となる |
| 午後3時38分 | 新田地区「船橋宅」家屋倒壊の連絡あり<br>南飯渕地内市道の大規模陥没連絡あり |
| 午後3時40分 | 小泉根岸１８４－１「コーポ次郎」前の市道大規模陥没連絡あり |
| 午後3時45分 | 中村桜ケ丘３６番地のねたきり高齢者を避難場所へ搬送依頼あり<br>指定避難所である「スポーツアリーナそうま」へ搬送する<br>相馬市消防団第４分団塚部消防屯所の屋根大規模破損連絡あり |
| 午後3時50分 | ジャスコ相馬店の事故で２０代の女性が陳列棚の下敷きになり死亡確認の報告あり |
| 午後3時53分 | 消防団第７分団より柏崎、新田、岩子地区に津波来襲の報告あり<br>津波の高さについては、確認不能　津波の襲来確認 |
| 午後3時54分 | 消防団第３分団長より東部地区（原釜・尾浜地区）に津波来襲の報告あり<br>津波の第二波確認 |
| 午後3時56分 | 消防団第７分団から岩子地区の信号機まで津波が到達した旨の報告あり |
| 午後4時00分 | 消防団第３分団長から尾浜消防屯所まで津波が到達した旨の報告あり |
| 午後4時01分 | 消防団第８分団長より、柏崎から日立木地区まで津波が到達した旨の報告あり、さらに国道６号線を越えた報告あり |
| 午後4時02分 | 中核工業団地東地区周辺において火災発生を確認 |

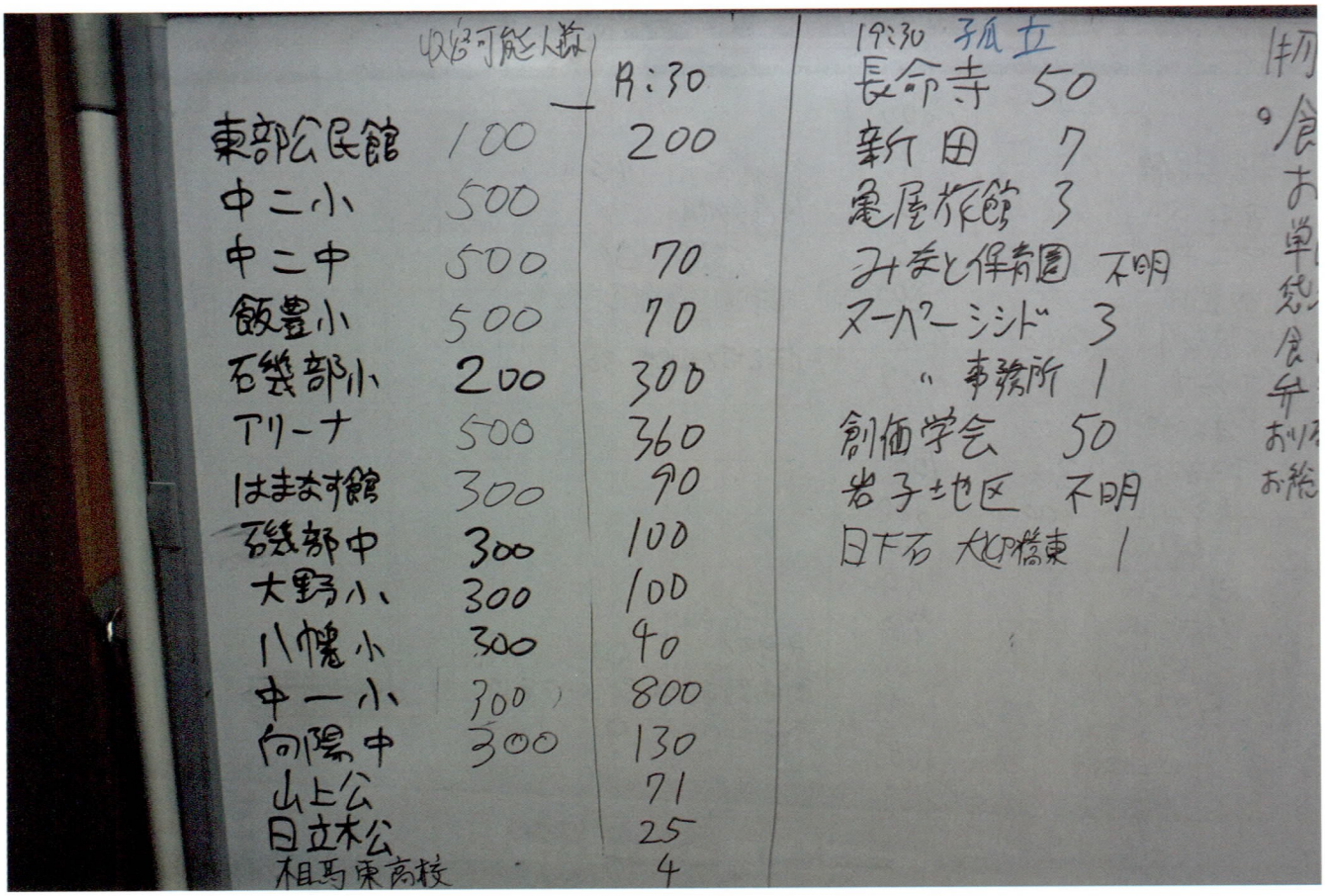
| | |
|---|---|
| 午後4時06分 | 津波が国道６号線バイパスまで到達した旨の報告あり、さらには尾浜細田地内のローソンにおいて、救急車が津波に流される救急車には　１人の職員が乗車したままであるとの報告あり |
| 午後4時10分 | 和田地区の「ホテル飛天」から避難者の受入可能の連絡あり<br>国道１１３号線バイパスのセブンイレブン周辺の道路沈下の報告あり |
| 午後4時15分 | 消防団第４分団から塚部地内の地蔵川が津波により急激に引いている報告あり |
| 午後4時25分 | 東地区産廃処分場入口において50cmから80センチの地盤沈下確認<br>リサイクルセンター周辺液状化の報告あり |
| 午後4時57分 | 岩子地区住民のうち、４人～５人が確認できない避難しているのか否かは不明 |
| 午後4時42分 | 津波の第三波確認 |
| 午後4時55分 | 津波の襲来確認 |
| 午後5時33分 | 古磯部地区のほとんどの家屋が津波により流失・倒壊しているとの報告があり |
| 午後5時46分 | 各消防団から津波よる孤立地区の報告あり、孤立４箇所　１７名<br>新田千躰４名　新田大町３名　尾浜二合田８名　原釜北谷地２名 |
| 午後5時34分 | 公立相馬総合病院へ避難している１４名を向陽中学校の避難所へ移動させる |
| 午後5時45分 | 社会福祉協議会デイサービスの送迎バスが津波にのまれ３名死亡 |
| 午後6時10分 | 原釜大津地内で発生した建物火災（４棟全焼）消防団第３分団長宅周辺 |
| 午後6時20分 | 坪ケ迫地区集会所へ２０人が避難しており、向陽中学校へ移動させる<br>松川亀屋旅館に３名が孤立しており、そのまま待機中 |
| 午後6時25分 | 相馬中央病院から報告あり　４名（自力で３名　救急搬送１名）<br>すべて軽症で処置後帰宅 |
| 午後7時10分 | 新田地区において２名乗車の車輌が津波に流されたもよう（民生委員）<br>原釜幼稚園へ３０名が避難しており、中村第二小学校へ移動するよう対応する |
| 午後7時30分 | **第２回災害対策本部会議**<br>**本部長から現時点における指示事項**<br>①孤立状態の地域の現状把握<br>②孤立している住民の救出と避難所までの誘導<br>③避難所における避難者の状況把握<br>④自衛隊への救助・救援要請<br>⑤避難所避難者への食料・飲料水・毛布などの確保<br>⑥警察・消防等機関からの情報収集<br>⑦他市町村への支援要請（給水車の手配） |
| 午後　7時32分 | 身元不明死体の安置所として、川沼体育館を指定した |
| 午後　7時50分 | 岩子地区「長命寺」に約５０名が避難しており、孤立状態であり<br>食料と飲料水がないとの報告あり |
| 午後　8時13分 | 災害救援部隊である自衛隊福島駐屯地から第１陣が到着<br>自衛隊と消防車両が、東部公民館へ救出のため出発 |
| 午後　8時25分 | 相馬共同火力発電所に約１，０００名が孤立状態にある |
| 午後　8時55分 | 公立相馬総合病院からの報告入院患者７名（重症）　外来患者４３名 |

# 相馬市災害対策本部会議
# ホワイトボード記録
# 3月11日（金）16時現在

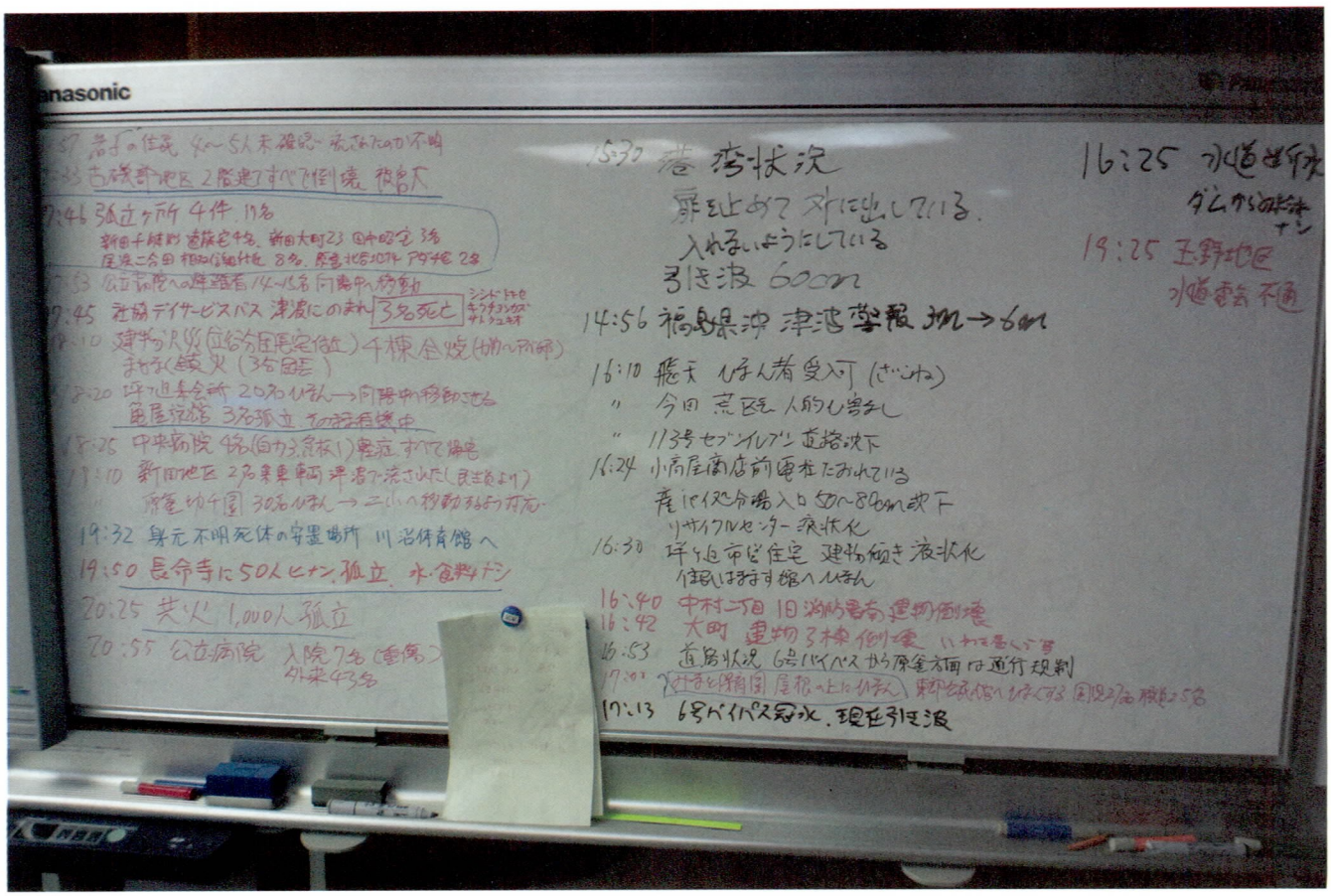


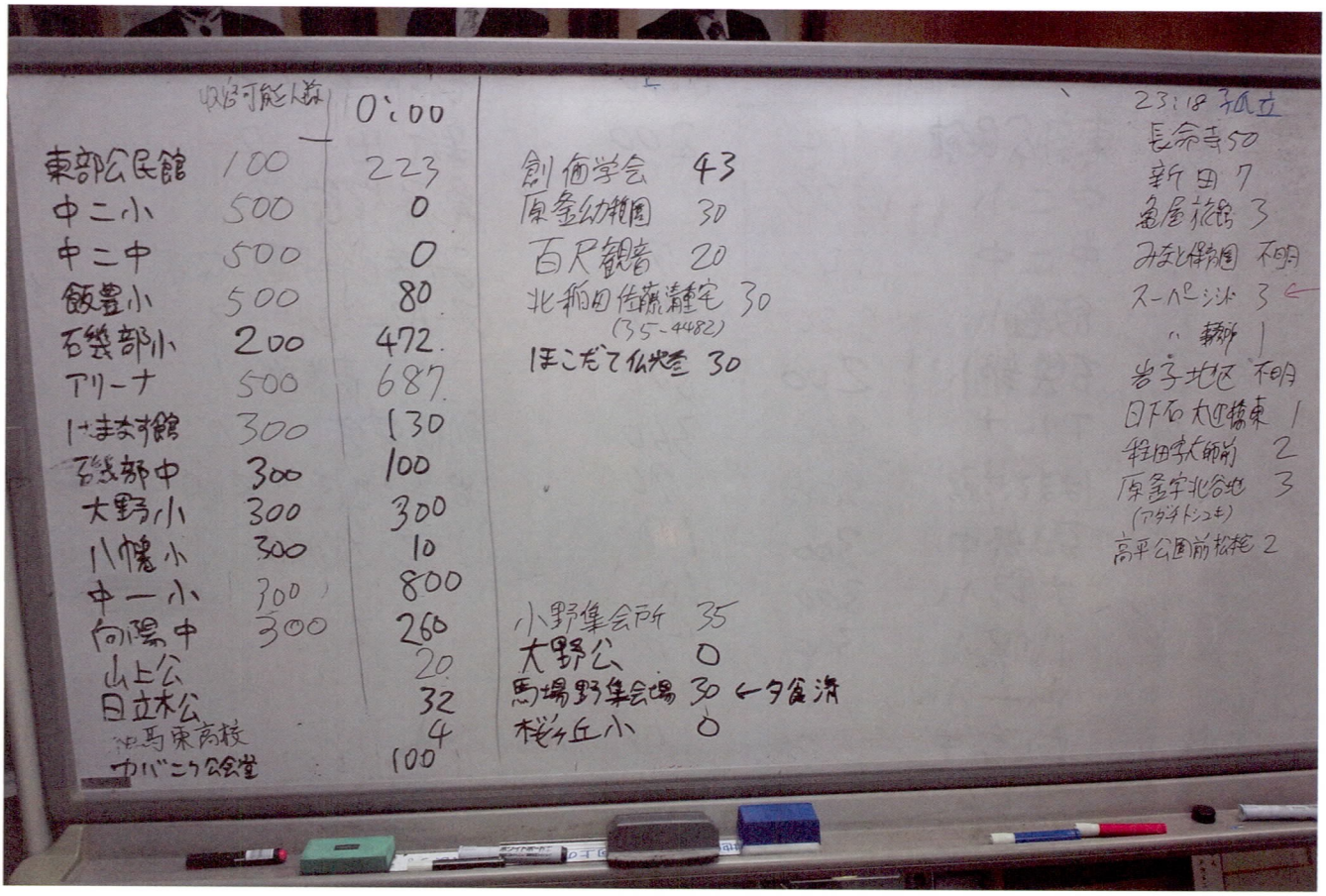
# 相馬市災害対策本部会議
# ホワイトボード記録
# 3月11日（金）16時15分現在



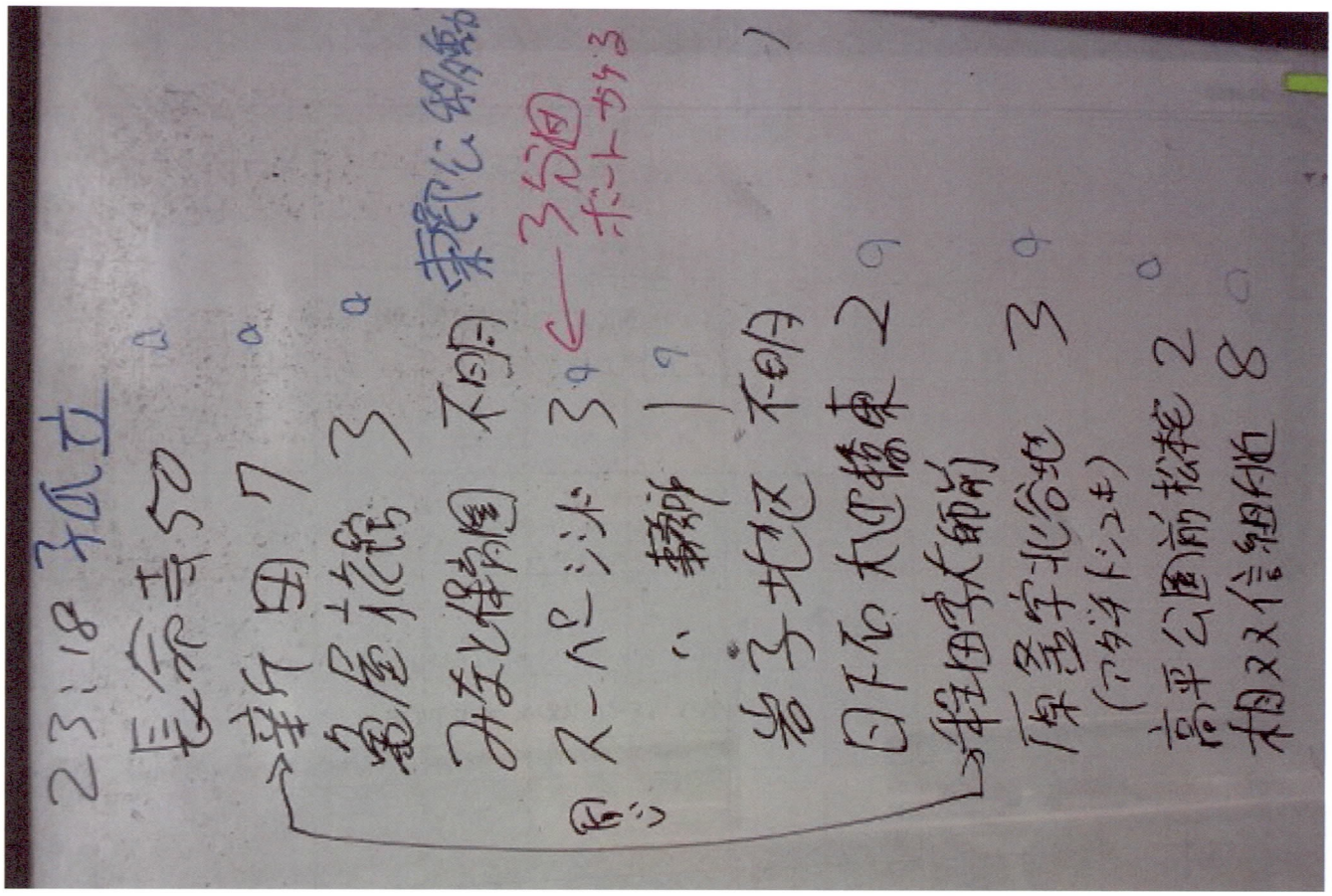



# 相馬市災害対策本部会議
# ホワイトボード記録
# 3月11日（金）19時30分現在



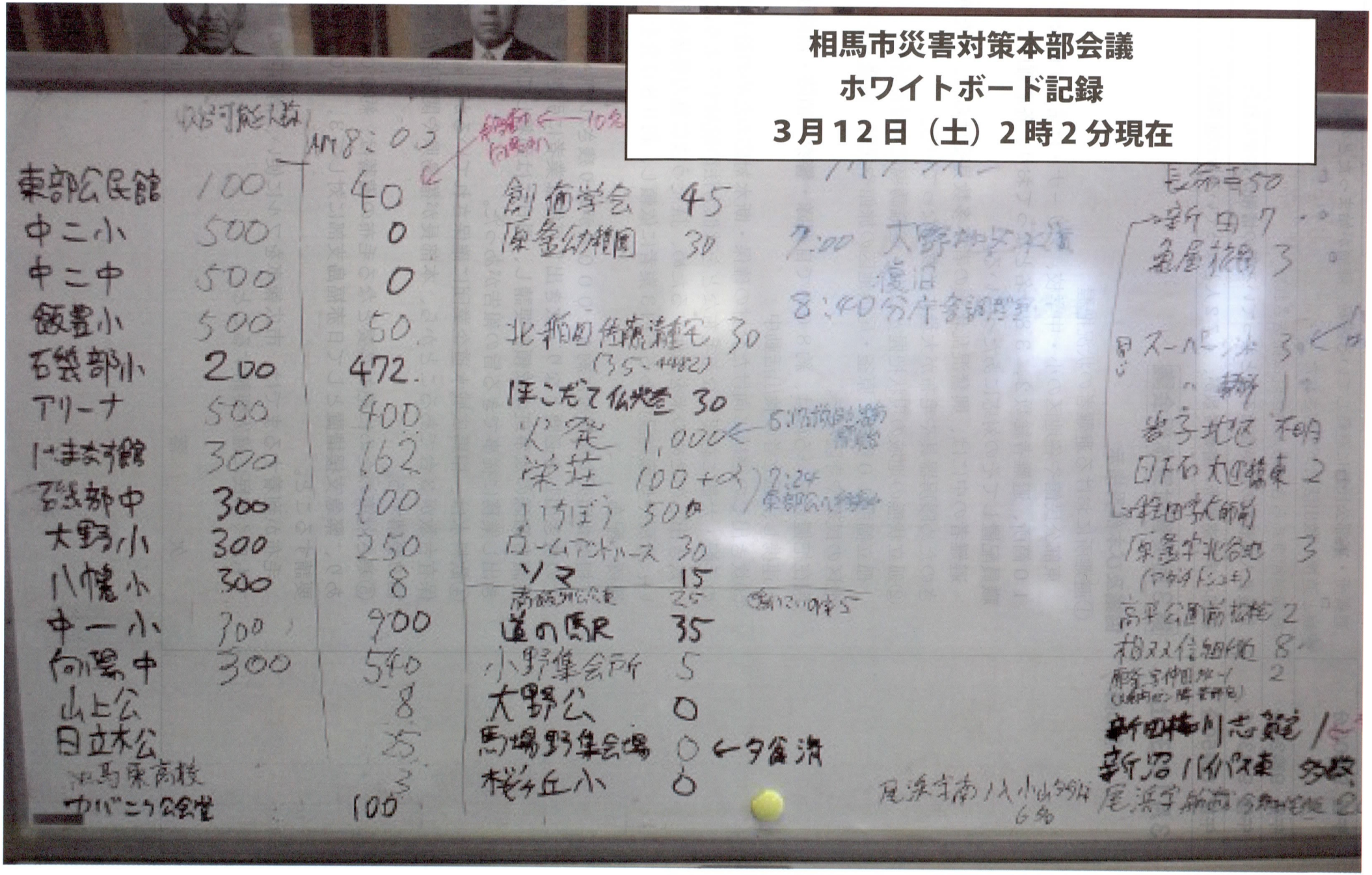



**相馬市災害対策本部会議**
**ホワイトボード記録**
**3月11日（金）23時18分現在**



| | |
|---|---|
| **午後　9時05分** | 避難所・東部公民館に避難している妊婦、陣痛が始まったとの連絡により、警察と連携し救出活動が実施された |
| **午後　9時29分** | 妊婦が無事あらき産婦人科医院に搬送された |
| **午後　9時37分** | 介護老人施設森の都が音信不通となっている旨の情報が寄せられた |
| **午後10時50分** | 磯部小学校避難所の避難者数が、４７２人となっている旨の連絡あり |
| **3月12日（土）**<br>**午前0時** | **第３回災害対策本部会議**<br>**協議及び本部長指示**<br>①避難所における避難者の状況把握<br>東部公民館や各地区の小・中学校、アリーナ・はまなす館など１０箇所、避難者総数２，３８０名となっており、各避難所に職員配置してその対応にあたっている。<br>避難者の中には、興奮混乱状態の者が多数見受けられ、また寒さのため暖房器具や毛布が大量に必要となっている。<br>②孤立状態の地域の現状把握と救出・避難誘導に向けた活動<br>孤立箇所１０箇所　原釜・尾浜地区の旅館や民宿、飯豊・岩子地区の民家や寺院など。<br>現在把握しているのは、約８０名で自衛隊・警察・消防・消防団が連携し、孤立者の救出活動中<br>③炊き出しの継続に向けた食材の確保・断水対応のための給水車の手配・大量に必要となる毛布などを確保方法の検討するように。<br>炊き出しのための米を確保するため、JAそうまに協力要請を行い、厨房や炊飯施設のある市内３業者に依頼し、約９８０食を避難所へ配布。<br>相馬共同火力発電所に約１，０００名が取り残されているため、その炊き出しを必要となり、炊き出し可能な業者に引き続き協力要請自衛隊の炊事班の依頼を要請し、明日には到着して炊飯・炊き出し業務に従事できる旨の報告があった。<br>④飲料水は、相馬広域水道企業団に確保されているが、給水車の保有台数が３台であることから、本部長が福島県や関係自治体に協力要請する。<br>⑤寒さ対策のために絶対必要となる毛布の備蓄は、約２００枚であり、緊急支援措置として日赤福島支部に対して３，０００枚を要請すること。<br>毛布が到着するまでは、市広報車をフルに使い、消防団の車両でも広く市民に協力要請すること。<br><br>欠　　落 |

# 相馬市災害対策本部会議
# ホワイトボード記録
# 3月12日（土）2時2分現在



| | |
|---|---|
| **3月12日（土）** | **第４回災害対策本部会議** |
| **午前2時45分** | **協議及び本部長指示**<br>①各避難所の避難者状況の把握と健康状態の確認<br>午前２時３０分現在の避難所２４箇所・３，８４９名となっておりスポーツアリーナそうまと中村第一小学校、向陽中学校などの避難者数の多い避難所については、職員の配置人数増員が必要であり、早急に対応する。<br>避難者の健康状態確認のため、保健センターの保健師を配置するとともに、必要に応じて医療機関から医師と看護士の応援を得る。<br>②孤立状態となっている方々の救出方法の検討<br>３月１１日午後１１時現在、把握している孤立箇所は、１０箇所に約８０名であり、夜明けとともに孤立者の救出を行うための体制と自衛隊や県警本部に要請してヘリコプターによる吊り上げ救出を行う。<br>なお、救出後の収容先の準備や医療機関との連携について速やかに調整を行う。<br>③避難者への支援体制<br>避難所で必要な食料をはじめとする物資について、県災害対策本部へ速やかに搬送できるよう要請するとともに、到着した支援物資の受入体制と避難所への迅速な運搬体制の準備を行う。 |
| **午前3時00分** | **本部長指示**<br>**これより一枚のシートにまとめて本部会議を行う。**<br>① 孤立者救出に全力をあげること。<br>② 避難者の食事、生活物資、健康対策<br>③ 生存者、行方不明者を確定させる。<br>④ 仮設住宅建設のための土地をまとめろ<br>⑤ 空きアパートを確保すること。<br>⑥ 生活資金を見舞金で<br>⑦ ライフラインの復旧<br>⑧ ガレキ撤去の置場所確保<br>⑨ 棺おけ５００個を手配せよ |
| **午前5時58分** | 自衛隊・警察・消防の先遣隊が、原釜・尾浜の状況確認及び孤立者の救出のため、出発する。 |
| **午前6時12分** | 原釜の現場到着、救出活動開始 |
| **午前6時33分** | 津波による多数の孤立者を発見したことから、県防災ヘリコプターの要請を行う。 |
| **午前8時15分** | NHK のテレビで磯部大洲海岸の一部が崩壊している状況が放映される |
| **午前8時30分** | 尾浜南ノ入地内の小山宅に取り残された６名を消防・消防団が救助へ出発 |

第 4 回災害対策本部会議（3 月 12 日（土）午前 2 時 45 分開始）

## 相馬市の今後の対応

### 直後の対応

| | | | | 責任者 | | 関係団体 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 生存者支援 | 孤立者の解消 | ヘリコプター、ボート 等 | 自衛隊、消防署等へ要請 | 総務課 | | 自衛隊<br>消防 |
| | | 道路の確保 | 必要に応じて重機 | 都市整備課 | | |
| | | 捜索用金属棒 | 明日8時準備OK | 建築課 | | |
| 生存者確保 | 行方不明者の捜索 | 道路の確保 | 必要に応じて重機 | 土木課 | | 建築業者<br>自衛隊と<br>協力して！ |
| | | 死体安置場所 | 川沼体育館？ | 生活環境課 | | |
| | | 住基台帳市民との突合 | 避難所での確認<br>地区住民（区長→班長等） | 健康福祉課・生涯学習部 | | |
| 避難者の健康生活支援 | 避難所管理運営 | | | 社会福祉課 | | |
| | 健康管理 | 健康・けが対応 | | 保健センター・年金課 | | |
| | 水<br>暖房器具 | 給水車 | 企業団：1台（Ot）<br>自衛隊：1台（Ot）<br>土木課：2台（1t、1.5t） | 下水道課 | | |
| | 食事<br>※朝昼の朝食 | 炊き出し場所<br>材料調達 | | 税務・市民課 | 配分等 | 鳥久<br>ひまわり<br>船橋屋<br>女消防 等 |
| | 生活物資の支給 | 衣料<br>タオル<br>歯ブラシ など | | 産業部 | 運搬 | |
| | | | | 税務・市民課 | 配分等 | |
| | 支援物資の受入 | | | 産業部 | 運搬 | |
| | 入浴 | | | 教育部<br>議会事務局 | | 他市町村<br>会社 等 |
| | | | | 会計課 | | はまなす館等 |
| 共同火力への支援 | | 2L×500本<br>おにぎり1000個 | 振興ビルに運ぶ<br>振興ビルに運ぶ<br>→以降は取りに来て！ | 企画政策課 | 運搬 | |
| | | | | 税務・市民課 | 配分等 | |

### 地域再建に向けた取り組み

| | | | | 責任者 |
|---|---|---|---|---|
| 被災者の確認 | 仮住居・連絡先の確認等 | | | 健康福祉課・生涯学習部 |
| 瓦礫の撤去 | 場所の確保 | | | 生活環境課・環境公園課 |
| | 建設業者から重機 | | | 土木課 |
| 住居の手当て | 人数・世帯の確認 | | | 建築課・情報政策課 |
| | 住居確保 | 空きアパート | | |
| 仮設住宅建設 | 場所の確保<br>建設戸数<br>建設コスト | | | 建築課・財政課 |
| 被災者支援 | 見舞金、貸付など | | | 財政課 |
| 被災地復興 | ライフライン | 上水道 | | 水道企業団 |
| | | 下水道 | | 下水道課 |
| | | 電気<br>ガス など | | 商工振興課 |
| | 道路整備 | | | 土木課 |
| | 土地の確認 | | | 都市整備課 |

| | |
|---|---|
| **3月12日（土）**<br><br>**午前9時00分** | **第５回災害対策本部会議**（第５回以降 パソコンによる口述筆記：建設部長 小山）<br><br>**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**<br>■ 昨日の早朝（3 月 12 日 3 時）に協議したことの進捗を報告して欲しい。夜が明けてどういう状況か、再度整理するように。<br>■ 最大の課題とした孤立者の救出について、出来た部分と出来ていない部分は何か。磯部にいる人達も孤立者と見るようになるので、こちらに連れてこないといけない。<br>■ 問題解決ができない孤立者のケースを、一つ一つ解決していかないといけない。<br>■ 約 3,700 人の避難者に対して、朝食は配ったので、昼食と夕食、支援物資を確保するように。<br>■ 作業するのに、道路を開かないといけない。予想以上に水が引けないが、水が引いてからやるわけにはいかない。まず、孤立者をなくすために必要だ。<br>■ 御遺体が相当ある。次のテーマとして、行方不明者の捜索と御遺体の収容だ。海上に御遺体が浮かんでいる。船に引き揚げてもらうが、接岸できない状況だ。<br>■ 今は、がれきの撤去より、捜索に主眼を置くべき。<br>■ 明日明後日を想定して、今日やるべきことを考えるように。孤立している方々を安全な場所に連れてくる。また、避難している人々は、２日目を迎える。避難者の要望をどうやって反映させていくか。市議会議員の力も借りて事情聴取するように。<br>■ 棺桶は、現在の 150 個では足らないので、早急に作らせるように。中通り葬儀屋に連絡して、ドライアイスを確保するように。<br>■ 治療費は、ない金は取れない。支払いは留保するように。<br>■ 避難所が昨晩どれくらい寒かったか確認して、暖房器具の強化を検討。石油が一番いい。<br>■ 各避難所で何が必要か調査中。市民からタオル、歯ブラシ、防寒着などを集めている。市民会館で水を配っている。<br>■ 流山市と裾野市が職員を応援で出したいとの申し出を頂いた。やることを明確にした上でお願いする。<br>■ 避難所は、これから不満が出てくる。不快にならないように気を配るように。<br>■ 学校は、しばらく休校にせざるを得ない。<br>■ 雇用促進住宅について、来週からでも住めるように準備しなさい。<br>■ 見舞金を、１人当たり５万円くらいで。早急に配らなくてはならない。<br>■ 孤立者の解消や避難所の対応等、全て本部でまとめるように。副市長に全て報告するように。<br><br>**【報告事項】**<br>■ 10 数ヶ所の孤立者に対し、救出人数や救出できない理由（ボートがないと救出できない等）等を１件ずつ報告。<br>■ 昼食は、鳥久、大橋屋、新妻フード等で対応。<br>■ 現在の棺桶の在庫は、県警から 50、市内から 100 で計 150 個。<br>■ 医師会の協力で、各避難所に医師１名、看護士１名。<br>■ 支援物資として、布団 270 組、毛布 192 枚、下着 100 枚、水 1,380 本、粉ミルク 112 缶、オムツ 20 袋等。<br>■ 応援協定を結んでいる米沢市が 7：50 に米沢市を出発し、飲料水や毛布 660 枚等を持って来てくれる。足立区も 12：00 に出発する。裾野市も飲料水等を持ってくる。<br>■ 避難者の入浴は、まだ実施していない。自衛隊にお風呂支援を要請する。<br>■ 共同火力に 710 個のおにぎりと 1000 本の水を届けた。<br>■ 自衛隊は、7：37 から 25 名増員し、合計約 40 名弱となった。<br>■ 消防は、9：00 に群馬県警が約 70 名。<br>■ 仮設住宅は、1,000 戸を県に要請した。おそらく 10ha くらい必要となる。<br>■ 民間アパートの借上げは、不動産屋約 10 件を調査中。 |
| **午前10時30分** | 被災地視察のため、本部長、消防団長、副団長が出発 |
| **午後　0時30分** | 松川浦大橋南側に取り残された１名をヘリコプターにより救助 |

| | |
|---|---|
| **午後　0時50分** | 大津波警報が発令される　すべての捜索隊を一時高台に移動を指示 |
| **午後　2時40分** | 岩子晴風荘に取り残された避難者を緊急救出するようヘリコプターに要請 |
| **午後　2時48分** | 沖合い約１００の漁船に対して、飲料水や食料をヘリコプターにより投下依頼あり |
| **3月12日（土）**<br>**午後3時30分** | **第６回災害対策本部会議**<br>**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**<br>■ 未だに孤立者がいる。<br>■ 夜に対する備えはとりあえず大丈夫だと思う。<br>■ 食料はある程度確保したので、焦る必要ないと思う。今日明日くらいまでは保証できる。行方不明者捜索を重要項目にするように。<br>■ 燃料が、あと３日で尽きる。仙台港から揚がらないため。財務省にメールしているが、政治的に動かないといけない。燃料が手に入らないことも考えないといけない。<br>■ 民間アパートを早く借り上げること。雇用促進住宅も準備を急ぐように。<br>**【報告事項】**<br>■ 流山市、米沢市などから物資が到着。<br>■ 原釜屯所に４体の死体。また、柏崎から磯部に向かう途中、第８分団が瓦礫の中から死体が５体発見。<br>■ 流山市から給水車１台。夕方か明日、もう１台来る予定。あと、毛布 1,000 枚や水、ブルーシート等。裾野市からは、水、毛布、非常食、ブルーシート等。<br>■ 食事は、自衛隊 1,000 食、船橋屋 3,000 食、鳥久 200 食、ほっともっと 200、新妻フーズ 200 食。<br>■ 仙台港のオイルタンク炎上している。相馬の備蓄は、灯油は２日分、A 重油は３日分。火葬用を自衛隊に要望。<br>■ 沖合に出ている漁船の油がなくなってきている。11 時半頃、漁協から約 100 槽が帰れないので、水と食料がほしいとのこと。ヘリコプターで油を届けるという案もあるが、ヘリコプターは救助に専念したいとのことで再協議中。<br>■ 民間アパートの借り上げは、議長にも説明し、入居できる優先順位を検討する。<br>■ 火葬の回数を増やす。無料化も検討。 |
| **午後　4時00分** | 警察・自衛隊が合同で再度救助活動へ出発<br>自衛隊のヘリコプターが来れなくなり、救助活動終了 |
| **午後　5時51分** | 自衛隊のヘリコプターが再度晴風荘上空に到達したが、救出活動を断念した。 |
| **午後　7時09分** | 東京電力福島第一・第二原子力発電所半径２０キロ圏内避難指示 |
| **午後　8時20分** | 大津波警報解除　津波警報へ切り替え |
| **午後10時14分** | 地震発生　浜通り震度５弱　相馬市　震度４ |
| **3月13日（日）**<br>**午前　3時09分** | 地震発生　浜通り震度４　相馬市　震度２ |
| **午前　7時15分** | 地震発生　浜通り震度３　相馬市　震度３ |
| **午前　7時30分** | 津波警報から津波注意報へ切り替え |
| **午前　7時35分** | 大分防災ヘリコプター　東グラウンドヘリポートに到着 |
| **午前　8時00分** | 市・警察・自衛隊・消防・消防団の５者合同打合せ開催<br>被災エリアの捜索方針の確認 |
| **午前　8時25分** | 地震発生　浜通り震度３　相馬市　震度３ |

災害対策本部会議

震災当日の被害状況（原釜地区）

震災当日の被害状況（中村地区）

震災当日の被害状況（新沼地区）

運び込まれた救援物資（市民会館ロビー）

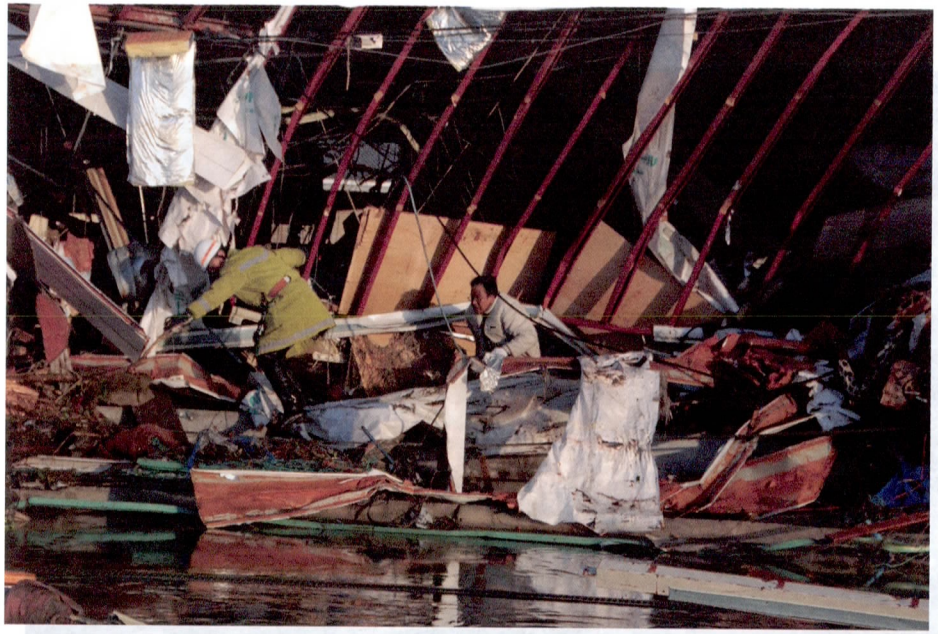
震災翌朝の被害状況（原釜地区）

震災直後の避難所の様子（スポーツアリーナそうま）

震災翌朝の被害状況（原釜地区）

がれきの合間をぬっての捜索活動（原釜地区）

支援を待つ避難者（スポーツアリーナそうま）



かろうじて流されなかった建物で一夜を過ごした住民（原釜地区）

孤立者を救助する自衛隊員（原釜地区）

## 3月12日（土）　本部長が携帯電話で撮影

原釜字仲田・北谷地（地点①）

孤立者を救出する自衛隊ヘリコプター／原釜字北谷地（地点②）

尾浜字原と松川浦（地点③）

尾浜字船越（地点④）

原釜字大津（地点⑤）

原釜字大津（地点⑥）

## 3月12日（土）

**東京都足立区よりご支援をいただきました**

| | |
|---|---|
| **3月13日（日）**<br>**午前8時30分** | **第７回災害対策本部会議**<br><br>**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**<br>■ 午前中には、孤立者をゼロにしたい。避難所に行きたくないという人は、孤立者から外す。救援物資が届けられない人が孤立者である。“避難所に入らない人”を孤立者と考えると無理がある。概念を変えないといけない。孤立で困る人を「孤立者」と定義する。松川や原釜の高台で暮らしている人もいる。ライフラインはだめだという人を、孤立者とは言わない。孤立者としてリストアップされている人が本当に孤立者なのか、午前中に結論を出すように。<br>■ 行方不明者捜索は、瓦礫の撤去と同時に行っている。倒壊家屋は、街中の３箇所くらいで、浜はない。すべて流出。避難ルートを作りながら瓦礫の撤去。そのときに御遺体が出てきたら、警察にチェックしてもらう。御遺体の搬送は、原則警察の３台のワゴン車で敬意を払いながらするように。誰なのかは分からないので、遺体安置所現場で対面式の確定をするしかない。旧相馬女子高の体育館が騒然としている。警察の協力を。<br>■ 身元確定の御遺体と住基台帳の突き合わせが必要。生存者も同じ。その間の人（どちらにも該当しない人）が行方不明者。この３つの色分けが終わらないと、行政の仕事は進まない。生存者確認名簿だ。<br>■ 各避難所で合計が約2,800名。終息に向かっている。<br>■ 津波に飲み込まれた地域の確定。その地域に住んでいた人は、死んでいる可能性がある。そこの人口はどれだけか。原釜、北原釜、松川、尾浜、磯部、岩の子、新田、柏崎。住宅地図と住基台帳の突き合わせ作業を急ぐこと。捜索対象地域と、捜索対象者名簿を作って避難民を突き合わせして。避難民の名簿をきちんと書かせて管理すること。今日の午前中にやるように。<br>■ 瓦礫の撤去や行方不明者捜索は、津波が来たときに逃げるルートを確保しながら作業するように。ルートを消防と建設部で考えてくれ。２時間で実行せよ。<br>■ ボランティアに何をしてもらうか。どんな仕事がいるかを副市長と建設部長で考えて。ボランティアの整理。整理できたところで支援を申し込む。<br>■ 御遺体のご対面。旧相馬女子高体育館で担当者と警察が仕切るように。身元が確定しないと火葬できない。警察と連携して。鑑識が終わるまでが警察の担当、それ以降は、民生部長の担当だ。警察に増援をお願いするかは民生部長に任せる。<br>■ 仮設住宅1,000戸を出来るだけ早く作れるように。<br>■ ４月６日までには、避難者を学校から移し小中学校を元に戻さないと。<br>■ 小学校の卒業式どうするか。現実に応じた対応を。卒業式のために避難民の移動を議論するのは間違っている。３月17日から授業再開したいと言っているが、それまでに解決できない。<br>■ 食べ物は、日数が経ってくると、おにぎり以外の要望も出てくる。他市町村等に、米を要望する。<br>■ 行方不明者捜索は、しらみつぶしにやること。<br><br>**【報告事項】**<br>■ 給食業者の一心助は、電気が来れば、弁当1,500食分作れるとのこと。女性消防団も自前の米を焚いている。<br>■ 自衛隊は、現在約80名。ヘリコプターによる視察や入浴支援も可。 |
| **午前　9時33分** | 県防災ヘリコプター到着し、孤立している尾浜・岩子・蒲庭の各地区で孤立者の引き上げ救助を開始 |
| **午前　9時43分** | 岩子晴風荘の孤立者１４名を無事救出 |
| **午後　1時26分** | 自衛隊のヘリコプターが東グランンドに到着、尾浜・原釜地区の孤立箇所の引き上げ救助を開始 |
| **午後　3時00分** | 地震発生　浜通り震度３　相馬市　震度３ |

避難所の様子（中村第一小学校）

ガソリン給油を待つ自動車の列（中村地区）

支援物資搬入（市民会館ロビー）

全国から寄せられた支援物資（市民会館ロビー）

| | |
|---|---|
| **3月13日（日）**<br>**午後3時00分** | **第８回災害対策本部会議**<br>**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**<br>■ 柏崎、日立木は死体多数。瓦礫の撤去をやればもっと発見されるだろう。瓦礫の撤去を早くやらないといけない。まだダンプで運ぶ段階ではない。瓦礫を近くの田んぼに仮置きするなど検討して。<br>■ 民間アパートの借上げには、生活保護のときの住宅扶助費と同様に29,000円を補助する。<br>■ 原発難民が、相馬市に来ている。特に小高区の人。昨夜、数十人来て、今日はもっと来ている。旧相馬女子高に入ってもらう。トイレはあるし、今でも150名は受入れられる。もっと受け入れられるように、応援部隊等を使って整備を。現在、65名。食事もできる範囲で渡す。その他、相馬市民以外は、全て女子高に入ってもらうように。丸森町が500名受け入れてくれると言っている。<br>■ 他市町村で応援してくれるというところに頼むものは、非常食、おかずになる缶詰、毛布、バスタオル、布団、米、粉ミルク、おむつ（大人、子ども）、トイレットペーパー等。医系市長会、社会資本整備を考える首長の会、報徳サミットの市町村に応援を要請するように。<br>■ ガソリンは、新潟ルートで持ってこれないか。<br>■ 3／15の市議会は、作業服で予定通り行う。<br>■ 4／16の400年祭は、中止か延期。<br>■ 統一地方選は、延期して欲しいと国に要求。<br>■ 支援を貰った自治体を市役所の入口に張り出して。「ありがとう○○町　○○（米等）」という感じで。<br>■ 通信手段がない。色々と呼びかけを。優先的に開ける回線を。<br>**【報告事項】**<br>■ 毛布は4,274枚。うち、使っているのは約1,600枚。アルファ米は35,950食分。<br>■ 食事は足りている。一心助は明日から1,000食供給可能。小高等から来た人にもしている。<br>■ ご遺体収容人数は、相馬市40人、新地町11人。<br>■ 3／14に、広報そうまの号外を出す。<br>■ 福島交通バスは、運休中。 |
| **午後　4時05分** | 蒲庭で３名の要救助者を確認し、防災ヘリコプターにより全員無事に吊り上げ救出完了 |
| **午後　4時44分** | 松川民宿「さぎやま」孤立者救助 |
| **午後　6時00分** | 相馬市消防団の捜索活動終了 |
| **午後　6時01分** | 福島県　津波注意報解除 |
| **午後　8時26分** | 相馬中央病院への給水活動作業を消防署に要請 |
| **午後　9時44分** | 地震発生　浜通り震度３　相馬市　震度３ |
| **午後10時28分** | 地震発生　浜通り震度3　相馬市　震度3 |

**3月14日（月）**

**午前9時00分**

## 第９回災害対策本部会議

**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**

- 今日で震災から４日目。チームワーク、統制のとれた行動をとってきてくれた。
- 短期的対応、中期的対応、長期的対応を分けて考えている。
- 人命救助について、孤立者は昨日の 15 時で解消した。ただ、死亡しているというコメントは差し控えたい。瓦礫の撤去をしないと今後は探せない。瓦礫撤去して、そこにはご遺体がいないという確認をしないといけない。
- 生存者の確認。遺体の安置、火葬。火葬もどんどんやっていかないと。検死が遅れると皆が遅れる。警察に対応の変更をお願いする。
- 今、約 4,000 人が避難所にいる。人口密度が高い。精神的、プライバシー、衣食住の問題を考えていかないといけない。住居は、今後、仮設住宅やアパートをできるだけ急いで用意する。
- 支援物資。おにぎりで最初の一晩はいいが、今後不満が出ないようにどうしたらいいか。知恵を使って。避難者のアメニティを考えていかないといけない。
- 燃料は、東北地方整備局長の話では、東北全体がオイルショックのよう。あるとかないとかではなく、皆が油を求めている状態。火葬は灯油。これが進まないと大変。いろいろ手を尽くす。
- ライフラインが復旧されてなくて、家に住めない被災者のための事業は大きな課題だ。
- 企業団は水を届けることに専心するように。
- 長期的には、相馬港が使えれば、対策の選択肢は増える。
- ボランティア。外国からも入ってくる。対策本部長の指揮下に入るように。チーム相馬としてしっかり統制を。
- 通信が使えない。災害対応くらいは何とかしてほしいが、今後の課題だ。政府に要請する。
- 原発被災者。相馬女子高に 260 名。福島市に 650 名。避難している人の中には、逃げろと言われていない地域から来た人もいる。今、来た人に帰れとは言えない。しかし、長期的には、他市や国家がサポートしないと。相馬市も 1,000 人分までは何とかしたい。
- 新地町、南相馬市が相当困難。近隣市町村への配慮、人的支援も考えないといけないかも。新地町は死体安置所を設置できない。新地町のご遺体も相馬市に置くしかない。近隣市町村のためにも、整然とやって余裕を持とう。
- 最終的にはインフラの整備、仮設住宅ゼロが目標だが、相当な時間と財源がかかる。以前の近くに住んで頂くことを目標に。原釜も尾浜も磯部も。
- 家の廃材等を田んぼに置くことを交渉するように。
- 避難所で手伝いたい人をどうするか？精神的にもやったほうがいい。服装など、安全にやるためには何が必要か、建設部長検討せよ。
- 関係機関で捜査エリア、捜査方法、人数等を確認する連携会議を毎晩やりなさい。
- 行方不明者数の推測は危険なのでやらない。上がった死体の数で死亡者数とする。
- 棺桶。市で 100 個、警察で 50 個。残りを県に頼んだ。とりあえず、市として 550 個確保できた見込み。何人が見つかって、火葬となるか？550 個で様子を見てゆく。引き取り手がいないと公費で火葬することになる。
- 今後、支援物資として、布団を求める。
- 民間アパート借上げは、こちらから避難所のこの人、この人、とピックアップして、どうですか？と言って、その人の責任で判子押してもらって。スケジュールを決めるように。
- 3／15 に見舞金を支給する条例を提出。当座の支援物資のためくらいの見舞金。
- 水道企業団は、給水をどうするかを考えて。

# 第7回　災害対策本部（資料）

平成23年3月14日（月）　午前9時

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1　短期的対応 | ① | 生存者救出・孤立者の解消 | → | | 対応完了 |
| | ② | 行方不明者の捜索 | | ア | 作業用道路の確保 |
| | | | | イ | ガレキの撤去・捜索 |
| | ③ | 生存者・死亡者の確認と火葬等対応 | | ア | 安否確認情報 |
| | | | | イ | 生存者情報 |
| | | | | ウ | 死体安置・棺おけ調達・火葬 |
| 2　中期的対応 | ① | 避難者の生活支援（避難所の管理運営） | → | ア | 健康管理 |
| | | | | イ | 水・食料 |
| | | | | ウ | 衣類・毛布 |
| | | | | エ | 支援物資の要請 |
| | | | | オ | 支援物資の受入、配給、管理 |
| | | | | カ | 生活用品調達（支援受入、一部購入） |
| | | | | キ | 入浴 |
| | | | | ク | その他 |
| | ② | 対策本部の管理運営 | → | ア | 燃料不足 |
| | | | | イ | 支援グループの受け入れ |
| 3　長期的対応 | ① | 被災者の生活支援 | → | ア | 雇用促進住宅への移住 |
| | | | | イ | アパートへの移住 |
| | | | | ウ | 仮設住宅の建設 |
| | | | | エ | 仮住居移住後の生活支援 |
| | | | | オ | 金銭的支援（生活支援金） |
| | ② | 被災地及び市内復興 | → | ア | ライフライン（水、電気、水道、ガス |
| | | | | イ | 市内生活道路の補修 |
| | | | | ウ | 土地の確認 |
| | | | | エ | 相馬港の活用、アクセス道路の補修 |
| 4　1・2・3の共通テーマ | ① | 全国的支援要請 | → | ア | エネルギー（A重油、灯油、ガソリン）不足対応 |
| | | | | イ | 通信 |
| 5　原発被災者への対応 | | | → | ア | 旧相馬女子高での受け入れ |
| | | | | イ | 県と被災自治体との調整 |
| | | | | ウ | 水、食料、毛布などの配給 |
| 6　他市町村への支援 | ① | 新地町、南相馬市 | → | ア | 配給物資のおすそわけ |
| | | | | イ | 人的支援（ガレキ撤去後はデスクワーク主体となるため） |

3月13日に一部整備、今後逐次整備
撤去計画（1～2週間）

担当人員など計画的に、プログラム
住民基本台帳との突合
引き取り者のいない場合の対応

長期的目標を立てる
可及的に多く確保しストックする

あくまで本部長の指揮

内装整備後可及的速やかに必要者を移住
業者との調整交渉、金銭的負担の理解

タオルケット、ふとんなど全国に支援要請

地図上で進捗状況を逐次確認・管理

## 市内各地の被害状況（新田地区）

3 月 15 日撮影

## 市内各地の被害状況（柏崎地区）

3 月 18 日撮影

【報告事項】

■ 安否確認して欲しい人が 446 名。安置所に 60 名。うち、氏名が分かっているのは 10 名。
■ 検死は 18 人／日。腐乱の問題がある。身元不明者をどうするか？
■ 方部衛生組合から、2,200L の油を 2 日に 1 回補給してほしいとの要請がある。
■ 民間アパートの借上げの説明と受付をしている。
■ 安否確認の電話が鳴りっぱなしなので、専用回線を設ける。健康福祉課が対応するように。

**午後6時00分**

## 第１０回災害対策本部会議

**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**

■ 遺体の火葬について、市の火葬場だけで対応できない場合には、伊達市へ依頼すること。
■ 避難者への支援物資については、「ふとん」「毛布」「缶詰」などを長岡市長へ依頼した。
■ 避難者の生活支援として、「雇用促進住宅」と「アルプス電気独身寮」への移住を進めること。
■ エネルギー(燃料)の確保としては、当面１０日分の確保に努める。
■ 生活支援金条例の制定については、支援金１人３０，０００円弔慰金１００，０００円として議会に提案する。
■ 捜索体制として警察・自衛隊・消防・消防団が、４班体制で捜索活動を実施した。
■ 収容された遺体の数は、１１２体でそのうち相馬市民の遺体９４体
■ 避難者が情報を収集するため、各避難所にテレビを設置した。
■ 避難所と遺体安置所に巡回バスを運行した。
　午後３時の便では、行き３０人・帰り２５人の利用があった。
■ 燃料確保の状況は、軽油１１KL・灯油１６KL・ガソリン１８KL となっている。■ 水道企業団は、給水計画を作成すること。
■ 旧相馬女子高校避難所の避難者数は、300名で、これまで使用できなかったトイレの使用が可能となった。
■ 市民への情報伝達として、お知らせ版(号外)を週２回発行、配布すること。

**3月15日(火)**

**午前8時00分**

## 第１１回災害対策本部会議

**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**

■ 原発事故をどう扱うか？昨夜、自衛隊からは逃げろという話が来たが、市は国の命令に従うと言って拒否した。南相馬市、いわき市とも意思を統一した。避難となった場合は、避難のためのプランを国に支援してもらう。県は明確な判断を避けている。避難指示がなければ、粛々と今までの計画のとおりやる。南相馬市の放射能は、一昨日 7、昨日 3、今日 2.6。相馬市は 0.4。
■ 生存確認できた人は、連絡不通者に含まない。柏崎 0、岩子 1、新田 1。部落の人はだいたいわかっているから、区長さん、民生委員に聞いてみて。次の会議で、連絡不通者を示すようにせよ。
■ 燃料について、行政分はある。一般人用は国の対応の問題だ。
■ 放射能を考えて、カッパ、マスク、軍手等を着用。カッパは使い捨て。顔洗うように。
■ 学校をいつから始めるか。4 月の新学期に間に合わせなくても良いなら、避難所の人口密度等の面では楽だ。

■　し尿処理場の汲み取りは、今週で出来なくなるので、工業用水の復旧をすぐに。
■　民間アパートの借上げを早く。
■　ライフラインの復旧状況について、電気、電話も地図表示をして避難所に掲示するように。
■　宮城県の村井知事は土葬の検討をしている。
■　公民館にも毛布を。

**【報告事項】**

■　雇用促進住宅53部屋を掃除。
■　アルプス独身寮は、今日電気を通す。
■　上水について、相馬中央病院は通水した。
■　学校の避難所では、先生が対応してくれている。学校を分けると、その先生が対応してくれる。
■　ライフラインの復旧状況を、避難所に情報提示。
■　し尿処理：今週で汲みとりはできなくなる。

**午前10時00分**

平成２３年第１回相馬市議会定例会　最終日

追加議案　議案第２９号

相馬市東北地方太平洋沖地震被害被災者生活支援金等支給条例の制定について

議案第３０号平成２２年度相馬市一般会計補正予算(第７号)について

**第１２回災害対策本部会議**

**午後6時00分**

**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**

■　原発に関しては、国に従うが、住民はNHKのニュース等を見て疑心暗鬼になっている。
■　長浜前厚労副大臣と話し、対応してもらったので、雇用促進住宅OKになった。
■　南相馬市長から、500人受け入れのお願いがあったので了解した。丸森町でも受け入れてもらうように私から頼んだ。
■　ボランティアは、こちらが受皿作れば、医者や看護師も来てくれる。
■　義援金をもらったら、オープンにして。見舞金も。HPにアップして。
■　ボランティアの活用として、避難所の手伝いもしてもらうように。

**3月16日(水)**

**第１３回災害対策本部会議**

**午前8時00分**

**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**

■　燃料が原発避難のために来るという情報があるが、嘘。
■　原発で核爆発することはまずない。メルトダウンはあっても。だから、いきなり爆発的に放射能が増えることはない。運転手は相双に来たくないと言っている。郡山までは来るので、運転手を手配して取りに行け。
■　ガソリンスタンドの混雑を規制するために、警察が交通整理しているのが、間違って伝わっている。
■　政府は、90日分あった燃料備蓄が事業仕分けで70日分になっている。今、やっと67日分にして放出し始めた。自衛隊はこれとは別で確保しているはずだ。
■　捜索は、消防団も分団長や副分団長も出て。指揮に加えるように。土地勘が必要だ。
■　連絡不通者の確認を。
■　放射能の数値を公表するように。
■　相馬だけでなく、南相馬とか、相馬広域で考えないと。人工透析がピンチ。南相馬がもたない。看護婦も逃げ出した。南相馬市立病院が逃げた。公立相馬病院は逃げてない。大町病院は腹をくくっている。渡辺病院はピンチ。相馬中央病院は2／3が逃げた。重傷者もそろそろ限界。南相馬に薬を持って来たがらないのが最大の原因。

# 第9回　災害対策本部　（資料）

平成23年3月15日（火）　午前8時

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1　短期的対応 | ①　生存者救出・孤立者の解消 | → | | 対応完了 | |
| | ②　行方不明者の捜索 | → | ア | 作業用道路の確保 | 整備状況 |
| | | | イ | ガレキの撤去 | 流木置き場の検討 |
| | | | ウ | 行方不明者の捜索 | 捜索範囲の設定 |
| | ③　生存者・死亡者の確認と火葬等対応 | → | ア | 安否確認情報 | 担当人員など計画的に、プログラム |
| | | | イ | 生存者情報 | 住民基本台帳との突合 |
| | | | ウ | 遺体安置・棺おけ調達・火葬 | 遺体数、安置所へのバス運行 |
| 2　中期的対応 | ①　避難者の生活支援（避難所の管理運営） | → | ア | 健康管理 | |
| | | | イ | 水・食料 | 長期的目標を立てる |
| | | | ウ | 衣類・毛布 | 可及的に多く確保しストックする |
| | | | エ | 支援物資の要請 | 軍手、雨合羽 |
| | | | オ | 支援物資の受入、配給、管理 | |
| | | | カ | 生活用品調達（支援受入、一部購入） | |
| | | | キ | 入浴 | |
| | | | ク | その他 | テレビの設置 |
| | ②　対策本部の管理運営 | → | ア | 燃料不足 | 軽油11日分、灯油8日分、ガソリン36日分 |
| | | | イ | 支援グループの受け入れ | あくまで本部長の指揮 |
| 3　長期的対応 | ①　被災者の生活支援 | → | ア | 雇用促進住宅への移住 | 耐震の確認、現況調査の実施 |
| | | | イ | アルプス電気独身寮 | 40室80人 |
| | | | ウ | アパートへの移住 | 業者との交渉結果 |
| | | | エ | 仮設住宅の建設 | |
| | | | オ | 仮住居移住後の生活支援 | タオルケット、ふとんなど全国に支援要請 |
| | | | カ | 金銭的支援（生活支援金） | |
| | ②　被災地及び市内復興 | → | ア | ライフライン（水、電気、水道、ガス） | 復旧状況 |
| | | | イ | 市内生活道路の補修 | |
| | | | ウ | 土地の確認 | |
| | | | エ | 相馬港の活用、アクセス道路の補修 | |
| 4　1・2・3の共通テーマ | ①　全国的支援要請 | → | ア | エネルギー（A重油、灯油、ガソリン）不足対応 | |
| | | | イ | 通信 | |
| 5　原発被災者への対応 | | → | ア | 旧相馬女子高での受け入れ | 収容数、ボランティア協力 |
| | | | イ | 県と被災自治体との調整 | |
| | | | ウ | 水、食料、毛布などの配給 | |
| 6　他市町村への支援 | ①　新地町、南相馬市 | → | ア | 配給物資のおすそわけ | |
| | | | イ | 人的支援（ガレキ撤去後はデスクワーク主体となるため） | |

■ 南相馬市民の受入れは、800 人で止める。この辺が限界だ。

**【報告事項】**

■ ガソリンは、今日 7：45 に来る。太田石油、只野石油、立谷石油が、運転して 3 人で行く。
■ ドライアイスは、新潟から手配を検討中。県の災害対策本部にも要請中。
■ 3 月 15 日 18 時時点の死者数は 137 体。うち、相馬 106、新地 31。身元が確認できた人数は、相馬 55、新地 20。
■ ボランティアの受け皿は、社会福祉協議会が行う。市は、企画政策部が担当。
■ 支援金は、避難所で今日から配る。避難所以外は 19 日から。
■ 上水について、今日、鹿島に行っている 450mm 管を修復する予定。これができると、南側が通水できるようになってくる。全体として、漏水個所がかなりあり、被災前と給水総量のカウントが変わっていないくらい漏れている。原発から 40km 圏内がダメになると、真野ダムは給水ストップになる。宇多川水源だけになる。市内の一部だけになる。
■ 旧相馬女子高にきている南相馬市民は、547 名。9：30 以降、約 250 人増加。

**午後6時00分**

## 第１４回災害対策本部会議

**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**

■ 今日は、医療体制に追われた。南相馬市の避難指示区域以外の地区でも開業医の先生は誰もいない。南相馬市の 2／3 の医療関係者がいない。薬も物資もない。その分、相馬市の開業医のところにきて、パンクしている。調剤薬局の在庫がない。しかし、こっちまで運んでくれる業者がいない。相馬中央病院も看護師半分いない。外来に対応できなくなってきている。老人福祉施設の森の都の職員がいなくて、飯もない。だからといって、この体制で頑張っていくしかない。薬が無くなった老人の体調管理どうするか？人工透析をどうするか？
■ 捜索に行くときに、消防がサイレンを鳴らしているが、鳴らさないように！
■ 今後、健康管理が重要だが、診る医者が足りない。
■ アルプス独身寮や、雇用促進住宅は、避難所の人を募って掃除してくれ。清掃用具の手配やボランティアの送り迎え等を検討しておいてくれ。

**【報告事項】**

■ 自衛隊は、現在、磯部の道路を切り開いている。もう少しで巡回通路ができる。
■ 遺体安置場所は、アルプスへ移動させる。明日午後 13 時の予定。自衛隊の協力を得て行う。
■ ガソリンが 60kL 入った。今日、20kL を一般売りした。明日と明後日で、40kL を一般販売する。太田、只野、立谷で実施。軽油は現在 21kL で、一般売りを含めて約 20 日分。灯油は 24kL で、約 2 週間分 A 重油は入ってきてない。
■ 旧女子高は、現在 710 人。

## 第１５回災害対策本部会議

**3月17日（木）**

**午前8時00分**

**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**

■ 昨日からのガソリン一般配給で、相馬から逃げた人が多い。仕方がない。
■ 森の都は、食料や物資がない。
■ 流出家屋以外のところで物資が届かない、煮炊きができない人が出てくると思う。それをどうするか？
■ 森の都、ベテランズサークル、ふきのとう園、医療関係者、介護業者等の職員用にガソリンをすぐ配って。介護業者は訪問看護が出来ない。
■ 渡辺病院が今週、機能しなくなる。そのときに、患者の搬送を自衛隊に要望している。

3/16 AM 8:30

200名 避難された方 と記.

# 第11回 災害対策本部 （資料）

平成23年3月16日（水） 午前8時

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① 生存者救出・孤立者の解消 | → | | 対応完了 √ |
| | | ② 行方不明者の捜索 | → | ア | 作業用道路の確保 |
| | | | | イ | ガレキの撤去 |
| | | | | ウ | 行方不明者の捜索 |
| | | ③ 生存者・死亡者の確認と火葬等対応 | → | ア | 連絡不通者確認情報 |
| | | | | イ | 遺体安置・棺おけ・ドライアイス調達・骨壷 |
| 2 | 中期的対応 | ① 避難者の生活支援（避難所の管理運営） | → | ア | 健康管理 |
| | | | | イ | 水・食料 |
| | | | | ウ | 衣類・毛布 |
| | | | | エ | 支援物資の要請 |
| | | | | オ | 支援物資の受入、配給、管理 |
| | | | | カ | 生活用品調達（支援受入、一部購入） |
| | | | | キ | 入浴 |
| | | | | ク | その他 |
| | | ② 対策本部の管理運営 | → | ア | 燃料不足 |
| | | | | イ | 支援グループの受け入れ |
| | | ③ 原発事故への対応 | → | ア | 政府統括対策本部とのホットライン |
| | | | | イ | 放射能レベル測定値の開示 |
| | | | | ウ | 国の指示に従い行動する |
| | | ④ 義援金の受付 | | | |
| | | ⑤ 医療機関の実情と対応 | | | |
| 3 | 長期的対応 | ① 被災者の生活支援 | → | ア | 雇用促進住宅への移住 |
| | | | | イ | アルプス電気独身寮等 |
| | | | | ウ | アパートへの移住 |
| | | | | エ | 仮設住宅の建設 |
| | | | | オ | 仮住居移住後の生活支援 |
| | | | | カ | 金銭的支援（生活支援金） |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア | ライフライン（水、電気、水道、ガス） |
| | | | | イ | 市内生活道路の補修 |
| | | | | ウ | 土地の確認 |
| | | | | エ | 相馬港の活用、アクセス道路の補修 |
| 4 | 1・2・3の共通テーマ | ① 全国的支援要請 | → | ア | エネルギー（灯油、ガソリン等）不足対応 |
| | | | | イ | 通信 |
| 5 | 原発被災者への対応 | | → | ア | 旧相馬女子高での受け入れ |
| | | | | イ | 県と被災自治体との調整 |
| | | | | ウ | 水、食料、毛布などの配給 |
| 6 | 他市町村への支援 | ① 新地町、南相馬市 | → | ア | 配給物資のおすそわけ |
| | | | | イ | 人的支援（ガレキ撤去後はデスクワーク） |

| |
|---|
| 自衛隊・県警本部は引き続き作業を進める |
| 流木置き場の検討、排水ポンプの導入 |
| 捜索範囲の設定 |
| 基礎資料完成、詳細情報の開示 |
| 住民基本台帳との突合、漁協、部落の情報集約 |
| 遺体数、バス運行は午前午後 |
| 骨壷の保管（市仏教協会）、ドライアイス |
| 医師・看護師ボランティアの受け皿 |
| 長期的目標を立てる |
| 可及的に多く確保しストックする |
| 軍手、雨合羽 |
| |
| |
| |
| 各部署でストレス解消の方法を検討すること |
| 軽油1日分、灯油8日分、ガソリン36日分 |
| タンクローリー1台搬入 |
| あくまで本部長の指揮 |
| 必要事項についての要望 |
| 市役所正面に公表 |
| 市民に方針の周知（広報相馬お知らせ版） |
| 200万ドル他（ダウケミカル（ローム&ハース）） |
| 薬の次ぞ |
| 53室確保、速やかに入居が可能 |
| ・妊婦、乳幼児、身体障がい者、老人（75才以上）優先 |
| アルプス 40室80人 水道の確保、 |
| ・妊婦、乳幼児、身体障がい者、老人（75才以上）優先 |
| 既に入居者申込をした被災者がいる |
| 仮設住宅は本日、県と協議、県50%、国50% |
| タオルケット、ふとんなど全国に支援要請 |
| 生活支援金1人3万円、死亡見舞金10万円 |
| 復旧状況を避難所へ掲示する |
| |
| |
| |
| 市民への配給 |
| |
| 収容数、ボランティア協力 |
| |
| |
| 相馬女子高での原発難民への支給 |
| 南相馬市からの派遣 |

## 3月16日（水）

### 被災者生活支援金をお渡ししています

市では3月16日から、この度の地震および津波によって避難された皆さまに、被災者生活支援金をお渡ししました。

対象となる方は、平成23年3月11日現在、相馬市に住民票があり、地震、津波で住宅（借家を含む）が全半壊、流出、埋没、水または床上浸水の被害を受けた避難者の方です。

支給額は、一人あたり30,000円。

### 相馬市東北地方太平洋沖地震被災者生活支援金等支給条例

**平成23年第1回相馬市議会定例会において3月15日に可決**

#### ■目的

着の身着のままの被災者ばかりであり早急に生活資金が必要なので、被災者の被災後初期の生活支援及び自立の擁護を図ることを目的として支援金を支給する。

#### ■支援金等の支給

地震又は地震により発生した津波により家屋の全半壊、流出、埋没、水没又は床上浸水による被害を受けた住居に現に居住していた被災者に対し、１人につき３万円を支給する。

市内に居住するものが地震または地震により発生した津波により死亡したときは、その死亡の葬祭を行うものに対して、１人につき１０万円の弔慰金を支給する。

#### ■被災者情報の把握を兼ねる（対面式支給が前提）

**●避難所：** 職員が訪問し受付（3月16日～3月18日）

**●その他：** 市役所窓口で受付（3月19日～）

※本人確認と被災が確認できれば、その場で現金支給

※家族の安否状況、避難先の把握

■ 柚木や立切の給水タンクの作業は、避難所にも広報した上でやるように。
■ 被災者の健康管理は、これから精神的管理が大変になる。
■ 相馬市の開業医は残って頑張っている。
■ 放射能濃度は、オープンにするように。

【報告事項】

■ 捜索は、原釜、日下石、磯部を引き続き実施。消防団も今日から全団員で捜索。
■ 排水ポンプ車で水抜きを試みる。
■ 469人に支援金を配布。今日は、7ヶ所の避難所を回る。避難所に、配布対象でない人（＝住宅そのものには被害がないが、ライフラインがダメになって避難所にいる人）がかなりいる。それから考えると、約1,700人が仮設住宅対象者ではないか。
■ ガソリンは、明日も一般配給を行う。
■ NTTから無料の公衆電話を1台配置するとのこと。一番大きい避難所に設置を検討。
■ ボランティアは、アリーナで炊き出しの手伝いや中村1小で資材運搬等を実施。

## 第１６回災害対策本部会議

**午後6時00分**

**【本部長からの指示】　（報告を受けた後の指示も含む）**

■ 南相馬市で避難を決心したという話が流れた。新潟県がバスをよこしてくれた。公園に集まってくれと市長指示したという話。南相馬市は、屋内退避であって、避難指示ではない。市長はそういうつもりはなかったと言っているが、こうやって不安心理が煽られ、病院の給食の職員がいなくなる等の問題が起こる。
■ 今日、新地町長、飯館村長と三人で市町村会をやった。原発に関しては、国の判断に従って粛々と行動すると。そのときは、国の支援を受けて動くという話をした。そのことを桜井市長にも話したが、バスが来たおかげでこうなったと言う。
■ 枝野さんと話した。南相馬市の病院や、老人施設に燃料などが届くはず。
■ 相馬が崩壊すると、仙台も崩壊する。東京が崩壊する。日本が崩壊する。踏ん張らないといけない。
■ 今、不安だからと出ていくのは、本人の自由意思。出て行った人がどういう不自由な生活をするのか？相馬の方が快適ではないか。
■ 火葬は、角田市にも頼んで。
■ スクリーニングは、相馬市としては、希望者があれば行ってもらうということにする。
■ 2,000食のアルファ米を新地にカンパした。飯館村には水4万リットル。
■ 上水が、宇多川水系だけになった場合の地域と必要水量を計算しておくように。

**【報告事項】**

■ 遺体安置所は、アルプスへ移動している。明日も移動して、午後までには終了予定。
■ 火葬場は、伊達市で最大8体。福島市は上限5体。フローラが撤退したため、親族が全て集骨していて時間がかかるなど、火葬・運送に時間がかかっている。フローラに遺体が残っているので、警察で運送できないか検討をお願いしている。
■ 船橋、米村、山口医師等に避難所を巡回してもらった。
■ 放射能は、16時で1.0マイクロシーベルト。
■ 上水については、漏水個所が多い。山上、粟津、富沢まで給水できた。ジャスコ、柚木はまだ。
■ 郡山市と相馬市で仮設住宅を開始という記事が、明日の新聞で出る。
■ 旧相馬女子高は752名になった。県がスクーリングをやることになり、108名が受けた。ほとんど0だった。明日からは、相馬高校の講堂で県がやる。県は、県民全部をスクーリングする方針。
■ 真野川が使えず、宇多川水系だけになった場合、給水できるのは、中村地域の半分くらい。

| 第14回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年3月17日（木）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① | 生存者救出・孤立者の解消 → | 対応完了 | |
| | | ② | 行方不明者の捜索 → ア | 行方不明者の捜索 | 捜索範囲の設定：原釜、日下石、磯部の3箇所、消防団復帰 |
| | | | イ | ガレキの撤去 | 排水ポンプ車による排水 |
| | | | ウ | 作業用道路の確保 | 大手建設会社への協力要請 |
| | | ③ | 生存者・死亡者の確認と火葬等対応 → ア | 連絡不通者確認情報 | 住民基本台帳との突合、部落の情報集約、詳細情報の点検・開示 |
| | | | イ | 遺体安置・棺おけ・ドライアイス調達・骨壺 | 遺体数、ドライアイス調達<br>検視体制の強化、安置所の移設（アルプス電気、13時～）<br>他自治体の火葬場利用 |
| | | ④ | 遺産相続の問合 | | |
| 2 | 中期的対応 | ① | 避難者・被災者の生活支援 → ア | 健康管理 | 医師・看護師ボランティアの受け入れ、精神的ケア<br>避難住民によるボランティア |
| | | | （避難所の管理運営） イ | 水・食料 | 長期的目標を立てる |
| | | | ウ | 衣類・毛布 | 可及的に多く確保しストックする |
| | | | エ | 支援物資の要請 | 軍手、雨合羽、毛布、パン、缶詰 |
| | | | オ | 支援物資の受入、配給、管理 | |
| | | | カ | 生活用品調達（支援受入、一部購入） | |
| | | | キ | 入浴 | |
| | | | ク | その他 | 広報そうま号外の発行による情報提供（随時発行予定） |
| | | ② | 対策本部の管理運営 → ア | 燃料不足 | 備蓄状況 |
| | | | イ | 支援グループの受け入れ | あくまで本部長の指揮 |
| | | ③ | 原発事故への対応 → ア | 政府統括対策本部とのホットライン | 必要事項についての要望 |
| | | | イ | 放射能レベル測定値の開示 | 市庁舎及び避難所での開示 |
| | | | ウ | 国の指示に従い行動する | 市民に方針の周知（広報相馬お知らせ版　17日発行） |
| | | ④ | 義援金の受付 | | 200万ドル他（ダウケミカル（ローム＆ハース）） |
| | | ⑤ | 医療機関等の実情と対応 | | 薬の炎天、特に人工透析、医療機関等職員へのガソリン提供 |
| 3 | 長期的対応 | ① | 被災者の生活支援 → ア | 雇用促進住宅への移住 | 53室確保、本日（3/17）より受付開始 |
| | | | イ | アルプス電気独身寮等 | アルプス40室80人、本日（3/17）より受付開始 |
| | | | ウ | アパートへの移住 | 既に入居者申込をした被災者がいる、本日（3/17）より受付開始 |
| | | | エ | 仮設住宅の建設 | 県に対する働きかけ |
| | | | オ | 仮住居移住後の生活支援 | タオルケット、ふとんなど全国に支援要請 |
| | | | カ | 金銭的支援（生活支援金） | 3/16～支給開始 |
| | | ② | 被災地及び市内復興 → ア | ライフライン（水、電気、水道、ガス） | 復旧作業（馬場野地区）、柚木の給水タンクの活用検討 |
| | | | イ | 市内生活道路の補修 | 大手建設会社への協力要請 |
| | | | ウ | 土地の確認 | |
| | | | エ | 相馬港の活用、アクセス道路の補修 | |
| 4 | 1・2・3の共通テーマ | ① | 全国的支援要請 → ア | エネルギー（灯油、ガソリン等）不足対応 | 市民向けのガソリン支給（3/16～3/18） |
| | | | イ | 通信 | |
| 5 | 原発被災者への対応 | | → ア | 旧相馬女子高での受け入れ | 収容数、ボランティア協力 |
| | | | イ | 県と被災自治体との調整 | |
| | | | ウ | 水、食料、毛布などの配給 | |
| 6 | 他市町村への支援 | ① | 新地町、南相馬市 → ア | 配給物資のおすそわけ | 相馬女子高での原発難民への支給 |
| | | | イ | 人的支援（ガレキ撤去後はデスクワーク） | 南相馬市からの派遣 |

## 市内各地の被害状況（岩子地区）

3 月 18 日撮影

## 市内各地の被害状況（和田地区）

3 月 31 日撮影

## 市内各地の被害状況（磯部地区）

3 月 18 日撮影

## 市内各地の被害状況（古磯部地区）

3 月 18 日撮影

## 市内各地の被害状況（柚木地区）

3 月 18 日撮影

## 市内各地の被害状況（蒲庭地区）

3 月 25 日撮影

# 災害対策本部における主な協議内容と決定事項

## 【災害発生 2～3 週間目（3 月 18 日(金)～31 日(木)】

### 第 18 回 災害対策本部会議　2011 年 3 月 18 日(金) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 給水は、増やしているが、毎日の地震で漏水が増えて進まない。
- 棺桶は、経済産業省などから 5,000 個届く。南相馬分も含む。
- 南相馬市はここ数日で病院閉鎖。給食の人がいなくなった。
- 森の都は 1 日 1 食、ベテランズは 1 日 2 食でやっていた。そういうところへボランティアを派遣せよ。
- 一般市民の物資が不足している。米（街中の人）、缶詰、灯油、ガス等。県に、缶詰、米を要請。
- 原発を注視しながら、避難所からの脱却、その先の生活も系統的に考えないといけない。
- いつまでも 3,000 人の面倒を見られない。避難者が独立した釜戸を持ってもらうようにしないと。逃げ出した人も相馬に戻ってくるかも。その方の住居をどうするか？
- 4/6 始業式は難しいが、どこかで教育を始めるには、避難所を狭くしていくことを考えないと。避難所の閉鎖計画と、学校の再開計画を同時に考えないといけない。
- 仮設住宅ができたら、避難所は開けておく必要ない。どうしても移らないという人はいるだろう。避難所は、最終的には相馬女子高。次点として、はまなす、アリーナ。

### 第 19 回 災害対策本部会議　2011 年 3 月 18 日(金) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- ご遺体と行方不明が約 600 人。相馬を離れる人も相当いるが、数の把握に意味はない。流山市に相馬市専用の避難所がある。
- 支援物資かなり集まってきたが、保管場所が問題になっている。
- 放射能はしばらくこういう状態ではないか。
- 南相馬市は、病院スタッフがいなくなって厳しい状態。

### 第 20 回 災害対策本部会議　2011 年 3 月 19 日(土) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 南相馬市の患者の撤退が大体決まった。最前線は相馬市だ。この地域を守っていく。
- 物流が大分動くようになってきた。原子力発電所如何によって、我々も篭城となる。備蓄を。
- もし、避難勧告が出たら、そのときはそのときと腹をくくる。そういうことは無いと思う。相馬市が避難指示になる可能性は低いのではないか。そのときに腹くくればいいのであって、それまで災害の処理を粛々と冷静にやっていくこと。仮設住宅に移るとして

も備蓄は必要。

- 防災協定を結んだ裾野市からいろいろ助けて頂いた。
- 火葬は、費用にこだわることない。米沢市にも頼んで。
- 医師会の中では、南相馬まで行かないといけないのか、という話が出た。向こうも困っているから協力をお願いし、了解をもらった。
- 火葬を県はどこまでやってくれるのか？警察でも上に上げて、遺体の移送をお願いしたい。

## 第 21 回 災害対策本部会議 2011 年 3 月 19 日(土) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 灯油：明日から一般売り。時間などは未定、場所はニラクの駐車場。病院や災害弱者がいるところを優先に。
- 空きアパートと仮設住宅の申し込みは、3/19 で閉め切り
- 相馬港：供用開始。30,000 トンの船まで OK。
- 災害弱者のサポートを考えないと。老人施設、ふきのとう園、病院等も含めて。行政単位で考える。地域の寝たきりをどうするか？その人たちのリストアップし、食材を届ける。消防団の力を借りるかも。面倒見ないといけない人をどうするか？
- 市役所の士気が下がったら終わり。飯館村も避難を始めているらしい。指揮命令系統と、職員の士気が大事だ。
- 空きアパートへは、来週から入れるように。
- 公立病院に南相馬市の人が来るが、受けられない。相馬市民と新地町以外は県外に連れて行ってもらうしかない。医者と看護師が増えないと対応できない。医療機関が瓦解すると南相馬のようになる。災害弱者を目一杯支える。

## 第 22 回 災害対策本部会議 2011 年 3 月 20 日(日) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- ローソン社長と話したが、物流業者が来たがらないとのこと。長期にわたって物流が回復しないことを前提に考えていかないといけない。場合によっては、食料の配給体制。そのときは、自衛隊の力を借りてやりたい。
- もう一度、相馬市の行政組織（行政区）を再チェック。区長、班長。仮設住宅を作った後も必要。沖ノ内のようにいなくなった人も多いが、戸数も多い地区。鹿島区は 7 割の人が残っている。相馬も今、残っているのは 6～7 割だろう。最終的には、配給体制もあり得る。
- 何が欲しいか？市民生活の最低のスタンダード。米と水と梅干・たくわん。プレスハムとか野菜。自給体制がどこまで取れるか。市民みんなで巣篭もりもあり得る。
- 西日本の人口が増えた。乾電池の売れ方が増えた。国民全体が買占めに走っている。気分の問題だ。
- セブンイレブンは原発から 50km 圏内には行くなとのこと。ローソンはそんなこと言わ

# 第19回 災害対策本部（資料）

平成23年3月20日（日） 8時～

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① 生存者救出・孤立者の解消 | → | | 対応完了 |
| | | ② 行方不明者の捜索 | → | ア | 行方不明者の捜索 |
| | | | | イ | ガレキの撤去 |
| | | | | ウ | 作業用道路の確保 |
| | | ③ 生存者・死亡者の確認と火葬等対応 | → | ア | 連絡不通者確認情報 |
| | | | | イ | 遺体安置・棺おけ・ドライアイス調達・骨壷・火葬場 |
| | | ④ 児童生徒の動向 | → | ア | 連絡不通者・死亡者 |
| 2 | 中期的対応 | ① 避難者・被災者の生活支援（避難所の管理運営） | → | ア | 健康管理 |
| | | | | イ | 水・食料 |
| | | | | ウ | 衣類・毛布 |
| | | | | エ | 支援物資の要請 |
| | | | | オ | 支援物資の受入、配給、管理 |
| | | | | カ | 生活用品調達（支援受入、一部購入） |
| | | | | キ | 入浴 |
| | | | | ク | その他 |
| | | ② 対策本部の管理運営 | → | ア | 燃料不足 |
| | | | | イ | 支援グループの受け入れ |
| | | ③ 原発事故への対応 | → | ア | 政府統括対策本部とのホットライン |
| | | | | イ | 放射能レベル測定値の開示 |
| | | | | ウ | 国の指示に従い行動する |
| | | ④ 義援金の受付 | | | |
| | | ⑤ 医療機関等の実情と対応 | | | |
| 3 | 長期的対応 | ① 被災者の生活支援 | → | ア | 雇用促進住宅への移住 |
| | | | | イ | アルプス電気独身寮等 |
| | | | | ウ | アパートへの移住 |
| | | | | エ | 仮設住宅の建設 |
| | | | | オ | 仮住居移住後の生活支援 |
| | | | | カ | 金銭的支援（生活支援金） |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア | ライフライン（水道、電気、ガス） |
| | | | | イ | 市内生活道路の補修 |
| | | | | ウ | 土地の確認 |
| | | | | エ | 相馬港の活用、アクセス道路の補修 |
| 4 | 1・2・3の共通テーマ | ① 全国的支援要請 | → | ア | エネルギー（灯油、ガソリン等）不足対応 |
| | | | | イ | 通信 |
| 5 | 原発被災者への対応 | | → | ア | 旧相馬女子高での受け入れ |
| | | | | イ | 県と被災自治体との調整 |
| | | | | ウ | 水、食料、毛布などの配給 |
| 6 | 他市町村への支援 | ① 新地町、南相馬市 | → | ア | 配給物資のおすそわけ |
| | | | | イ | 人的支援（ガレキ撤去後はデスクワーク） |

| | |
|---|---|
| 1 | 捜索（原釜、日下石、磯部）、グラップル付バックホー稼働 |
| | 自衛隊ボート捜索 |
| | 排水ポンプ車による捜索のための排水 |
| | 大手建設会社への協力要請 |
| | 住民基本台帳との突合、部落の情報集約、詳細情報の集約・開示 |
| | 遺体数、検視体制の強化、他自治体の火葬場利用（伊達市4～8体、二本松市3体） |
| | 福島市へ要請、遺体運搬、棺おけ、ドライアイス |
| | 連絡不通者 磯幼 1、磯小 1、磯中二中 1、磯中 4 計13人 |
| | 死亡：磯小4、磯中 2 計6人 |
| | 医師・看護師ボランティアの受け入れ（精神的ケア） |
| | 避難住民によるボランティア、市内医師による巡回実施 |
| | マスク4,150枚配布、 開業医 7 ・ 調剤薬局 5 |
| | 災害弱者のサポート（食材配布等）、食糧不足の市民への配布検討、 |
| | 可及的な確保とストック、倉庫（アルプス食堂、国交省プレハブ、相女体育館、川沼体育館、富双合成倉庫） |
| | 軍手、雨合羽、毛布、パン、缶詰 |
| | |
| | |
| | 広報そうま号外発行、市・水道企業団のHP復旧、おでかけバス運行（3/19） |
| | 備蓄状況 |
| | あくまで本部長の指揮 |
| | 必要事項についての要望 |
| | 市庁舎・避難所での開示；飲料水モニタリング（真野ダム・3日間） |
| | 市民に方針の周知（広報相馬お知らせ版 17日発行） |
| | ダウケミカル200万ドル、静岡県裾野市1,800万円、山形県小国町110万円 |
| | 薬の欠乏、特に人工透析、災害弱者のサポート、食事の提供（3/19 缶詰550箱、アルファー米3,000食） |
| | 52室確保、（申込3/17；22件、3/18；11件、3/19；4件 計37件） |
| | アルプス40室民間136室（申込3/17；56件、3/18；69件、3/19；177件 計302件） |
| | 既に入居した被災者には、仮設住宅へ移住することを前提に助成 |
| | 国交省・県・プレハブ協会が建設予定地調査 |
| | （申込3/17；138件、3/18；95件、3/19；135件 計368件） |
| | タオルケット、ふとんなど全国に支援要請 |
| | 3/16～18；1,541件、3/19；530件 計2,071件 金62,130千円 |
| | 給水区域拡大（坪田、程田、新田、大曲、立谷、赤木、日下石の一部、柚木の一部等）復旧作業（柏崎）、電力の復旧 |
| | 大手建設会社への協力要請 |
| | |
| | 相馬港2-4バース供用開始（3/19） |
| | 市民向けのガソリン支給（3/16～3/21まで延期予定）、灯油支給開始 |
| | |
| | 収容数（545人）、ボランティア協力（8人）、市民へのスクリーニング問題 |
| | |
| | |
| | 旧相馬女子高での原発難民への支給 |
| | 3/17 新地：アルファー米2,000食、飯舘：水2万ℓ（4万本） |
| | 3/19 南相馬市：アルファ米500食、米600kg、カップめん100箱、水100箱など |
| | |

ずに行けと言っている。

- 避難所行ってきた。被災者も腹が据わっている。インフラの再構築、津波の事後処理。この次に、市民生活の再建。これは物流に頼るところが大きいが、相馬にいる以上、飢え死にしないというように。医療機関、災害弱者にも注力する。
- 米と水と梅干だけでも仲間がいるだけいい。
- ある国会議員が来るから案内しろと言ってきたが、そんな余裕はないので断った。公明党が来ると言っているが、市議員が案内して下さい。
- 支援物資は、どういうものが欲しいか？缶詰も品薄。缶詰を災害弱者に。トイレットペーパーもなくなるのでは？必要なものの優先順位を決めて列記して。配給になったら混乱が生じる。相当な検討が必要。
- 物資が来たらすぐに頂いた報告をすること。また近くまで来て止まっていたら、こちらから取りに行くことが必要。
- 南相馬市のサポートが国家的な問題になる。そのときに、相馬市は受け渡し場所になる可能性がある。
- 病院の薬の物流は大丈夫。開業医も最後まで頑張るといってくれている

## 第 23 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 20 日(日) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 火葬は、4 日待ちの状態。ドライアイスでしのぐ。
- 避難所統合：看護学校をはまなす館に、中村一中をアリーナ等。
- ふきのとう園：スタッフがいないので閉鎖すると連絡有り（16：40）。再度確認する。入所者は、今週者に移動する予定。
- 真野ダムの調査 OK。
- 給水車で 10 箇所 12t 分の給水を実施。今日は漏水が多く、給水地域は拡大していない。
- 市内の病院や老人施設などを回った。不安な気持ちで職員が逃げ出したケースがある。相馬市の場合は、6 施設あるが、大崩れはしていない。人手が足りないので、ボランティアを考えないと。
- ローソンの社長と物流の再会を交渉したが、厳しい。
- 配給システムを考える。そのためには、今の人口、行政区の把握が必要。アパートへ移住した人も考えて。
- 森の都も人がいない。ボランティアが欲しい。どうやって調達するか？避難所で暇している人で、ボランティアしてもいい人を、森の都 10 人、ベテランズ 4 人送って。雑用でもいい。
- 入浴は、羽黒の湯に連れて行けないか？ゴルフ場も使っていいと言っているが、バスが登れるか？なるべく早く検討を。

**＜田中康夫元知事挨拶＞**

- 短期、中期、長期の対応を、市長以下一丸となっていることに感銘。

## 第 24 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 21 日(月) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 新地の運動公園前のローソンが明日から営業。いわき市も再開。伊達市は、スーパーが何件かやっているが品薄らしい。
- 籠城体制を作っていこうと思っている。配給体制をとるということだ。これまで、物資の管理が甘かったが、ちゃんとやれば米等は、たくさんある。市民生活で米がなくなってきている。米等の食糧を中心に水等、物資を配ろうと思っている。
- 飯館村で放射能の数値が上がった。相馬市も水道水を飲むとことに抵抗がある市民がいるだろう。ペットボトルを配っておく必要があるかも。しかし、配給体制ができないと配れない。これからずっと続くようになる。農水省の副大臣に米、缶詰、水を頼んだ。在庫管理をしっかり。
- 災害弱者に対しては今後も配給する。一度、実験的に全員に配ればいい。米はいくらでも入ってくる。市役所がいる限り飢えないという安心感が大事。
- ボランティアは、必要なことを企画政策部で把握して、調整をやること。
- 南相馬市は、物資がない。相馬市までなら来る業者がいるから、相馬青果の倉庫を明日から貸す。日通が管理する。
- いわき市は、公民館において、勝手に持っていけというやり方をしているらしいが、そういうやり方はやりたくない。殺気立ってしまう。
- 配給システムのために、区長会を早急に開くように。今日の回覧でお知らせして、明日集める。

## 第 25 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 21 日(月) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- ローソン東北の責任者から電話があり、新地運動公園前店が明日開くとのこと。相馬粟津店も開く。
- 籠城体制＝配給体制だ。米 500 俵をどうやって分けるか？

- 水は、1 家庭に 2L を 1 本、500ml を数本。まずは、流してみよう。実験だ。明日以降、できるだけ早くやるように。明日、区長の意見を聞いて。うまくやることはできない(が、やることが大事)。明後日絶対やって。市民に我々の方針を明確に伝える。まとまった行動を。
- 入浴も、1 人でも 2 人でも入れてみること。衣類も配って。タオル、シャンプー、石鹸、歯ブラシ等。
- アパートも早く住まわせること。実行に移すことが大事。
- 南相馬市は水が来ない。修理業者も来ない。災害弱者が残っている。相馬市の給水車を南相馬市に貸す。

11日朝

石川県認知症 ← 避難先での

| 第21回　災害対策本部　（資料） | | | | 平成23年3月21日（月）8時～ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① 行方不明者の捜索 | → ア 捜索体制の構築 | 捜索（原釜、日下石、磯部）、グラップル付バックホー稼働、自衛隊ボート捜索、レンタル重機10台の支援要請 |
| | | ② 被災地整理 | → ア ガレキの撤去 | 進捗状況 |
| | | ③ 生存者・死亡者の確認と火葬 | → ア 連絡不通者確認情報 | 住民基本台帳との突合、部落の情報集約、詳細情報の集約・開示 |
| | | | イ 遺体・火葬 | 遺体数、他自治体の火葬場利用（伊達市4～8体、二本松市3体）、福島市へ要請、遺体運搬、棺おけ、ドライアイス |
| | | ④ 児童生徒の動向 | → ア 連絡不通者・死亡者 | 連絡不通者：磯幼 1、磯小 7、中二中 1、磯中 4　計13人<br>死亡：磯小4、磯中 2　計6人 |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災者・避難者の生活支援 | → ア 健康管理 | 医師・看護師ボランティアの受け入れ、精神的ケア、避難住民によるボランティア、医師による巡回実施 |
| | | | イ 食料供給 | 災害弱者のサポート（食材配布等） |
| | | | ウ 入浴その他避難所生活支援 | 避難所統合（3/20　中一中→アリーナ、看護学校→はまなす館、3/21山上公→憩の家） |
| | | | | 3/22「はまなすの湯」修繕、自衛隊「入浴施設」要請 |
| | | ② 市民生活支援 | → ア ライフライン（水道、電気、ガス） | 給水区域80%復旧、本日の復旧作業（漏水対策）、電力の復旧 |
| | | | イ ガソリン・燃料等 | 市民向けのガソリン支給（3/16～3/21）、灯油支給（3/20～24） |
| | | | ウ 食料・日用品の調達状況 | 調達方法の検討、物資の備蓄状況 |
| | | | | 配給システムの構築、食糧等不足の市民への配給検討 |
| | | | エ 医療体制 | 開業医　7　、調剤薬局　5 |
| | | | オ 医療・介護施設の支援 | 老健施設へのボランティア派遣 |
| | | ③ ろう城体制の構築 | → カ 支援グループの受け入れ | あくまで本部長の指揮、ボランティアセンター支援センター（3/21・商工会議所2階） |
| | | | ア 地域行政組織の再構築 | 区長・班長による地域住民の連携強化 |
| | | | イ 倉庫の確保・運営 | ストックシステムの構築、物資の効率的な保管 |
| | | | ウ 市独自の輸送体制 | 運送車両の確保→トラック8台（普通2、軽6）、相馬物流（運転手付きで協力） |
| | | | エ 相馬港の利活用体制 | 相馬港2-4バース供用開始（3/19） |
| | | | オ 物資（食料・ガソリン・生活用品）の確保 | ガソリン等の備蓄状況、調達方法の検討、 |
| | | ④ 避難者独立支援 | → ア 市調達集合住宅 | 雇用促進住宅52室確保、（申込3/17～19；37件、3/20；2件、　計39件） |
| | | | イ 民間アパート入居あっせん | 民間148室、アルプス40室（申込3/17～19；302件、3/20；31件、　計333件） |
| | | | ウ 仮設住宅への移住 | 仮設　申込3/17～19：368件、3/20：37件、　計405件 |
| | | | エ 生活支援金 | 3/16～19；2,071件、3/20；245件　　計2,316件　金69,480千円 |
| | | | オ 日常生活用品支援 | ふとん、毛布、タオル類、家電の備蓄 |
| | | ⑤ 義援金など | → ア 義援金 | ダウケミカル200万ドル、静岡県裾野市1,800万円、山形県小国町110万円 |
| | | | イ 物資支援 | 支援者一覧表 |
| | | ⑥ 医療・介護機関の実情 | → | 身障施設ふきのとう苑（41名の入所者を昨日から県内施設へ移す） |
| | | ⑦ 原発事故への対応 | → ア 情報開示 | 飲料水モニタリング（3/17～19真野ダム）ヨウ素（摂取制限値以下）セシウム（ゼロ） |
| | | | イ 国の指示に従い行動する方針の徹底 | 市民に方針の周知（広報相馬お知らせ版　17日発行） |
| 3 | 長期的対応 | ① 被災地及び市内復興 | → ア 市内生活道路の補修 | 大手建設会社への協力要請、市内建設業による復旧工事（エリアごとに砂利敷き） |
| | | | イ 農地調査 | 冠水した水田1,100ha（全水田の50%） |
| | | | ウ 市内企業の現状 | 操業再開の目途 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → ア 旧相馬女子高での受け入れ | 収容数（489人）、ボランティア協力（8人）　市民へのスクリーニング問題 |
| | | | イ 近隣へ支給 | 旧相馬女子高での原発難民への支給<br>3/17　新地：アルファー米2,000食、飯舘：水2万ℓ（4万本）<br>3/19 南相馬市：アルファ米500食、米600kg、カップめん100箱、水100箱など |
| | | | ウ ソフト面での支援 | 南相馬市への物資輸送のための倉庫の貸出 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → ア 食料・生活物資 | ふとん、タオル類、缶詰、アルファー米、米等の確保、 |
| | | | イ 国・県に対する要望事項 | 物流業者への要請強化 |

## 3月21日（月）

### 相馬市災害ボランティアセンター

3月21日、災害復旧のためのボランティアに関する業務を行うボランティアセンターが、相馬商工会議所2階に開設されました。

**【災害ボランティア募集内容】**

お手伝いいただける方は、9時以降にボランティアセンターまでお越しください。

●主な仕事　救援物資の積み下ろし、炊き出し応援、介護補助、家（仮設住宅含む）の掃除や片づけの手伝い、避難所の子どもの遊び相手、お年寄りの話し相手など

●ボランティア活動時間　9時～15時30分

※ボランティア保険は、ボランティアセンターでお掛けします。

※専門的技術を要するボランティア（看護師、介護士など）も募集しています。

**【ボランティア派遣内容】**

災害世帯に対してボランティアを派遣し、家の掃除や片づけ、荷物の運び出しなどをお手伝いします。

※作業希望日の前日16時までにご連絡ください。

※ボランティアは無料です。食事の用意も不要です。

※専門的技術を要することや危険を伴う作業など、ご要望にお応えできない場合もあります。

※ボランティアの参集人数や天候などにより、すぐにご要望にお応えできない場合もあります。

※ボランティアセンターのボランティアは、オレンジ色の腕章、もしくはオレンジ色のガムテープを身につけています。

### 県内外から駆けつける　災害ボランティア

震災発生後、相馬市には県内外からの災害ボランティアが駆けつけ、復興作業を手助けしています。

相馬市災害ボランティアセンターへの3月30日の登録者数は159人。同センターに登録すると作業をする際、黄色い腕章かジャケットが貸与されます。

この日、中村第二小学校前の泥だしをしていた吉井ウィリアムさんはブラジル出身。三重県四日市市から相馬市に駆けつけ、同センターに登録しました。「テレビで被災地の様子を見て、このままにしておけないと思いました」と相馬に来た動機を述べました。

## 第 26 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 22 日(火) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 避難して戻ってきた人が中央病院で 3 人。不安だけで避難していた人はだんだん気持ちが変わるだろう。
- 原子力は揺れ動いているが、避難する区域は 30km で大体大丈夫ではないかという論説が朝日新聞に載っていた。
- 相馬市内の物流について、我々が集めたものをどうやって分配するか。行政名簿を再構築する必要がある。毛細血管の通し方だ。一般的に行政は、トラブルがないことを確認してから流そうとするが、問題を見つけるために流す。混乱が起きたら、市長が悪いと言っていいから。やるだけやってくれ。
- ストックの整理を。いわき市も物資がパンクしているらしい。県にも物資はかなりあるらしい。どうやって市民に配るか？
- 人工透析が問題になっている。薬液が調達できるかどうか。南相馬市からヘルプが来て、調達できる体制に。南相馬市の人工透析患者が各地に散っている。全国から人工透析の医者を募集して、28 日から来る。南相馬市が再開できるかは未定。
- アパート等に入居する人へ、引越しセットを渡すように。タオルケット、布団などのセットを作って渡して。布団は市で用意していると入居者に言うように。
- 南相馬市の行政車両のガソリン 30 台分程度は、相馬市で面倒を見る。南相馬市がガチャガチャになると、こっちが困る。
- 今まで支援もらったところに肌着を頼んで。

## 第 27 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 22 日(火) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 籠城を考えて、配給体制を考えないといけない。倉庫を見てきたが、古着はお風呂に入るときに渡さないと意味がない。粉ミルク等も早く渡さないといけない。
- これから、公的な支援物資が入ってくる。今まで、知り合いの市長が持ってきてくれたものを早く配給するように。市民とのコミュニケーションは、区長会を通じて取っていきたい。
- 籠城しても飢えて死ぬことはないという安心感を市民に与えたい。
- 携帯への防災メールで送っている内容は、HP に載せるようにしなさい。相馬市の状況がよくわからないという声を聞くので、一部の人だけ情報が行く事がないようにしなさい。
- 相馬中央病院は、患者が押し寄せてパニックになりそうだ。南相馬市の人も来ているし、南相馬市の精神科病院が閉まっている。

## 第 28 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 23 日(水) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 今日から、支援物資は体験実習館にトラックが来て仕分ける体制とする。
- 生活支援金は、約 5,000 人を想定しており、現在 2,683 人に配布した。死亡者約 200 人、行方不明者約 500 人を引くと、残りの約 1,700 人は、支援金をもらえることを知らないか、遠方に避難している人ではないかと思われる。
- 今日から、米の配給や民間アパートへの入居が始まる。
- 学校の新学期がいつから始められるかは、避難所から仮設住宅にどれだけ早く移れるかと関係する。これを早くするように。
- 支援物資は、倉庫に貯めることが仕事ではない。市民にどんどん渡すようにしなさい。多少のトラブルがあってもやるようにしなさい。配り方の詳細は、区長さんの判断でよい。支援物資が、いつも避難所全員分や市民全員分あるわけではないので、今後、地区ごとに足りなさそうなものを割り当てて配ることもある。
- 買い物情報等は、HP に掲載するように。原町から相馬に買いに来て、行列になっているようだが、広報しないわけにはいかないので、仕方がない。
- 被災者でないのに、避難所にいる人の理由を調べるように。また、今から支援金をもらう人は、今、どういう理由で、どこに住んでいるのかを調べるように。
- ボランティアをうまく活用しなければならない。ボランティアの宿泊場所を、建築課と企画政策課で考えるように。

## 第 29 回 災害対策本部会議　2011 年 3 月 23 日(水) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 自衛隊のヘリが使える。現場視察等に使ってもらって構わない。また、物資も 1ｔくらいのものを運べる。宇都宮に駐在しているので、要請から 1 時間半くらいかかるが、必要なら言って欲しい。
- 市内の開業医のほとんどが開業した。
- 精神病疾患の患者のクスリが切れかかっており、全国ネットで、精神病医師を探している。医療体制を崩さないようにしなければならない。
- 灯油と軽油は、一般販売を制限しないで、販売するように。
- 荷物運び等の作業は、ボランティアにやってもらうように。ボランティアは 16 時までとなっているが、働いてもらえる時間を柔軟に出来るよう、再度考えるように。
- 福島県の総務部長から連絡があり、県の職員が一名、相馬市に来るとのことだ。
- 水をかぶった乗用車はブレーキが利かなくなるので、津波の被害を受けた車は、検査を受けてから乗るように、市民に周知するように。
- 仮設住宅建設のスピードが重要だ。遅れれば遅れるほど、避難者が苦労する。避難所にいる状態では、お風呂を手配するのも大変だ。いかに仮設住宅の建設が大事かがわかる。

**＜佐藤正久議員挨拶＞**

- 相馬市が元気にならないと周りが元気にならない。南相馬市は新聞も来ない状態だ。
  相馬市は、当面作戦と将来作戦を同時にやっているのは素晴らしい。

## 第 30 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 24 日(木) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 食料は、これからもっとたくさん配給していくように。一昨日、昨日、今日と、どのような変化があったから、総務部長から夕方に報告するように。
- 水道企業団は、(復旧が進んできたので) マンパワーの余力をどこに振り分けるか考えるように。
- 支援物資の配給は、今、どんな人がいるかを把握する目的もある。区長さんから、何世帯分で何人分の配給を行ったか聞くように。相馬市以外に行っている相馬市民の数も大体わかるだろう。明日、報告するように。
- 国交省から相馬港に物資が届くが、その中身が何なのか確認するように。
- 民間アパートへの入居は、何人入居するかが成果だ。成果目標を立ててやるように。
- 昨日、南相馬市の患者が、相馬市に殺到して、相馬市で悲鳴が上がっている。相馬市の医療体制は、平常に戻りつつある。あと 1 週間くらいで平常に戻るだろう。ただ、南相馬市の精神病院がなくなったことは深刻だ。今日、私は、この問題の対策のためにつきっきりになるが、全力でやる。南相馬市民約 2 万人分の医療体制が全くない状態だ。
- ボランティアの医者はたくさんいた方がいい。これらの方々が、野営しなくて済むように対策を取るように。これらの方々が、避難所運営の大きな戦力になる。
- 開業医は開業医で、自分の診療所を守ることが重要だ。毎日、8 時に開業医が集まることがいい効果を上げている。
- ボランティアは、ボランティア協会に登録しているボランティアと、相馬市災害対策本部直属のボランティアの 2 つを分けて考えるように。本部直属のボランティアにも保険はつけるように。
- 学校の新学期を考えないといけないが、現在は、学校の教室が避難所になっている。今月中に教室を開けることはできない。早く教室を開けられるように、民間アパートへの入居や仮設住宅の建設を急いでやってきたが、4 月からやるのは無理だろう。
- どこまで教育を犠牲にするかは、非常に悩ましい問題だ。避難者が少なくなれば、はまなす館とアリーナに異動してもらうこともできると思うが、現状では無理。南相馬市からは、もっと相馬市に入ってくるだろう。仮設住宅をとにかく早くやるように！

## 第 31 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 24 日(木) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 医療対策が少し進んで、原町の開業医が、鹿島で開業する動きがある。福島医大からも人を送るとの話があったので、南相馬市に入れてほしいとお願いした。南相馬市に精神科の医者が入るようにしたい。また、東京医大から、ドクターの長期派遣の話があった。
- 避難所毎に自治組織ができている。例えば、教室ごとにリーダーがいて、それを校長がまとめている。非常に明るい雰囲気だ。家族のような連帯感がある。また、子供が元気だった。

| 第28回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年3月24日（木）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① | 行方不明者の捜索 | → ア | 捜索体制の構築 | 捜索（原釜、日下石、磯部）、グラップル付バックホー稼働、自衛隊ボート捜索、レンタル重機活用 |
| | | ② | 被災地整理 | → ア | ガレキの撤去 | 私有物撤去（所有者承諾）、国交省ポンプ4台（原釜2、3/25～芦谷地2）、県ポンプ20台（山信田） |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（重量1トンの物資空輸、被害状況確認）、3/25ヘリによる被害状況調査（10～12時；3回×4人） |
| | | ③ | 生存者・死亡者の確認と火葬 | → ア | 連絡不通者確認情報 | 住民基本台帳との突合、部落の情報集約（磯部区長）、詳細情報の集約・開示 |
| | | | | イ | 遺体・火葬 | 遺体数、他自治体火葬場（伊達市4～8体、二本松市3体、福島市5体、3/25～郡山3体・会津若松4体） |
| | | ④ | 児童生徒の動向 | → ア | 連絡不通者・死亡者 | 連絡不通者：磯幼 1、磯小3、中二中 1、磯中3　計8人<br>死亡：磯小8、磯中3　計11人 |
| 2 | 中期的対応 | ① | 被災者・避難者の生活支援 | → ア | 健康管理 | 精神的ケア、避難住民のボランティア、ボランティア医師の避難所巡回、精神疾患患者への対応 |
| | | | | イ | 食料・物資供給 | 可能な限り多様な食材を提供する、食料品・物資（乳児用品、衛生用品、入浴用品、衣類等）の適正な配給 |
| | | | | ウ | 入浴その他避難所生活支援 | 入浴可能人数（自衛隊400人、はまなす館200人、飛天300人、天明CG240人、計1,140人）、入浴者3/22～23　341人 |
| | | ② | 市民生活支援 | → ア | ライフライン（水道、電気、ガス） | 給水区域90%復旧、復旧工事（漏水点検）、マンパワーの検討、電力の復旧 |
| | | | | イ | ガソリン・燃料等 | 市民へのガソリン販売（3/16～3/26まで延長）、灯油店頭販売（3/24～） |
| | | | | ウ | 食料・日用品の調達・配給 | 配給システムの構築、市民への米配給（3/23～25）市内全域　66t）、米以外の物資の配給計画 |
| | | | | エ | 医療体制 | 開業医　12　、調剤薬局　7 |
| | | | | オ | 医療・介護施設の支援 | 老健施設へのボランティア派遣（3/21～ベテランズ4人、森の都4人）、食料（材）の提供（5施設） |
| | | | | カ | 支援グループの受け入れ | あくまで本部長の指揮、3/24ボランティア登録93人、活動82人、医療チーム宿泊（中央児童センター）、災害本部直轄ボランティアと支援センターボランティアの区分 |
| | | | | キ | 情報開示 | 広報そうま3/21・3/24号発行、医療機関・給油・スーパー等の開店情報、市HPへの掲載 |
| | | | | ク | 交通機関 | 3/24～福島交通バス運行開始（福島・相馬間　1日4往復） |
| | | ③ | ろう城体制の構築 | → ア | 地域行政組織の現行体制の確認 | 区長会の開催（3/22）、米配給への区長協力（3/23～25）、配給による現住世帯数・人数の把握 |
| | | | | イ | 倉庫の確保・運営 | ストックシステムの構築、物資保管の改善（消費促進し倉庫を空ける） |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両の確保：バス；1台、トラック；7台、自衛隊の協力 |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 国交省九州整備局の緊急物資輸送船（3/25）、国交省の緊急物資輸送船（3/26～3/27）、船積内容把握 |
| | | | | オ | 物資（食料・ガソリン・生活用品）の確保 | ガソリン等の備蓄状況、 |
| | | ④ | 避難者自立支援 | → ア | 市調達集合住宅 | 雇用促進住宅52室、申込3/17～23；計43件、入居3/22～24；計11世帯 |
| | | | | イ | 民間アパート入居あっせん | 民間148室；アルプス40室、申込3/17～23；計411件、入居3/22～24；計18世帯 |
| | | | | ウ | 仮設住宅への移住 | 仮設住宅　申込3/17～22；445件、3/23；9件　計454件、東グラウンド60戸位（3/26着手） |
| | | | | エ | 生活支援金 | 3/16～22；2,683件、3/23；151件　計2,834件　金額85,020千円、受領者内訳（避難所60%、市内20%、市外20%） |
| | | | | オ | 日常生活用品支援 | 引越セット（寝具・食料・衛生用品・日用雑貨・衣類等）の配布、家電製品の備蓄 |
| | | ⑤ | 義援金など | → ア | 義援金 | ダウケミカル1億6,360万円、静岡県裾野市1,800万円、サカイ イワオ様1,000万円、オリエンタルモーター1,000万円など　計92件（2億1,319万円） |
| | | | | イ | 物資支援 | 支援者一覧表（3/23の内容） |
| | | ⑥ | 医療・介護機関の実情 | → | | 南相馬市内の病院閉鎖の影響（患者増加、薬不足、精神疾患患者）、南相馬市民の受診増加が懸念 |
| | | ⑦ | 原発事故への対応 | → ア | 情報開示 | 真野ダム水（3/17～19）と水源地（西山、大野台3/21）のモニタリング結果；ヨウ素・セシウム摂取制限値以下、企業局HPに掲載 |
| | | | | イ | 国の指示に従い行動する方針の徹底 | 市民に方針の周知（広報そうま　3/17号 発行） |
| 3 | 長期的対応 | ① | 被災地及び市内復興 | → ア | 市内生活道路の補修 | 大手建設会社への協力要請、市内建設業による復旧工事（エリアごとに砂利敷き） |
| | | | | イ | 農地等対策 | 冠水した水田1,100ha（全水田の約40%）、 |
| | | | | ウ | 市内企業の現状 | 3/21大橋工業操業、3/22 IHI第4加工場（一部）・アリーナ操業、工業用水使用可になれば操業（ハクゾウメディカル、三ノ輪、ファイマティック） |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | | → ア | 南相馬市原発難民の受け入れ | 旧相女高収容数（515人）、ボランティア協力（8人）、南相馬市民へのスクリーニング |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援（物資等） | 旧相馬女子高での原発難民への支援、3/17　新地：アルファ米2,000食、飯舘：水2万ℓ（4万本）、3/19 南相馬市：アルファ米500食、米600kg、カップめん100箱、水100箱など、南相馬市公用車にガソリン300ℓ提供、3/23ガソリン20kℓ提供 |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 南相馬市への物資輸送のための倉庫（卸売市場の一部）の貸出（3/22～）、南相馬市へ給水車2台貸出（3月末） |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | | → ア | 食料・生活物資 | ふとん、タオルケット、缶詰、米、肌着などの確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 物流業者への要請強化、仮設住宅建設のスピードアップ |

## 3月24日（木）

### 麻生元総理　相馬市民を激励

元総理大臣・麻生太郎衆議院議員は3月24日、本市を訪問し避難所で市民を激励しました。

麻生氏は災害対策本部会議にも参加し、市内の復興作業の状況などの報告を聞いたあと、今回の震災の犠牲者への哀悼の意と作業関係者をねぎらうあいさつを述べました。

## 3月25日（金）

### 千葉県流山市よりご支援をいただきました

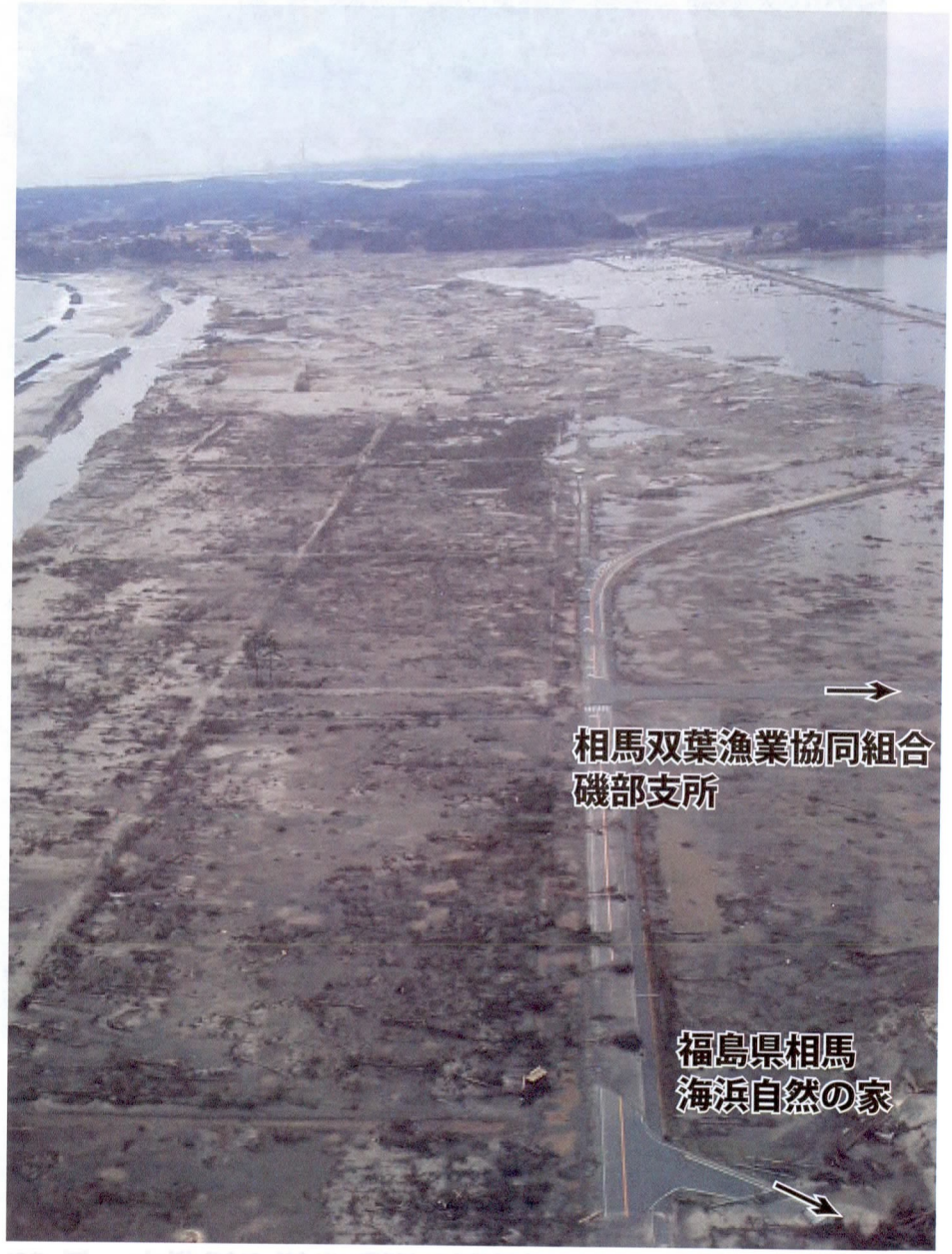
## 自衛隊ヘリから見た市内各地の被害状況（3 月 25 日　本部長が携帯電話で撮影）

原釜字北谷地周辺

松川浦漁港周辺

## 自衛隊ヘリから見た市内各地の被害状況（3 月 25 日　本部長が携帯電話で撮影）

松川浦漁港周辺




磯部字大洲周辺

## 自衛隊ヘリから見た市内各地の被害状況（3 月 25 日　本部長が携帯電話で撮影）

磯部字大浜周辺

蒲庭字立切北周辺

## ろう城

まず今回の地震津波で亡くなられた多くの方々のご冥福を祈りたい。

相馬市の場合、地震の揺れが終わった直後に災害対策本部を召集し、津波からの避難呼びかけと誘導を指示した。海岸部の 5027 人の家屋が流出て瓦礫となったが、亡くなった方は約一割。多くの方を避難させた消防団の方々に、心から感謝と敬意とお詫びを申し上げなければならない。避難指示、あるいは誘導の業務により逃げ遅れ、殉職された団員が 7 人。この方々の尊い命と引き換えに守られた、多くの市民の生活と郷土の再建に死力を尽くすことが、私のせめてもの償いと思っている。

さて震災直後は情報収集と生存者の救出に全力をかけた。地震の倒壊による死者はわずかにひとり。その 50 分後に信じられない報告が対策本部に入ってくる。津波が 6 号バイパスを越えようとしているというのだ。私には想像もつかないことだったが、現実は原釜、磯部の集落が壊滅、尾浜、松川も高台以外は波にのみ込まれ、原形をとどめる家屋は無くなっていた。体中に心配と不安が走るなか、災害対策本部の次の仕事は生存者の保護と救出者の健康管理である。夕方の、沿岸部のすべてを飲みつくした海水の中で、孤立している被災者をひとりでも多く避難所に退避させ、暖を与え水と食事を摂ってもらうことに専念した一夜だった。

時間がたつにつれて、行方不明になっている親族や知人の報告が入ってきたが、対策本部の中では誰ひとり感情を表に出す者はいなかった。この非常事態に、市をあげて取り組まなくてはならないことを全員が分かっていた。被災の 10 時間後、4 回目の対策会議で我われは、復興にむかって一歩ずつ進んでゆくことを誓い合いながら、今後の行動指針を短期的対応、中長期的対応に分けて策定した。明日になれば、災害の全容がわかるだろう、犠牲者の情報ももっと詳しくわかるだろう、しかしどのような事態であっても臆することなく、着実に計画を実行していくことを肝に銘じた。

二日目以降の避難所は、被災者とライフライン不通による一般避難民とで過密状態となったが、女性消防隊や自衛隊の応援による炊き出しや、早くも届いた支援物資で何とか最小限のことは出来たと思う。

家を無くされた方々の避難所生活から、アパートや仮設住宅での自立した生活に移行してもらうこと、災害現地をできるだけ整理すること、またそれまでの長期にわたる不自由な生活のなかでの健康管理や精神的なケアなど、中長期の計画に添ってチーム一丸となって歩み始めた。

ところが。

45 キロ離れた遠くの双葉郡から、二度目の悪魔が襲ってくる。放射能の恐怖という不安心理である。広がる一方の原発事故は一日中の過敏報道とともに、周辺地域はもとより日本中を恐怖心に駆り立ててゆく。半径 20 キロの範囲が避難指示地域になったころから、相馬市にも遠くに逃げ出そうという気分が広がっていった。

同時に国内の物流業者が敏感に反応し、相馬地方やいわき市に入ることを避けるようになった。ガソリンのタンクローリーなどは郡山で止まってしまい、運転手をこちらから向けないと燃料も手に入らない。震災後わずかに開いていたコンビニやスーパーも商品が入って来ないため閉店である。ガソリンと物資が入らない日常生活の不便に加え、原発の放射能拡散の恐怖が相馬地方を襲ったのだ。

市民は終日テレビにかじりつき、解説者は得意げに危険性を説明する。たしかチェルノブイリでも 30 キロのはずだったが、45 キロ離れて避難命令も出ていないはずの相馬市民の顔色がみるみる不安にあふれていく。

もしも放射能の数値が上がったら、その時避難したのでは遅いのではないか？国は、本当は健康被害が出るくらいの危機的状態なのに、国民を騒がせないために隠しているのではないか？ひょっとしたら今こそが逃げるべきタイミングなのではないか？現に米国は 80 キロまで避難させたではないか？

事実、屋内退避とされている南相馬市では大量脱出が始まった。ガソリンも食糧も医薬品も届かない陸の孤島にいたのでは、ヒロシマのように爆発してからでは遅いのだという恐怖が、まず南相馬市民を相馬市に向かわせた。相馬市の避難所に押し掛けてきたので、

こちらでは新たに廃校となっていた相馬女子高を南相馬市民のための避難所とした。容量は 1000 人分。もちろん食糧の提供もこちらの義務となるが、我われより困っているのだと思ってひき受けることにした。災害対策本部には、一瞬顔をこわばらせるものがいたが異論は出なかった。

しかし、南相馬市民の不安や脱出願望を肌で感じた相馬市民にも危機感と焦りが生じてきた。早く逃げないと、放射能による障害をまともに受けるのではないかという不安が蔓延するようになってきたのだ。対策本部としては、国から避難命令が出る前に、自分たちで自主避難を決めることはあり得ない。この当たり前の立場を対策会議で確認して、三か所の避難所で演説してまわった。

我われはその後の対策会議で、復興に向けて着実に進む方針を、短期対応、中期対応、長期計画と分けて市内の実情に合わせて着実に進んでいくことを決めてきた。その過程で、もしも国から一時避難を指示されるなら、市民の健康や生命を案じて計画的な集団避難を実行しなければならないが、漠然とした不安にかられて復興計画を遅らせるとしたら、亡くなった人たちに済まない。だいいち、高齢者などの災害弱者にとって、相馬を離れた避難所生活が辛くないはずがない。だから、国から避難指示のない現段階で、市民とともにこの相馬市を離れるつもりは毛頭ない。

ところが、原発の放射能もれに対する国中の不安が、相馬への物流を決定的に止めてしまった。影響が特に厳しかったのが医薬品である。この点は供給会社のトップと話して、相馬がどうしても撤退できない理由を理解してもらった。彼らの理解を得て医薬品の供給は確保されたので、相馬の医療機関は留まることができる。しかし、問題はスーパーやコンビニで、生活用品や食料を調達できないことである。

市民にはご不自由をかけているが、ここで生活の不便さや原発の恐怖心に負けてしまったら、相馬地方は将来ともに復興が出来ないに違いない。昨日、行政組織の区長さんたちを集めて、相馬市はろう城生活に入ることの了解を得た。いつまでも続くはずもない原発騒ぎや物流の風評被害に負けたら、津波から被災集落住民の命を守って殉職した分団長や団員に申し訳がない。

最低、米と味噌と梅干しがあれば、生きてはいける。天明の飢饉はもっとひどかったはずだ。よってろう城をしながらここで頑張る。さいわい全国の市長たちが支援してくれるから、兵糧の心配はない。

■ 市内の開業医や調剤薬局は、ほぼ復活した。市外から応援に来ていた医者は、保健センターで一括管理するように。相馬市の医師会は自分の病院に専念して欲しい。市外から応援に来た先生に避難所の対応をお願いする。
■ 支援物資でもらった水は、市民に配って各家庭に備蓄してもらうように。

＜麻生太郎議員挨拶＞

■ 一瞬で2万人が行方不明となったことは、戦後一つもない。市役所の職員で被災者の方も多くおり、敬意を評する。自衛官、消防など、公務とはいえ、身を挺していることに敬意と感謝。
■ 会議は、結論が大事だ。結論が出ないと下は困る。リーダーの資質が大きい。結論を先延ばしにしているといい結果を得ない。

## 第32回 災害対策本部会議　2011年3月25日(金) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

■ 原発等で避難していて戻ってきた人には、温かい言葉をかけてあげることが大切だ。
■ 今日も米を配り、明日からは生活物資も配るつもりだ。現状体制の中で、組織化をどうしていくか？生活物資や米を配ることで、住民自治組織を確認したいと思っている。アパートにいて、行政区に入っていない人にも、できるだけ広く米配給などを周知して欲しい。
■ ラジオ体操しよう！一日2回、健康と精神のため、市を上げてやろう！
■ 明日から、鹿島公正病院が再開する。ただ、調剤薬局が困難で、薬がもらえない。薬を供給している会社が、引き揚げてしまっているらしいので、戻ってくるように言っている。
■ 支援物資は、備蓄量をきちんと把握することが重要だ。在庫品目を詳細に把握するように。今日はそれに全力を挙げるように。
■ 石油等は、相馬市として最低どれくらいあったらいいか、今後の供給見通しを立てるように。燃料の状態は、良くなってきた。
■ 民間アパートに入居した世帯数を、本部会議で報告するように。直接不動産に行ってアパートを見つけた人にも、仮設住宅が出来たら仮設住宅に入ることを前提に家賃を助成するように。南相馬市の人も来たら、仮設住宅は1,000戸では足りないだろう。

## 第33回 災害対策本部会議　2011年3月25日(金) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

■ 支援物資を避難所に持って行くと、物を置くところがなくて、もう持ってくるなという声がある。
■ IHIやユアテック、シマ商会、コマツレンタル等が、職員の住むところがないということで、住居を希望しているが、会社で対応してもらうようにお願いする。
■ スーパーキクチが、南相馬市にもバスを出しており、南相馬市から30人ほど買い物客が来ている。

- 今日、自衛隊のヘリで上空から現状を視察した。ヘリで見ると印象がずいぶん違う。松川浦は、太平洋の一部になっている。ふるさとの風景が変わった。原釜は目を覆いたくなる状態。磯部も太平洋の一部になっている。復興は、相当の困難が予想される。
- 南相馬市で動きがあり、自主避難地域になるという話だ。
- 鹿島厚生病院での診療が今日からスタートした。
- 相馬市は、懸案だった精神科が、福島医大から精神科の医者が派遣されることになった。また、東京医大の学長への依頼で医者が2名来る。開業医は順調だが、公立病院は、地震で手術室が使えない。
- 支援物資の配給は、区長から班長という組織体制で、どれくらい市民に物資が流れるかが問題だ。村部は、班長が配ることが可能だが、街中はどうするか考えないといけない。町の行政区は、元々班長がいないところもあるので、今後、班長を決めるなどの対策が必要だ。
- 支援物資は、仕分けして、整然とストックするように。店の商品棚を整理するような考え方でやらないといけない。
- 流山市長から、職員を手伝いにやりたいという話があるので、副市長中心に協議するように。

## 第34回 災害対策本部会議　2011年3月26日(土) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 火葬の能力は、近隣自治体の協力を含めて、現在、最大37人となっている。
- 水道：給水不可能地域や不可能戸数を報告するように。
- ガソリンや灯油の販売で、南相馬市民がたくさん並んでいる。
- ICCからもボランティアが来る。
- 国交省から相馬港への物資は、東北地方整備局長に支援物資確認したところ、燃料関係とのことだった。
- 米は、42tあり、2万人×15日分はある。水は、配給後で34,000Lになる。今日、54,000本×500ml配る。
- 住居は、入居済みが37件、調整中が44件。
- 今日、眼科の教授が避難所回る。
- 物資について、布団は若干少ない。肌着はもう要らない。缶詰はあった方がいい。カップ麺あった方がいい。タオルは要らない。タオルケット、シーツ。運動靴、スニーカー等。
- 計画通り進んでいると思うが、南相馬市が自主避難をする等、不確定要素もあり、相馬の方に来るプレッシャーがあるだろうが、冷静に対応するように。
- 医者のボランティアの話が相当来ているが、短期で来る人は、今は必要ない。2週間とか中期的な支援は、東京医大から来る。鹿島厚生病院の調剤薬局の薬剤師が短期で繋いでいる。長期で見込めないようなボランティアは難しい。
- お客さんがたくさん来るが、基本的に、一般の国会議員の応対に、我々がスタッフを裂

いて対応することはしない。ただ、SP がついてくるような人は、役所として対応するようになるだろう。

- 広報そうまを配布しているが、相馬市役所からの情報が伝達されない人はどれくらいか？南相馬市から相馬市に来たいという人は、どのように情報を伝達するか等、区長会と総務課で相談すること。
- 支援物資は、どんな物資が入ってきているか、その日の分は、夜の会議で報告するように。備蓄を再度確認すること。
- 市民の不安は今、水だ。真野ダムと宇多川は心配ないので、両方の情報を開示するように。万が一、真野ダムがダメになったら宇多川の水で頑張る。

## 第 35 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 26 日(土) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 上水は、現在、断水が約 330 戸。97%給水している。
- 工水は、し尿処理場とエムセにはまだ通水できていない。
- 燃料関係は、今月は、今までどおりの一般売りが可能である。
- 被災者は、医療費の自己負担なし。混乱もあるので、広報そうまで広報する。
- シマ商会：相馬市で土地を探しており、エムセテックの一部の土地を借りることになった。
- NTT は原発 40km 以内では、工事しないと言っているらしく、柚木で水道を通水するのに支障しになっている。
- 飯館村が水に対して不安になっている。1 万リットルの水をカンパすること。
- 南相馬市から相馬市に、相当避難してきている。隣町もできるだけ支援しないといけない。仮設住宅が出来た後も受け入れることを考えないといけない。
- ラジオ体操は、集団の団結のために良いことだ。一日 2 回やるように。
- 明日、豚汁の炊き出しボランティアがあるが、被災者全員にはいかないので、こっちで仕切って配るように。文句が出たら市長のせいにして構わない。配る場所は、秘書課で決定するように。
- 米と水の必要量と、在庫管理をしっかりするように。
- 引越しセットの数は、今後、夕方の会議で一日分を報告するように。
- NTT が原発 40km 圏内では工事しないと言っている件は、本部長が対応する。

## 第 36 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 27 日(日) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 入浴に対する希望がそれほどなく、今日は 400～500 人。一度入って、数日に一回で良いと考えている模様。自衛隊は 4／4 までとなっているが、引き続き自衛隊に要請する。
- 燃料について、3 月末までは、今の供給体制が維持できる。
- 瓦礫を撤去した道路に、民地からのごみを置かれていて、瓦礫撤去や捜索の支障になっている。

## 3 月 26 日（土）

### 応急仮設住宅の建設に着工

東日本大震災で、住居全壊などの被害に遭われた方々のための応急仮設住宅建設が着工。

### 被災者用住宅の確保

| | |
|---|---|
| ●民間アパート借り上げ | 136 戸 |
| ●雇用促進住宅 | 53 戸 |
| ●アルプス電気独身寮 | 40 室 80 人 |
| ●応急仮設住宅 | 1,000 戸着工 |

※上記住宅への入居については、3 月 17 日から申込み受付を開始。
※相馬市在住の方で妊婦・4 歳以下の子どものいる方・身体障がい者・高齢者（75 歳以上の方）を優先。
※応急仮設住宅の建設に関しては、地元業者による雇用創出と早期着工・完成のため、県災害対策本部と権限移譲の協議を行った。

### 民間借り上げアパート家賃補助

●補助金額　29,000 円 / 月

※仮設住宅に入居することを前提として補助を行うもの。
※ 29,000 円を超える分については自己負担。
※光熱水費については自己負担。

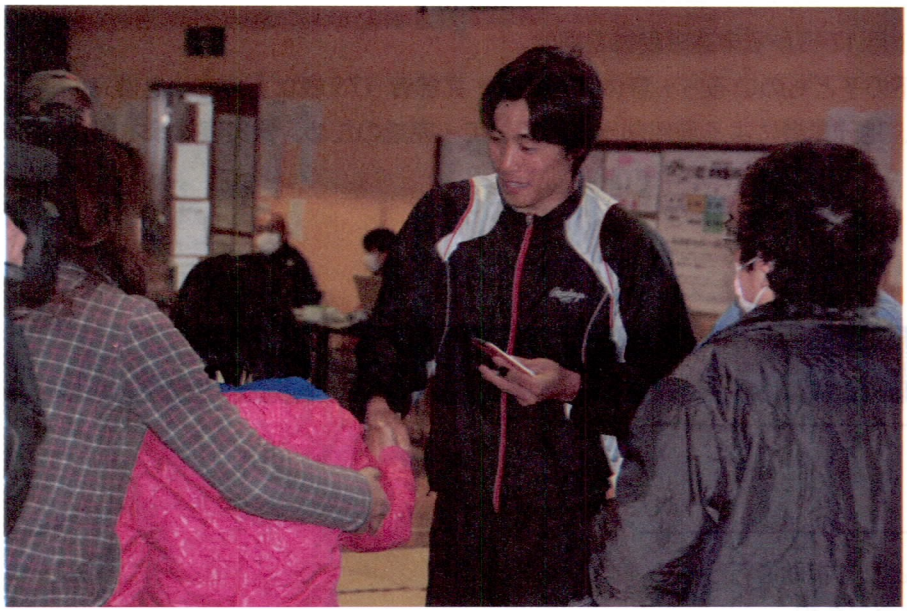
## 3月26日（土）

### 避難所でラジオ体操　飯豊小学校

避難所となっている飯豊小学校では、朝6時30分と午後3時にラジオ体操を行い、長引く避難生活の中でも健康維持を図っています。

## 3月26日（土）

### 巨人の鈴木選手　故郷の相馬を訪問



プロ野球・読売巨人軍の鈴木尚広選手が3月26日、相馬市役所を訪れ立谷市長に義援金を手渡しました。

その後、避難所となっている母校の中村第一小学校を訪問。

サインを求める避難者に応えながら、「お体は大丈夫ですか」などと声をかけていました。

## 市長訓示（平成 23 年 3 月 22 日　庁内放送にて）

震災の発生から今日で 12 日目の朝を迎えました。まず、この間職員の皆さんがしっかりと一糸乱れず災害対策本部の指揮命令系統のもとに冷静に対応してくれたことに、心から感謝を申し上げます。

被災した県内市町村の情報を聞きますが、相馬市は統制が執れていて、それぞれの職員が今何をしなければならないのかをしっかり自覚して士気も高いと、そのような評価もいただいております。このような震災に遭うまで、皆さんが自分の仕事の立ち位置をしっかりと把握しながら毎日働いてきた成果が、このようなピンチの時に現れたものと大変誇らしい気持ちでおります。

さて、我々は地震発生後直ちに災害対策本部を立ち上げ、今後の大きな方向性を決定しました。その決定とは、まずは地震による津波から沿岸部の市民を守ること、倒壊した家屋の中に生き残っている人がいる場合には速やかに救助することでした。いわゆる地震に対する災害時救助活動のマニュアルに基づき決定しました。

しかしながら、実際の津波は我々の想定をはるかに超える巨大なものでした。
ここが今回の震災の大きなポイントです。

津波の直後は、この未曽有の自然災害に対して、やはり人の命を守るということが一番のテーマでした。従いまして、救助を待っている方々を救出すること、あるいは危険のあるところから安全なところに避難させること、これが超短期的な対応でした。

さらにはその延長になりますが、捜索活動も短期的な対応になります。現段階で、生存者の救出という可能性はほとんどゼロに近い状況です。しかしながら、瓦礫の下に我々と同じ市民が亡くなったままにいるという現実もありますので、これはしっかりと対処していかなければなりません。自衛隊、消防、警察、それから本市の消防団も含め様々な組織の力を集結しながら本日も行っております。

また、震災直後の市民の命を、あるいは健康をどうやって守るかというのも短期的な行動であります。避難所を開設して、その避難所にとにかく落ち着いて居ていただくということも短期的な対応ということになりましょう。

その一方で同時に、中期的、あるいは長期的にはどういうことを考えていかなければならないのか。

中期的には、避難所にいる方々を市内のアパートや用途廃止した公営住宅、新たに建設する仮設住宅などに移っていただいて、それぞれが自立した生活ができるようにすることです。自立するということは、それぞれのご家庭がそれぞれのかまどを持つということです。今、避難所での生活は集団生活でプライバシーというものはなかなかありませんので、それぞれのご家庭が一つのかまどを持って独立して暮らしていただくことです。さらには、その自立される方々をどうやって支えるか等々の問題について、色々と配慮をしていかなければならないと思います。

また、長期的には、やはり壊滅的な被災を受けた原釜地区、松川地区、岩子地区、あるいは磯部地区などの地域が復興を遂げるというのが最終的な目標になります。短期的な対応から中期的対応、そして長期的対応に移っていく中で、我々はとにかくこうやっていくのだと、その方向性をしっかりと持ってインフラの再整備ということも考えて、やはり最終的にはこれらの地域にもまた家を建てて人が住めるような状態まで回復させるというのが長期的な我々の目標です。このことをしっかりと胆に銘じていただきたいと思います。

ところが、この方向性を震災初日のうちに決めたのですが、原発の問題が起きました。原発の問題については、相当市民の間で不安が広がっていますが、これは二つに分けて考えたいと思います。一つは、原発の放射能で市民が健康被害を受けることがないようにというのが一点、それからもう一つは、放射能の不安によって市民生活がおかしくならないようにというのが一点、この二つです。相馬市と、相馬市民にとってこの二つをきちんと処理していくことが必要となります。

まず、原発の事故そのものによる放射能の人的な被害については、10km圏内が最初に避難指示とされ、その後20km圏が避難指示ということになりました。

南相馬市が含まれている30km圏については屋内退避ということになっております。私の方も独自に色々な情報を集めて放射能の量を測っておりますが、仮に屋内退避であってもそこに住めないということではありません。そこにいない方がいいということではないのです。

そこにいる限り屋内にいた方が無難である、屋外に比べて屋内は放射能の量が10分の1になる、だったら屋内にいた方が無難であるという判断です。必ずしも退避しなければならないという判断ではありません。

しかし、そこに住んでいる方々の不安心理、あるいはそこの地域に物資の供給をする方々の不安心理でもって、20kmも30kmも同じような受け取られ方をしているというのが実情です。この20km圏、30km圏について国の対応が今後どうなるのかは、私は99%相馬に避難指示がでることはないと思っておりますが、しかし絶対ということはありませんから、その時のことも頭の中に想定しておかなければならないと思っておりますし、現にその場合の事も考えております。

我々は最初の計画で、この地震や津波によって相当部分が破壊された故郷をどうやって復興するのか、その過程において市民の皆さんの生活をどうやって維持していくか、避難所での生活もそうだし、仮設住宅の建設もその一つですが、これをしっかりと一歩一歩やっていこうというのが我々の基本中の基本の政策であり、相馬市の方向性であります。原発の問題があるにせよ、その方向性に向かってしっかりと地に足を付けて行っていくということに何ら変わりはありません。

もしも、国が我々に対して避難をしなさいと命令をした場合には、やむを得ないが国の命令に従おうと思っています。国が避難指示を出さない限り、私は最初の復興計画に則って一歩一歩進んで行きたいと思っています。付け加えますが、国が避難指示を出す可能性は極めて低いということを頭に入れてください。

そのことに対して怯えていたのでは、なにも出来ません。だから、あくまでも相馬を復興させる、中期的には避難されている方々に一つ一つかまどを持ってもらう、あるいはその他の市民の皆さんの生活をしっかり支えていく、事故に遭われた方、不幸にも亡くなられた方々に対しては最大の敬意を払って対処していく、これらを他団体の力を借りながらしっかりとやっていくということです。

これらのプロセスにおいて、指揮命令権は災害対策本部にあります。災害対策本部で決定した一つの方向性に向かって、意思を統一して頑張ってください。

12日経って色々な方々が手伝いやボランティアで入っていますが、どんな立派な学者でも、どんな立派なボランティアでも、あるいはどんな立派な政治家の先生でも、災害対策本部の指揮命令のもとに協力をしていただきます。勝手に活動される方は、私は迷惑だと思っております。したがいまして、全て災害対策本部の指揮に従ってもらうというのが原則です。皆さんも私も災害対策本部のメンバーですから、みなさんと力を合わせながら、ここのところは歯を食いしばって頑張っていきたいと思います。

また、風評被害によって物流に支障を来しております。ガソリン等の燃料については今日まで必死の努力の中でなんとか維持をしてまいりました。これからもこの努力は続けますが、しかしながら物流は間違いなく良くなって来ます。

ただ、現段階ではスーパーも空いてない。今日からコンビニが1店再開しますので、市民の気持ちも若干明るくなるとは思いますが、大概のお店は物流が再開して営業が再開するという段階には相当程遠いのではないかと思っております。

しかしながら、物流が滞るとしたら、私はみんなでろう城すればいいのではないかと思っています。電気も通っているし水も通っている、米も援助物資としてたくさん入ってきていますから、最悪の場合市民と一緒にごはんと梅干しくらいで何カ月もろう城する必要があるかもしれません。こういう非常事態ですから、最低これだけあれば我々も市民も生きていけるのだと、その安心からスタートするという発想が必要なの

ではないかと思っております。

今日は区長会を開催することになっております。区長会の皆さんを通して物資を配給するシステムを作りながら、ろう城だってできるのだという腹を固めることだと思っています。色々な救援物資が入って来ますから、これは積極的に市民の皆さまに配給して少しでも不自由のない生活、不自由がないことが当たり前だと思わないで、不自由を当たり前だと思って、そこから便利な部分は得をしたというように発想を変えることだと思っております。

このような状況の中で、一つ一つ市民生活を良くしていくこと、最低これだけのことはみんなでやっていこうと、これが大事だと思っております。不安に駆られて自主的に避難した方がたくさんいらっしゃいます。これからもそういう方がいるとは思います。これは自己判断ですから、私の方から申し上げることはありません。しかしながら、仮に他県の避難所に入ったところで何日もそこで暮らせることはなかろうと思います。この相馬で落ち着いていることが、多分、市民のみなさんにとっても一番いいことなのだろうと思います。ただ、それを市民全員に説得することはなかなか困難なことですし、また説得する必要もないのだろうと思います。それぞれの市民の皆さんがどのように行動するかについては、それぞれが判断なされることですけれども、少なくても我々は相馬にいる限り飢え死にすることもないし、寂しい思いをすることもないし、うんと寒い思いをすることもないし、水が飲めないこともない、そのような最低限の市民生活の保障だけはしていかなければならないものと思っております。

以上の考え方のもとに一歩一歩、今回の津波災害の悲惨な状態からみんなで立ち直っていくのだということを信念として頑張ってまいりたいと思っております。

市職員のみなさんにお願いいたしますが、私はそういう方向性で突き進んで行きますから、どうぞみんな一致団結してこの相馬市の復興のために力を貸していただきたいと思います。そして市民の皆さんにもそのように呼びかけていただきたいと思います。以上です。

- 今朝、ラジオ体操したが、非常にいいことだ。我々は、集団行動を得意にしてきた。その原型になっている一つがラジオ体操かなと思った。一緒になって同じ動作をするのはいいことだ。
- 我々が復興するためには、市外に避難した人が戻ってこないといけない。避難していた人が戻ってきたときに暖かく受け入れないといけない。これを肝に銘じるように。皆で頑張るためには、多くの仲間が必要だ。
- もらい湯の人がどれくらいいるかも大雑把でいいので掴んでおいて。
- 民地のゴミを道路に出す問題は、民地からのごみのゴミ捨て場を検討するように。
- 水は今後あまり入ってこないだろう。日本中で取り合っている。水は、なるべく1箇所で保管するように。

## 第37回 災害対策本部会議　2011年3月27日(日) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- NTTが原発40km圏内では工事しないと言っていた問題は、官邸に電話して解決した。
- 今、一番のストレスは仮設住宅の建設だ。仮設住宅は県が作るが、場合によっては市町村ができる。これは、厚生労働省管轄の問題。仮設住宅の建設費は、238万円／戸が基本となっているが、相馬の大工なら建てられるはずだ。
- 民間アパートや雇用促進住宅に入居した人数もしっかり把握するように。
- 南相馬市から、新たに避難してきている人が多い。

## 第38回 災害対策本部会議　2011年3月28日(月) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 支援金の支給について、死亡した人と半壊家屋の確定待ち（約400人）の人には支給していない。後は、当初見込みの被災地人口よりも少なかったと思われる。今後、国に支援を求めるときにも困るので、被災家屋の確定が必要である。
- 放射能の影響で、作付を遅らせるように、福島県から言われている。ハウス栽培はOK。
- 支援物資として必要なものを整理した。米、水、ポリタンク、缶詰、レトルト、漬物、帽子、Tシャツ、靴下、玉ねぎ、ジャガイモ等。
- これからの学校教育をどうするかが喫緊の問題だ。準備もあるし、一両日中に結論を出さないといけない。
- 相馬市のスーパーや、コンビニはよく頑張ってくれた。原発の危険は依然残っているので、避難勧告を頭のどこかには置いておかないといけない。
- 支援物資として、何が欲しいか？という話が来る。何をもらったらいいか皆で協議してほしい。そのためにも在庫管理が重要だ。
- 水の安全性について、どこまで情報開示しても不安になる人はいるが、情報を回覧するように。
- 今、将来計画の結論を出せるわけではないが、ここにいるメンバーは2年後5年後の姿を想像してほしい。先のことを考えながら物事を考えるように。将来を見て、今をどう

支援の小松

| 第34回　災害対策本部　（資料） | | | | 平成23年3月27日（日）　18時～ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① 行方不明者の捜索 | → ア 捜索体制の構築 | 捜索（原釜・尾浜、日下石、磯部）、重機の活用、自衛隊ボート捜索、 |
| | | ② 被災地整理 | → ア ガレキの撤去、排水 | 私有物撤去（国の指針）、国交省ポンプ4台（原釜終了、山信田3、芦谷地1）、県ポンプ20台（山信田）,八沢干拓の排水、一般家庭ガレキの処分 |
| | | | イ 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（重量1トンの物資空輸、被害状況確認）、ヘリによる被害状況調査（3/25・3/28） |
| | | ③ 生存者・死亡者の確認と火葬 | → ア 連絡不通者確認情報 | 住民基本台帳との突合、部落の情報集約、詳細情報の集約・開示 |
| | | | イ 遺体・火葬 | 遺体数、他自治体火葬可能数（伊達市8、二本松市3、福島市5、郡山3・会津若松4、計23体） |
| | | ④ 児童生徒の動向 | → ア 連絡不通者・死亡者 | 連絡不通者：磯幼 1、磯小3、磯中2、中二中 0、　計6人<br>死亡：磯小8、磯中4、中二中1　計13人 |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災者・避難者の生活支援 | → ア 健康管理 | 精神的ケア、ボランティア医師の避難所巡回、精神疾患患者の対応、避難所での健康体操、眼科医の避難所巡回 |
| | | | イ 食料・物資供給 | 食料品・物資の適正な配給、物品袋の準備 |
| | | | ウ 入浴その他避難所生活支援 | 入浴可能人数（自衛隊400人、はまなす館200人、飛天300人、天明CC240人、計1,140人）、入浴者3/22～26　1,264人、避難所統合（3/25　憩の家23人をアリーナへ移住） |
| | | ② 市民生活支援 | → ア ライフライン（水道、電気、ガス） | 断水戸数330戸、工業用水（漏水）、マンパワー検討、柚木給水塔（NTT40km工事課題）、電力復旧見込等（別紙） |
| | | | イ ガソリン・燃料等 | 市民へのガソリン販売（3/16～3月末まで延長）、灯油店頭販売（3/24～） |
| | | | ウ 食料・日用品の調達・配給 | 配給システム構築、米配給（3/23～25・66t）、米以外の物資の配給（3/26）、市議会議員の協力 |
| | | | エ 医療体制、医療・介護機関の実情 | 市内開業医12・調剤薬局9、南相馬市内の病院閉鎖の影響（患者増加、薬不足、精神疾患患者）、精神科（公立相馬総合病院本日開設）、鹿島厚生病院の再開 |
| | | | オ 医療・介護施設の支援 | 老健施設へのボランティア派遣（3/27ベテランズ3人、森の都5人）、食料の提供（5施設） |
| | | | カ 支援グループの受け入れ | あくまで本部長の指揮、医療チーム宿泊（中央児童センター）、災害本部直轄ボランティア（エムセテック社員26人）、支援センターボランティア（3/27登録116人、活動107人） |
| | | | キ 情報伝達・開示 | 広報そうま3/21・24・25号発行、医療・給油・スーパー等の情報、市HPへの掲載、コミュニティーFM開設の取組み |
| | | | ク 交通機関 | 臨時バス運行（相馬・福島間　1日4往復、相馬・仙台間　1日5往復）、3/28～生活路線バス運行再開 |
| | | ③ ろう城体制の構築 | → ア 地域行政組織の現行体制の確認 | 区長会の開催（3/22）、米配給での区長協力（3/23～25）、区長・班長の連携、配給終了後の区長会の開催（3/30） |
| | | | イ 物資の確保、倉庫の運営 | ストックシステムの構築、ガソリン（備蓄状況、最低限必要量の把握、供給見通し）、米・水等（備蓄量の把握と報告、消費量） |
| | | | ウ 市独自の輸送体制 | 運送車両の確保→バス；7台、トラック；6台（うち4台リース）、自衛隊の協力（入浴等への送迎、物資輸送） |
| | | | エ 相馬港の利活用体制 | 国交省九州整備局の緊急物資輸送船（3/25）、国交省の緊急物資輸送船（3/29） |
| | | ④ 避難者自立支援 | → ア 市調達集合住宅 | 雇用促進住宅52室、申込49件、　3/27現在入居済　18世帯 |
| | | | イ 民間アパート入居あっせん | 民間148室、アルプス40室、申込430件、　3/27現在入居済105世帯（民間93、アルプス12） |
| | | | ウ 仮設住宅への移住 | 仮設住宅　申込527件、東グラウンド60戸（3/26着手） |
| | | | エ 生活支援金 | 3/16～25；3,080件、3/26；　77件　計　3,157件　金額　94,710千円、受領者内訳（避難所60%、市内20%、市外20%） |
| | | | オ 日常生活用品支援 | 引越セット（寝具・食料・衛生用品・日用雑貨・衣類等）の配布、家電製品の備蓄 |
| | | ⑤ 義援金など | → ア 義援金 | ダウケミカル1億6,360万円、静岡県裾野市1,800万円、サカイ イワオ様（東京）1,000万円、オリエンタルモーター1,000万円、県市長会100万円、巨人軍鈴木尚広様100万円など　計135件　2億1,855万円 |
| | | | イ 物資支援 | 支援者一覧表、毎日夕方の本部会議で報告 |
| | | ⑥ 原発事故への対応 | → ア 情報開示 | 真野ダム水と水源地（西山、大野台）のモニタリング結果の公表（企業局HP・広報そうま）、放射能測定値の公表（広報そうま・市HP・避難所・公民館）、SPEEDIの試算 |
| | | | イ 国の指示に従い行動する方針の徹底 | 市民に方針の周知（広報そうま　3/17・25号 発行） |
| 3 | 長期的対応 | ① 被災地及び市内復興 | → ア 市内生活道路の補修 | 市内建設業者の復旧工事（アスファルト舗装・県道の代行補修）、小国町建設業者（ボランティアで民有地の補修） |
| | | | イ 農地等対策 | 冠水した水田1,100ha（全水田の約40%）、 |
| | | | ウ 市内企業の現状 | 操業再開　3/21大橋工業、3/22 IHI第4加工棟の一部・アリーナ・ニダック・タコ精機・ソマ、近日中（ハクゾウメディカル、三之橋、ファイマティック） |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → ア 南相馬市原発難民の受け入れ | 旧相女高収容数(525人)、ボランティア協力(8人)、南相馬市民へのスクリーニング |
| | | | イ 近隣自治体へ支援（物資等） | 旧相馬女子高での原発難民への支援、3/17　新地：アルファ米2,000食、飯舘：水2万ℓ(4万本)、3/19 南相馬市：アルファ米500食、米600kg、カップめん100箱、水100箱など、南相馬市公用車にガソリン300ℓ提供、3/23ガソリン20kℓ提供、　3/26飯舘：水1万ℓ・おむつ200箱 |
| | | | ウ ソフト面での支援 | 南相馬市への物資輸送のための倉庫（卸売市場の一部）の貸出（3/22～）、南相馬市へ給水車2台貸出（3月末） |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → ア 食料・生活物資 | ふとん、タオルケット、シーツ、カップめん、缶詰、米、スニーカーなどの確保 |
| | | | イ 国・県に対する要望事項 | 物流業者への要請強化、仮設住宅建設のスピードアップ、自衛隊「入浴施設」の継続 |

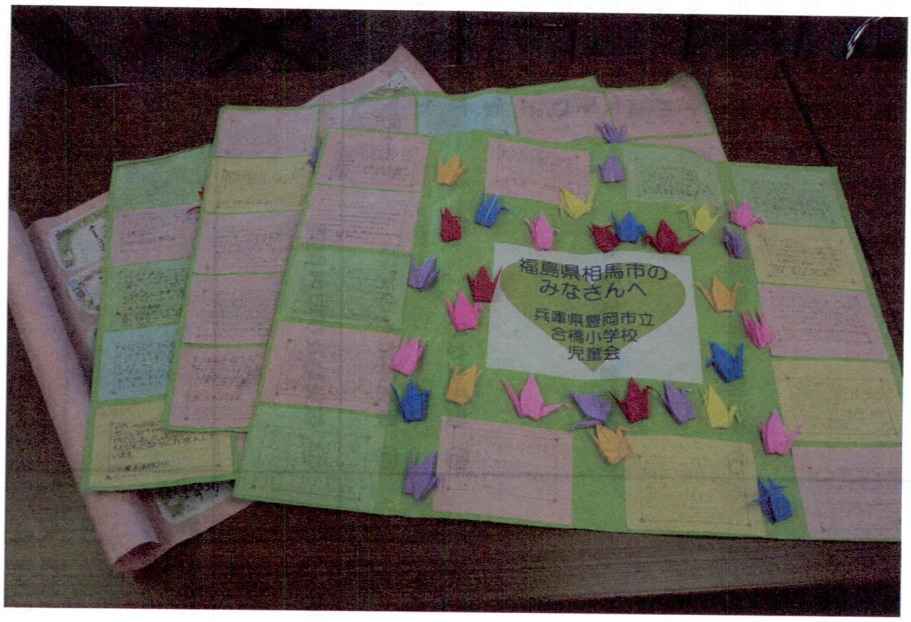
## 3月27日（日）

### 谷垣自民党総裁　相馬市を視察

自民党の谷垣禎一総裁が3月27日、参議院議員の森雅子氏、岩城光英氏、佐藤正久氏らとともに相馬市役所を訪れ、立谷市長と面談しました。

## 3月28日（月）

### 兵庫県の児童たちから　応援メッセージ




兵庫県豊岡市立合橋小学校児童会からたくさんの応援のメッセージを張りつけた模造紙が3月28日、相馬市役所に届きました。

位置づけるかという観点が必要だ。
- いつまでこの体制でやるべきかも検討しなければならない。
- 衣類は、避難所にいない被災者にも渡すように。
- 日用品の在庫を報告するように
- 医療：相馬は正常に回復しつつある。精神科も今日から始まる。今まで（震災前まで）、南相馬市に頼っていたものは自前でやらないといけない。
- 相馬中央病院の人工透析の医者が今日から来る。公立相馬病院は、エレベーターが壊れていて、人工透析している4階まで自力で運ばないといけないのがストレスだ。場合によっては、仮設の病院を建てる等対応が必要かもしれない。公立相馬病院が診療に問題あるとなると計画が全て狂う。
- 米と水は、毎回備蓄を報告するように。
- 被災家屋の確定は、関係部長で協議して、考え方まとめておくように。今後のいろいろな作業の基礎になるデータだ。

## 第39回 災害対策本部会議　2011年3月28日(月) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**
- 衣料の配布を中央公民館で開始した。本日は18人だった。HPにも公開しており、今後、広報そうまにも載せる。
- FMを明後日から開設する。市の職員で対応するが、今後、職員以外が対応できるようにしたい。
- 家に帰りたくても、瓦礫や漁船があって家に入れないので、撤去して欲しいという要望がある。
- 相馬市の学校への転入が南相馬市などから130人。鹿島の人が区域外で来ているもいる。転出が約40人だが、これは一時避難が多い。
- 学校の先生が、避難所で勉強を教えたいとのこと。
- 公立相馬病院の耐震問題がある。また、ボランティアドクターの拠点が必要だ。
- 中期的に大きな問題は住居の整備だ。仮設住宅を県ではなく、市町村でやることも可能という国会答弁があった。生徒のために教室を空けなければならないという問題がある。この議論を早く進めて、教室から体育館への移行を進めないといけない。避難所の方々をどこに移せばいいか？仮設住宅を市が作るかどうかも検討が必要。
- 物資の在庫を見てきたが、いろんなものがある。分配しないといけない。県から物資が入ってくるようになってきたので、ある程度の備蓄をしたうえで、配給していかないといけない。米、水の備蓄は、どれくらい必要かを押さえた上で、配給するように。避難所だけに配るには多すぎて、市民全員に配るには少ない。避難所だけで消費できないなら、どこかの地域に限定して配るなど考えるように。例えば、長靴は相馬市民全体に配るには少ないので、飯豊だけに配ろうと思う。地区を限定して配ると文句は出るが、市長のせいにして構わない。そうしてでも、市民に配らないと配れない。
- 避難所にいない人で、ご飯が食べにくい状態にいる人はどれくらいいるのか？地域の炊

き出し（ロータリー）もずっとは続かないので、アルファ米を配るなど、保健福祉部長が検討するように。

- 生活路線バスの乗車人数を報告するように。
- ランドセルなどは早急に配るように。
- 家の中にあるヘドロは、臭いがすごいので、かき出せばいいという問題ではなく、消毒などを考えないといけない。建設部長と民生部長で検討を。
- 中期的対応に小中学校の対策を入れるように。

## 第 40 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 29 日(火) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 地震による倒壊家屋を、職員でチームを作って回る。半倒壊については、判断が難しいので、専門職への協力をお願いする。
- 避難所を、教室から体育館へ移動してもらうため、避難所にいる人の家族数を調べ、間仕切りの検討をしている。
- 南相馬市の医療体制がきちんと整わないと、相馬の圧力になる。今まで、手術などは、相馬市から南相馬市の病院に行っていたが、今度は逆だ。しっかりサポートしたい。南相馬市は調剤薬局が稼動していない。
- 支援物資の在庫は、品目ごとに整理するように。
- 誤解を与えるといけないから言ってこなかったが、いざというときのことを視野に入れないと。仮に、国から避難指示が来たら整然と避難することになる。これも頭に置きながら対策を練っていく必要がある。
- 仮に避難することになった場合、医療に関しては、徳州会病院系列で引き取ってくれることになっている。避難する場合は、災害弱者を残すことはしない。災害弱者をどのように連れて行くかという計画くらいは、立てておかないといけない。
- 気持ちを引き締めないといけないのは、まだ始まったばかりだということだ。まだ延々と続いていくという覚悟が必要だ。相馬市は、初動のバタバタした状態は脱したと思っている。中期長期の対応を頭に入れてやるべきだ。
- 避難所を体育館に移したとき、その中で、仮の番地を付けることを考えている。間仕切りの設置を急いでやるように。保健福祉部、財政課、建設部が協力して実施するように。
- 避難所にいない災害弱者に、ロータリークラブが炊き出しなどを行った人の名簿をもらうように。これからも、食事等を差し上げるべき人が何人いるのか、という観点で名簿を作るように。
- 支援物資は、品目ごとに整理して、どこに何を配るか、私も入って考える。

## 第 41 回　災害対策本部会議　2011 年 3 月 29 日(火) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 区長会で、救援物資や災害時要介護者について協議した。その後、被災地の区長に瓦礫撤去について説明した。

- 今、一番の問題は、義務教育をどうするかだ。体育館に教室から移ってもらわないといけないが、そのとき、パーテーションなどで区切って、仮の番地を付けて、新しいコミュニティーを作る必要がある。
- 体育館を避難所にするなら、食事は給食することを考えている。茶碗でご飯食べることができるような準備をするように。
- 小高区の会社が、相馬でやりたいといってきた。地域の再編が起こりつつある。
- 相馬市内は企業インフラが整ってきた。ライフラインがしっかりしないと住めないし、医療がしっかりしないと住めない。
- 東京都と連絡して、東京からドクターが来た。ボランティアの先生のバックアップが必要だ。
- 仮設住宅への移動が遅れるほど医療等の問題が出てくる。市町村に権限移譲して建てる話が進まない。

## 第 42 回 災害対策本部会議　2011 年 3 月 30 日(水) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- リュックサックは、世帯に一つ用意している。
- 避難所体育館の間仕切りを準備中。
- 「衣食住」が短期的なポイントで、「医職住育」が中期的なポイント。我々は「備」も考える必要がある。放射能などに備えないといけない。
- 保健センター所長も、夕方の本部会議に入るように。
- ボランティアで来る炊き出しをどこでやるかは、教育部長と保健福祉部長で調整するように。
- 南相馬市は急激に市民が戻ってきている。市民が戻ってくると、南相馬市には物資がないので、相馬市に物資を買いに来る。顕著な例はガソリンだ。
- 老人施設等でどんな支援がいるのか、毎日聞き取るようにしなさい。気を配る人が一人いればできることだ。保健福祉部長が対応するように。ふきのとう園は県の方針で退去させたところだから、県の対応に任せる。
- 冷蔵庫などの家電製品は、自立するときに、有ったものを渡すというルールを周知するように。市民からもらった家電は中央公民館にあるので、中央公民館長が把握して引越しセットにするように。

## 第 43 回 災害対策本部会議　2011 年 3 月 30 日(水) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 流山市が、予備費を使って、ゆーとぴあを修理し、職員を派遣してくれる。
- 共同火力には、漏水でまだ通水されていない。東工業団地内では、ADEKA だけがまだ通電されていない。
- 仮設住宅は、厚生労働省の話では、市が請け負っても良いことになっている。
- 農業は、耕しては駄目というが、いつまで待ってればいいのか国県に要請している。

## 第 44 回 災害対策本部会議　2011 年 3 月 31 日(木) 8:00～

**【協議及び本部長指示】**

- 災害当初は、「命衣食住生」が大切だ。まず命を助けて、衣食住。そして、ライフラインだ。
- 中期以降は、「医職住育備」が大切。これを頭に入れておくように。住と育を重点にしていきたい。住と育がセットになっている。
- 昨日、南相馬市の部長が来た。南相馬市との連携がないと解決しない。
- 教育を考えると、避難所の移動と仮設住宅建設が重要。

- 南相馬市をどう受け止めるか？すでに病院は大変な状態だ。鹿島厚生病院は、病床がないので、入院できず、相馬中央病院がパンクしている。東京から 10 人のチームが来る。避難所にも行ってもらう。
- 仮設住宅は、市が直接できないかと言っている。公営住宅のように高いとあまりたくさん建てられない、馬場野住宅団地に安価で作る等を考える。

## 第 45 回 災害対策本部会議　2011 年 3 月 31 日(木) 18:00～

**【協議及び本部長指示】**

- ブレインハート法律事務所から法律相談の申し出があった。避難所を回って法律相談をしており、役所にも拠点を設ける予定。
- 本来、辞令を交付する日だが、退職する人もこれからも頑張ってもらう。みんなで頑張っていきたい。
- この災害は、始まったばかりだ。数年かかるという認識が必要だ。だから、長くなるということを踏まえ、長期戦に備えて、スタッフの仕事の仕方も考えないといけない。しばらくは、この体制だが、出口が明確に見えたら、つまり、中期的対応の道筋が立ったら。短期的対応はいずれ終了するようになる。中期的対応とは、避難所の方々に釜戸を持たせることだ。
- 職業の問題や、どうやって暮らしていくかが、被災者の心配になってきている。弁護士によるサポートが必要だ。金銭的な悩み等、災害によって生じた社会的なトラブル。大概の人はうつ状態になる。家がなくて困っている人に追い討ちをかけるようなことのないようにしないといけない。金を稼ぐ前に、経済的に追われる状態になる。
- 被災者の方々が、どこに落ち着くのか考えないといけない。磯部、原釜、尾浜、岩子をどうするか、観光産業、農業、漁業どうするか？
- 医師チームは、たくさん一度に来ても仕方がないので、長期的に来られるように調整するように。
- 南相馬市は、入院できる病院がないことが問題だ。

| 第42回　災害対策本部（資料） | | | | 平成23年3月31日（木）　18時～ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① 行方不明者の捜索 | → ア 捜索体制の構築 | 捜索（原釜・尾浜、日下石、磯部）、重機活用、自衛隊ボート・ヘリ捜索 |
| | | ② 被災地整理 | → ア ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国の指針）、八沢干拓；国交省ポンプ車2台、柏崎；国交省ポンプ車1台、一般家庭ガレキ（仮置場所選定）、車・船撤去、ガレキ処分の県協議会（3/31） |
| | | | イ 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害状況調査3/25・28）、自衛隊40名増員 |
| | | ③ 被災地確認 | → ア 被災状況把握 | 被災基準策定（半倒壊など）、市職員チーム編成、他団体の協力検討、罹災証明（4/1～） |
| | | ④ 生存者・死亡者確認等 | → ア 連絡不通者確認情報 | 住民基本台帳と突合、部落の情報集約、詳細情報の集約・開示 |
| | | | イ 遺体・火葬 | 遺体数、他自治体火葬可能数（伊達市8、二本松市3、福島市5、郡山3・会津若松4、計23体） |
| | | ⑤ 児童生徒の動向 | → ア 連絡不通者・死亡者 | 連絡不通者：磯小3、磯中1、計4人、　死亡：磯幼1、磯小8、磯中5、中二中1　計15人 |
| | | ⑥ 小中学校の授業再開 | → ア 校舎居住避難者の移住 | 校舎居住人数（573人、移住4/3～予定）、間仕切りでの同一地域の同一避難所収容、 |
| | | | イ 区域外就学 | 3/30現在　小学（転出46人・転入222人）、中学（転出12人・転入106人）、計（転出58人・転入328人） |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災者・避難者の生活支援 | → ア 健康管理 | 精神的ケア、ボランティア医師の避難所巡回、精神疾患患者の対応、避難所で健康体操、中央病院眼科医の避難所巡回（水・金）、医療機関送迎バス（3/30～） |
| | | | イ 食料・物資供給 | 食料品・物資の適正配給、炊出し対象避難所の選定、磯部小での物資供給 |
| | | | ウ その他生活支援 | 入浴者3/22～30　延べ2,675人、公共料金の特例措置（別紙） |
| | | ② 市民生活支援 | → ア ライフライン（水道、電気、ガス） | 給水戸数178戸（前日比△37戸）、工業用水（し尿処理場可）、マンパワー検討、柚木給水池（NTT工事終了）、共同火力（冠水で通水不可）、電力復旧（詳細内容） |
| | | | イ ガソリン・燃料等 | 市民へガソリン販売（3/16～4/2まで延長）、灯油店頭販売（3/24～） |
| | | | ウ 食料・日用品の配給 | 米配給（3/23～25・66t）、米以外物資配給（3/26）、市議会議員協力、地域限定配給 |
| | | | エ 医療体制、医療・介護機関の実情 | 市内開業医12・調剤薬局9、南相馬市内の病院閉鎖の影響（患者増加、薬不足、精神疾患患者）、精神科（公立相馬総合病院3/29開設）、鹿島厚生病院の再開 |
| | | | オ 医療・介護施設の支援 | ボランティア（3/31ベテランズ3人、森の都10人、エクセル3人）、 |
| | | | カ 支援グループの受け入れ | あくまで本部長の指揮、本部直轄ボランティア（エムセテック3/31：45人、自治労：看護師2人）、ボランティアセンター（3/31登録127人、活動117人） |
| | | | キ 情報伝達・開示 | 広報そうま号外（No1～7）発行、医療・給油・スーパー等情報、市HPへ掲載、企業団水道水チラシ発行、そうまさいがいエフエム開設（3/30～） |
| | | | ク 交通機関 | 臨時バス（相馬・福島1日4往復、相馬・仙台1日5往復）、3/28～生活路線バス再開、相馬・南相馬ジャンボタクシー運行（3/31～） |
| | | ③ ろう城体制 | → ア 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3/22・30）、米配給で区長協力（3/23～25）、配給システム構築、寝たきり老人等把握（4/4まで） |
| | | | イ 物資の確保、倉庫の運営 | ストックシステムの構築、ガソリン（備蓄、最低限必要量、供給見通し）、米・水等（備蓄量、消費量） |
| | | | ウ 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；7台、トラック；6台、自衛隊の物資輸送等協力、玉野患者バス運行再開（4/5～） |
| | | | エ 相馬港の利活用体制 | 国交省九州整備局の輸送船（3/25）、国交省の輸送船（3/29） |
| | | ④ 避難者自立支援 | → ア 市調達集合住宅 | 雇用促進住宅；52室、申込；58件、　3/31現在入居済　34世帯 |
| | | | イ 民間アパート入居 | 民間；148室、アルプス；40室、申込；441件、　3/31現在入居済；183世帯（民間150、アルプス33） |
| | | | ウ 仮設住宅建設と移住 | 申込；577件、東G（着手60戸、来週着手予定112戸）、刈敷田（来週着手予定70～80戸）、権限委譲 |
| | | | エ 生活支援金 | 3/16～30；3,473件、3/31；75件　計3,548件　金額；1億644万円 |
| | | | オ 日常生活用品支援 | 寝具セット（寝具・食料・衛生用品・日用雑貨・衣類等）の配布、家電製品の備蓄・支援、配布ルール徹底 |
| | | ⑤ 義援金など | → ア 義援金 | ダウケミカル1億6,360万円、静岡県裾野市1,800万円、サカイオヴェ様（東京）1,000万円、オリエンタルモーター1,000万円、三星化学工業300万円、長野県小諸市 など　計305件　2億9,222万円 |
| | | | イ 物資支援 | 支援者一覧表、毎日夕方の本部会議で報告 |
| | | ⑥ 原発事故への対応 | → ア 情報開示 | 真野ダム水と水源地（西山、大野台）のモニタリング結果の公表（企業局HP・広報そうま）、放射能測定値の公表（広報そうま・市HP・避難所・公民館）、SPEEDIの試算、水道水モニタリング（3/28・3/31・4/3） |
| | | | イ 国の指示に従った行動 | 方針の周知（広報そうま号外No2・5）、避難計画の策定、寝たきり老人等の把握、リックサック1万2千個発注 |
| 3 | 長期的対応 | ① 被災地及び市内復興 | → ア 市内生活道路の補修 | 復旧工事（アスファルト舗装・県道の代行補修）、小国町建設業者（市道等補修予定） |
| | | | イ 農地等対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、水稲作付協議（3/30）、耕起時期延長、農業用水の漏水、土壌調査 |
| | | | ウ 市内企業の現状 | 操業再開　3/21大橋工業、3/22 IHI第4加工棟の一部・アリーナ・二ダック・タコ精機・ソマ、近日中（ハクゾウメディカル、三之橋、ファイマティック）、3/29三星化学 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → ア 南相馬市等原発難民受け入れ | 旧相女高収容数（569人）、ボランティア協力（8人）、南相馬市民へのスクリーニング |
| | | | イ 近隣自治体へ支援（物資等） | 3/17　新地：アルファー米2,000食、飯舘：水2万ℓ（4万本）、3/19 南相馬市：アルファ米500食、米600kg、カップめん100箱、水100箱など、南相馬市公用車にガソリン3000ℓ提供、3/23ガソリン20kℓ提供、　3/26飯舘：水1万ℓ・おむつ200箱、3/30南相馬市：紙おむつ、タオル、マスク等、3/31新地：経由10kℓ提供 |
| | | | ウ ソフト面での支援 | 南相馬市へ物資輸送倉庫（卸売市場）貸出（3/22～）、南相馬市へ給水車2台貸出予定（3月末） |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → ア 食料・生活物資 | ふとん、タオルケット、シーツ、カップめん、缶詰、米、スニーカー、ポリタンク等確保、市HPで不用品をPR |
| | | | イ 国・県に対する要望事項 | 仮設住宅建設スピードアップ、自衛隊「入浴施設」の継続、薬剤師（県職員）の派遣 |

## 相馬を守った医療応援チーム　健康管理をボランティアで

### 被災翌日（3月12日）より、相馬市医師会チームが避難所当番診療

### 相馬中央病院を拠点に避難所を巡回（市内避難所各所・旧相馬女子高担当）

#### ■DMATチーム

活動期間：3月19日～3月20日

（敬称略）

3/19～：舳松洋、中島麒一朗、中島美彩　3/20～：荒井俊秀

---

#### ■東京医科大学チーム
#### 東京都医療救護斑・東京医科大学合同チーム

活動期間：3月25日～4月18日

（敬称略）

●東京医科大学チーム

3/25～：大滝純司、熊倉淳

3/29～：山下敦、近澤悠志

●東京都医療救護斑・東京医科大学合同チーム

4/5～：井村博美

4/12～：佐藤和弘、加藤隆

---

#### ■全日本病院協会チーム

活動期間：3月29日～4月18日

（敬称略）

3/28～：内野正人　4/4～：木村祐介　4/7～：大桃丈知、泉裕之　4/10～：道永成、和多田晋、牧之段学、芦立よし智、出雲正剛　4/14～：小平祐造、小林慈、高橋恵理佳　4/17～：久保田英

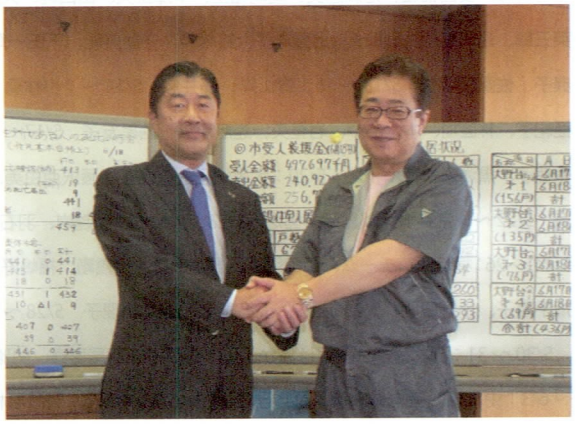
### 3月25日より、歯科医師チームが避難所を巡回診療

#### ■相馬市歯科医師会チーム
#### ■長崎大学歯学部チーム
#### ■東京歯科大学チーム
#### ■奥羽大学チーム
#### ■宮崎大学チーム

## ＪＭＡＴ日本医師会医療チーム（日本医師会本部　羽生田俊副会長）避難所巡回

### ■石川県医師会
**石川県医師会長　小森貴先生チーム**

活動期間：3 月 21 日～ 6 月 10 日



（敬称略）

3/21 ～：佐久間寛　3/23 ～：吉岡哲也　3/27 ～：池永康規
4/1 ～・4/28 ～：小森貴　4/6 ～：荒木一郎
4/10 ～：斉藤典才　4/14 ～：小野江為人　4/16 ～：大堀功　4/20 ～：近藤邦夫、近藤政子　4/25 ～：臼倉幹哉、高橋直樹　4/28 ～：由雄裕之
5/2 ～：吉岡哲也、西田宏人　5/9 ～：澤村俊孝
5/12 ～：加藤恵巳　5/16 ～：武藤一彦　5/22 ～：山本博　5/26 ～：浮田俊彦、小川純　5/28 ～：木村誠　5/31 ～：米澤孝信
6/3 ～：菊地勤　6/6 ～：八木雅夫、濱岡卓人

---

### ■静岡県医師会
**静岡県医師会長　鈴木勝彦先生チーム**

活動期間：3 月 26 日～ 5 月 19 日

（敬称略）

3/26 ～：西坂米昭、岡崎裕史　3/26 ～・5/3 ～：圓藤通典
4/1 ～：田中孝、磯部俊一　4/9 ～：堀口倫博
4/11 ～：横山正一　4/20 ～：レシャード・カレッド　4/23 ～：青島重幸、鈴木東洋、松原環　4/26 ～：佐野克行　4/29 ～：平出康隆
5/1 ～：三原純、山秋拓史　5/4 ～：赤堀彰夫
5/7 ～：関泰　5/13 ～：杉浦正司、坂本益雄
5/17 ～：甲賀新

## 心のケアチーム始動（統括：福島県立医科大学精神科　丹羽真一教授）

**●３月 29 日に、公立相馬総合病院に臨時の精神科外来を開設。**
**●保健センターを拠点に避難所及び仮設住宅を巡回し、継続的な精神的ケアを行う。**
**※徳州会病院医師参加。　福島県立医科大学の丹羽教授が指揮。**

### ■心のケアチーム支援者一覧（敬称略）３月 29 日～７月 31 日

**チームによる支援**

・4/12 ～ 5/10：東京都　・4/19 ～ 4/27：茨城県　・5/9 ～ 6/17：栃木県　・5/17 ～ 6/30：横浜市
・5/23 ～ 7/30：心身医学会　・5/30 ～ 7/23：愛知県精神病院協会　・5/30 ～ 6/3：全日本民医連
・6/7 ～ 7/4：のぞえ総合心療病院　・6/28 ～ 7/29：新潟県

3/29 ～ 4/1：西川隆　3/29 ～ 4/6：木幡、三瓶、米倉　3/30 ～ 4/1：荻野谷真人、西川隆　4/2 ～ 4/4：藤井久彌子、西川隆　4/5 ～：藤井久彌子、尾関祐二、西川隆　4/7 ～：加藤忠史、尾関祐二、矢部　4/8 ～ 10：加藤忠史、丸太、岡崎、福田　4/9 ～：小林チーム、加藤忠史　4/9 ～ 11：小林　4/10 ～：小林チーム、伊藤、丸太、加藤隆　4/12 ～ 19：加藤、河野　4/14 ～ 16：齋藤　4/17 ～ 19：小林チーム、浅利知輝、青木　4/19 ～ 21：小林チーム　4/23：平松　4/19 ～ 27：磯崎、山形、高木、紺屋春恵、岡田親　4/29 ～ 30：粥川、安藤　5/1 ～：粥川、中沢、窪田、竹内、上里　5/3 ～ 10：東京医大チーム　5/4 ～：木村智城、安西信雄、池淵恵美、岡崎祐士、中澤正夫、田口純、大葉清隆、佐藤哲、渡部純夫、三村、中沢、窪田、松尾、安藤　5/5 ～：久保木優紀、田中英三郎、遠山正悟　5/8 ～：土屋洋子、鈴木伸、守屋美紀、下田一輝、村上潔、佐藤健司、橋本秀彦、丸太芳裕　5/9 ～ 13：栃木県チーム、増茂尚志、田代典子、佐藤美智雄　5/13 ～ 15：青山洋、藤井悠　5/14 ～：小林勇　5/15 ～：岩波明　5/16 ～ 17：近藤伸介、平山洋子、高橋章郎、山田紗梨　5/17：伊藤亜紀子、林直樹、本木あや、岩壁央、遠藤恵美、西尾友子　5/17 ～ 19：横浜市チーム、古野拓、佐藤直子、西尾　5/17 ～ 20：栃木県チーム、黒口仁一、根本徳子、黒澤彩、青木和之　5/20：大串悦子、森俊憲、藤沢亜由美、姫野裕子　5/21：川上興一、米畑聡、円谷喜孝、佐藤忠、渡辺照子、濱尾早苗、馬場香織　5/22 ～：荒井城太郎、深澤国之　5/23：水島仁、塚越崇、羽石幸子、斎藤利也　5/23 ～ 26：岩城卓男、冨田裕一郎、端詰勝敬、丸太伯子、大谷知子　5/24 ～ 26：横浜医療チーム、山田朋樹、野本宗孝、大橋剛、福嶋好重、伊藤博史　5/25 ～ 27：松崎淳人、石井千恵　5/26：小原甚郎　5/27 ～ 30：福田克彦、畑千恵子、小野田明　5/28 ～ 29：小高恵実、小林絵理子　5/28 ～ 30：中根秀之、熊谷敦史、橋口香菜美、岡崎祐士、橋本節子、佐藤ふみえ、長谷川千絵　5/30 ～ 31：藤村幸子、猿渡はるか、山本外喜子、西尾彰泰、関雅樹、船津貴之、戸塚雅之　5/30 ～ 6/1：高橋雪子、浅井久栄、瀬川聖美、宮本珠妃 5/30 ～ 6/3：中島昭、堂本祐三子、星野己佐子　5/31 ～ 6/2：齋藤君枝、大嶋完二、横浜市チーム、大塚達以、内村、藤田英美、鈴木優、木本　6/1 ～：花田進、花田佳奈子　6/3 ～：中井貴美子、本間房恵　6/6 ～：齊藤徳仁、岸田拓直、細川香苗、藤井靖子　6/7 ～：横浜医療チーム、河西千秋、小田原俊成、山田素朋子、蒲池あずさ、塚田尚子、梶晃三、瀬川和久、中西和紀、尾崎貴夫　6/10 ～：藤井洋一郎、鈴木伊佐子、川口雅司、中西和紀　6/13 ～ 20：小原基郎、來田泰明、荒川友晴、河村勝浩、榊原智子、國見由佳理、安藤勝久　6/14 ～ 16：横浜医療チーム、日野耕介、内山繁樹、佐藤玲子、古口尚美、渡辺厚彦、近藤友和、瀧本禎之、袖本武男　6/17 ～ 19：小川真里子、後藤清恵　6/17 ～ 20：重家里映、青木藍　6/20 ～ 22：小野江正頼、穴見早友里　6/20 ～ 24：石田悟、成田美秀、吉田宏美、青木岳也　6/20 ～ 25：渡邊碧　6/21 ～ 23：高橋雄一、加納亮治、平安、五十嵐哲男、小林陵、渡辺弥美、坂口信彦、渡辺函、越智貴紀　6/21 ～ 27：田村聖、桂井智彦、落合隆、古久根直人、田邉優、堀映、河瀬久彦　6/22 ～ 23：新川賢一郎、中島弘徳、山崎公子　6/23 ～ 25：浅野達蔵　6/27 ～ 7/1：丸太芳裕、大熊恵子、重冨亮、西田一夫、加藤裕弘、三浦淳一、角谷和則　6/27 ～ 30：野村恭子、河野正明、福島浩、近藤大三、友田安政、秋山貴子、山本憲司、池松昭子、古庄経吉、廣瀬真也、田治米佳世、高田知子、近藤美加、山崎裕子　6/27 ～ 7/1：本田潤、櫛谷晶子、小岩正人、堀口賢二　6/30 ～ 7/4：和田賢三　7/1 ～ 3：谷川恵子、森屋淳子、菅重博　7/1 ～ 9：仲野雅洋、鈴木紀浩、甲斐直美、大矢子人、森英樹、久村正樹　7/4 ～ 7：野坂潮、堀川公平　7/5 ～：丸山直樹、齋藤雄太、滝浪文子、村上由布子、沼倉堅一、田中英三郎、榊原全雄、中村伸一、片山節子、日本心身医学会第 12 班、西宮常代、丹野優次、滋賀県チーム、熊越祐子、藤井孝賢、西田大介、塚本裕一、楠田和義、清水康男　7/11 ～ 13：伊藤偉織、今村洋史、堀井茂男、日笠完治、内富庸介、松本安治、熊坂忠則　7/11 ～ 14：藤田修二、大畑洋介、向山大輔、下村洋平、大井健、安藤恵多、上野幸子、山内美恵子　7/12 ～ 14：飯島克己、冨井悦子　7/12 ～ 15：新潟県チーム、保科志貴子、大原薫、杉本篤言、折目直樹、鈴木亮、細田憲一　7/15 ～ 16：鈴木眞理、黒澤和美、益子雅笛、宇都原亜莉沙、大場康平、増子宗宏、滝田英俊　7/19 ～：滋賀県心のケアチーム、横野文、柴田郁子、廣田一哉、土川與治、田丸幸司、橋本里、釜野安昭、那須未生、藤田潔、永田晋也、新潟県チーム、菅真司、数藤武彦、渋谷恵子、茂野良一　7/20 ～：県立医大こころのケアチーム、角田京子、小澤和輝、聖隷浜松、瀧浪将重　7/21 ～：釜野聖子、矢吹幸江、山本哲也　7/22 ～：浅野勝久、堀雄介、西村力、大野雅博、笠原正文、寺澤光司、森藤豊　7/25 ～：丸田芳裕　7/26 ～：喜田圭一郎、ニーニャ、福山友紀子、新潟県チーム、大原圭、田中晋、山田光恵、樋掛尚文　7/27 ～：相馬フォロアーチーム、吉田克彦、塩満芳子、高崎蘭　7/28 ～：西藤直哉、大西絢子、辻裕美子、牧野有可里

## 3月30日（水）

### そうまさいがいエフエム　開局しました

市では生活情報、道路・交通情報などを市民の皆さまにお伝えするために、「そうまさいがいエフエム」を開設しました。

開設初日の３月30日、９時の放送では立谷市長が「市役所の動き、相馬市の状況を皆さんと情報共有したい。相馬市は一つの共同体。共同体で助け合うんだという気持ちを忘れないで、復興に向かって努力をしていきたい」とあいさつしました。

**ＦＭ放送局を開設しました**　生活関連情報、道路状況、交通情報などを市民の皆さまに、迅速にお伝えします！

**そうまさいがいエフエム**　**周波数：76.6メガヘルツ**
**ラジオのＦＭ放送です**

**【そうまさいがいエフエムの概要】**

●放送時間：常時（定時放送は９時、13時、17時）
●放送局：相馬市役所
●出力：３０ワット
※聴取範囲の目安：アンテナ付ラジオ・カーラジオ＝半径約10km
携帯ラジオ＝半径約4km

**主な放送内容**

▽市内の放射線レベル測定値▽水道水に含まれる放射線濃度▽水道の漏水▽医療機関の情報
▽漁協についての情報▽高速バス・急行バスの情報▽おでかけミニバスの情報
▽津波により流出した写真や位牌の公開情報・ごみ収集のお知らせ　など

※担当課の電話番号、Ｅメールアドレスを放送で伝えるほか、市役所１階ロビーに「リクエストボックス」を設置。
広く市民からの情報提供・応援メッセージを募り、市役所からの一方的な情報提供に留まらず、市民と相互に情報を交換できるような体制を整えている。

## 3月30日（水）

### 神戸・西宮浜小から八幡小へ　たくさんの「こいのぼり」

神戸の震災復興住宅の町にある西宮浜小学校から、約５０匹の「こいのぼり」が３月３０日、避難所となっている八幡小学校に届けられました。

## 3月31日（木）

### 堀下さゆりさん　そうまさいがいエフエムに登場

相馬市出身のシンガーソングライター堀下さゆりさんが「そうまさいがいエフエム」のパーソナリティーとして３月31日から、市内の生活情報などをお知らせしています。

| 第44回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年4月1日(金)　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① | 行方不明者の捜索 | → ア | 捜索体制の構築 | 捜索(原釜・尾浜、日下石、磯部)、重機活用、自衛隊ボート、海中集中捜索(4/1～3) |
| | | ② | 被災地整理 | → ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去(国の指針)、八沢干拓;ポンプ(国交省2台)、柏崎;ポンプ(国交省1台・県16台)、車・船撤去、ガレキ処分県協議会(3/31)、一般家庭ガレキ(集約10ヵ所、運搬4/4～) |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用(被害状況調査3/25・28)、自衛隊40名増員 |
| | | ③ | 被災地確認 | → ア | 被災状況把握 | 被災基準策定(半倒壊など)、市職員チーム編成、他団体の協力検討、罹災証明(4/1～) |
| | | ④ | 生存者・死亡者確認等 | → ア | 連絡不通者確認情報 | 住民基本台帳と突合、部落の情報集約、詳細情報の集約・開示 |
| | | | | イ | 遺体・火葬 | 遺体数、他自治体火葬可能数(伊達市8、二本松市3、福島市5、郡山3・会津若松4、計23体) |
| | | ⑤ | 児童生徒の動向 | → ア | 連絡不通者・死亡者 | 連絡不通者:磯小3、磯中1、計4人、　死亡:磯幼1、磯小8、磯中5、中二中1　計15人 |
| | | ⑥ | 小中学校の授業再開 | → ア | 校舎居住避難者の移住 | 校舎居住人数(573人、移住4/3～予定)、間仕切りでの同一地域の同一避難所収容、 |
| | | | | イ | 区域外就学 | 3/31現在　小学(転出73人・転入328人)、中学(転出13人・転入167人)、計(転出86人・転入495人) |
| 2 | 中期的対応 | ① | 被災者・避難者の生活支援 | → ア | 健康管理 | 精神的ケア、ボランティア医師の避難所巡回、避難所で健康体操、中央病院眼科医の避難所巡回(水・金)、医療機関送迎バス(3/30～) |
| | | | | イ | 食料・物資供給 | 食料品・物資の適正配給、炊出し対象避難所の選定、磯部小での物資供給 |
| | | | | ウ | その他生活支援 | 入浴者3/22～31　延べ3,008人、公共料金の特例措置(別紙)、弁護士相談(拠点、巡回相談) |
| | | ② | 市民生活支援 | → ア | ライフライン(水道、電気、ガス) | 断水戸数120戸(前日比△58戸)、工業用水(仮配水)、マンパワー検討、共同火力(試験通水)、電力復旧 |
| | | | | イ | ガソリン・燃料の販売・備蓄 | ガソリン販売(3/16～4/2まで延長)、灯油販売(3/24～)、ガソリン(備蓄、最低限必要量、供給見通し) |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 | 配給(3/23～25米66t、3/26毛布等)、市議会議員協力、地域限定配給(長靴・ハンドソープなど) |
| | | | | エ | 医療体制、医療・介護機関の実情 | 市内開業医12・調剤薬局9、精神科(公立相馬3/29開設)、南相馬市の病院閉鎖と鹿島厚生・小野田の外来診療再開による中央病院入院患者増、 |
| | | | | オ | 医療・介護施設の支援 | ボランティア(3/31ベテランズ3人、森の都10人、エクセル3人)、 |
| | | | | カ | 支援グループの受け入れ | あくまで本部長の指揮、本部直轄ボランティア(エムセテック4/1;33人、自治労:看護師2人)、ボランティアセンター(4/1登録172人、活動163人)、個人宅清掃支援 |
| | | | | キ | 情報伝達・開示 | 広報そうま号外(No1～7)発行、医療・給油・スーパー等情報、市HPへ掲載、企業団水道水チラシ発行、そうまさいがいエフエム開設(3/30～) |
| | | | | ク | 交通機関 | 臨時バス(相馬・福島1日4往復、相馬・仙台1日5往復)、3/28～生活路線バス再開、相馬・南相馬ジャンボタクシー運行(3/31～) |
| | | ③ | ろう城体制 | → ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会(3/22・30)、米配給で区長協力(3/23～25)、配給システム構築、寝たきり老人等把握(4/4まで) |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | ストックシステムの構築、毛布・ふとん・米・水・缶詰・みそ・梅干など品目別備蓄量、 |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス;7台、トラック;6台、自衛隊の物資輸送等協力、玉野患者バス運行再開(4/5～) |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 国交省九州整備局の輸送船(3/25)、国交省の輸送船(3/29) |
| | | ④ | 避難者自立支援 | → ア | 市調達集合住宅 | 雇用促進住宅;52室、申込;58件、　4/1現在入居済35世帯 |
| | | | | イ | 民間アパート入居 | 民間;148室、アルプス;40室、申込;441件、　4/1現在入居済;199世帯(民間164世帯、アルプス35世帯) |
| | | | | ウ | 仮設住宅建設と移住 | 申込;586件、東G(60戸建設中、4/5着手148戸)、刈敷田(4/3着手予定72戸)、権限委譲 |
| | | | | エ | 生活支援金 | 3/16～31;3,548件、4/1;48件　計3,596件　金額;1億788万円 |
| | | | | オ | 日常生活用品支援 | 引越セットの配布、家電製品の備蓄・支援(別紙)、配布ルール徹底 |
| | | ⑤ | 義援金など | → ア | 義援金 | ダウケミカル1億6,360万円、静岡県裾野市1,800万円、サカイ イワオ様(東京)1,000万円、オリエンタルモーター1,000万円、流山市3,100万円、ニホンメディカルプロ1,000万円、ADEKA700万円など　計340件、2億9千421万円 |
| | | | | イ | 物資支援 | 支援者一覧表、毎日夕方の本部会議で報告 |
| | | ⑥ | 原発事故への対応 | → ア | 情報開示 | 真野ダム水と水源地モニタリング結果公表(企業局HP・広報そうま)、放射能測定値公表(広報そうま・市HP・避難所・公民館)、SPEEDIの試算、水道水モニタリング(3/28摂取制限値以下・3/31・4/3) |
| | | | | イ | 国の指示に従った行動 | 方針の周知(広報そうま号外No2・5)、避難計画策定、寝たきり老人等把握、リックサック1万2千個発注 |
| 3 | 長期的対応 | ① | 被災地及び市内復興 | → ア | 市内生活道路の補修 | 復旧工事(アスファルト舗装・県道の代行補修)、小国町建設業者(市道等補修予定) |
| | | | | イ | 農地等対策 | 冠水田1,100ha(約40%)、水稲作付協議(3/30)、耕起時期延長、農業用水の漏水、土壌調査(3/31) |
| | | | | ウ | 市内企業の現状 | 操業再開　3/21大橋工業、3/22 IHI第4加工棟の一部・アリーナ・ニダック・タコ精機・ソマ、近日中(ハクゾウメディカル、三之橋、ファイマティック)、3/29三星化学 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | | → ア | 南相馬市等原発難民受け入れ | 旧相女高収容数(561人)、ボランティア協力(8人)、南相馬市民へのスクリーニング |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援(物資等) | 3/17　新地:アルファ米2千食、飯舘:水2万ℓ、3/19 南相馬市:アルファ米500食、米600kgなど、南相馬市公用車ガソリン300ℓ、3/23ガソリン20kℓ、　3/26飯舘:水1万ℓ・おむつ200箱、3/30南相馬市:紙おむつ、タオル、マスク等、3/31新地:軽油10kℓ、JA:毛布等 |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 南相馬市へ物資輸送倉庫(卸売市場)貸出(3/22～)、南相馬市へ給水車2台貸出予定(3月末) |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | | → ア | 食料・生活物資 | ふとん、タオルケット、シーツ、カップめん、缶詰、米、スニーカー、ポリタンク等確保、市HPで不用品をPR |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 仮設住宅建設スピードアップ、自衛隊「入浴施設」の継続、薬剤師(県職員)の派遣 |

## 4月4日（月）

### ハクゾウメディカル株式会社よりご支援をいただきました

## 4月6日（水）

### 各地域のひまわり会　高齢者へ声かけ訪問

市内のボランティア「ひまわり会」では、震災後も地域の高齢者一人暮らし世帯への声かけ訪問活動を続け、安心の輪を広げました。

## 消防法被

あの時に、家族を振り切って避難誘導に向かった団員たちのご遺体が、次々と消防法被姿で発見されるなか、長らく行方不明だった稲山分団長が無言の帰還を果たした。とても責任感の強い人だったから、最後まで住民避難に走り回ったのだろう。私に、郷土を想って殉職した怨霊の一分でものり移ってくれと念じ、クローゼットにあった消防法被を着けて執務することにした。

残された家族たちは、しかし、現在７か所に整理された津波被災者の避難所で健気に整然と暮らしている。ブロックごとにリーダーを立て、規律正しく、諍いもなく、笑顔を絶やさずにである。

家族を失い、家を失い、生活手段を失った被災者を支えているのは、地域のコミュニティであり彼らの礼節である。浜で育った私もそうだが、被災地の、自然を畏敬する漁労集落の人々の社会感・人生観は、集団の一員であることを特に大事にする。

外国人が驚嘆する日本人の落ち着きが、もっとも著明に顕れているのは、この相馬の避難所に違いない。

三週目に入った頃に対策本部チームと避難所に一日二回、ラジオ体操を指示した。我われは学童期から団体行動を刷り込まれて育ってきたが、その最たるものが夏休みのラジオ体操だったと思う。外国人から見れば違和感のある光景かも知れないが、非常時に個人主義はなじまない。規律正しい団体行動をラジオ体操が思い出させてくれた。音楽に合わせて全員がそろって手や足を振る姿は逞しくもある。

私をはじめ、被災後の相馬市役所に休日は無く、朝から深夜まで不休の仕事が続くが、疲れとか、ストレスだとか、弱音を吐くものはいない。無くなった方の無念や、被災者の落ち着きと悲しみを想えば、我われはまだ楽だ。しかし、想像もつかないほどの長丁場になることを考慮し、私と副市長、それに部長たち以外は交代で休みを取ることにした。市役所が身体堅固であることも責任の一端だと思うから。

一緒にラジオ体操をしてくれるボランティアの協力があってこそ出来る交代休養だが、兵糧の援助だけでなく、市内外からやってくる優しい気持ちが私や被災者の心を温めてくれる。

災害対策は中期計画に入ってきた。

短期対応は「救命」と「衣食住」だが、中期的な重点課題は「医職住育」。今回の相馬の場合「備える」を加えて「医職住育備」となる。

災害発生から今日まで、救命と捜索、ライフライン、初期医療体制の確保、また原発騒動もあり困難だった食糧・物資獲得や放射能不安対応に専心した。領域が広範にわたる捜索はまだまだ続くが、ここに来て中期的な課題が急務となってきている。

まず、避難所となっている教室を開けて、学校を再開しなければならない。避難所の再編成のためには入所者を減らさなければならないので、賃貸住宅や公営住居へのあっせんと移住をすすめてきた。既存住居への自立支援件数が、学校の教室を確保できる分だけは見込めるようになったので、四月下旬までには再開出来そうだ。したがって中期的な「育」には何とか到達できそうだが、細かい課題は依然として多い。

次の目標は仮設住宅のへの自立だ。仮設住宅は県が建設するとされているが、相馬の場合、市で段取りして一刻も早く作りたい。地域主権論、地方政府論から申し上げれば、直接住民と向き合う基礎自治体に事務能力があれば、任せてもらいたいのだ。阪神大震災の時は神戸市役所に仮設住宅建設の事務委譲がなされたが、今回は県から相馬市への事務委譲を強く求めている。

「医」はライフラインそのものだということも、また総合産業だということも今回わかった。災害医療だけでも膨大な経験をしたが、まだ最終的な医療体制を構築していないので、地域全体の将来設計も含めて今後慎重な議論が必要である。気が遠くなるほど道のりは遠いが、いずれまとめて報告したい。

「職」はもっとも厳しい問題である。これには経済的な危機も含まれる。漁船を漁港もろとも失った漁業者も、田んぼを海水に没した農業者も、生活の手段を失っただけでなく、債務が容赦なく追いかけてくるのだ。この件に関して、我われ市政はあまりにも非力である。国家的な課題として取り組んでもらわないと、災害自殺者が生まれかねない。相馬市では弁護士無料法律相談を県弁護士会に要請したが、被災者の心の拠り所になってくれないだろうか？しかし根本的には、

何でもいいから被災者に仕事をしてもらい、収入の道を探ることが一番の解決策である。私が仮設住宅建設を市の事務として、地元工務店に発注したいと切望するひとつの理由である。

重点事項の最後は放射能拡散に対する「備え」である。私は国から避難指示が出ない限り、市民に避難を呼び掛けることはしない。そのことは前回も書いたし、市民も納得していると考えている。しかし万が一、避難指示地域に指定されることがあったら、その時はある程度の時間をかけて、落ち着いて集団避難することを準備しておかなければならないし、市民も頭の隅に置いてもらわなくてはならない。その可能性に対し、気持ちを緩めないためにもリックサックを一家庭にひとつずつ配ることにした。イザという時のセットを入れておいてもらいたい。入院中の患者については、ある広域医療法人に全て受け取ってもらえる了解をいただいているが、取り越し苦労に終わってほしい。老人ホームなどの介護系入所者についてはこれからだが、在宅の災害弱者も改めて調査中である。

今や物流はほぼ回復したが、基本的な食糧の備蓄は進めている。現在米は市民一人あたり 4 キロ、水は 4 リットルを備蓄した。味噌と梅干しも相当量集まったが、現在も貯蓄中である。

前回のメルマガで、「米と梅干しと味噌さえあればろう城できる」と書いたが、十日たった今は多くの店がオープンした。呼び水になったのはローソン。新浪社長とはこの件ではじめて知り合ったが、お互い意気投合して相馬店の再開方法を何度も話し合った。積極的で企画力にあふれる彼が、ついに相馬店をオープンさせてくれた時は暗闇に明かりが灯る思いだった。その他、東京医大臼井学長、東大の上教授、中村教授、女子医大田上教授、徳州会徳田理事長にも温かいサポートをいただいている。この稿を借りて深謝したい。

相馬市では現在まで 378 体のご遺体を収容したが、未だ 200 人余りの捜索対象者がおいでになる。今後も懸命の作業を続けなければならないが、一方、中期的な課題解決は、同時に相馬市の将来像や相馬地方全体の復興ビジョンを視野に入れた長期計画の始まりでもある。この戦いがいつまで続くか計り知れないが、まだ始まったばかりであることは間違いない。

## 4月7日（木）

### 歌手・小林幸子さん　相馬市民激励

歌手の小林幸子さんが４月７日、相馬市内の避難所９か所を訪問し、被災者たちを激励しました。

## 4月8日（金）

### 県外建設業者など　ボランティアで市道のがれき撤去

市道のがれき撤去などに県外の建設業者などがボランティアで駆けつけ、市内で作業を続けました。

第62回　災害対策本部　（資料）

平成23年4月10日（日）　18時～

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① 行方不明者の捜索 | → | ア | 捜索体制の構築 |
| | | | | | 捜索、重機活用、自衛隊、海上保安庁,消防団員,沿岸部集中捜索(2回目) |
| | | ② 被災地整理 | → | ア | ガレキの撤去・処分、排水 |
| | | | | | 私有物撤去(国指針)、排水ポンプ(八沢:国3台南5台、柏崎:県16台、岩子:国1台)、車・船撤去、倒壊家屋のガレキ撤去同意、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ(集約10ヵ所、運搬)、ガレキ量と処理 |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 |
| | | | | | 自衛隊ヘリ活用(被害状況調査3/25・28・4/4)、　自衛隊マイクロバス(1台・運転手付) |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア | 被災状況把握 |
| | | | | | 被害調査(4/4～6計75件)、罹災証明(4/10;40件、計1,156件)、被災家屋調査(4/10;46件　計104件) |
| | | ④ 生存者・死亡者確認等 | → | ア | 推定不明者状況 |
| | | | | | 住民基本台帳突合、推定不明者173人(磯部52、蒲庭3、岩子1、原釜48、尾浜69) |
| | | | | イ | 遺体・火葬 |
| | | | | | 4/9　遺体400体(うち身元判明355体)、　火葬368体(うち身元判明344体) |
| | | ⑤ 児童生徒の動向 | → | ア | 不明者・死亡者 |
| | | | | | 不明者2人(磯小2)、死亡17人(磯幼1、磯小9、磯中6、二中1)、震災孤児5人(磯小1、二小1、磯中2、二中OB1)、片親小中学生19人(磯小6、桜小1、磯中8、一中1、二中3)、住基台帳の孤児等0～18歳:37人 |
| | | ⑥ 小中学校の授業再開 | → | ア | 学校教育再開の取組み |
| | | | | | 4/18新学期開始(学校給食4/25～)、磯幼小中61人・中二小中70人送迎検討、児童生徒の屋外生活対応 |
| | | | | イ | 区域外就学 |
| | | | | | 4/3南相馬市と協議、区域外就学(転入:小101、中150)、旧女子高の危険建築物の影響 |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災者・避難者の生活支援 | → | ア | 健康管理 |
| | | | | | ボランティア医師巡回、中央病院眼科医巡回(月・金)、インフルエンザ1人、福医大巡回、心のケア(4/12臨床心理士)、歯科医師巡回(毎週土)、はり・マッサージ提供、4/11八幡小閉鎖、空気清浄器設置 |
| | | | | イ | 法律相談 |
| | | | | | 目的(経済的相談、精神的バックアップ、自殺予防)、弁護士相談(4/11～分庁舎常駐・巡回) |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 |
| | | | | | 食料品・物資の適正配給、二小・二中へ運動着配給、避難者給食・仕出提供(4/17～) |
| | | | | エ | その他生活支援 |
| | | | | | 入浴3/22～4/9;5,662人、消石灰364袋配布、4/10自衛隊音楽隊、漁民(675人)米1.6t支援 |
| | | ② 市民生活支援 | → | ア | ライフライン(水道、電気、NTT) |
| | | | | | 断水13戸(前日比△12戸)、工業用水(仮配水)、共同火力(通水)、電力(停止手続)、NTT臨時窓口 |
| | | | | イ | ガソリン・燃料の販売・備蓄 |
| | | | | | ガソリン・灯油(通常販売)、ガソリン(備蓄、最低限必要量、供給見通し) |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 |
| | | | | | 配給済(米66t、毛布等)、市議会議員協力、地域限定配給(4/9飯豊地区:長靴)、市民配給のタイミング |
| | | | | エ | 医療体制、医療・介護機関の実情 |
| | | | | | 市内開業医平常診療、南相馬市の病院閉鎖と外来診療再開の影響、4/6病院長会議、在宅老人巡回訪問、ふきのとう(通所サービス開始)、精神科医2人体制、 |
| | | | | オ | 医療・介護施設の支援 |
| | | | | | ボランティア(4/10　ベテランズ3人、エクセル3人) |
| | | | | カ | 支援グループの受け入れ |
| | | | | | 本部長の指揮の下、直轄ボランティア(4/10:MS社37人、ICC社3人、自治労看護師2人)、ボランティアセンター(4/10登録277人、活動276人、被災宅泥除去・家具搬出等30件、186人)、4/4～流山市職員(2人) |
| | | | | キ | 情報伝達・開示 |
| | | | | | 広報号外(NoI～9)、給油等情報、市HP掲載、水道水チラシ、そうまさいがいFM(4/11-3分間黙とう) |
| | | | | ク | 交通機関 |
| | | | | | 臨時バス(相馬・福島、相馬・仙台)、相馬・南相馬jタクシー、JR(4/12～相馬・亘理バス、亘理・岩沼電車) |
| | | ③ ろう城体制 | → | ア | 地域行政組織の現行体制維持 |
| | | | | | 区長会(2回)、米配給区長協力、災害弱者分析(192人うち寝たきり老人76人) |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 |
| | | | | | ストックシステムの構築、品目別備蓄量、家電製品保管、旧中一小校舎使用 |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 |
| | | | | | 運送車両バス;7台、トラック;4台、自衛隊の物資輸送等協力、玉野患者バス運行 |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 |
| | | | | | 輸送船(3/25・29)、軽油空ドラム缶保管 |
| | | ④ 避難者自立支援 | → | ア | 市調達集合住宅 |
| | | | | | 雇用促進住宅;52室、4/10現在　入居済43世帯 |
| | | | | イ | 民間アパート入居 |
| | | | | | 民間;148室アルプス 40室、　4/10現在　入居済222世帯(民間188世帯、アルプス34世帯) |
| | | | | ウ | 仮設住宅建設と移住 |
| | | | | | 戸数(東G208、刈敷田72、西地区136今週着工)、市500戸(県調整)、移住計画(4/13区長説明)、赤十字の家電提供(洗濯機・冷蔵庫・テレビ・炊飯器・電子レンジ・電気ポット) |
| | | | | エ | 生活支援金 |
| | | | | | 3/16～4/9;3,966件、4/10;42件　計4,008件　金額　1億2,024万円、 |
| | | | | オ | 日常生活用品支援 |
| | | | | | 自立支援セット・間借りセットの配布、配布ルール徹底(現物主義) |
| | | ⑤ 義援金など | → | ア | 義援金 |
| | | | | | ダウケミカル1億6,360万円、県市町村振興1億円、流山市民3,100万円、静岡県裾野市1,800万円、サカイイワオ様(東京)1,000万円、オリエンタルM1,000万円、ニホンメディカルプロ1,000万円など 合計490件、4億2,148万円 |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 |
| | | | | | 募金開始のための口座開設、市HPなどでのPR、該当者(0～18歳)37人 |
| | | | | ウ | 物資支援 |
| | | | | | 支援者一覧表(庁議室外側の壁面掲載) |
| | | ⑥ 原発事故への対応 | → | ア | 情報開示 |
| | | | | | 真野ダム・水源地モニタリング結果公表、放射能測定値公表、SPEEDIの試算、水道水モニタリング(4/3・5摂取制限値以下)、市内学校等放射能モニタリング |
| | | | | イ | 国の指示に従った行動 |
| | | | | | 方針周知(広報号外)、避難計画、寝たきり老人等分析、リックサック追加発注(1,500個納品4/16頃) |
| 3 | 長期的対応 | ① 被災地及び市内復興 | → | ア | 市内生活道路の補修 |
| | | | | | 復旧工事(仮復旧中)、市外建設業ボランティア |
| | | | | イ | 農地等対策 |
| | | | | | 冠水田1,100ha(約40%)、農業用水漏水、土壌調査結果(4/7)、水田耕起による排水問題 |
| | | | | ウ | 漁業対策 |
| | | | | | 漁船被害等調査(全損336隻など)、補償内容把握 |
| | | | | エ | 市内企業の現状 |
| | | | | | 操業再開　3/21～4/5(大橋工業、IHI一部、アリーナ、ニダック、タコ精機、ソマ、三星化学、ハクゾウ、オリエンタル、三之橋一部)、近日中(ファイマティック)、共同火力(来年夏までに操業再開) |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア | 南相馬市等原発難民受け入れ |
| | | | | | 旧相女高収容数(541人)、スクリーニング、旧女子高の危険建築物の影響 |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援(物資等) |
| | | | | | 3/17　新地:ｱﾙﾌｧ米2千食、飯舘:水2万ℓ、3/19 南相馬市:ｱﾙﾌｧ米500食など、南相馬市ガソリン300ℓ、3/23ガソリン20kℓ、　3/26飯舘:水1万ℓなど、3/30南相馬市:紙おむつ等、3/31新地:軽油10kℓ、JA:毛布等、南相馬市:4/1ガソリン20kℓ　4/2大町病院:毛布100枚、4/3南相馬市:ガソリン20kℓ |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 |
| | | | | | 3/22～南相馬市へ物資輸送倉庫(卸売市場)貸出、 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア | 食料・生活物資 |
| | | | | | 食糧(米・缶詰・カップメン等)、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 |
| | | | | | 仮設住宅建設短縮、自衛隊入浴施設、薬剤師派遣、ドクターコーディネーター、弁護士費用国庫負担 |

## 4月8日（金）

### 「頑張るぞ相馬」シール寄贈　谷沢製作所

谷沢製作所相馬工場から4月8日、菊地法行工場長らが訪れ、「頑張るぞ　相馬」シール3,000枚が立谷市長に手渡されました。

## 4月10日（日）

### 参議院議員・三原じゅん子氏　相馬を視察

参議院議員・三原じゅん子氏が4月10日、相馬市を訪れ、津波の被害状況などを視察しました。

## 4月10日（日）

### 演奏で勇気づけ　陸上自衛隊音楽クラブ

陸上自衛隊音楽クラブが4月10日、避難所となっているはまなす館やスポーツアリーナそうまの駐車場で演奏を披露しました。

## 4月10日（日）

### クラップスそうま　手作り千羽鶴

チアリーダーグループ・クラップスそうまが4月10日相馬市役所を訪れ、千羽鶴を佐藤憲男副市長に手渡しました。

## 4月11日（月）

# 東日本大震災無料法律相談会

震災による法律問題でお悩みの方を対象に、無料法律相談が市役所分庁舎で開催されています。

## 経済自殺対策として、無料法律相談会を開催

### ■経済的相談・精神的バックアップ

- **避難所巡回相談会**
  4月4日（月）から実施
- **常設無料相談会**
  4月11日（月）から実施

**常設無料相談会の概要**

開催日時　平日・14時～19時
開催場所　市役所分庁舎
　　1会議室（2階）
主催　福島県弁護士会
後援　相馬市四団体協議会
　　司法書士会・行政書士会・
　　土地家屋調査士会・税理士会
※電話による相談も随時受け付け。

### 各分野の専門家が揃うワンストップ窓口

- 弁護士：法テラス、日本弁護士連合会
- 司法書士
- 税理士
- 土地家屋調査士
- 行政書士

## 4月11日（月）

### 震災から一カ月　犠牲者へ黙とう

三陸沖を震源とする国内観測史上最大規模の地震と津波が発生してから一カ月。

4月11日の14時46分、今回の災害により亡くなられた方々の冥福を祈り、一分間の黙とうがささげられました。

## 4月12日（火）

### 身も心も温まる　玉ノ井部屋ちゃんこ炊き出し

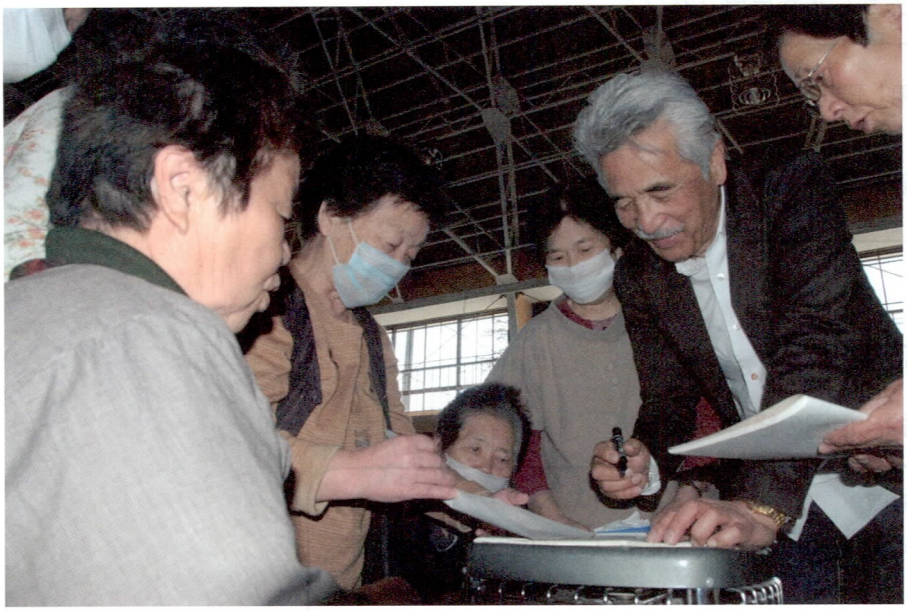
大相撲玉ノ井部屋の炊き出しは4月12日、13日の二日間、市内10カ所の避難所で行われました。

## 4月14日（木）

### 北海道豊頃町よりご支援をいただきました

## 4月16日（土）

### さとう宗幸さん　避難所で「ふるさと相馬」披露



「青葉城恋歌」や相馬市民には「ふるさと相馬」で知られる歌手・さとう宗幸さんが4月16日、市内の避難所を訪れ、歌で避難者を激励しました。

## 4月17日（日）

### 避難者へ栄養管理メニュー　向陽中で試食会

震災以降、ボランティアの炊き出しと支援物資で供給していた市内避難所の食事が4月18日からシダックスフードサービス㈱と市が共同で提供する学校給食スタイルのものに変わりました。

## 避難所での栄養管理と仮設住宅での孤独者対策

### ■避難所での給食配給

※管理栄養士による栄養管理
長期化する避難生活で、野菜不足や塩分の取りすぎが懸念されていたが、栄養面が管理されたメニューで避難者の健康維持を図るもの。

※調理師は、避難所へ避難している方から市が雇用（35人）

**●朝食：**　学校の給食室を使用し調理　⇒　配給
**●昼食：**　仕出し弁当を配給
**●夕食：**　学校の給食室を使用し調理　⇒　配給

### ■仮設住宅での給食配給・生活支援

※約1,500世帯を対象として、年間約3億円の経費の見込み

**●朝食および昼食：**　自分で調理
（入居時の支援として、米30kg/人、調理器具を配給）
**●夕食：**　給食の配給
・配給　　高齢世帯・独居世帯＝**集会所で会食**
・一部配給　その他の世帯＝**集会所で配給**

## 4月17日（日）

### ご協力ありがとうございました　おにぎり炊き出しボランティア

3月13日から開始された「おにぎり炊き出しボランティア」は4月17日、最後のおにぎり作りを行いました。

## 4月18日（月）

### 震災に負けず新たな一歩を　市内小・中学校入学式

市内の小・中学校の入学式は4月18日、一斉に行われ、697名の児童と生徒が入学式に臨みました。

4月18日（月）

## 広がる笑い　コロッケさん、コージー冨田さん、トニーヒロタさんライブ

4月18日、ものまねなどでおなじみのコロッケさん、コージー冨田さん、トニーヒロタさんが中村二小、中村二中、はまなす館を訪れました。

4月18日（月）

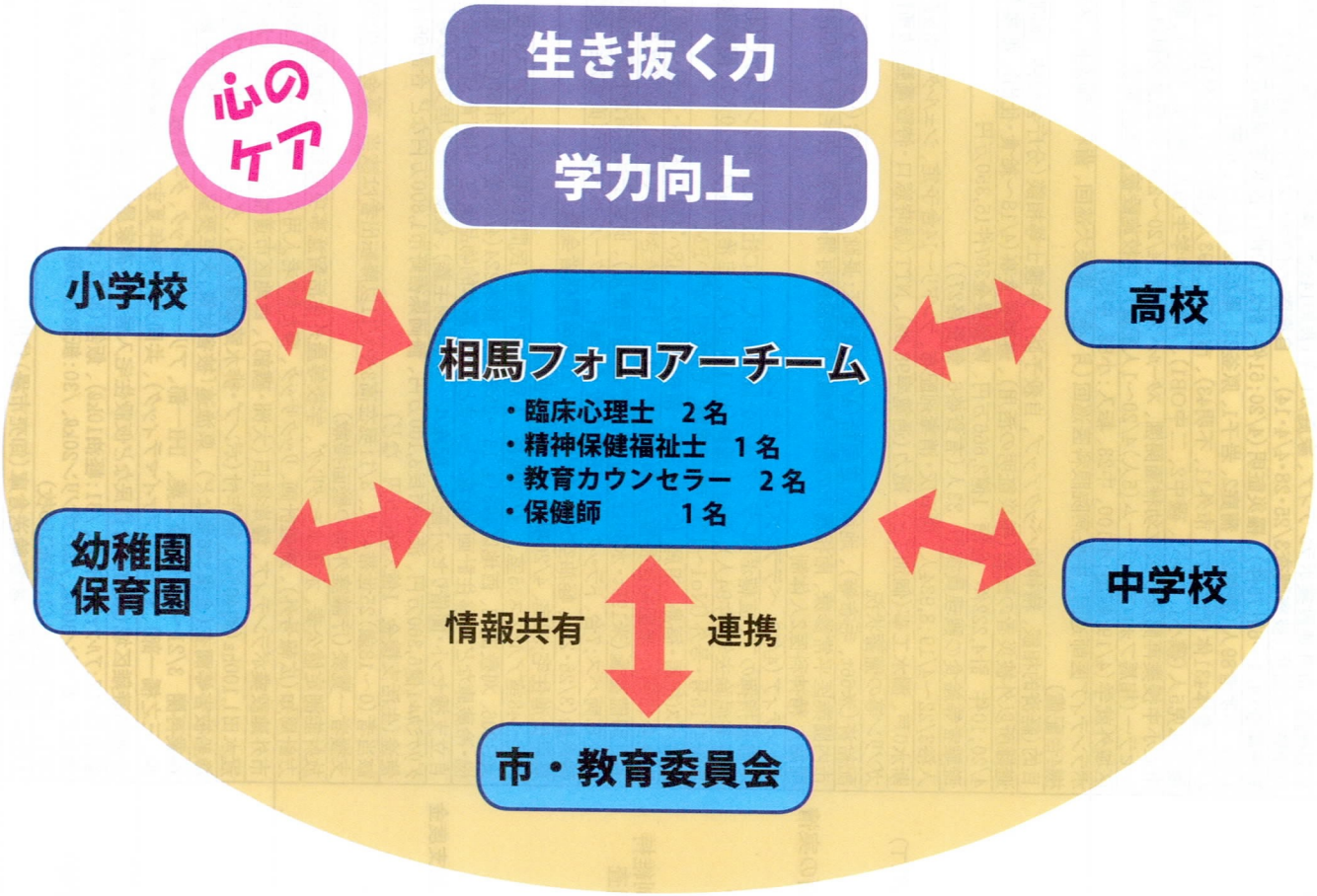
## シンガーソングライターのう～みさん　歌と元気をプレゼント！

4月18日、19日の二日間、シンガーソングライターのう～みさんは被災者を元気づけようと相馬市を訪れ、市内のあちこちで笑顔と歌声を届けました。

| 第82回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年4月20日（水）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① | 行方不明者の捜索 | → ア | 捜索体制の構築 | 捜索、重機活用、自衛隊、警察、消防団員 |
| | | ② | 被災地整理 | → ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、排水ポンプ（八沢：国3台南5台、柏崎：県16台、和田：国1台）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、ガレキ撤去等工程表 |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査3/25・28・4/4・14）、自衛隊マイクロバス（1台・運転手付） |
| | | ③ | 被災地確認 | → ア | 被災状況把握 | 被害調査（4/4～6計75件）、罹災証明（4/20；61件、計2,130件）、被災家屋調査（4/20；63件 計626件） |
| | | ④ | 生存者・死亡者確認等 | → ア | 不明者状況 | 4/20　不明者89人（磯部29、蒲庭2、岩子1、原釜23、尾浜32、山上1、小野1） |
| | | | | イ | 遺体・死亡・火葬の状況 | 4/19　遺体431体（市民377、市外11、不明43）、市民死亡393人（市内377、市外16）、火葬410体（身元判明382体） |
| | | ⑤ | 児童生徒の動向 | → ア | 震災孤児等 | 震災孤児5人（磯小1、二小1、磯中2、二中OB1）、片親小中学生19人（磯小6、桜小1、磯中8、一中1、二中3） |
| | | ⑥ | 小中学校の授業再開 | → ア | 学校教育再開の取組み | 市立小中授業再開及び公立幼稚園開園、スクールバス運行、4/20～22ローソン昼食提供（3,459食×3日）、スクールカウンセラー（相馬フォロアーチーム（5人）4/20～1人配置）、学校施設被災区分調査 |
| | | | | イ | 区域外就学 | 区域外就学（4/19；転出：小100、中23、転入：小82、中35） |
| 2 | 中期的対応 | ① | 被災者・避難者の生活支援 | → ア | 健康管理 | ボランティア医師巡回、中央病院眼科医巡回（月・金）、福医大巡回、歯科医師巡回、メタボ対策、粉じん対策（掃除機4台配備） |
| | | | | イ | 法律相談 | 目的（経済的相談、精神的バックアップ、自殺予防）、弁護士等相談（分庁舎43件、巡回88件） |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 | 避難所以外被災者の配給（罹災証明の活用）、避難者食事（4/18～給食・仕出）、漁業者（4/18米7t） |
| | | | | エ | 生活支援金・県義援金 | 4/20；10件　計4,222件　金額　1億2,666万円、県義援金307件15,350万円 |
| | | | | オ | 雇用 | 避難者等給食の調理員採用　33人（有資格6、無資格27）） |
| | | | | カ | その他生活支援 | 入浴3/22～4/19；8,934人、消石灰・消毒剤配布、ランドリー14台予定、シェルターボックス設置 |
| | | ② | 市民生活支援 | → ア | ライフライン（水道、電気、NTT） | 断水0戸、漏水工事（個別ごと）、電力（通電率98.8%）、NTT（臨時窓口・特設電話2カ所設置、蒲庭不通） |
| | | | | イ | ガソリン・燃料の備蓄 | ガソリン等の備蓄状況 |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等）、地域限定配給（4/9飯豊地区：長靴）、市民配給（リックサック、水） |
| | | | | エ | 医療体制、医療・介護機関の実情 | 市内開業医平常診療、南相馬市の病院閉鎖と外来診療再開の影響、在宅老人巡回訪問、ふきのとう（通所サービス開始）、精神科医2人体制、 |
| | | | | オ | 医療・介護施設の支援 | ボランティア（4/20　ベテランズ2人、エクセル2人） |
| | | | | カ | 支援グループの受け入れ | 本部長指揮の下、直轄ボランティア（4/20：MS社45人、ICC社14人）、ボランティアC（4/20登録106人、活動108人、被災宅泥除去等9件94人）、流山市職員（4/11～10人）、自治労（4/11～10人）、関東財務局（4/18～3人） |
| | | | | キ | 情報伝達・開示 | 広報4/15号・号外（No1～12）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | ク | 交通機関 | 臨時バス（相馬・福島、相馬・仙台）、相馬・南相馬Jタクシー、JRバス電車（相馬・亘理・岩沼） |
| | | ③ | ろう城体制 | → ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（2回）、米配給区長協力、災害弱者192人（うち寝たきり老人47人）、4/22区長会 |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米195t・水301t）、中一小校舎（倉庫使用）、旧女子高体育館保管物資移動（高校授業活用） |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；7台、トラック；4台、玉野患者バス運行、スクールバス運行（直営2台、委託3台） |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、軽油空ドラム缶保管、4/21港湾関係者会議 |
| | | ④ | 避難者自立支援 | → ア | 市調達集合住宅 | 雇用促進住宅；52室、4/20現在　入居済40世帯 |
| | | | | イ | 民間アパート入居 | 民間；148室アルプス35室、　4/20現在　入居済227世帯（民間193世帯、アルプス34世帯） |
| | | | | ウ | 仮設住宅建設と移住 | 東G206、刈敷田72、西地区498（4/13～25着工）、柚木224（4/25着工）、市500戸（県調整）、日赤家電セット（洗濯機・冷蔵庫など）、移住計画（地域ごとのまとまり）、基本的物品選定、犬飼育（市外居住者公募143件） |
| | | | | エ | 日常生活用品・仮設住宅入居支度金 | 自立支援セット・間借りセット配布、配布ルール（現物主義）、仮設住宅入居支度金等（1世帯10万円、1人米30Kg） |
| | | ⑤ | 義援金など | → ア | 義援金 | ﾀﾞｳｹﾐｶﾙ1億6,360万円、流山市民3,100万円、静岡県裾野市1,800万円など 合計661件、3億6,868万円、 義援金使途（生活支援金　1億2,666万円　など） |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 | 該当者（0～18歳）25世帯43人、3/11現在高3や3/11以降転出者は該当、募金4/20；3件　計42件 1億4,609万円 |
| | | | | ウ | 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載） |
| | | ⑥ | 原発事故への対応 | → ア | 情報開示 | 放射能測定値公表、水道水ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ、学校等屋外生活留意事項周知、玉野地区説明会（4/22午前10時～玉野中） |
| | | | | イ | 万が一の為の準備 | 方針周知（広報号外）、避難計画、リックサック、寝たきり老人用タンカ納品（4/19）と配置 |
| 3 | 長期的対応 | ① | 被災地及び市内復興 | → ア | 道路・護岸等の復旧 | 市外建設業ボランティア、護岸復旧（大洲・磯部）、西地区市道補修、日下石・石上線通行止（湖岸提決壊） |
| | | | | イ | 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、稲作付（ポンプ・排水路修復など）、ダム放水（5/9～）と捜索、野菜等出荷・授取自粛 |
| | | | | ウ | 漁業対策 | 漁船被害等調査（全損336隻など）、県漁連「被害対策」大臣要望、コウナゴ授取自粛、4/18漁業関係者意見交換 |
| | | | | エ | 市内企業の現状 | 操業再開　3/21～4/5（大橋工業、IHI一部、アリーナ、ニダック、タコ精機、ソマ、三星化学、ハクゾウ、オリエンタル、三之橋一部）、近日中（ファイマティック）、共同火力（来年夏までに操業再開） |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | | → ア | 原発難民受け入れ | 計画的避難区域（飯舘大倉住民など仮設住宅入居）、小高家屋流失等罹災者（仮設住宅等入居） |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（3/17：ｱﾙﾌｧ米2千食、/31：軽油10kℓ）、飯舘（3/17：水2万ℓ、/26：水1万ℓなど）、南相馬市（3/19：ｱﾙﾌｧ米500食など、ガソリン300ℓ、/23：ガソリン20kℓ、/30：紙おむつ等、4/1：ガソリン20kℓ、/3：ガソリン20kℓ）、JA（3/31：毛布等）、大町病院（4/2：毛布100枚） |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 3/22～南相馬市へ物資輸送倉庫（卸売市場）貸出、 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | | → ア | 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカー など確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 自衛隊入浴施設、弁護士費用国庫負担、玉野地区測定値公表（4/22説明会開催）、松川浦湖岸堤復旧 |

## 4月20日（水）

**ＰＴＳＤ対策　相馬フォロアーチーム活動開始**




## 6月2日　ＮＰＯ化設立総会開催

### 相馬フォロアーチーム　活動の概要

**■相馬フォロアーチームとは**

「相馬フォロアーチーム」とは、3月11日に発生した東日本大震災により被災した児童、生徒、園児の心のケアを行うことを目的に結成されたチームです。

学校（園）に常駐し、親身になって心のケアを行うとともに、児童や生徒の交流を目的とした各種イベントを開催し、長期的なケアを行っていくものです。

**スタッフ**

臨床心理士　２名
精神保健福祉士　１名
教育カウンセラー　２名
保健師　　１名

**■活動内容**

**●日常時**

磯部幼稚園、磯部小学校、磯部中学校、中村第二小学校、中村第二中学校に常駐し、児童生徒、教職員、保護者を対象に相談業務を行う。

**●夏休みなど**

各学校において、希望する児童生徒、教職員、保護者を対象にスクールカウンセリングを行う。

併せて、福島医科大学の「心のケアチーム」と一緒に仮設住宅の集会所を訪問し、相談活動を行う。

## 4月20日（水）

### ローソンから　学校給食用お弁当贈呈

株式会社ローソンから市内各小中学校・公立幼稚園への昼食として同社のお弁当などが提供され、４月２０日には贈呈式が行われました。

## 4月20日（水）

### 相高・相馬東高吹奏楽部　はまなす館で演奏

相馬高校、相馬東高校生合わせ３７名の吹奏楽部員が避難所となっているはまなす館のロビーで４月１７日、演奏を披露し避難者を激励しました。

## 4月23日（土）

### 野田財務相と玄葉国戦相へ　支援を要望

野田佳彦財務相、玄葉光一郎国家戦略担当相は4月23日、相馬市を訪れ立谷市長と面談しました。

## 4月23日（土）

### 被災者を元気づける　すその水ギョーザ

4月23日、東部公民館で静岡県裾野市特製の「すその水ギョーザ」800食の炊き出しが行われました。

## 4月23日（土）

### 茨城県つくば市よりご支援をいただきました

## 4月24日（日）

### 相馬市の被害状況を視察　仙谷官房副長官、辻元首相補佐官

仙谷由人官房副長官は4月24日、辻元清美首相補佐官らと相馬市を訪れ、津波の被害状況などを視察しました。

## 震災孤児等支援金支給条例

被災から 40 日たって巨大津波の相馬市の被害の全容が明らかになってきた。

まず、床上浸水以上、つまり津波による流水の前に住人が生命の危機に曝された家屋が 1512 世帯、住民基本台帳での人口は、前回から修正して 5249 人だった。その中で、今日の段階で死者および行方不明者の合計は 475 人。津波襲来の時にこのうちの何人が被災地にいたのかは不明だが、現段階で死亡者の数が一割を切っていることには、驚きと感謝の気持ちを禁じえない。原型をとどめた家屋がほとんどない程の大津波から、9 割の住民を避難させたのは地元の消防団員たちだった。しかし、その犠牲者数は前回のメルマガ時から 3 人増えて 10 人となった。

磯部地区の方々が集団で避難生活をしている「はまなす館」で、殉職された消防団員のお母上とお会いして首を垂れた。息子を亡くした心中を察するに、私は何と申し上げたら良いか？お詫びしたい自分の気持ちをどのようにお伝えすべきか？迷いながら視線を上げた私の前で、背筋を凛と伸ばした彼女は気丈だった。「止めたのに、仕事だからと言って避難誘導に向かった。やさしくて良い息子だった。残した子どもたちのためにも私はしっかり生きなくてはならない」

殉職した消防団員 10 人の子供の数は 11 名、うち 18 歳未満は 9 名である。社会人として自立する前の子供たちを残して、死んでいった彼らの気持ちを思うと胸が苦しくなる。さぞや無念、心残りだったろう。多くの市民を助けた代償としても、余りにも重く、辛い。相馬市が続く限り、市民は彼らを忘れてはならない。

我われ残された者たちが、父親の無念の代わりを果たすことなど、とても出来ないことだが、万分の一でもの償いと思い、生活支援金条例を作ることとした。遺児たちが 18 歳になるまで月々 3 万円を支給するものである。全くの孤児となった、あるいは片親だけを合わせ、今回の災害で親を亡くした 18 歳未満孤児または遺児は、全部で 44 人にのぼる。この子らが成長するまでの経済的負担の一部を、市の責任で担っていくことを市民の総意で決めようと考えている。今月の臨時議会にかけ議決を得しだい支給することとしたい。

財源は、遺児たちのための義援金の基金口座を作ったので、出来れば世界中からの善意をいただきたいと思っているが、不足する場合は市の一般財源で対応する。総額は約 2 億円。

もしも、義捐金がこれを突破することがあれば、次には大学進学のための奨学金などに充てていきたい。その際は条例を改正することになるが、もうひとつの条件は、孤児らに、将来強く生きていくための学力をつけさせることである。

相馬市の小・中学校は 4 月 18 日に遅れた新学期を迎えたが、心配したとおり被災地の子どもたちは、心の傷が学習の障害になっている。我われは、臨床心理士と保健師ら常勤 6 人体制による「相馬フォロアーチーム」を結成し、教育委員会の別働隊として被災児童生徒のサポート体制を敷いた。現段階で 2 年は継続することとしているが、仮に精神が安定した後もしばらくは、学力向上のためにきめ細かな指導を続けてもらいたいと思っている。

先日、私のメルマガを読んだというフィンランドと英国のテレビ局が取材に来たので、「貴国の友情をこの子らに！」と呼びかけた。ゆえに相馬市のホームページの義援金口座ワッペンは英語バージョンも用意した。

拙稿の読者諸兄にもご賛同いただけるよう、平身低頭。

## 4月26日（火）

### 平成23年第2回相馬市議会臨時会

第2回臨時会で制定された条例については、以下のとおり。

## 相馬市震災孤児等支援金支給条例

### ■目的

東日本大震災により被災した震災孤児等に対し、学業や生活の支援を行うことを目的として支援金を月額3万円給付するため条例を制定するもの

### ■支給を受ける者の要件

平成２３年３月１１日に相馬市に住所を有するもので、東日本大震災により、両親又はその一方を亡くした者、または市長が認めたもの。ただし、１８歳に達する日以後の最初の３月３１日までの間にあるもの。

### ■支援金の額

支援金の額は、月額３万円とする。

### ■支援金の財源

支援金の財源は、相馬市震災孤児等支援金支給基金を充てる。

## 相馬市震災孤児等支援金支給基金条例

### ■目的

東日本大震災により被災した震災孤児等に対する支援金の支給に関する事務を円滑に行うことを目的として、支援金を給付するための基金を設置するため制定するもの。

### ■積み立てる額

基金として積み立てる額は、毎会計年度の一般会計予算の定めるところによる。

## 相馬市仮設住宅入居支度金支給条例

### ■目的

東日本大震災により被災し仮設住宅に入居する世帯に対し、仮設住宅入居世帯の自立への援護を目的として１世帯１０万円を支給するため制定するもの。

### ■支給対象者

市内の仮設住宅に入居することが決定し、入居時に相馬市に住所を置いている世帯の世帯主。

### ■支度金

１世帯につき１０万円。

相馬市条例第十一号

# 相馬市震災孤児等支援金支給条例

（目的）

第一条　この条例は、東日本大震災により親を亡くした孤児等に対して、支援金を支給し、その学業や生活を支援することを目的とする。

（支給を受ける者の要件）

第二条　支援金は、次の各号のいずれかに該当する者（以下「震災孤児等」という。）に対して支給するものとする。ただし、十八歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある者に限る。

一　平成二十三年三月十一日に本市に住所を有する者であって、東日本大震災により、両親又はその一方を亡くした者

二　前号に準ずる者で、市長が認めたもの

2　前項の規定にかかわらず、震災孤児等が次の各号のいずれかに該当するときは、支援金は支給しない。

一　養子縁組により養父母を得たとき。

二　生活保護法（昭和二十五年法律第百四十四号）に規定する被保護者となったとき。

三　その他支援金の支給を受ける者として適当でないと市長が認めたとき。

（支援金の額）

第三条　支援金の額は、月額三万円とする。

（支援金の財源）

第四条　この条例に定める支援金の財源は、相馬市震災孤児等支援金支給基金をもってこれに充てるものとする。

（申請）

第五条　震災孤児等が、支援金の支給を受けようとするときは、市長に申請しなければならない。

（支援金の支給）

第六条　支援金は、震災孤児等本人に支給する。

（支援金の返還）

第七条　市長は、偽りその他不正な手段により支援金の支給を受けた者があるときは、当該支給金をその者から返還させることができる。

（委任）

第八条　この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

## 4月26日（火）

### ハーモニカにのせたメッセージ　ジェリー藤尾さん

4月26日、歌手のジェリー藤尾さんは相馬市を訪問し、そうまさいがいエフエムに出演しました。

ジェリー藤尾さんは持参のハーモニカで「ふるさと」を奏で、「ふるさとへの思いを大切にして。めげずに前を向いて、空を見上げて進んでほしい」と市民へメッセージをおくりました。

## 4月30日（土）

### 連休で県内外から　ボランティア駆けつける

大型連休2日目の4月30日、相馬市災害ボランティアセンターでは154人の活動がありました。

| 第101回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年4月30日（土）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 短期的対応 | ① | 行方不明者の捜索 | → ア | 捜索体制の構築 | 捜索、重機活用、自衛隊、警察、消防署、消防団員、区長等の現地確認4/29～ |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査3/25・28・4/4・14）、　自衛隊マイクロバス（1台・運転手付） |
| | | ② | 生存者・死亡者確認等 | → ア | 不明者状況 | 4/29　不明者64人（磯部22、原釜15、尾浜24、山上1、小野1、和田1） |
| | | | | イ | 遺体・死亡・火葬の状況 | 4/29　遺体436体（市民392、市外13、不明31）、市民死亡409人（市内392、市外17）、火葬430体（身元判明395体） |
| | | | | ウ | 震災孤児等 | 震災孤児5人（磯小1、二小1、磯中2、二中OB1）、片親小中学生19人（磯小6、桜小1、磯中8、一中1、二中3） |
| | | ③ | 被災地確認 | → ア | 被災状況把握 | 被害調査（4/4～6計75件）、罹災証明（4/30；21件、計2,728件）、被災家屋調査（4/30；25件 計1,103件） |
| 2 | 中期的対応 | ① | 被災地整理 | → ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、排水ポンプ（八沢：国1台）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬） |
| | | ② | 被災者・避難者の生活支援 | → ア | 健康管理 | ボランティア医師巡回、中央病院眼科医巡回（月・金）、福医大巡回、歯科医師巡回、メタボ対策（栄養バランスのとれた食事提供）、避難所粉じん対策（空気清浄機・掃除機配置）、医師夜間巡回 |
| | | | | イ | 法律相談 | 目的（経済的相談、精神的バックアップ、自殺予防）、弁護士等相談（分庁舎85件、巡回145件） |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 | 避難所以外の配給（罹災証明の活用）、避難者食事（4/18～給食・仕出）、漁業者（4/18米7t、4/23米3t） |
| | | | | エ | 生活支援金・県義援金 | 生活支援金4/30；5件　計4,273件1億2千819万円、県義援金862件4,310万円 |
| | | | | オ | 雇用 | 避難者等給食の調理員採用34人（有資格8、無資格26）、流木現場切断作業員募集32人（応募4/30；31人） |
| | | | | カ | その他生活支援 | 入浴3/22～4/29；11,779人、消石灰・消毒剤配布、ランドリー14台設置（4/30）、シェルターボックス設置 |
| | | ③ | 今後の教育のあり方 | → ア | 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬フォロアーチーム；6人編成、4/20～臨床心理士1人配置、ホームページ準備中）、学力向上 |
| | | | | イ | 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、学校給食開始4/25、区域外就学、学校施設被災区分調査 |
| | | ④ | 市民生活支援 | → ア | ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事等）、電力（通電率98.9%）、NTT（蒲庭枝線）、魚市場復興（水道2～4週間、電力・NTT5/20頃完了） |
| | | | | イ | 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（4/29～リックサック、水、米） |
| | | | | ウ | 医療・介護機関の実情・支援 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、ボランティア（4/30ベテランズ0人） |
| | | | | エ | 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、直轄ボランティア（4/30：MS社21人、ICC社新入社員）、ボランティアC（4/30登録176人、活動153人、被災宅泥除去等14件116人、写真クリーニング、引越手伝い等）、自治体等（流山市10人、自治労10人、財務局3人） |
| | | | | オ | 情報伝達・開示 | 広報4/15号・号外（No1～14）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | カ | 交通機関 | 臨時バス（福島線、仙台線）、JRバス電車（亘理線）、路線バス（4/27～原町延伸）、5/2～おでかけミニバス |
| | | ⑤ | ろう城体制 | → ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり47人）、中村西部区長会（未加入者チェック）、物資配給準備 |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米212t・水301t）、物資配給準備 |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；7台、トラック；4台、玉野患者バス運行、スクールバス運行（直営2台、委託3台） |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、4/21港湾関係者会議（荷揚場整備）、4/28民間船入港 |
| | | ⑥ | 避難者自立支援 | → ア | 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 雇用促進住宅　4/30入居済38世帯、民間　4/30入居済181世帯（民間147世帯、アルプス34世帯）、自立セット配布、配布ルール（現物主義） |
| | | ⑦ | 仮設住宅 | → ア | 仮設住宅の建設 | 東G206戸（4/30入居58戸）、刈敷田72戸（完成4月末）、西地区513戸、柚木209戸、市500戸（4/29着工）、市外居住者応募179件（募集再開） |
| | | | | イ | 仮設住宅への移住 | 移住計画（地域コミュニケーション）、仮設住宅入居支援物資等（支度金1世帯10万円、1人米30Kg、自立支援セットなど）、仮設住宅入居（4/30東G　58世帯、4/24抽選、4/27通知） |
| | | | | ウ | 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（仕出弁当、集会所完成後は給食）、組長・戸長体制の構築、市担当者配置（集会所単位） |
| | | ⑧ | 義援金など | → ア | 義援金 | 義援金752件　4億4千34万円、　支出済額　1億4千165万円（生活支援金1億2千819万円、仮設住宅入居支度金540万円、リックサック739万円、担架67万円）　残額　2億9千868万円 |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 | 該当者（0～18歳）25世帯43人、募金4/30；8件 計166件2,386万円 |
| | | | | ウ | 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載） |
| | | ⑨ | 原発事故への対応 | → ア | 情報開示 | 放射能測定値公表、水道水モニタリング、学校等屋外生活留意、放射能測定器配置（玉野2、山上1）と測定値公表 |
| | | | | イ | 万が一の為の準備 | 避難計画、リックサック、タンカ配置、放射能障害調査研究と情報提供（東大医科学研究所） |
| 3 | 長期的対応 | ① | 被災地及び市内復興 | → ア | 道路・護岸等の復旧 | 護岸復旧（大洲・磯部）、西地区市道補修、日下石・石上線通行止（湖岸提決壊） |
| | | | | イ | 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、稲作付の課題、野菜等出荷自粛、4/21原乳出荷停止解除、農業施設等被害調査 |
| | | | | ウ | 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、魚市場復興（工程表）、漁業者被害別分類、5/3～5青空朝市場（長友G） |
| | | | | エ | 市内企業の現状 | 操業再開　3/21～4/5（大橋工業、IHI一部、アリーナ、ニダック、タコ精機、ソマ、三星化学、ハクブウ、オリエンタル、三之橋一部）、ファイマティック（石灰石の確保）、共同火力（来年夏までに操業再開） |
| | | ② | 被災者支援 | → ア | 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化 |
| | | ③ | 後世への伝達 | → ア | 記録保存 | 災害に対する各種の取り組み内容の記録保存 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | | → ア | 原発難民受け入れ | 計画的避難区域（飯舘大倉住民など仮設住宅入居）、小高家屋流失等罹災者（雇用促進住宅・仮設住宅等入居） |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（3/17：アルファ米2千食、/31：軽油10kℓ）、飯舘（3/17：水2万ℓ、/26：水1万ℓなど）、南相馬市（3/19：アルファ米500食など、ガソリン300ℓ、/23：ガソリン20kℓ、/30：紙おむつ等、4/1：ガソリン20kℓ、/3：ガソリン20kℓ）、JA（3/31：毛布等）、大町病院（4/2：毛布100枚） |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 3/22～南相馬市へ物資倉庫（卸売市場）貸出、浪江町民の簡易宿泊所（日立木公民館）4/29利用者2人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | | → ア | 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、松川浦湖岸堤復旧、漁港岸壁等仮復旧、電気使用制限の不適用要望（経産大臣ほか） |

## 4月30日（土）

### 応急仮設住宅　入居者へ鍵引渡し式

相馬市北飯渕（角田東グラウンド）応急仮設住宅の鍵引渡式と入居説明会が市役所分庁舎で4月30日開かれ、先に行われた抽選で決定された入居者と市、ライフライン関係者などが出席しました。

## 住宅支援の流れ

### ■応急仮設住宅（県）入居

**●4月30日**
第1期完成分鍵引渡し　58戸

**●6月11日**
全1,000戸完成　引渡し完了
（6月17日に避難所を全て閉鎖）

**●入居戸数計　970戸**
**入居者数　2,699人**

### ■市建設分　仮設住宅（県より事務委任）

- 500戸
- 南相馬市、飯舘村、浪江町の原発避難民を受け入れ

### ■入居時の支援内容

- 入居時支度金　10万円
- 日本赤十字社より家電7点セット（テレビ、冷蔵庫、洗濯機　ほか）
- 引越しセット（寝具、鍋、釜、食器、掃除機、コタツ　など）

## 仮設住宅のマネジメント・恒久住宅への準備

### ■仮設住宅での管理体制・生活支援

1．集会所ごとにひとつのコロニーと考え、**組長**を選任
2．集会所単位で**市の担当者**を配置
3．1棟（5戸）ごとに**戸長**を選任
4．「組長」と「戸長」の兼任も可

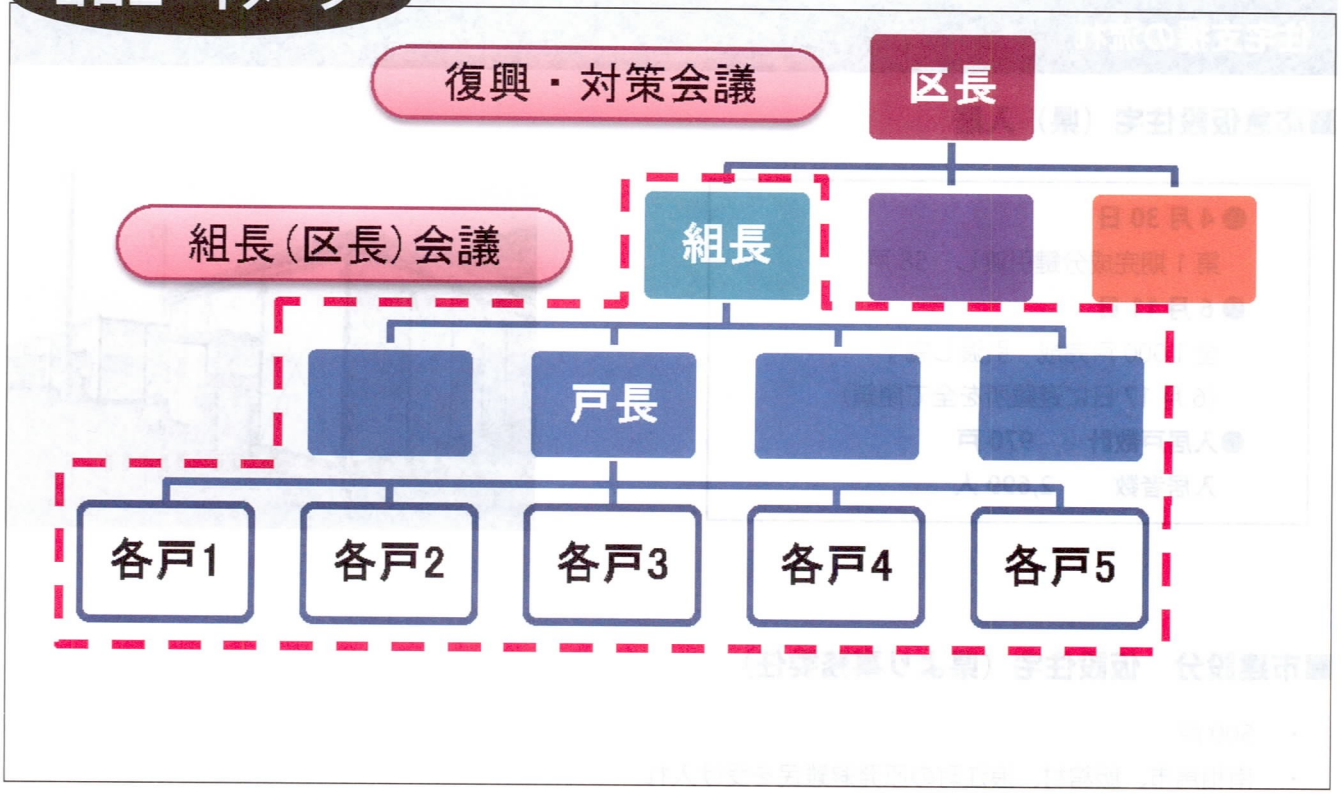
### ■恒久住宅への移住の準備

1．全被災者のデータベース化、意向・実態調査
2．集合型共助住宅の建設
3．戸建て住宅建設の準備にて、将来設計への希望を

**組長を通しての行政サービス等**

1．毎日の配食の管理、集会所での共同会食
2．支援物資等の配給
3．仮設住宅の衛生状態・治安の管理
4．炊出し・イベント等ボランティア活動の公平な配分
5．復興対策会議への要望とりまとめ
6．住民健診等の行政サービスの周知・実施
7．孤独者、健康不良者のチェック
8．コミュニティ形成のための各種事業

**コロニーイメージ**



## 5月1日（日）

### 皆を応援　サンプラザ中野くんさん、ウチノファンタジーさんライブ

被災者を元気づけようと、サンプラザ中野くんさん、ウチノファンタジーさんは5月1日相馬市を訪れ、避難所でライブを行いました。

## 5月1日（日）

### 避難者を癒す　マッサージボランティア

避難所生活が長期化する避難者にマッサージなどを施すボランティアを、社団法人福島県整骨師会の会員らが続けています。

## 5月2日（月）

### 東日本大震災復興構想会議メンバー　来相

東日本大震災復興構想会議の五百旗頭真議長や御厨貴議長代理、内舘牧子委員などは５月２日、相馬市を訪れ、被災地を視察したあと、相馬市役所で立谷市長と会談しました。

## 5月3日（火）

### 復興への一歩　はらがま朝市開催

「はらがま朝市」は５月３日、長友グラウンドで開催され多くの人出でにぎわいました。

主催は高橋永真さん（原釜）を代表とする「はらがま朝市ＮＰＯ準備委員会」。高橋さんらの呼びかけで原釜の水産加工業者など約30名が集まり、相馬市民に元気と活力を与えたいと活動を開始しました。

### 復興の狼煙「はらがま朝市」

**■「はらがま朝市 NPO 準備委員会」主催**

※津波被害を受けた原釜地区の水産加工業者など、
約 30 名が企画運営（NPO 申請中）

**■相馬市民に元気と活力を与えたい！**

- 毎週土日開催。
- 毎回 2,000 人を超える市民で賑わう。

この不屈のエネルギーを
相馬市の復興につなげる

## 5月3日（火）

### 堀下さゆりさん　中一小でミニコンサート

相馬市出身のシンガーソングライター堀下さゆりさんが5月3日、避難所となっている中村第一小学校の体育館で、ミニコンサートを開催し、避難者を激励しました。

## 5月4日（水）

### 松本防災相　相馬市を視察

松本龍防災担当相・環境相は5月4日相馬市を訪れ、津波の被害状況などを視察しました。

尾浜地区や松川浦などの被害状況を視察したあと、市役所で立谷市長と面談。

その後、松本防災担当相は避難所となっているはまなす館を訪れ、避難者と目線を合わせて「大変でしょうけど頑張ってください」と親しく話し込んでいました。

## 5月6日（金）

### はらがま朝市メンバー　集めた募金を市へ

５月３日から５日まで、長友グラウンドで開催され好評を博した「はらがま朝市」のＮＰＯ準備委員会の代表・高橋永真さんらが５月６日、市役所を訪れ、朝市開催中に集めた募金を漁業の復興に役立ててほしいと立谷市長に手渡しました。

## 5月8日（日）

### 交流により笑顔が　心のふれあいサポート

TEAM S.O.S（チーム　エスオーエス）による「心のふれあいサポート」は、４月29日から５月８日までの10日間、老人憩の家で行われ、多くの避難者が楽しく交流しました。

## 5月11日

# 天皇、皇后両陛下ご来相　被災者・尽力者激励

立谷市長のお出迎えを受けられる天皇皇后両陛下（相馬光陽サッカー場駐車場）

天皇、皇后両陛下は5月11日相馬市を訪問され、避難所となっている中村第二小学校体育館で避難生活を送る方々を励まされました。

135人が避難生活を続けている中村二小体育館で両陛下は、各世帯ごとのブースで一人一人に声をかけて回られました。

家を流されたという女性の避難者は「両陛下にやさしく声をかけていただき、大変うれしかった。これを糧にして、これからもがんばっていきたい」と目を潤ませていました。

同小の玄関ホールで行われた尽力者おねぎらいでは、竹中淳一相馬警察署長、海沼敏明陸上自衛隊第13旅団長、荒忠夫相馬市消防団長、遺体安置所で地元磯部地区住民の身元確認に連日貢献した熊倉一巳相馬市議会議員を激励されました。

両陛下はそのあと、甚大な被害を受けた原釜・尾浜地区を立谷市長の説明を受けながらご視察され、被災を悼み黙礼されました。

黙礼される両陛下

避難者と話をされる天皇陛下（中村第二小学校体育館）

避難所生活を送る家族に声をかけられる皇后陛下（中村第二小学校体育館）

立谷市長から被災状況をお聴きになる両陛下（原釜・尾浜地区）

自衛隊機に乗り込み帰路に就かれる両陛下（相馬光陽サッカー場駐車場）

## 5月11日（水）

### 報徳のゆかり　小田原市民が相馬支援

小田原市の職員と市民が報徳のゆかりがある相馬市の復興を支えようと、5月11日から災害ボランティアに従事しています。

## 5月11日（水）

### 元Jリーガー中西哲生さん　中二小でサッカー教室

5月11日、元Jリーガーでスポーツジャーナリストの中西哲生さんが中村二小を訪問し、児童らを対象にサッカー教室を開催し、子どもたちに体を動かす楽しさを伝えました。

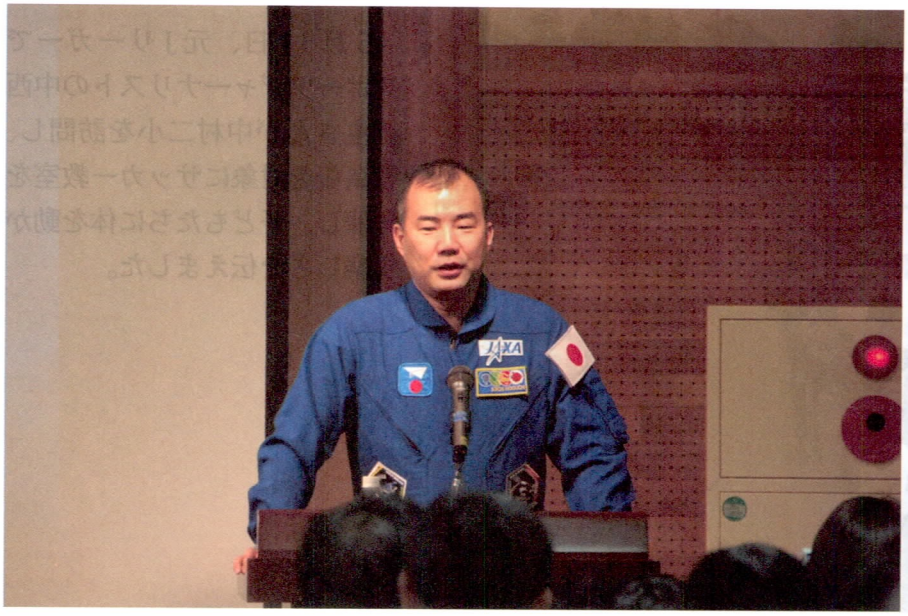
## 5月14日（土）

### 鹿野農水相　漁業関係者と意見交換

鹿野道彦農林水産相は5月14日相馬市を訪れ、相馬原釜漁港を視察したあと、市コミュニティセンターで漁業関係者と意見交換しました。

## 5月14日（土）

### 子どもたちに力強いエール　野口聡一さん講演会



被災地の子どもたちを元気づけようと、宇宙飛行士の野口聡一さんの講演会は5月14日、中村第二小学校、中村第一小学校で行われ、集まった児童らは熱心に耳を傾けていました。

## 5月15日（日）

### はまなす館で　テリー橋本さんらジャズライブ

仙台を中心に音楽活動を展開するテリー橋本さんやNao安田さんをはじめとするジャズ演奏家たちが5月15日、避難所となっているはまなす館のロビーででジャズライブを披露しました。

## 5月18日（水）

### ルイスカバーニャス・メキシコ大使　相馬市を訪問

支援物資に対し、メキシコ合衆国大統領へ送った立谷市長の礼状がきっかけで、ミゲル・ルイスカバーニャス駐日メキシコ合衆国大使は5月18日、相馬市を訪問し、メキシコ政府などからの相馬市震災孤児等支援金へ継続的な協力の意向を立谷市長に伝えました。

## 5月17日（火）

# 平成23年第3回相馬市議会臨時会

条例の一部改正については、以下のとおり。

## 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

### ■改正要旨

東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律等の施行に伴う災害援護資金貸付の特例措置が平成２３年５月２日に改正されたことに伴い、災害援護資金の貸付に係る償還期間を１３年とし、据置期間３年を６年、５年を８年とし、利率を３％から１．５％等へ改正するもの。

## 平成23年度分における固定資産税及び軽自動車税の納期の特例に関する条例の一部を改正する条例

### ■改正要旨

東日本大震災により正確な課税客体の把握が必要であること、また震災に伴う被者の混乱を避けることを目的とし、個人の市民税の納期、国民健康保険税の納期、介護保険料の納期を変更するため改正するもの。

**●個人の市民税の納期の特例**

普通徴収の方法によって徴収する個人の市民税の第１期、第２期及び第３期の納期は、相馬市条例の規定かかわらず、

第１期は７月１５日から８月３１日まで　　第２期は１０月１１日から１０月３１日まで
第３期は１１月１１日から１１月３０日まで

**●国民健康保険税の納期の特例**

普通徴収の方法によって徴収する国民健康保険税の納期は、相馬市国民健康保険条例の規定にかかわらず、

第１期は８月１１日から８月３１日まで　　第２期は９月１１日から９月３０日まで
第３期は１０月１１日から１０月３１日まで　　第４期は１１月１１日から１１月３０日まで
第５期は１２月１１日から１２月２６日まで　　第６期は翌年１月１１日から１月３１日まで
第７期は翌年２月１１日から２月２９日まで　　第８期は翌年３月１１日から３月３０日まで

**●介護保険料の納期の特例**

普通徴収の方法によって徴収する介護保険料の納期は、相馬市介護保険条例の規定にかかわらず、

第１期は８月１１日から８月３１日まで　　第２期は９月１１日から９月３０日まで
第３期は１０月１１日から１０月３１日まで　　第４期は１１月１１日から１１月３０日まで
第５期は１２月１１日から１２月２６日まで　　第６期は翌年１月１１日から１月３１日まで
第７期は翌年２月１１日から２月２９日まで　　第８期は翌年３月１１日から３月３０日まで

## 5月19日（木）

### 復興支援ありがとう　婦人会、横断幕作成

相馬市婦人会（高玉マサ会長）はこのほど、復興作業に従事する自衛隊、警察、消防団などへの感謝の気持ちを表す横断幕を作成し、5月19日、市役所へ届けました。

## 5月20日（金）

### ミネソタ州から　震災孤児等支援金届く

アメリカ・ミネソタ州在住のラムステッド・洋子さんは5月20日、相馬市役所に震災孤児等支援金を届けました。

## 新しい村

震災から今日で 70 日を数える。仮設住宅への移転が順調に進んでいるとはいえ、まだ 800 人余りの方々が避難所暮らしをしている。全員の方々の仮設住宅への移転が完了する 6 月中旬まで、対策本部としては毎日の会議を継続中である。健康のため交代で休むよう指示してきたが、気がつけば、私が東京への出張で一回だけ本部会議を欠席した私以外、部長以上の幹部は全員が毎日出てきている。避難所閉鎖をもって、日曜日は本部会議を開かない、公休日にしようと思っているが、あと三週間余りだからこのまま無休で頑張ってもらいたい。

さて、震災直後は合計 4400 人にも膨らんだ避難所を眺めて、仮設住宅を一日も早く完成させることと、この避難所から一人でも死者を出さないことに闘志を掻き立てた。市内の医療機関の頑張りと、日本医師会、全日本病院協会、東京医大と東京都チームの方々の医療支援活動や、多くの市民、協力団体のボランティア活動により、私の当初の大目標は達成できそうに思える。避難所のうち中村二小の体育館には両陛下にお運びいただいて、一人ひとりお言葉をかけられた。さらに被災した現地でご説明を求められた私は、消防団員たちの犠牲の上に生き延びた人たちの命があるのですと申し上げたところ、小雨の中、傘をお取りになって英霊たちに黙礼を賜った。両陛下のお陰で私もすこしだけ、許してもらえたような気がした。

彼らが残した子どもたちへの、私の気持ちを前回書いた。しかし津波の生存者の今後の生活支援を、しっかり行っていくべきことも彼らの残したメッセージである。いま被災者全員の生活状況をデータベース化しているが、最初にこの災害で単独世帯になった人、つまり家族でたった一人助かった人たちのリストを作って対策を講ずることにした。二次災害として医療の次に留意すべきは、経済自殺と孤独死だからである。調べてみると 93 歳男性を筆頭に 110 人の方が単独世帯になっていた。中には、自分だけ助かったことを悔やんでいる人もいるという。

仮設住宅への入居を中期計画の目標にしてきたが、これらの方々の仮設住宅での一人暮らしには、特に長期的な支援を、と思っている。なによりも寂しさ対策と励まし合いが必要だ。一つの方法として複数で住むことを奨めてみたが、全員が独りで住みたいという。ならば集会所で一緒に食事をとりながら、最低でも一日一回のコミュニケーションをとってもらおうと考えて、夕食は配給制にすることにした。よって一年間は仮設住宅入居者全員に夕食を提供するが、独居世帯者には集会所で食べてもらう。また、健康チェックも含めて、顔合わせと会話の機会を積極的に作っていきたい。

独居世帯も含めて、仮設住宅での生活をお互いに支え合いながら過ごしてもらうために、出来るだけ元の地域ごとのコロニーを、集会所ごとに作っていきたいと考えている。およそ 80 戸でひとつの集会所を囲む形になるが、一棟五世帯ごとに戸長を選び、集会所ごとの戸長会議を組長が束ねる。組長を行政区長が兼務するケースも出てくるが、組長協議会の上に区長会議を位置づけ、行政サービスをこの組織図で行う。したがって住民健康診断をはじめ、支援物資の配給や、外部からの炊き出し部隊のサービスなどは、区長会議と組長協議会で整理する。

相馬市の場合、原発事故のため避難生活を余儀なくされる双葉地方をはじめ、飯舘村や南相馬市の避難民の方々を受け入れることになるが、ふるさと自治体ごとのコロニーを作ることと、行政サービスの葉脈を作ることが、慣れない地域で過ごしてもらうためのポイントである。

相馬市のエリアでは集会所ごとに市の担当者を張りつけるが、他の自治体からのコロニーには役所の職員が一世帯以上住んでもらいたいと考えている。71 戸の住民をお預かりすることを決めた飯舘村長とは、村職員居住を申し合わせた。現在、市外から多くの申し込みをいただいているが、以上の理由により最終的には首長さんと調整して入居受け入れを決めさせていただきたい。あとは、他の自治体からの仮設住宅入居者を相馬市民同様、市民全員の力で大切にさせていただくことだ。

| 第121回　災害対策本部　（資料） | | | | 平成23年5月20日（金）　18時～ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ①　行方不明者の捜索 | → ア　捜索体制 | 捜索、重機活用、自衛隊、警察、消防署、消防団員（平常勤務） |
| | | | イ　作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認3/25・28・4/4・14、5/5）、5/7本部長被災地確認 |
| | | ②　生存者・死亡者確認等 | → ア　不明者状況 | 5/20　不明者31人（磯部14、原釜3、尾浜12、小野1、和田1）、不明者ごと被災当日の状況把握の結果（5/9～13） |
| | | | イ　遺体・死亡・火葬の状況 | 5/19遺体440体（市民407市外住民15不明18）、市民死亡426人（市内407市外19）、火葬443体（身元判明406体） |
| | | ③　被災地確認 | → ア　被災状況把握 | 罹災証明（受付3,694件、発行3,288件）、被災家屋調査1,795件、住宅被害（全・半壊）1,512棟 |
| 2 | 中期的対応 | ①　被災地整理 | → ア　ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、5/9～流木切断作業実施、5/9～建設業者ガレキ等撤去、5/16～漁港等ガレキ撤去 |
| | | ②　被災者・避難者の生活支援 | → ア　健康管理 | ボランティア医師巡回、中央病院眼科医巡回、福医大巡回、歯科医師巡回、メタボ対策（栄養バランスある食事提供）、避難所粉じん対策（空気清浄機等配置）、医師夜間巡回、派遣医師市長対応、静岡医師チーム5/19活動終了 |
| | | | イ　法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎178件、巡回201件、計379件（被災者370件、一般9件） |
| | | | ウ　食料・物資供給 | 避難所以外配給（罹災証明）、避難者食事（給食・仕出）、漁業者（4/18・23米7t、3t）、古着配給（避難所5/13～16） |
| | | | エ　生活支援金・義援金 | 市生活支援金計4,437人 1億3千311万円、県義援金計1,222件6,110万円、国義援金計1,160件3億6千367万円 |
| | | | オ　雇用 | 市直接（調理員34人、流木作業員32人、計66人）、市内建設業（ガレキ撤去75人）、漁協（漁港等ガレキ撤去280人） |
| | | | カ　その他生活支援 | 入浴3/22～5/19；17,184人、消石灰・消毒液、自衛隊音楽隊（5/22はまなす、23飯豊小） |
| | | ③　今後の教育のあり方 | → ア　児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬フォロアーチーム；6人編成、5/24～臨床心理士2人、HP準備中、NPO移行）、学力向上 |
| | | | イ　学校教育環境の整備 | スクールバス運行、学校給食、区域外就学、学校施設被災区分調査 |
| | | ④　市民生活支援 | → ア　ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事等）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道試験通水、電力配線60%・NTT柱10本、完了5/20頃） |
| | | | イ　公衆衛生対策 | 衛生状態劣化防止、東大医科学研究所（現状調査分析、5/11松村氏ヘドロ被害を講義）、ヘドロ対策（マスク・作業服・靴・水・消毒セット・市民周知広報紙号外・ごみ一時置場所　等） |
| | | | ウ　食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（4/29～5/17リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | エ　医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開5/9～ |
| | | | オ　支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア5/20（直轄：MS社11人、ICC社7人、VC登録97人活動97人、被災宅泥除去等8件74人）、自治体等（流山市8人、自治労10人、財務局3人、日光市2人、小田原市民10人、5/16長岡市2人） |
| | | | カ　情報伝達・開示 | 広報4/15号・5/1号・5/15号・号外（No1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | キ　交通機関 | 臨時バス（福島線、仙台線）、JRバス臨時代行（亘理線、5/23原町線）、路線バス（一部変更）、おでかけミニバス（一部変更） |
| | | ⑤　ろう城体制 | → ア　地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給（4/29～5/17） |
| | | | イ　倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米134t・水268t）、物資保管リスト |
| | | | ウ　市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行（直営2台、委託3台） |
| | | | エ　相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、4/21港湾関係者会議（荷揚場整備）、4/28民間船入港 |
| | | ⑥　避難者自立支援 | → ア　市調達集合住宅・民間アパート入居 | 5/20入居（雇用促進38世帯、民間アパート163世帯、アルプス35世帯）、自立セット、配布ルール（現物主義） |
| | | ⑦　仮設住宅 | → ア　仮設住宅の建設 | 東G206戸（58戸入居完了、148戸5/20追加抽選・5/24入居）、刈敷田72戸（5/9～入居）、西地区513戸、柚木209戸、市500戸（早期完成）、市外居住者応募5/20現在422件 |
| | | | イ　仮設住宅への移住 | 移住計画（地域コミュニケーション）、仮設住宅入居支援物資等（支度金1世帯10万円、1人米30Kg、自立支援セットなど）、仮設入居（東G58戸206人入居、刈敷田72戸うち入居済57戸242人）、東G148戸入居用家電セット準備 |
| | | | ウ　仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、仕出弁当、集会所完成後給食）、組長・戸長体制の構築、市担当者配置（集会所単位） |
| | | ⑧　義援金など | → ア　義援金 | 義援金885件　4億8千555万円、　支出済額　1億5千237万円（生活支援金1億3千311万円、仮設住宅入居支度金1,120万円、リックサック739万円、担架67万円）　残額　3億3千318万円 |
| | | | イ　震災孤児のための募金 | 該当者（0～18歳）28世帯48人、うち小中学生28人（震災孤児5人、片親23人）、募金 計537件8,589万円 |
| | | | ウ　物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等支援11台（5/19南城市軽自動車3台） |
| | | ⑨　原発事故への対応 | → ア　情報開示 | 放射能測定値公表、水道水モニタリング、学校等屋外生活留意 |
| | | | イ　万が一の為の準備 | 避難計画、放射能障害調査研究と情報提供（東大医科学研究所）、市民説明会（5/15黒木、22初野・玉野、23大坪） |
| 3 | 長期的対応 | ①　被災地及び市内復興 | → ア　道路・護岸等の復旧 | 護岸復旧（大洲・磯部）、西地区市道補修、日下石・石上線通行止、常磐道・阿武隈東道路工事本格再開 |
| | | | イ　農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、野菜等出荷自粛、農業施設等被害調査、土地改良区と協議（今後の農業経営等） |
| | | | ウ　漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、魚市場復興、（はらがま朝市5/14・15）朝市実委NPO手続準備中、5/2～航路ガレキ撤去 |
| | | | エ　市内企業の現状 | 操業再開　3/21～4/5（大橋工業、IHI一部、デリーナ、ニダック、タコ精機、ソマ、三星化学、ハクソウ、オリエンタル、三之橋一部）、ファイマティック（5/9操業開始）、共同火力（来春一部発電開始） |
| | | ②　被災者支援 | → ア　被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者（一人暮し・老老世帯）、住居流失・全壊　など） |
| | | ③　後世への伝達 | → ア　記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → ア　原発難民受け入れ | 4/30（5/6収受）南相馬から仮設住宅入居の依頼書、5/7飯舘から仮設住宅入居の依頼書（71世帯） |
| | | | イ　近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（3/17：アルファ米2千食、/31：軽油10kℓ）、飯舘（3/17：水2万ℓ、/26：水1万ℓなど）、南相馬市（3/19：アルファ米500食など、ガソリン300ℓ、/23：ガソリン20kℓ、/30：紙おむつ等、4/1：ガソリン20kℓ、/3：ガソリン20kℓ）、JA（3/31：毛布等）、大町病院（4/2：毛布100枚） |
| | | | ウ　ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所（日立木公民館）利用者5/19；0人 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → ア　食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | イ　国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、電気使用制限不適用、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設 |

## 5月21日（土）

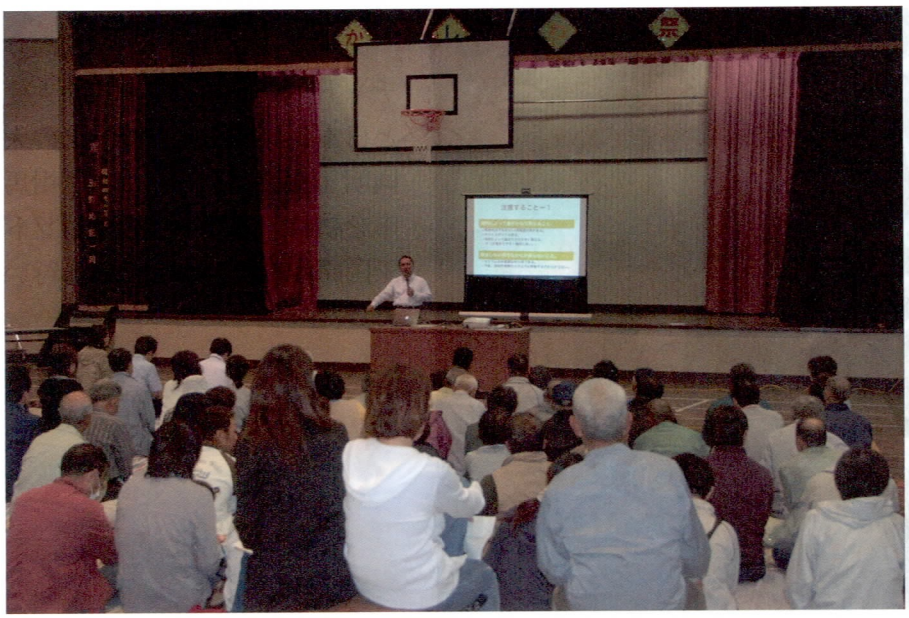
### 姉妹都市・大樹町　こいのぼりで相馬を激励

相馬市と姉妹都市の大樹町・伏見悦夫町長は5月21日、相馬市役所を訪れ、大樹町からの震災復興支援金を立谷市長に手渡しました。

大樹町で4月22日から5月5日まで行われた「歴舟川清流鯉のぼり」では、相馬市の復興を願い『応援してます　姉妹都市相馬市』と書かれた幅1.2メートル、高さ10メートルの垂れ幕も立てられ、こいのぼりにのせて相馬に元気が届けられました。

## 5月22日（日）

### 放射線への正しい理解を　放射線と健康影響説明会



東京大学医科学研究所・特任教授の上昌広氏による放射線と健康影響についての講演は5月22日、初野集会所、玉野中学校体育館で行われ、住民約120人が参加しました。

この講演は、放射線について正しく理解し、対処方法を身につけることを目的としたものです。

### 市内各地で放射線と健康被害に関する説明会を開催

市では市内各地で、放射線について正しく理解し、対処方法を身につけることを目的として、東京大学医科学研究所から講師を招いて右表の日程で説明会を開催しました。

**【主な質問】**

Q．子どもを外で遊ばせて良いのか？

A．放射線は埃と同じである。埃が舞っている所で遊ぶのでなければ、問題なく外で遊ぶことができる。マスクをすることや長袖を着ることも特段気にすることはない。気になるのであれば、子どもにマスクや長袖を着せても良いが、これから夏になり、気温が上がる。マスク、長袖のせいで熱中症にならないように十分気にしなくてはならない。

Q．子どものミルクを作るのに水道水を使っても良いか。

A．現在は、何も検出されていないので問題はない。気になるのであれば、浄水器をつけたり、ミネラルウォーターで対応したりしてもやりすぎではない。

ただし、大人がミネラルウォーターしか使わないというのは、過剰だと考える。

**●説明会開催日程**

| 地　区 | 開催場所 | 開催日時 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 黒　木 | 黒木集会所 | 5月15日（日）<br>18：00～ | 50人 |
| 初　野 | 初野集会所 | 5月22日（日）<br>13：30～ | 60人 |
| 玉　野 | 玉野中学校<br>体育館 | 5月22日（日）<br>16：00～ | 90人 |
| 大　坪 | 大坪集会所 | 5月23日（月）<br>18：30～ | 50人 |
| 日立木 | 日立木小学校<br>体育館 | 6月6日（月）<br>18：30～ | 220人 |
| 山　上 | 山上小学校<br>体育館 | 6月20日（月）<br>18：30～ | 150人 |
| 飯　豊 | 飯豊小学校<br>体育館 | 6月25日（土）<br>13：00～ | 130人 |
| 中村西部<br>中村中部 | はまなす館<br>多目的ホール | 6月25日（土）<br>16：00～ | 550人 |
| 中村東部 | 東部公民館 | 6月26日（日）<br>10：00～ | 150人 |
| 八　幡 | 八幡小学校<br>体育館 | 6月26日（日）<br>13：00～ | 190人 |
| 磯　部 | 磯部小学校<br>多目的ホール | 6月26日（日）<br>16：00～ | 60人 |
| 大　野 | 大野小学校<br>体育館 | 6月27日（月）<br>18：30～ | 150人 |

## 5月23日（月）

### レソト王国から　早い復興を願い植樹

南アフリカのレソト王国のリチャド・ラモエレツィ特命大使と日本レソト王国友好協会の大槻明子会長は、5月23日相馬市を訪れ、磯部小学校でレソト王国原産の桐の木の植樹を行いました。

## 5月24日（火）

### 玉野小中学校　校庭の表土入れ替え開始

市では、市内でも高めの放射線量が測定されていた玉野地区内の玉野小・中学校の放射線量を低減させるため、5月24日から27日までの4日間、校庭の表土入れ替え作業を行いました。

## 5月26日（木）

### あんべ光俊さん　相馬への応援歌を熱唱

シンガーソングライターのあんべ光俊さんは市民の皆さんに元気を届けたいとの思いから5月26日相馬市を訪れ、そうまさいがいエフエムに出演しました。

## 5月26日（木）

### シンガーソングライターの宮田まゆみさん　相馬市民へメッセージ

シンガーソングライターの宮田まゆみさんは5月26日相馬市を訪れ、そうまさいがいエフエムに出演し市民へメッセージを伝えました。

## 5月28日（土）

### 玉野地区で　健康相談会始まる

市内でも高めの放射線量が計測されている玉野地区からの要望を受け、５月２８日、玉野中学校体育館では同地区全住民を対象とした健康相談会が開かれました。

会場では東京大学医科学研究所・上昌弘特任教授をはじめとした医師団と地元医師らが診察にあたりました。

そのほか採血や尿検査、保健センター職員による血圧測定なども行ない、住民の健康をチェックしました。

健康相談会は翌２９日にかけて、玉野地区全住民約４８０名を対象に行われました。

### 玉野地区健康診断および放射線相談会

相談会を行った東京大学医科学研究所の報告の概要は以下のとおりです。

#### ■受診された方

- 健康相談会では、全体で 307 人が受診。
- 年齢は 1 歳から 92 歳の方まで。うち 65 歳以上の方は 113 名となっています。
- 性別は男性 140 人、女性 167 人となっています。

#### ■まとめ

- 相馬市の中で比較的空間線量の高い玉野地区在住の 307 人の健診を行った。
- 放射線によると思われる、自覚症状の出現は認めなかった。
- 一部に抑うつ傾向の受診者を認めた。
- 明らかな血球減少傾向は認めなかった。
- 高血圧、高脂血症、糖尿病のコントロール不良群の存在が示唆された。
- 震災後、野外活動時間の減少傾向は明らかではなかった。

## 5月28日（土）

### バレーボールを通して元気を！　益子直美さん

タレント、スポーツキャスターで元バレーボール全日本代表選手の益子直美さんは5月28日、そうまさいがいエフエムに出演し、市民へメッセージをおくりました。

## 5月28日（土）

### 布施明さん、齋藤真嗣さん、ルート33さん　被災者と交流

5月28日、避難所となっているはまなす館とスポーツアリーナそうまで、歌手の布施明さんのミニコンサートと、『体温を上げると健康になる』などの著書で有名なニューヨーク州医師・齋藤真嗣先生の講演、吉本興業の漫才コンビ・ルート33さんによる漫才が行われました。

| 第131回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年5月30日（月）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① | 行方不明者の捜索 | → ア | 捜索体制 | 捜索、重機活用、自衛隊、警察、消防署、消防団員（平常勤務） |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認3/25・28・4/4・14、5/5）、5/7本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② | 生存者・死亡者確認等 | → ア | 不明者状況 | 5/30　不明者29人（磯部13、原釜1、尾浜12、小野1、和田1、新沼1） |
| | | | | イ | 遺体・死亡・火葬の状況 | 5/30　遺体440体（市民411市外住民16不明13）、市民死亡430人（市内411市外19）、火葬445体（身元判明407体） |
| | | ③ | 被災地確認 | → ア | 被災状況把握 | 罹災証明（受付4,055件、発行3,818件）、被災家屋調査2,106件、住宅被害（全・半壊）1,512棟 |
| 2 | 中期的対応 | ① | 被災地整理 | → ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、流木切断作業実施、建設業者ガレキ等撤去、漁港等ガレキ撤去 |
| | | ② | 被災者・避難者の生活支援 | → ア | 健康管理 | ボランティア医師巡回、中央病院眼科医巡回、福医大巡回、歯科医師巡回、メタボ対策（栄養バランスある食事提供）、避難所粉じん対策（空気清浄機等配置）、医師夜間巡回、派遣医師市長対応、 |
| | | | | イ | 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎221件、巡回227件、計448件（被災者428件、一般20件） |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 | 避難所以外配給（罹災証明）、避難者食事（給食・仕出）、漁業者（米7t、3t）、古着配給 |
| | | | | エ | 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計4,554人 1億3千662万円、県義援金計1,296件6,480万円、国義援金計1,160件3億6千367万円 |
| | | | | オ | 雇用 | 市直接（調理員34人、流木作業員32人、計66人）、市内建設業（ガレキ撤去83人）、漁協（漁港等ガレキ撤去360人） |
| | | | | カ | その他生活支援 | 入浴3/22～5/29；19,861人、消石灰・消毒液、自衛隊音楽隊（6/1アリーナ） |
| | | ③ | 今後の教育のあり方 | → ア | 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬フォロアーチーム；6人編成、5/24～臨床心理士2人、HP掲載、NPO設立総会6/2）、学力向上 |
| | | | | イ | 学校教育環境の整備 | ｽｸｰﾙﾊﾞｽ運行、区域外就学、学校施設被災区分調査（大野小校舎「中破」） |
| | | ④ | 市民生活支援 | → ア | ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事等）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ | 公衆衛生対策 | 衛生状態劣化防止、東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ対策（マスク・作業服・靴・水・消毒セット配布、シャワー設置）、ヘドロ健康被害講義（6/4（土）19時～コミュニティC）、アスベスト対策（ガレキ集積場等濃度測定準備） |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ | 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開5/9～ |
| | | | | オ | 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ5/30（直轄：MS社14人、VC登録0人活動0人、被災宅泥除去等0件0人）、自治体等（流山市8人、自治労12人、財務局3人、日光市2人、小田原市民10人、長岡市2人） |
| | | | | カ | 情報伝達・開示 | 広報紙（4/15、5/1・15、6/1）、広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ | 交通機関 | 臨時ﾊﾞｽ（福島、仙台）、JRﾊﾞｽ代行（亘理、5/23原町）、JR常磐線復興調整会議（6/2） |
| | | ⑤ | ろう城体制 | → ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米117t・水241t）、物資保管リスト、殺虫剤提供 |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行、西地区等バス運行打合せ |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、4/28民間船入港 |
| | | ⑥ | 避難者自立支援 | → ア | 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 5/30入居（雇用促進39世帯、民間アパート162世帯、アルプス35世帯）、自立セット、配布ルール（現物主義） |
| | | ⑦ | 仮設住宅 | → ア | 仮設住宅の建設 | 東G206戸（58戸入居済、148戸入居5/24～）、刈敷田72戸（入居5/9～）、西地区513戸（入居5/31～）、柚木209戸（入居6/10～）、市500戸（6月中旬以降随時完成）、市外居住者2次募集終了（422件） |
| | | | | イ | 仮設住宅への移住 | 移住計画（地域ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）、仮設住宅入居支援物資等（支度金1世帯10万円、1人米30Kg、自立支援セットなど）、仮設入居（東G206戸うち131戸488人入居、刈敷田72戸うち入居済71戸263人）、玉野地区入居希望者　6件 |
| | | | | ウ | 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、仕出弁当、集会所完成後給食）、組長・戸長体制の構築、市担当者配置（集会所単位） |
| | | ⑧ | 義援金など | → ア | 義援金 | 義援金931件　4億8千912万円、　支出済額　1億8千396万円（生活支援金1億3千662万円、仮設住宅入居支度金2,450万円、リックサック739万円、担架67万円、自立支援セット14,778万円）　残額　3億516万円 |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 | 該当者（0～18歳）28世帯48人、うち小中学生28人（震災孤児5人、片親23人）、募金 計674件9,669万円 |
| | | | | ウ | 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等支援11台（5/19南城市軽自動車3台） |
| | | ⑨ | 原発事故への対応 | → ア | 情報開示 | 放射能測定値公表、水道水ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ、学校等屋外生活留意、玉野小中校庭表土はぎ5/27終了、仮設住宅測定 |
| | | | | イ | 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康チェック・相談（5/28・29玉野305人）、市民説明会（6/6日立木） |
| 3 | 長期的対応 | ① | 被災地及び市内復興 | → ア | 道路・護岸等の復旧 | 西地区市道補修、日下石・石上線通行止、常磐道・阿武隈東道路工事再開、護岸復旧（大洲・磯部）6月中 |
| | | | | イ | 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、野菜等摂取出荷自粛（HP）、土地改良区（賦課金取扱方針）、パイプライン復旧 |
| | | | | ウ | 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市（FM等PR）、朝市NPO申請中、漁協市場復興状況（岸壁、市場、事務所等） |
| | | | | エ | 被災商業者支援 | 西地区仮設住宅地域の仮設店舗（国県調整中） |
| | | | | オ | 市内企業の現状 | 操業再開　3/21～5/9（大橋工業、IHI一部、アリーナ、ニダック、タコ精機、ソマ、三星化学、ハクゾウ、オリエンタル、三之橋、ファイマティック）、共同火力（来奉一部発電、作業員宿泊所）、中小企業支援職員1名、電力制限緩和（5/25） |
| | | ② | 被災者支援 | → ア | 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者（一人暮し・老老世帯）、住居流失・全壊　など） |
| | | ③ | 後世への伝達 | → ア | 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | | → ア | 原発難民受け入れ | 南相馬仮設住宅入居依頼（申込者チェック）、飯舘仮設住宅入居依頼（164世帯） |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（ｱﾙﾌｧ米2千食、軽油10kℓ）、飯舘（水3万ℓなど）、南相馬市（ｱﾙﾌｧ米500食など、ガソリン60kℓ、紙おむつ等）、JA（毛布等）、大町病院（毛布100枚） |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所（日立木公民館）利用4/29～ 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | | → ア | 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援 |

## 5月30日（月）

### 震災孤児を支援　コマツレンタル株式会社

コマツレンタル株式会社の四家千佳史社長は5月30日相馬市を訪れ、相馬市震災孤児等支援金支給基金への寄付金を立谷市長に手渡しました。

コマツレンタル株式会社からは災害協定に基づき、震災直後から9月までの間、がれき撤去のための数多くのバックホー、ダンプトラックなどを無償で提供いただいています。

## 5月31日（火）

### 庄野真代さん　「国境なき楽団」で「ふれ愛コンサート」

「飛んでイスタンブール」が代表曲の歌手・庄野真代さんが理事を務めるNPO法人「国境なき楽団」が5月31日、市内・イオン相馬を訪れ、「つばさ号ミュージックキャラバン　ふれ愛コンサートin相馬」を開催し、音楽で市民の心を癒しました。

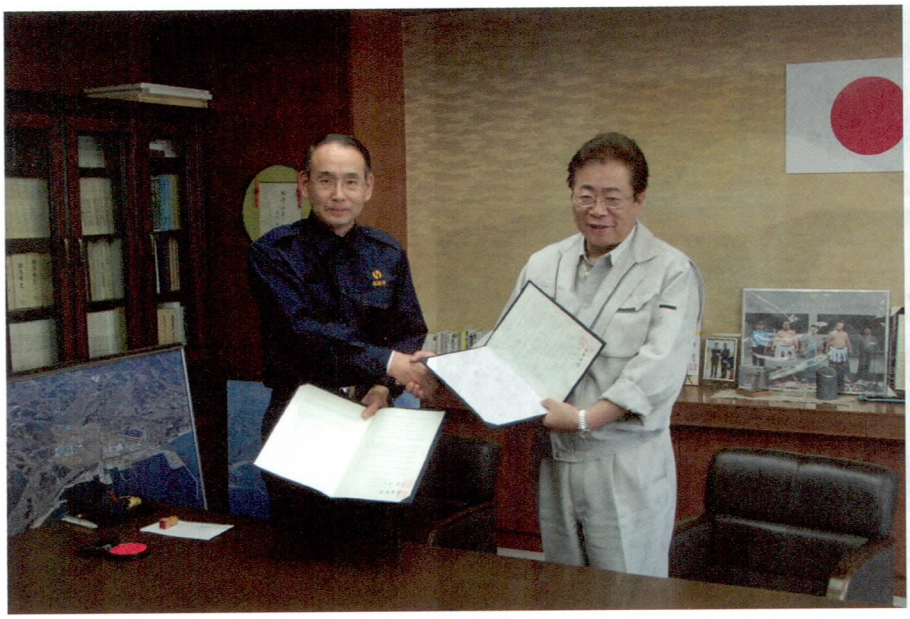
# 第133回　災害対策本部　（資料）

平成23年6月1日（水）　18時～

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① | 行方不明者の捜索 | ア | 捜索体制 | 捜索、重機活用、自衛隊、警察、消防署、消防団員（平常勤務） |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認3/25・28・4/4・14、5/5）、5/7本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② | 生存者・死亡者確認等 | ア | 不明者状況 | 6/1　不明者29人（磯部13、原釜1、尾浜12、小野1、和田1、新沼1） |
| | | | | イ | 遺体・死亡・火葬の状況 | 6/1　遺体440体（市民411市外住民16不明13）、市民死亡430人（市内411市外19）、火葬445体（身元判明407体） |
| | | ③ | 被災地確認 | ア | 被災状況把握 | 罹災証明（受付4,144件、発行3,818件）、被災家屋調査2,191件、住宅被害（全・半壊）1,512棟 |
| 2 | 中期的対応 | ① | 被災地整理 | ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、流木切断作業実施、建設業者ガレキ等撤去、漁港等ガレキ撤去 |
| | | ② | 被災者・避難者の生活支援 | ア | 健康管理 | ボランティア医師巡回、中央病院眼科医巡回、福医大巡回、歯科医師巡回、メタボ対策（栄養バランスある食事提供）、避難所粉じん対策（空気清浄機等配置）、医師夜間巡回、派遣医師市長対応、 |
| | | | | イ | 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎241件、巡回227件、計468件（被災者448件、一般20件） |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 | 避難所以外配給（罹災証明）、避難者食事（給食・仕出）、漁業者（米7t、3t）、古着配給 |
| | | | | エ | 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計4,561人 1億36,83万円、県義援金計1,303件6,515万円、国義援金計1,497件4億6千428万円 |
| | | | | オ | 雇用 | 市直接（調理員34人、流木作業員32人、計66人）、市内建設業（ガレキ撤去83人）、漁協（漁港等ガレキ撤去360人） |
| | | | | カ | その他生活支援 | 入浴3/22～6/1；20,298人、消石灰・消毒液、自衛隊音楽隊（6/1アリーナ） |
| | | ③ | 今後の教育のあり方 | ア | 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬フォロアーチーム；6人編成、6/1～臨床心理士3人、HP掲載、NPO設立総会6/2）、学力向上 |
| | | | | イ | 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、区域外就学、学校施設被災区分調査（大野小校舎「中破」） |
| | | ④ | 市民生活支援 | ア | ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事等）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ | 公衆衛生対策 | 衛生状態劣化防止、東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ対策（マスク・作業服・靴・水・消毒セット配布、シャワー設置）、ヘドロ健康被害講義（6/4（土）19時～コミュニティC）、アスベスト対策（ガレキ集積場等濃度測定準備） |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ | 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ | 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア6/1（直轄：MS社23人、VC登録57人活動57人、被災宅泥除去等6件37人）、自治体等（流山市8人、自治労12人、財務局3人、日光市2人、小田原市民10人、長岡市2人） |
| | | | | カ | 情報伝達・開示 | 広報紙（4/15、5/1・15、6/1）、広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ | 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、5/23原町）、JR常磐線復興調整会議（6/2） |
| | | ⑤ | ろう城体制 | ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米116t・水277t）、物資保管リスト、殺虫剤提供 |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行、西地区等バス運行調整中 |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、民間船入港（4/28） |
| | | ⑥ | 避難者自立支援 | ア | 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 6/1入居（雇用促進39世帯、民間アパート161世帯、アルプス35世帯）、自立セット、配布ルール（現物主義） |
| | | ⑦ | 仮設住宅 | ア | 仮設住宅の建設 | 東G206戸（58戸入居済、148戸入居5/24～）、刈敷田72戸（入居5/9～）、西地区513戸（入居6/1～）、柚本209戸（入居6/10～）、市500戸（6月中旬以降随時完成）、市外居住者2次募集終了（422件）、仮設入居再募集（6/1～） |
| | | | | イ | 仮設住宅への移住 | 移住計画（地域コミュニケーション）、仮設住宅入居支援物資等、仮設入居（東G206戸うち149戸570人入居、刈敷田72戸うち71戸263人入居、西地区96戸うち3戸13人入居済）、玉野地区入居希望者9件 |
| | | | | ウ | 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、仕出弁当、集会所完成後給食）、組長・戸長体制の構築、市担当者配置（集会所単位） |
| | | ⑧ | 義援金など | ア | 義援金 | 義援金944件　4億8,945万円、　支出済額　1億8,944万円（生活支援金1億3,683万円、仮設住宅入居支度金2,860万円、リックサック856万円、担架67万円、自立支援セット1,478万円）　残額　3億1万円 |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 | 該当者（0～18歳）28世帯48人、うち小中学生28人（震災孤児5人、片親23人）、募金 計714件1億1,873万円 |
| | | | | ウ | 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等支援11台 |
| | | ⑨ | 原発事故への対応 | ア | 情報開示 | 放射能測定値公表、水道水モニタリング、学校等屋外生活留意、市内幼小中の放射線量測定公表、仮設住宅測定 |
| | | | | イ | 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康チェック・相談（5/28・29玉野307人）、市民説明会（6/6日立木） |
| 3 | 長期的対応 | ① | 復興への取り組み | ア | 復興会議 | 復興会議（6/3）、復興顧問会議、復興計画策定 |
| | | ② | 被災地及び市内復興 | ア | 道路・護岸等の復旧 | 西地区市道補修、日下石・石上線通行止、常磐道・阿武隈東道路工事再開、護岸復旧（大洲・磯部）6月中 |
| | | | | イ | 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、野菜等摂取出荷自粛（HP）、土地改良区（賦課金取扱方針）、パイプライン復旧 |
| | | | | ウ | 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市（FM等PR）、朝市NPO申請中、漁協市場復興状況（岸壁、市場、事務所等） |
| | | | | エ | 被災商業者支援 | 西地区仮設住宅地域の仮設店舗（国県調整中） |
| | | | | オ | 市内企業の現状 | 操業再開　3/21～5/9（大橋工業、IHI一部、アリーナ、ニダック、タコ精機、ソマ、三星化学、ハクゾウ、オリエンタル、三之橋、ファイマティック）、共同火力（来春一部発電、作業員宿泊所）、中小企業支援職員1名、電力制限緩和（5/25） |
| | | ③ | 被災者支援 | ア | 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者（一人暮し・老老世帯）、住居流失・全壊　など） |
| | | ④ | 後世への伝達 | ア | 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | | ア | 原発難民受け入れ | 南相馬仮設住宅入居依頼（申込者チェック）、飯舘仮設住宅入居依頼（164世帯） |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（α米2千食、軽油10kℓ）、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kℓ、紙おむつ等）等 |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所（日立本公民館）利用4/29～　計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | | ア | 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援 |

## 6月1日（水）

### 東京都稲城市と　災害時等相互応援協定締結



市は、東京都稲城市と災害時の相互応援に関する協定を締結しました。

調印式は6月1日、相馬市役所で行われ、立谷市長と稲城市の田野倉秀雄副市長が協定書に押印し、握手を交わしました。

## 6月1日（水）

### 福島駐屯地音楽隊　避難所で激励演奏会

陸上自衛隊・福島駐屯地音楽隊による演奏会は6月1日、避難所となっているスポーツアリーナそうまで開かれ、軽快なリズムで避難者を激励しました。

## 6月1日（水）

### 中村一小児童　避難所で歌のプレゼント

中村第一小学校５年２組の児童32人が６月１日、避難所となっているスポーツアリーナそうまで避難者への肩たたきや、合唱を披露しました。

## 6月2日（木）

### 清里フィールドバレエ　中二小でオルゴールと共演

"清里フィールドバレエ"心の震災復興プロジェクト実行委員会（代表舩木上次）は6月2日、中村第二小学校で世界最大級のオルゴールの演奏に合わせたバレエの公演などを行い、児童らに芸術の息吹を伝えました。

## 6月2日（木）

### 子どもの心のケア　相馬フォロアーチーム NPO 化設立総会

被災した児童・生徒の精神的ケアを行う相馬フォロアーチーム NPO 法人化のための設立総会は6月2日、生涯学習会館で開かれました。

## 6月3日（金）

### 相馬市復興会議　初回開催

相馬市復興会議の第１回会議は６月３日、市役所で開かれ、委員２６名が出席しました。

委員は被災地区の区長会理事や農水商工団体、市幹部などで構成。

復興会議には、元三重県知事で早稲田大学大学院教授の北川正恭氏やローソン代表取締役社長の新浪剛史氏ら、有識者７人で構成する「顧問会議」を設置。今後の復興で助言を受けます。

### 復興に向けての基本方針・基本理念など

#### ■基本方針

復興計画は立てることが目的ではなく、達成するために策定する。

したがって、進捗率をチェックしながらバージョンアップしていく必要がある。また、ＰＤＣＡサイクルにより達成度とプランの妥当性の検証・改訂も必要。ＩＳＯ 9001 の手法で進めていくことにする。

#### ■基本理念

- 被災者がそれぞれの年齢層において人生設計が出来るようになること。
- 生活環境、産業振興にかかるソフト事業、ハード事業を検討し計画を策定する。

#### ■期間

- 仮設住宅から恒久住宅等への移住を、平成 25 年 3 月。
- がれき処理の終了を、平成 26 年 3 月。
- 産業振興については、漁業は 2 年、農業は 5 年を目安とする。

## 6月4日（土）

### ヘドロ・がれきの粉じんから身を守る　健康対策講演会

東日本大震災で発生した津波によるヘどろやがれきから飛び散った粉じんによる健康被害が懸念されていることを受け、6月4日、市では「ヘドロやがれきの撤去・除去に携わる作業員や住民の健康対策」講演会をコミュニティセンターで開催しました。

## 復興に向けての基本方針・基本理念など

津波の影響で大量の瓦礫が発生し、その数倍～10倍とも推測される大量のヘドロが、市民生活領域に流入・堆積した。

ヘドロの推定量は160万㎥。

このことから、市ではヘドロの腐敗や乾燥による市民生活領域への飛散、処理工程における作業員の健康に対する影響などのヘドロ堆積に起因する種々の被害に対し、その対策を講ずるため「ヘドロ健康障害対策システム」を作成した。

### ■ヘドロ健康障害対策システム

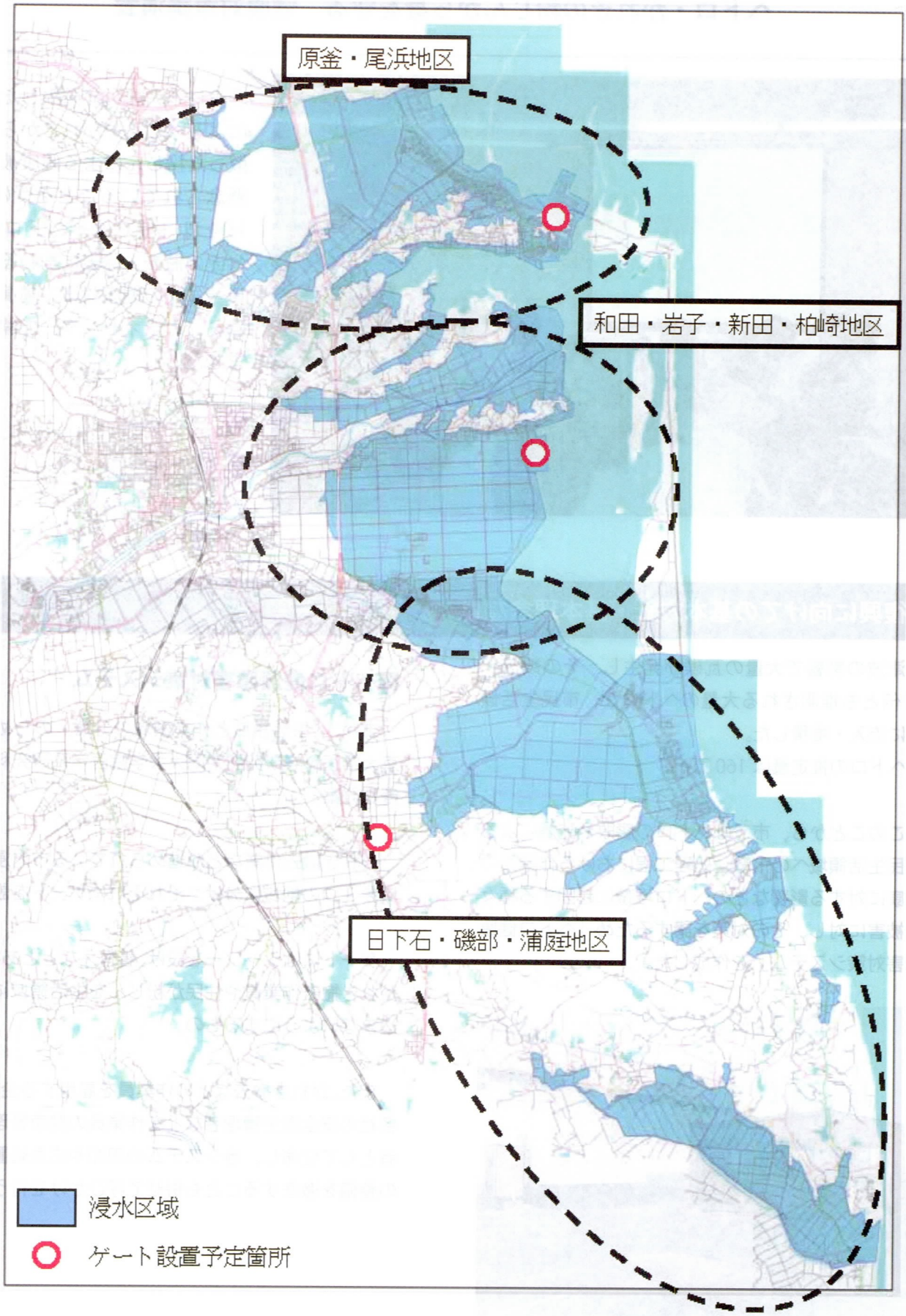
市が、「生活領域と作業領域の分離」のため、東京大学医科学研究所や同大大学院医学系研究科と連携し発案。

がれき撤去作業などが進められている市内浸水領域を3つの地域に分け、それぞれにゲートを設置。

ゲートにはシャワーを設け、着替えなどとあわせ、がれき撤去作業員や住民が粉じんを生活領域に持ち込まないようにするもの。

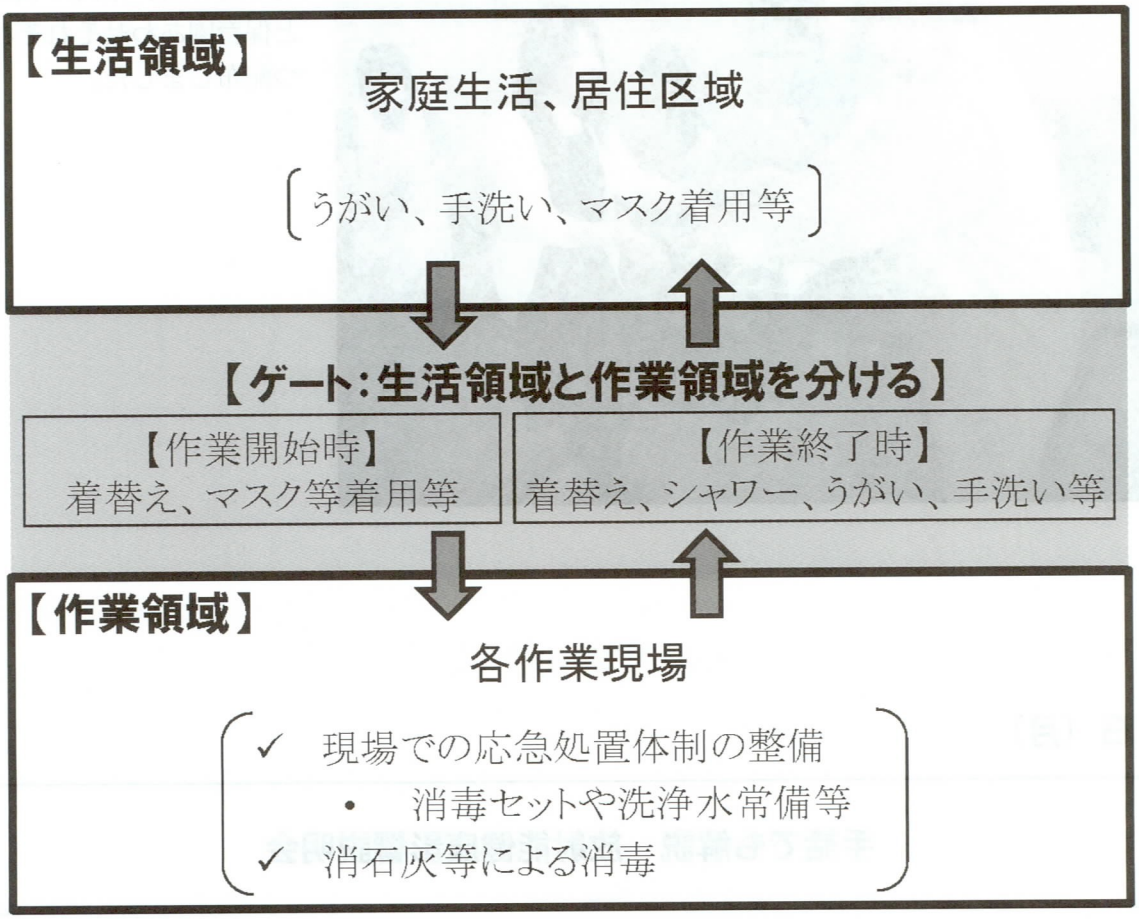
また、がれき撤去などの作業員を雇用する企業は、各社の安全衛生管理者などを作業員の健康管理責任者として任命し、当システムの周知や応急処置体制の整備を徹底することも併せて呼びかけを行う。

ユニット分け及びゲート設置予定場所



# 相馬市におけるヘドロ健康障害対策システム概要

## 【システムイメージ】




- 作業開始時と作業終了時において、作業現場から埃等を持ちこまない手順を踏む(ゲートをくぐる)ことで、生活領域と作業領域を区別。
- 作業員の健康管理責任者として、各社の安全衛生管理者等は、専門家からの講習等を受ける。
- 健康管理責任者は、作業員に対して当システムの周知徹底を図るとともに、作業現場の応急処置体制の整備、作業時の注意喚起等を責任を持って実施。
- 健康被害の有無の把握に努め、健康診断を実施。

## 6月6日（月）

### 私立幼稚園と保育園へ　市教委、線量計配布

市教育委員会は簡易型線量計を6月6日、市内の私立幼稚園と保育園あわせそれぞれ1台づつ配布しました。

## 6月6日（月）

### 手話でも解説　放射能健康影響説明会

市が東京大学医科学研究所の医師などを講師に迎え、各地区ごとに開催している放射線と健康影響についての講演は6月6日、日立木小学校体育館で開かれ、約250人が出席しました。

この日は、坪倉氏の説明と手話による通訳が同時に進行しました。

## 被災した子どもたちの将来のために

お陰さまで、震災孤児・遺児らへの支援金が日本中・世界中から寄せられるようになった。中には私が直接お話しをさせてもらって意気に感じていただき、お帰りになってから広く募金運動をしてくださった方もいる。また少額ながらも、気持ちですと伝えて来られた方もいる。出来るだけ御礼状をと考えているので、口座に送金いただいた場合はメールでお名前とご住所のご連絡をいただきたい。もうひとつは、子どもたちが成長した時まで私が生きていたら、お世話になった方々の名簿を一冊の本にして彼らの旅立ちへの花向けにしたいから。

この震災の復旧・復興作業の指揮を執り続けてきた中で、私自身、大きな勉強をさせてもらった。

瞼に浮かぶ原釜の、生まれ育った家の周りの温かい光景が、すでに消えてなくなっていることを、現地が変わり果てているぶん納得できず、3か月も経とうとするのに、私は現実を心から受け入れることが出来ないのだ。しかし、被災して人生が築き上げてきた全てを失った方々を前に、悲しみや感傷に浸っている余裕など無いから、気持ちに流されないで公務しなければならないことや、冷静に先々の展開を読んで早め早めの手を打っておくことを学習した。何より仕事をしている時が一番落ち着くことも分かったし、本当に苦しい時に支援を受ける有り難さも知った。こんなにお世話になるほど、私は他人に頭を下げて来なかったから、これからの人生でその分の埋め合わせをしなければと思っている。

私が本心では、今回の震災の甚大な被害を受け止め切れていないように、悪魔のような津波に追われた子どもたちも、恐怖体験から抜け出せないでいる。加えて家族や友達を亡くした虚脱感が、本来あかるく多感であるべき子どもたちの感性をむしばんでいるのだ。学校が再開した 4 月 18 日以降、対策会議のたびに教育長から被災小中学校の様子を報告してもらっているが、PTSD はやはり深刻である。

対応策として臨床心理士によるケアを考え「相馬フォロアーチーム」を結成し、きめ細やかな心のケアを始めたのが 4 月の末だったが、開始後からその仕事量の大さへの対応と継続性をどのように確保するかが課題だった。対象は幼稚園から高校生までだから、一人ひとりじっくりとケアをして成長の記録をとどめて、さらに最長 15 年経過を追うとしたら、人材と財源を長期的にマネジメントしなければならない。

6 月 2 日、この活動を理念と継続性と、透明性をもって着実に行っていく目的で、NPO としての設立総会を行った。理事長には相馬市教育委員の山田耕一郎先生が、副理事長には立教大学教授で「難民を助ける会」理事長の長有紀枝先生が就任された。その他、相馬市内の有識者の方々と、福島から近藤菜々子弁護士が理事になられた。法人格を持つことによって相馬市としても支援しやすくなるし、寄付も集めやすくなる。何より目的と予算執行の間に客観的な検証を加えることが出来る。被災した子どもたちへの支援を長期間しっかりと継続するとともに、彼らの成長過程でアドバイザーになってもらえればとも考えている。

ところで、この NPO 活動は孤児・遺児への支援制度と表裏一体である。

子どもたちを残して死んでいった親たちの無念に応えるためには、金銭的な支援だけでは足りないと思うので、高校卒業後の高等教育の奨学金の分もと思って世界中に支援を呼び掛けているが、忘れていけないことは、豊かな心と学力が充分に身につくようサポートすることである。よって、いずれ体制が整い次第、NPO 活動のメニューに学力向上部門を加えてもらおうと考えている。そして孤児・遺児だけではなく、被災した相馬市のすべての子どもたちに、支援していただく方々の善意が着実に行きわたり、最も有効に活かされるよう、一同、知恵を絞り努力を傾注していきたい。

## 6月8日（水）

### 全国医系市長会で　震災対応を報告

平成23年全国医系市長会定例会議は、6月8日、都市センターホテルで開催され、東日本大震災の被災地である岩手県宮古市の山本市長、宮城県登米市の布施市長、そして会長である立谷市長から、これまでの対応や現況について報告しました。

## 6月8日（水）

### 琴欧州・阿覧　はまなす館で激励

大相撲の力士、ブルガリア出身の琴欧州とロシア出身の阿覧が6月8日、避難所となっているはまなす館を訪れ、避難者と交流しました。

| 第142回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年6月10日（金）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① 行方不明者の捜索 | → | ア 捜索体制 | 捜索、重機活用、自衛隊、警察、消防署、消防団員（平常勤務） |
| | | | | イ 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認3/25・28・4/4・14、5/5）、5/7本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② 生存者・死亡者確認等 | → | ア 不明者状況 | 6/10　不明者27人（磯部11、原釜1、尾浜12、小野1、和田1、新沼1） |
| | | | | イ 遺体・死亡・火葬の状況 | 6/10　遺体441体（市民413市外住民16不明12）、市民死亡432人（市内413市外19）、火葬445体（身元判明407体） |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア 被災状況把握 | 罹災証明（受付4,527件、発行4,107件）、被災家屋調査2,404件、住宅被害3,008棟（全壊1,025、大規模184、半壊321、一部損壊1,478） |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災地整理 | → | ア ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、流木切断作業、ガレキ等撤去、国交省ポンプ排水（新田6/4～） |
| | | ② 被災者・避難者の生活支援 | → | ア 健康管理 | ボランティア医師巡回、中央病院眼科医巡回、福医大巡回、歯科医師巡回、メタボ対策（栄養バランスある食事提供）、避難所粉じん対策（空気清浄機等配置）、医師夜間巡回、派遣医師市長対応、 |
| | | | | イ 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎270件、巡回231件、計501件（被災者474件、一般27件） |
| | | | | ウ 食料・物資供給 | 避難所以外配給（罹災証明）、避難者食事（給食・仕出）、漁業者（米7t、3t）、古着配給 |
| | | | | エ 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計4,612人 1億3千836万円、県義援金計1,470件 7,350万円、国義援金計1,753件 5億3千841万円 |
| | | | | オ 雇用 | 市直接（調理員34人）、森林組合（流木作業32人）、ガレキ撤去（建設業83人、環境組合18人）、被災地消毒12人 |
| | | | | カ その他生活支援 | 入浴3/22～6/9；22；121人、消石灰・消毒液、自衛隊音楽隊（6/1アリーナ） |
| | | ③ 今後の教育のあり方 | → | ア 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬フォロアーチーム；6人編成、6/1～臨床心理士3人配置、HP掲載）、学力向上 |
| | | | | イ 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、区域外就学（玉野・飯舘からの移住者の就学先）、学校施設被災区分調査（大野小校舎「中破」） |
| | | ④ 市民生活支援 | → | ア ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事等）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ対策（マスク・靴・消毒セット等配布、シャワー設置）、ヘドロ健康被害講義（6/4）、アスベスト対策（濃度測定6/10開始）、市ヘドロ健康障害対策システム、消石灰（側溝等） |
| | | | | ウ 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア6/10（直轄：MS社9人、VC登録49人活動54人、被災宅泥除去等2件24人）、自治体等（流山市8人、小田原市民10人、長岡市3人、足立区6/13～2人） |
| | | | | カ 情報伝達・開示 | 広報紙（4/15、5/1・15、6/1）、広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、原町）、JR常磐線復興調整会議 |
| | | ⑤ ろう城体制 | → | ア 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給、区長・組長会議 |
| | | | | イ 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米88t・水268t）、物資保管リスト、殺虫剤提供 |
| | | | | ウ 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行、西地区等バス運行（6/20～予定） |
| | | | | エ 相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、民間船入港（4/28） |
| | | ⑥ 避難者自立支援 | → | ア 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 6/10入居（雇用促進31世帯、民間アパート161世帯、アルプス30世帯）、自立セット、配布ルール（現物主義） |
| | | ⑦ 仮設住宅 | → | ア 仮設住宅の建設 | 東G206戸（167戸入居済）、刈敷田72戸（入居完了）、西地区513戸（入居6/1～）、柚木209戸（入居6/10～）、市500戸（6月中旬以降完成）、市外居住者2次募集終了（461件）、仮設入居再募集（6/1～、108件うち市内39件） |
| | | | | イ 仮設住宅への移住 | 移住計画（地域コミュニケーション）、仮設住宅入居支援物資等、仮設入居（東G206戸うち185戸682人入居、刈敷田72戸264人入居完了、西地区513戸うち214戸557人入居、柚木109戸うち2戸6人入居）、玉野地区希望者13件（うち児童生徒のいる世帯5件） |
| | | | | ウ 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、仕出弁当、集会所完成後給食）、組長・戸長体制の構築、市担当者配置、掃除機等支給（6/15） |
| | | ⑧ 義援金など | → | ア 義援金 | 義援金977件　4億9千176万円、　支出済額　2億2千253万円（生活支援金1億3千836万円、仮設住宅入居支度金5,358万円、リックサック856万円、担架67万円、自立支援セット2,135万円）　残額　2億6千923万円 |
| | | | | イ 震災孤児のための募金 | 該当者（0～18歳）28世帯48人、うち小中学生28人（震災孤児5人、片親23人）、募金 計849件 1億4千270万円 |
| | | | | ウ 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等11台支援、大型バス1台支援 |
| | | ⑨ 原発事故への対応 | → | ア 情報開示 | 放射能測定値公表、水道水モニタリング、市内幼小中測定公表、仮設住宅測定公表、市内小学校プール使用中止 |
| | | | | イ 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康チェック・相談（玉野307人）、市民説明会（6/6日立木）、学校関係（6/4：37人） |
| 3 | 長期的対応 | ① 復興への取り組み | → | ア 復興会議 | 復興会議（6/3・6/15・毎週水曜日）、復興顧問会議6/19（日）、復興計画策定 |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア 道路・護岸等の復旧 | 西地区市道補修（6/17完了）、日下石・石上線通行止、常磐道・阿武隈東工事再開、護岸復旧（大洲・磯部）6月中 |
| | | | | イ 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、野菜等摂取出荷自粛（HP）、土地改良区（賦課金取扱方針）、パイプライン復旧 |
| | | | | ウ 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市（FM等PR）、朝市NPO申請中、漁協市場復興（岸壁、市場、事務所等） |
| | | | | エ 被災商業者支援 | 西地区仮設住宅地域の仮設店舗（中小企業基盤整備機構に申請、工程表作成、7月中公益仮設完成予定） |
| | | | | オ 市内企業の現状 | 操業再開　3/21～5/9（大橋工業、IHI一部、アリーナ、ニダック、タコ精機、ソマ、三星化学、ハクゾウ、オリエンタル、ニ之橋、ファイマティック）、共同火力（来春一部発電、作業員宿泊所）、電力制限緩和（5/25） |
| | | ③ 被災者支援 | → | ア 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者（一人暮し・老老世帯）、住居流失・全壊、職業・緊急雇用　など） |
| | | ④ 後世への伝達 | → | ア 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア 原発難民受け入れ | 南相馬仮設住宅入居依頼（申込者チェック）、飯舘仮設住宅入居依頼（164世帯） |
| | | | | イ 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（α米2千食、軽油10kℓ）、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kℓ、紙おむつ等）等 |
| | | | | ウ ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所（日立木公民館）利用4/29～ 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援 |

## 6月12日（日）

### ガレキ処理　中間処理をプロポーザル方式にて公募

市では、推定量22万tの災害廃棄物の中間処理業者の選定にあたり、プロポーザル方式にて公募を行いました。

## 東日本大震災相馬市災害廃棄物中間処理業務

### ■委託業務の目的

東日本大震災により倒壊した家屋等の災害廃棄物について、効率的な選別及び破砕等の処理を行うことにより、処分する廃棄物量を軽減すると共に、廃棄物量の運搬コスト、処分コスト等の削減を図ることを目的とする。

### ■業務概要

**●業務委託名**　東日本大震災相馬市災害廃棄物中間処理業務委託」
**●業務委託場所**　相馬市光陽二丁目地内
**●種別**　廃棄物中間処理及び土木工事一式
**●業務内容**

災害廃棄物中間処理業務の内容は、廃棄物の受入、選別、保管、積出に必要な作業を行うとともに、廃棄物の飛散、悪臭、火災及び不適切な行為の予防及び集積場の保全管理を行い、適正な中間処理施設の管理運営を図るものとする。

### ■委託業務量

**① 推定発生廃棄物量 ２２万ｔ**
**② 処理期間 約３年**

※参考、地区別推定廃棄物量

- 原釜、尾浜地区 104,833.7t
- 和田、岩子地区 9,918.0t
- 新田、程田地区 971.8t
- 日下石、柏崎地区 1,836.4t
- 日下石、磯部地区 93,015.0t
- 蒲庭地区 6,804.7t

## 東日本大震災における　相馬市災害廃棄物処理基本計画（抜粋）

### ■計画策定の目的

３月１１日の大震災により発生した災害廃棄物の早急に適正な処理を行うことにより、市民の健康を守り、被災地の早期復旧に寄与することを目的とする。

### ■相馬市災害廃棄物の特徴

当市の災害廃棄物の特徴は、津波による集落規模の家屋が全壊し押し流されることから原形を留めず、あらゆるものが混在し、さらに、津波により流された土砂がそれらの廃棄物に付着している。 被害にあった集落は、木造家屋が多い地域であり、木くず等の発生が多い。

### ■災害廃棄物処理の考え方

**●罹災者の雇用及び地元企業への発注**

- 今回の大震災により職を失った罹災者の方々を優先的に雇用することにより、安定した生活の実現に寄与する。
- 地元で出来る業務は、地元企業へ発注し、地域の経済波及に貢献すること。

**●中間処理による徹底した選別**

- なるべく多くの可燃物（焼却対象物）を選別することで、最終処分量の減量化を図る。
- 選別作業において廃棄物の付着土砂を出来るだけ取り除き、一定の選別精度を確保することにより、処理先のトラブルの防止を図る。
- 市内の廃棄物発生現場に近い場所で、選別処理を行うことにより、取り扱い廃棄物量＝嵩を減らし運搬コストの軽減を図る。
- 罹災者雇用による手選別作業により、被災者の思い出の品や貴重品等の選別を行い一時保管後に、所有者へ渡す。

**●環境に配慮した処理方法**

- 作業員の健康管理と近隣の環境に配慮した分別処理を行う。

**●選別方法**

- 重機による粗選別
- 破砕選別機による選別
  不燃物・可燃物・木くず・コンクリートガラ・金属くずに分別
- 木材粉砕選別機に選別
  流木及び解体家屋材

**決定方針**

- **大震災により職を失った罹災者を優先的に雇用**
- **地元で出来る業務は地元企業へ発注**
- **中間処理による徹底した選別**
- **環境に配慮した処理方法**
- **市民代表による採点にて決定**

## 業務内容・処理基本計画を踏まえた業者の選定

### ■業者選定方法

(1) 市は選定するにあたり、「災害廃棄物中間処理業者決定会議」（以下、「決定会議」）において総合的に最も優れている者を優先交渉権者と決定する。
(2) 技術提案者は決定会議において、プレゼンテーション及びヒアリングを実施する。
※時間配分の目安
・ プレゼンテーション（技術提案書の説明）・・・20 分以内
・ ヒアリング（決定会議メンバーから質問）・・・10 分以内
(3) 委託の契約については、優先交渉権者と市により技術提案書の精査及び協議を実施し委託料を決定後に契約する。

### ■技術提案書に網羅すべき項目

(1) 実施方針関係（環境に配慮した処理方法など）
(2) 特定テーマ（地元雇用や地元企業活性化など）
(3) その他（低コストなど）

### ■提出期限

平成 23 年 6 月 10 日（金）から平成 23 年 6 月 20 日（月）

## 公募の結果

6 月 30 日と 7 月 8 日に相馬市災害廃棄物中間処理業者選定会議を開催し、応募のあった 11 社の提案内容についてヒアリングを実施。一次審査及び二次審査の結果は以下のとおり。

### ● 一次審査

| 順位 | 提案者名 | 一次選考審査結果 | | | 得点 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 業務実施方針 | 特定テーマに対する対案 | 参考見積書 | |
| 1 | A社 | 35.9 | 30.9 | 20.0 | 86.8 |
| 2 | B社 | 34.4 | 36.6 | 16.0 | 86.7 |
| 3 | C社 | 32.6 | 33.6 | 16.0 | 82.2 |
| 4 | D社 | 33.2 | 32.7 | 16.0 | 81.9 |
| 5 | E社 | 25.5 | 29.3 | 15.0 | 69.8 |
| 6 | F社 | 32.8 | 30.7 | 4.0 | 67.5 |
| 7 | G社 | 23.3 | 27.4 | 6.0 | 56.7 |
| 8 | H社 | 16.7 | 29.9 | 9.0 | 55.6 |
| 9 | I社 | 16.6 | 30.8 | 4.0 | 51.4 |
| 10 | J社 | 15.6 | 25.9 | 3.0 | 44.5 |
| 11 | K社 | 19.2 | 17.7 | 4.0 | 40.9 |

※今回応募 11 社の参考見積書中、最低価格は 1,732,500 千円、最高価格は 2,906,400 千円。
※一次選考審査結果の得点上位 4 社を選出し、二次選考審査（ヒアリング）を実施。

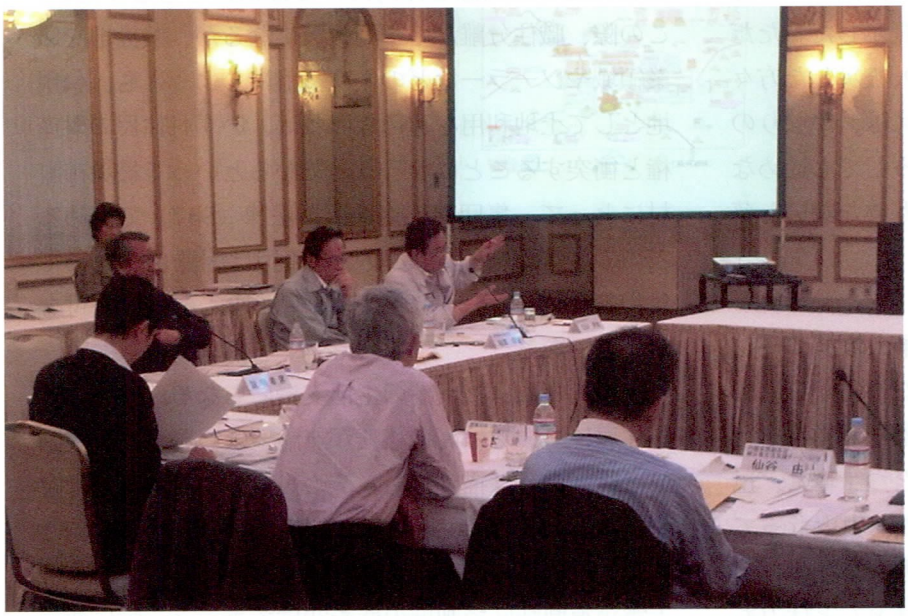
### ● 二次審査

| 順位 | 提案者名 | 二次選考審査結果 | | | 得点 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 当業務による地域経済活性化 | 最終処分に対する提案や考え方 | その他 | |
| **1** | **A社** | **108** | **97** | **98** | **303** |
| 2 | D社 | 97 | 94 | 90 | 281 |
| 3 | B社 | 96 | 95 | 84 | 275 |
| 4 | C社 | 97 | 81 | 89 | 267 |

※二次選考ヒアリング得点は、選考委員 12 名の合計点

## 6月12日（日）

### 被災者の孤立死を防止するために　政府有識者会議で市長プレゼン



被災者の孤立死を防止するための有識者会議は6月12日、仙台市で開催され、政府、被災自治体、社会福祉関係団体から関係者が出席し、復興に向けた取り組みについて議論が交わされました。

## 6月12日（日）

### 広島の陸上自衛隊　活動終了に花束

災害派遣により相馬市で活動してきた陸上自衛隊第46普通科連隊（広島）の大元宏朗連隊長は6月12日、市災害対策本部で活動の終了を報告しました。

## 相馬市復興計画

６月３日、今後の相馬市の復興の方向性を協議するために「相馬市復興会議」を立ち上げ、議論すべき課題を検討項目として私なりに整理して提示した。ただ現段階で、3年後、5年後の被災地の姿や、被災した方々の望ましい生活像を描き切れるかといえば、かなりの無理がある。国の制度を変えないとどうしても進めない部分もあるし、何より財源の見通しが立たないと夢話に終わってしまうから。

この３カ月、被災による健康や精神へのダメージを最小限に抑え、また原発など二次的な被害から地域を崩壊させないことを最優先に対策本部を運営してきた。次々に発生する難問に、ひとつひとつ丁寧に、迅速に対処するため、市役所はじめ市民が一丸となって頑張ってきた結果、少なくとも対応の遅れで死者を出すことは無かった。特に対策本部員はほとんど休みも取らず、よくやってくれたと思う。

被災して間もないころに政府が立ち上げた復興会議には、当時、正直言って違和感を覚えた。少なくとも震災後一カ月までは目先の直面する課題解決に夢中で、彼らの議論の中身が、我われには遠い国の話のように思えたのである。

今回の震災は規模が異常に大きく、またそれぞれの被災市町村によって状況がすべて異なる。何より、「元に戻せば復興」とはいかないことが大きな特徴であり、それぞれの地域特異性ゆえに復興の定義も多様である。

多かれ少なかれ、何らかの原発被害を受ける本県の各市町村と岩手宮城では、全く違ったプロセスで復興が進むだろう。また本県の中でもそれぞれの市町村によって、被害の実態も、復興に対する考え方もすべて異なる。相馬市のことは相馬市でなければ決して分からないのだから、自分たちで脳みそに汗をかきながら復興計画を練り上げ、育て上げていくべきである。政府の復興会議は被災市町村と緊密に連携しながら、現実を踏まえて復興策を議論すべきだと思う。

大津波による大規模被害の最大の特徴は、復旧が決して復興にならないことだ。相馬市でも被災地にある程度の居住制限をかけたうえで、新たに生活の場と産業を再構築していかなければならないのだが、津波で瓦礫の原となった被災地の将来的な扱いについては、我われだけの知恵と体力だけでは如何ともしがたい。この際、職住分離が基本的政策になるが、被災地を職業領域やソーラーなどの生産基盤にしようにも、公用地として土地利用を進めなければ、いずれ住民の財産権と衝突することになろう。だからといって被災市町村にとって、集団移転促進事業法律（S47）で定める25％にもなる土地買い取り料負担は困難だ。せめて負担を 10％以下、できれば 5％に抑えられる交付金が必要である。

実現できれば被災者の生活支援にもなる。

住居については高台移転が無論望ましいが、現段階では移転の絵は描けても、その後の人生設計までは企画出来ない。高台に作った災害公営住宅を将来（7.5年後）安価に売却することが出来ないのだ。この点は大震災復興特区で制度の壁を突破できるよう国に要請していきたいと思っている。

もうひとつ重要なことは、復興に至るまでの長い道のりをマネジメントすることである。どんな立派な復興計画をたてても、途中で孤独死や自殺者を出したのでは情けない。だから復興計画には最終の姿に至るまでの管理計画も含まれる。仮設住宅での健康管理、孤独死防止、子どもたちの PTSD 対策、瓦礫撤去の際の作業員の健康管理、地域経済活性化、放射能問題対策など予想される多くの課題についての対策も当然復興計画の一部である。これらの問題をのり越えてはじめて復興のステージに立てると考えれば、おのずから中心テーマは被災した市民の生活再建ということになる。多少おおげさかも知れないが、私が考えるに、何をもって「復興」を定義するかと言えば、それぞれの世代で被災者の人生設計が可能になることではないだろうか。

子どもたちの将来のために充分な教育体制を築き、孤児・遺児には生活支援をしながらしっかり育てること。特に単独世帯をはじめとするお年寄りには、安心な生活と医療介護体制を提供すること。

青壮年の世代には産業の復活と雇用の確保。

これらの大きな課題を達成するために、瓦礫を撤去して土地利用を図り、安全で安価な住宅を提供し、また漁港や農地を復旧するのだ。さらに、土地利用の知恵を縛り、住宅取得の無理のない方法を考え、漁業や

農業の新しい経営方法や事業形態を生み出し、それぞれの年齢層で将来像が描けるようになるために、ハード事業を細心の注意を払って展開していこうと考えると、復興計画の意味が見えてくるようになる。

また、復興計画は今後発生するであろう新たな問題や、国の対策の規模、範囲、深さ、きめ細かさの如何によっては当然変化と進化をすべきものである。

相馬市はここ数年私のマニフェストを、市が認証を受けている ISO9001 に基づいて、PDCA サイクルを廻すことによって実現する手法を用いてきた。今回の復興計画も 2011 バージョン 1 として作ればよいのだ。来年は PDCA サイクルによりバージョン 2 として進化させればより実効性のあるものが出来るだろう。過去に認証を受けた ISO14001 の精神や手法も、環境影響を最小限に抑えるために役に立つに違いない。

ISO を展開するのに必要なことは軸（理念）がしっかりしていることである。復興にあたって軸は、「それぞれの年齢層での人生設計が描けるようにソフト事業を。その為にハード事業を適切に実行」ということになるが、新たな課題の解析と対応とか、達成度のチェックとか、手法の見直しとかを相馬市が慣れ親しんだやり方で自信を持って目的達成に走ればよい。

計画立案にあたり、客観的な評価とさらなる知恵を求める目的で復興顧問会議を置き、各界の有識者に顧問にご就任いただいた。座長には早稲田大学マニフェスト研究所の北川正恭教授、ほか東京農大学長の大澤貫寿氏、元国交省技監で現在国土技術センター理事長の大石久和氏、元国税庁長官で現在日本損保協会副会長の牧野治郎氏、東大医科研の上昌広特任教授、ローソン社長の新浪剛史氏、難民を助ける会理事長で立教大学教授の長有紀枝氏。相馬市においでいただいたことのある方のなかで、私が私淑する 7 人の有識者にお願いしたところ先生方には快くお引き受けいただいた。我われの立場に立ってご議論いただけるものと期待をしている。

これから各課題の具体策な方法論と、財源根拠の精査に入るが、7 月中にはバージョン 1-1 を、顧問会議のご指導を得て、市民と相馬市の支援者の皆さまに提示したいと考えている。その際ホームページにアップするので、特に今回の震災で相馬に支援においでいただいた方や、遠くから寄附を寄せられて間接的にも今日までの復旧・復興作業に参加された善意の皆さまからも、広くアドバイスをいただければ有り難い。

## 6月16日（木）

### 参議院復興特別委員会　参考人として意見陳述

参議院東日本大震災復興特別委員会は6月16日開会され、復興基本法案等に関する件について立谷市長らが参考人として招致されました。

## 6月17日（金）

### 仮設住宅で新たな一歩　市内の全避難所閉鎖

6月17日をもって、市内の避難所が全て閉鎖されました。被災者は今後、仮設住宅で新たな生活が始まります。

## 6月18日（土）

# 市内各地の放射線量を測定　メッシュ調査を実施

市では6月18日、市内全域の放射線量を把握するためのメッシュ調査を実施しました。

## メッシュ調査実施内容

**●測定日**

6月18日（土）

**●区分・測定箇所**

市内を1キロメートル四方で区分し、それぞれの区分の中で代表的な173箇所で測定。

**●測定地点・方法**

地上から1メートルの高さで、10秒おきに5回計測し、その平均を算出。

地表面は、アスファルトと土の2箇所を計測。

**※測定ポイント決定に係る注意事項**

(1) 区画の中に公会堂・公共施設があれば、そこをポイントとする。

(2) 基本は、民家周辺を測定することとし、民家などが無い場合は道路や農地で測定。

(3) 山上・玉野地区等山間部においては、無理して山に入らなくてもよい。

**●測定機器**

ポリマスター社製　ＰＭ１７０３ＭＯ―１

## 測定結果

**●市街地・沿岸部の放射線量**

0.09～0.96マイクロシーベルト

**●山間部の放射線量**

0.29～2.50マイクロシーベルト

この測定結果に対する東京大学医科学研究所の坪倉正治先生のコメントは次のとおり。

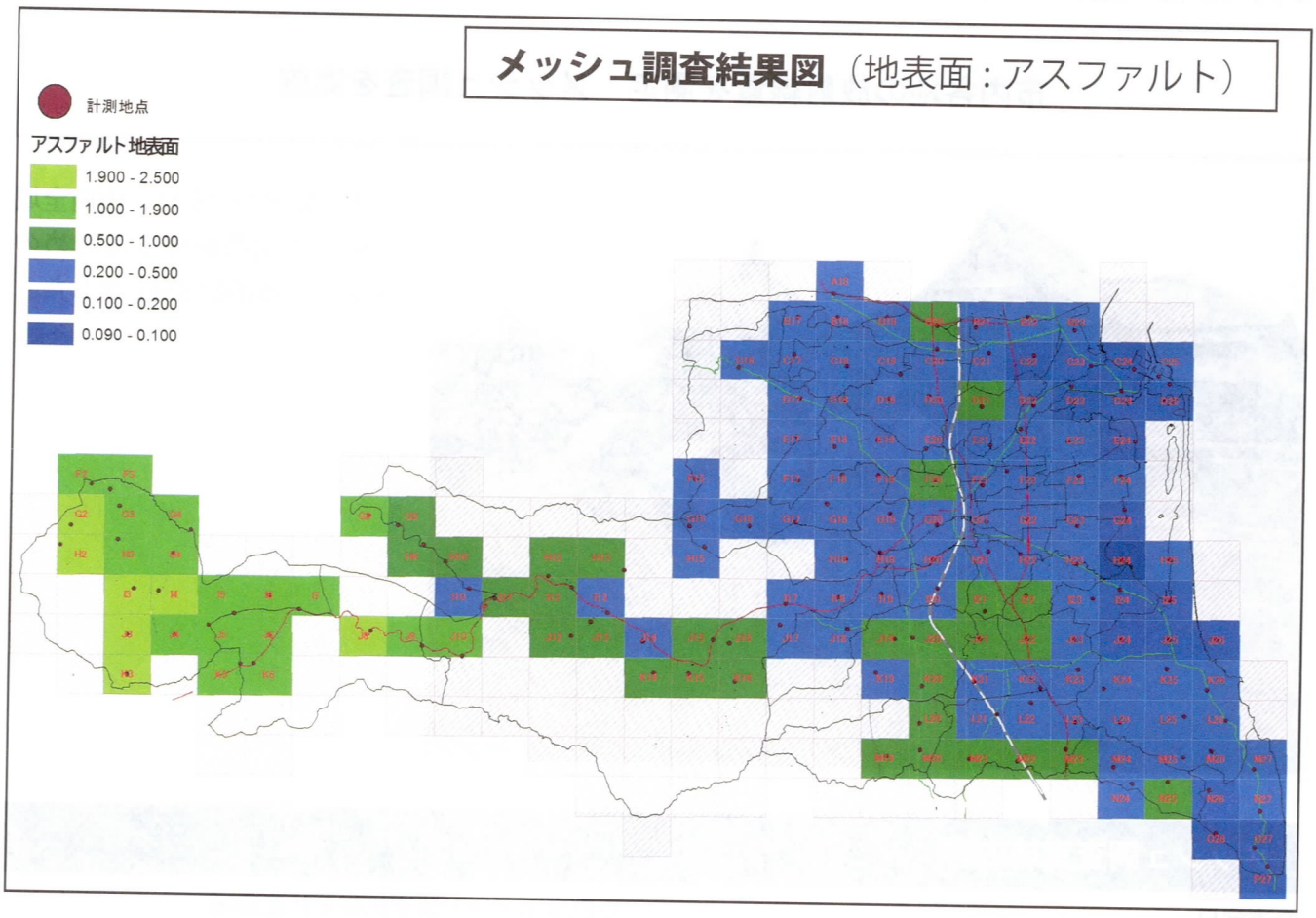
「ホットスポットと思われるような局所的線量の高い地域は認められませんでした。ただし、玉野地区の居住地域では、全体的に1.13～2.50マイクロシーベルトの値を示しているので、生活において注意が必要です」

### 生活上の注意点

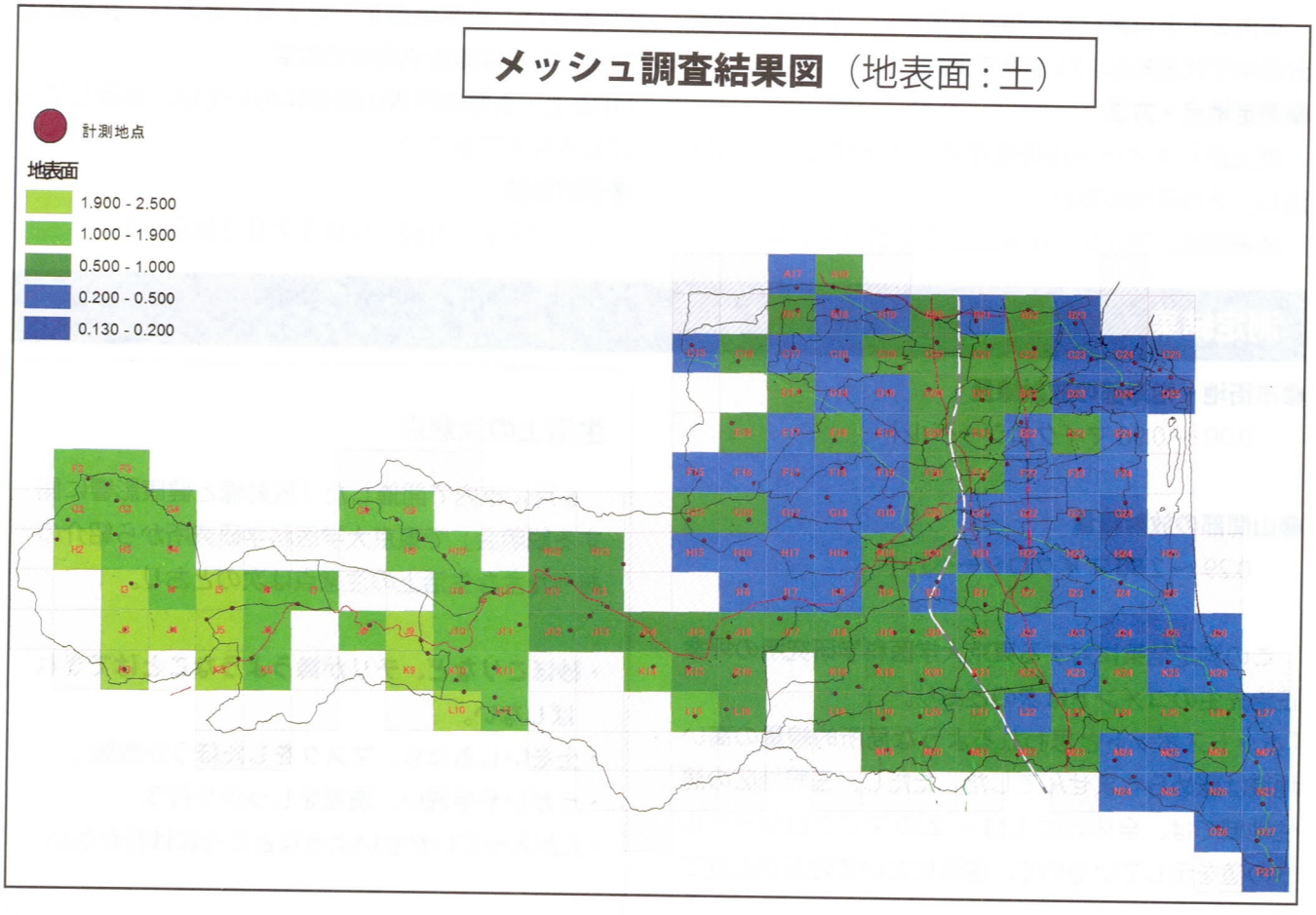
6月に市内で開催した「放射線と健康影響に関する説明会」で東京大学医科学研究所から紹介のあった主な生活上の注意点は次のとおり。

- **砂ぼこりなど、チリが舞うようなことはできればしない。**
- **土をいじるなら、マスクをしたほうが無難。**
- **うがいや手洗い、洗濯をしっかり行う。**
- **人が入っていかないようなところには行かない。**

## メッシュ調査結果図（地表面：アスファルト）




## メッシュ調査結果図（地表面：土）



## 6月18日（土）

### ちょっとここで　一休みの会開催

福島県立医科大学、心のケアチームが開催する「ちょっとここで一休みの会」は6月18日、保健センターで開かれました。

## 6月18日（土）

### 長野県信濃町の少年野球チームから　震災孤児等支援金

長野県信濃町の少年野球チーム・柏原ナウマンズから6月18日、児童らの集めた寄付金が相馬市震災孤児等支援金として手渡されました。

## 6月19日（日）

### 復興目指して　第１回相馬市復興会議顧問会議開催

相馬港を視察する委員

東日本大震災からの復興計画策定に向け、有識者から助言を受けるための相馬市復興会議顧問会議は６月19日、市役所で開催され、地域の復興に向けた課題などについて意見が交わされました。

会議に先立ち、委員は市内の被災地や仮設住宅などを視察。

会議では立谷市長が復興計画の基本方針による復興のイメージについて説明。

委員からは「地域が動かなければ何も変わらない」、「相馬市の取り組みをモデルとして発信していきたい」といった復興計画策定に対する意欲が示され、公営住宅の建設や農業や漁業の再興に向けた今後の取り組みなどについて意見が交わされました。

顧問会議は２カ月に１度、相馬市または東京都で開催されます。

#### 相馬市復興会議顧問会議委員

**北川　正恭**
（早稲田大学大学院教授、元三重県知事）

**大澤　貫寿**
（東京農業大学学長）

**大石　久和**
（財団法人国土技術研究センター理事長、元国土交通省技監）

**牧野　治郎**
（社団法人日本損害保険協会副会長、元国税庁長官）

**上　　昌広**
（東京大学医科学研究所特任教授）

**新浪　剛史**
（株式会社ローソン代表取締役社長）

**長　有紀枝**
（立教大学大学院教授、NPO法人難民を助ける会理事長）

| 第153回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年6月20日（月）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① 行方不明者の捜索 | → | ア 捜索体制 | 捜索、自衛隊、警察、消防署、消防団員、松川浦大排水捜索終了、陸自第46普通科連隊任務終了 |
| | | | | イ 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認3/25・28・4/4・14、5/5）、5/7本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② 生存者・死亡者確認等 | → | ア 不明者状況 | 6/20 不明者16人（磯部9、原釜1、尾浜5、小野0、新沼1） |
| | | | | イ 遺体・死亡・火葬の状況 | 6/20 遺体441体（市民414市外住民18不明9）、市民死亡443人（市内414市外19宣告10）、火葬446体（身元判明407体） |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア 被災状況把握 | 罹災証明（受付5,252件、発行4,304件）、被災家屋調査2,435件、住宅被害3,074棟（全壊1,028、大規模187、半壊332、一部損壊1,527） |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災地整理 | → | ア ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、流木切断作業、ガレキ等撤去、国交省ポンプ排水（新田6/4～、6/13南側終了、6/20～北側） |
| | | ② 被災者・避難者の生活支援 | → | ア 健康管理 | ボランティア医師巡回（心のケアチーム）、歯科衛生士巡回、保健師巡回、派遣医師市長対応、6/17全ての避難所閉鎖 |
| | | | | イ 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎297件、巡回247件、計544件（被災者514件、一般30件） |
| | | | | ウ 食料・物資供給 | 避難所以外配給（罹災証明）、避難者食事（給食・仕出）、漁業者（米7t、3t）、古着配給、仮設集会所へテレビ等設置 |
| | | | | エ 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計4,764人 1億4千292万円、県義援金計1,495件 7,475万円、日赤義援金計1,753件 5億3千841万円 |
| | | | | オ 雇用 | 市直接（調理員34人）、森林組合（流木作業32人）、ガレキ撤去（建設業104人、環境組合18人）、被災地消毒12人 |
| | | | | カ その他生活支援 | 入浴3/22～6/16終了；22,998人、消石灰・消毒液（家屋関係配布終了）、沖縄県南城市招待（親子~~19組~~） |
| | | ③ 今後の教育のあり方 | → | ア 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬フォロアーチーム；臨床心理士2人、スクールカウンセラー2人配置、HP掲載）、学力向上 |
| | | | | イ 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、区域外就学（飯舘からの移住者の就学先） |
| | | ④ 市民生活支援 | → | ア ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事等）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ムエ・蚊等対策、ヘドロ対策（マスク・靴・消毒セット等配布、シャワー設置（岩子6/17～））、ヘドロ健康被害講義（6/4）、アスベスト対策（濃度測定6/10開始）、市ヘドロ健康障害対策システム、消石灰（側溝等） |
| | | | | ウ 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院開鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア6/20（直轄：MS社6/15終了、延べ2,031人、VC登録44人活動44人、被災宅泥除去等3件23人）、自治体等（流山市8人、小田原市民10人、長岡市3人、足立区6/13～2人） |
| | | | | カ 情報伝達・開示 | 広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、原町）、JR常磐線復興 |
| | | ⑤ ろう城体制 | → | ア 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米110t・水268t）、物資保管リスト、米10t（6/16新庄市）、6/17県災害対策本部（米12t） |
| | | | | ウ 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行、西地区等バス運行（6/20～予定）、患者バス |
| | | | | エ 相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、民間船入港（4/28） |
| | | ⑥ 避難者自立支援 | → | ア 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 6/20入居（雇用促進31世帯、民間アパート162世帯、アルプス22世帯）、自立セット、配布ルール（現物主義） |
| | | ⑦ 仮設住宅 | → | ア 仮設住宅の建設 | 北飯渕206戸、刈敷田72戸、大野台513戸、柚木209戸（入居6/10～）、市500戸（164戸完成）、市外居住者2次募集終了（461件）、仮設入居再募集（6/1～6/20、176件うち市内73件） |
| | | | | イ 仮設住宅への移住 | 移住計画（地域コミュニケーション）、北飯渕206戸708人入居完了、刈敷田72戸264人入居完了、大野台513戸うち316戸845人入居、柚木209戸うち112戸314人入居）、玉野の入居希望者17件（児童生徒の世帯7件（入居6/17～）） |
| | | | | ウ 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、6/27～北飯渕・刈敷田、おかず2品、ごはん自炊）、第1回組長会議（6/27）、市担当者配置 |
| | | ⑧ 義援金など | → | ア 義援金 | 義援金1,008件　4億9千753万円、　支出済額　2億4千131万円（生活支援金1億4千292万円、仮設住宅入居支度金6,780万円、リックサック856万円、担架67万円、自立支援セット2,136万円）　残額　2億5千622万円 |
| | | | | イ 震災孤児のための募金 | 該当者（0～18歳）28世帯47人、うち小中学生28人（震災孤児5人、片親23人）、募金 計963件 1億4千893万円 |
| | | | | ウ 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等11台支援、船橋市（大型バス1台支援） |
| | | ⑨ 原発事故への対応 | → | ア 情報開示 | 放射能測定値公表、水道水モニタリング、放射能メッシュ調査170箇所（6/18）、学校等ミニホットスポット調査（6/21予定） |
| | | | | イ 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康相談（玉野）、市民説明会（6/20山上）、学校教諭集中講義（6/20） |
| 3 | 長期的対応 | ① 復興への取り組み | → | ア 復興会議 | 復興会議（毎週水曜日）、復興顧問会議6/19（日）、復興計画策定 |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア 道路・護岸等の復旧 | 西地区市道補修（6/17完了）、日下石・石上線、常磐道・阿武隈東道路、護岸復旧（大洲8月・古磯部7月、大浜未定） |
| | | | | イ 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、野菜等摂取出荷自粛（HP）、土地改良区（賦課金）、パイプライン復旧、農業生産法人 |
| | | | | ウ 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）；はらがま朝市（FM等PR）、漁協市場復興、サンプリング調査（6/13） |
| | | | | エ 被災商業者支援 | 西地区仮設住宅地域の仮設店舗（中小企業基盤整備機構の発注、7月中公益仮設完成予定） |
| | | | | オ 市内企業の現状 | 操業再開　3/21～5/9（大橋工業、IHI一部、アリーナ、ニダック、タコ精機、ソマ、三星化学、ハクブウ、オリエンタル、三之橋、ファイマティック）、共同火力（来春一部発電、作業員宿泊所）、電力制限緩和（5/25）、エムセテック（7月上旬） |
| | | ③ 被災者支援 | → | ア 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者、住居流失・全壊、職業・緊急雇用　など）、国交省調査 |
| | | ④ 後世への伝達 | → | ア 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア 原発難民受け入れ | 南相馬仮設住宅入居依頼（350戸）、飯舘仮設住宅入居（148世帯、6/25～）、浪江町入居者調整 |
| | | | | イ 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（α米2千食、軽油10kℓ、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kℓ、紙おむつ等）等 |
| | | | | ウ ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所（日立木公民館）利用4/29～5/30 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援 |

## 6月20日（月）

### 仮設住宅と市街地を結ぶ　お出かけバス運行中

6月20日から、西工業団地と柚木工業団地に建設された仮設住宅と市街地を結ぶお出かけバスを市が運行しています。

## お出かけバス運行ルート

### ●磯部小学校～公立相馬総合病院

| 磯部小学校 | 北柚木 | ベガ（ジャスコ） | 宇多川町 | 大町 | 栄町 | 福島交通相馬営業所 | 公立相馬総合病院 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8：15 | 8：30 | 7：43 | 8：46 | 8：47 | 8：48 | 8：50 | 8：53 |
| 9：45 | 10：00 | 10：13 | 10：16 | 10：17 | 10：18 | 10：20 | 10：23 |

| 公立相馬総合病院 | 福島交通相馬営業所 | 栄町 | 大町 | 宇多川町 | ベガ（ジャスコ） | 北柚木 | 磯部小学校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14：30 | 14：33 | 14：35 | 14：36 | 14：37 | 14：40 | 14：53 | 15：08 |
| 15：30 | 15：33 | 15：35 | 15：36 | 15：37 | 15：40 | 15：53 | 16：08 |

### ●西工業団地～桜ケ丘

| 大野台第3 | 大野台第2 | 大野台第1 | 公立相馬総合病院 | 福島交通相馬営業所 | 栄町 | 大町 | 桜ケ丘 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8：00 | 8：01 | 8：02 | 8：12 | 8：15 | 8：17 | 8：18 | 8：22 |
| 9：30 | 9：31 | 9：32 | 9：42 | 9：45 | 9：47 | 9：50 | 9：52 |

| 桜ケ丘 | 大町 | 栄町 | 福島交通相馬営業所 | 公立相馬総合病院 | 大野台第1 | 大野台第2 | 大野台第3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13：30 | 13：34 | 13：35 | 13：37 | 13：40 | 13：50 | 13：51 | 13：52 |
| 15：30 | 15：34 | 15：35 | 15：37 | 15：40 | 15：50 | 15：51 | 15：52 |

## 6月21日（火）

### 手助けありがとう　災害ボランティアセンター登録者数が延べ１万人を突破

３月21日から活動を開始した相馬市災害ボランティアセンターの登録者数が、６月21日に延べ１万人を突破しました。

## 6月27日（月）

### 仮設住宅に　おかずを提供

市は６月27日、仮設住宅入居者に夕食のおかずを無償提供する支援策をスタートしました。

## 6月28日（火）

### 平成23年第4回相馬市議会定例会（6月13日～6月28日）

第4回定例会で制定された条例については、以下のとおり。

### 東日本大震災による被災者に対する市税等の減免に関する条例

**■目的**

東日本大震災の被災者の負担を軽減し、震災後の市民生活の安定に寄与するため、個人の市民税、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料の減免について制定するもの。

条例の一部改正については、以下のとおり。

### 課税を減免する条例　2本

① 地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、東日本大震災により生じた住宅や家財等の損失について、雑損控除の適用が可能となるよう定める等の改正をするもの。

② 相馬市国民健康保険税の納税義務者の負担を軽減し、震災後の市民生活の安定に寄与するため、国民健康保険税の所得割額、資産割額、均等割額及び平等割額の算定割合及び額を改正するもの。

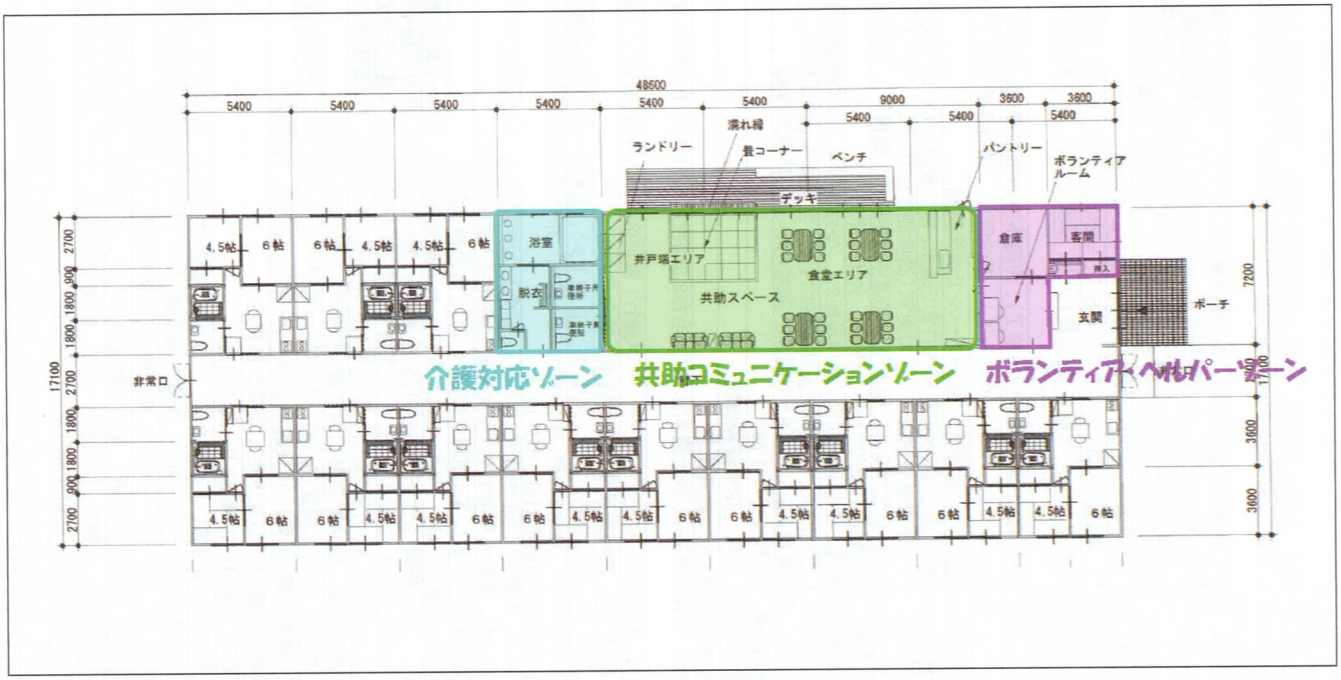
### 災害公営住宅（集合住宅）建設を予算化

**■相馬井戸端長屋（立谷・北川S 12型被災高齢者共助生活住宅）**
**■相馬井戸端曲り屋（立谷・北川S 12型被災高齢者共助生活住宅）**

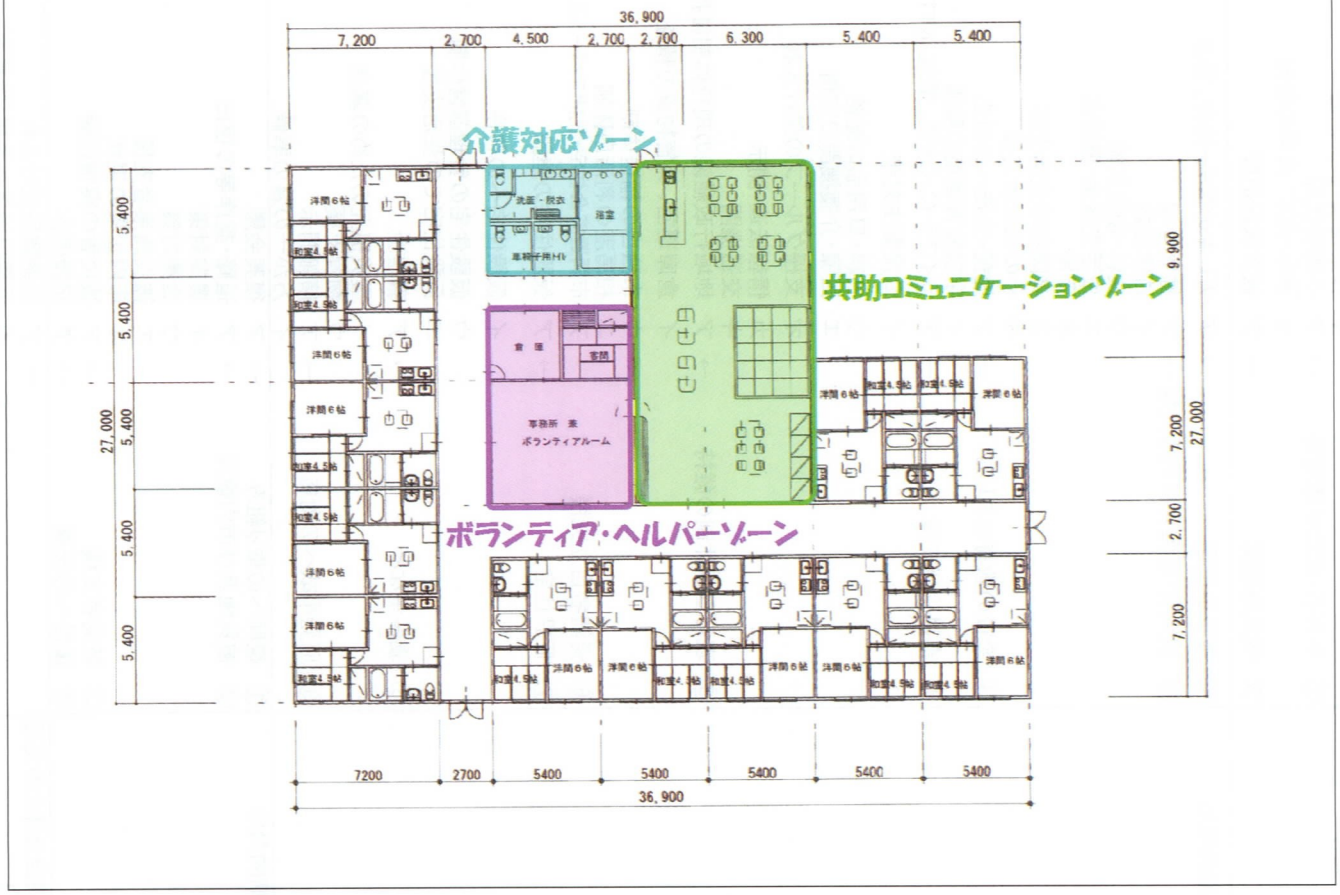
**【設計主旨】**

1．共助の精神が反映されるように、夕食は一堂に会して摂る。
2．井戸端に住人が集ったイメージを、ランドリースペースで実現する。
3．ランドリースペースの外側に濡れ縁を設け、開放的なエリアにする。
4．16.5㎡の畳コーナーを設けて団欒の場をつくる。
5．全館ユニバーサルデザインにする。
（通路などに手摺を設ける。身障者トイレを併設する。）
6．全館バリアフリーとし、将来の経度要介状態に対応する。
7．入浴介助および来館者のため、手摺付きの大型浴槽を配備する。
8．ボランティア活動に対応するためのスペースを設ける。
9．入居者の来客に対応するために、客間を設ける。
10．共助スペースは災害時の支援拠点とする。
11．ＮＰＯ（ライフネット相馬）による夕食配食の体制を作り、継続的に支援する。

## 相馬井戸端長屋（立谷・北川Ｓ 12 型被災高齢者共助生活住宅）




## 相馬井戸端曲り屋（立谷・北川Ｓ 12 型被災高齢者共助生活住宅）



| 第161回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年7月1日（金）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① 行方不明者の捜索 | → | ア 捜索体制 | 捜索、自衛隊、警察、消防署、消防団員、6/28・29新田（冠水田・用水路）捜索終了 |
| | | | | イ 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認3/25・28・4/4・14、5/5）、本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② 生存者・死亡者確認等 | → | ア 不明者状況 | 7/1不明者11人（磯部5、尾浜5、新沼1） |
| | | | | イ 遺体・死亡・火葬の状況 | 7/1遺体441体（市民414市外住民18不明9）、市民死亡448人（市内414市外19宣告15）、火葬446体（身元判明407体） |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア 被災状況把握 | 罹災証明（受付5,878件、発行4,714件）、被災家屋調査2,747件、被災証明（発行6,561件）、住宅被害3,430棟（全壊1,038、大規模192、半壊363、一部損壊1,837） |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災地整理 | → | ア ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、流木切断作業、ガレキ等撤去、国交省ポンプ排水（新田、6/13南側終了、6/29北側終了）、中間処理業者選定 |
| | | ② 被災者・避難者の生活支援 | → | ア 健康管理 | ボランティア医師巡回（心のケアチーム）、歯科衛生士巡回、保健師巡回、派遣医師市長対応、6/17避難所閉鎖 |
| | | | | イ 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎337件、巡回247件、計584件（被災者547件、一般37件） |
| | | | | ウ 食料・物資供給 | 仮設以外配給（罹災証明）、仮設入居者食事（給食・仕出）、仮設集会所へテレビ等設置 |
| | | | | エ 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計4,879人 1億4千673万円、県義援金計1,571件 7,855万円、日赤義援金計1,914件 5億8千337万円 |
| | | | | オ 雇用 | 市直接（調理員20人）、森林組合（流木作業32人）、ガレキ撤去（建設業159人、環境組合18人）、被災地消毒12人 |
| | | | | カ 身障者等生活支援 | 支援員の選出（保健協力員、民生委員）、リヤカー販売生活支援 |
| | | | | キ その他生活支援 | 入浴3/22～6/16終了；22,998人、消石灰・消毒液（家屋関係配布終了）、沖縄県南城市招待（親子9組） |
| | | ③ 今後の教育のあり方 | → | ア 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬フォロアーチーム；臨床心理士2人、スクールカウンセラー2人、保健師1人、精神保健福祉士1人配置）、学力向上 |
| | | | | イ 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、区域外就学（飯舘からの移住者の就学先）、屋内プールで水泳実施 |
| | | ④ 市民生活支援 | → | ア ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事等）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ健康被害講義、アスベスト対策（濃度測定6/10開始）、市ヘドロ健康障害対策システム（マスク・靴・消毒セット等、シャワー（岩子6/17・日立木6/23、原釜尾浜来週中）、消石灰（側溝等）、洗濯機 |
| | | | | ウ 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア7/1（VC登録23人活動23人、被災宅泥除去等3件14人）、自治体等（流山市8人、小田原市議有志5人、長岡市3人、足立区6/13～2人、東北財務局2人、6/28～30農林水産省6人）、VC事務所移転 |
| | | | | カ 情報伝達・開示 | 広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、原町）、JR常磐線復興 |
| | | ⑤ 現行警戒体制の維持 | → | ア 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米119t・水268t）；物資保管リスト、県対策本部（6/30毛布2,000枚）、6/29大野市（米6t）、6/30ジゲン（鶏唐揚げ3.5t） |
| | | | | ウ 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行；西地区等バス運行（6/20～）、患者バス |
| | | | | エ 相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、民間船入港（4/28）、港湾施設建設促進協議会総会（6/30） |
| | | ⑥ 避難者自立支援 | → | ア 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 7/1入居（雇用促進31世帯、民間アパート165世帯、アルブス0世帯）、自立セット、配布ルール（現物主義） |
| | | ⑦ 仮設住宅 | → | ア 仮設住宅の建設 | 北飯渕206戸、刈敷田72戸、大野台513戸、柚木209戸、市500戸（164戸完成）、市外居住者2次募集終了（461件）、仮設入居再募集6/1～7/1、204件（市内101件のうち新規21件、市外103件） |
| | | | | イ 仮設住宅への移住 | 移住計画（地域コミュニケーション）、入居完了（北飯渕206戸708人、刈敷田72戸264人）、大野台513戸うち326戸880人入居、柚木209戸うち145戸387人入居）、玉野希望者18件（児童生徒世帯8件（入居6/17～）） |
| | | | | ウ 仮設住宅の管理運営体制 | 組長・戸長体制構築、組長決定（11名うち8名）、第1回組長会議（6/27）、市担当者配置 |
| | | | | エ 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、6/27～北飯渕・刈敷田、おかず2品、ごはん自炊）、自動販売機設置、サポート拠点施設（8月末） |
| | | ⑧ 義援金など | → | ア 義援金 | 義援金1,048件　5億1千41万円、　支出済額　2億4千506万円（生活支援金1億4千637万円、自立支援金7/4～、仮設住宅入居支度金6,810万円、リックサック856万円、担架67万円、自立支援セット2,136万円）　残額　2億6千535万円 |
| | | | | イ 震災孤児のための募金 | 該当者29世帯48人（小中学生28人：孤児5人、片親23人）、募金 計1,109件 1億7千90万円、7/2義援金支給式 |
| | | | | ウ 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等11台支援、船橋市（大型バス1台支援） |
| | | ⑨ 原発事故への対応 | → | ア 情報開示 | 放射能測定値公表、水道水モニタリング、メッシュ調査（6/18）、学校等ミニホットスポット調査（6/21）と除染・再調査 |
| | | | | イ 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康相談（玉野）、市民説明会（5/15～6/27、12箇所、1,850人） |
| 3 | 長期的対応 | ① 復興への取り組み | → | ア 復興会議 | 復興会議（毎週水曜日）、復興顧問会議（次回8月予定）、復興計画策定 |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア 道路・護岸等の復旧 | 常磐道・阿武隈東道路、護岸復旧（大洲8月・古磯部7月、大浜未定） |
| | | | | イ 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、野菜等摂取出荷自粛、土地改良区、パイプライン、農業生産法人、河川草刈、畑測定結果 |
| | | | | ウ 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市（リヤカー売り）、漁協市場復興、サンプリング調査（6/13・20）、浦内ガレキ撤去 |
| | | | | エ 被災商業者支援 | 大野台地区仮設店舗（7月中完成、市、ハローワークなど入居）、塚田（入居者公募、7月末完成） |
| | | | | オ 市内企業の現状 | 操業再開　共同火力（来春一部発電、作業員宿泊所）、電力制限緩和（5/25）、エムセテック（一部7月中旬）、アデカ（一部7/1） |
| | | ③ 被災者支援 | → | ア 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者、住居流失・全壊、職業・緊急雇用　など）、国交省調査 |
| | | ④ 後世への伝達 | → | ア 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア 原発難民受け入れ | 南相馬仮設住宅入居依頼（350戸）、飯舘仮設住宅入居（164世帯、7/2・3）、浪江町入居者調整（6/30） |
| | | | | イ 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（α米2千食、軽油10kℓ）、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kℓ、紙おむつ等）等 |
| | | | | ウ ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所（日立木公民館）利用4/29～5/30 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援、宮教大からの学力向上支援 |

## 7月1日（金）

### 株式会社キクチ　市に２トンダンプ寄贈

株式会社キクチより、復旧作業に役立ててほしいとオートマ式２トンダンプの寄贈がありました。

## 7月2日（土）

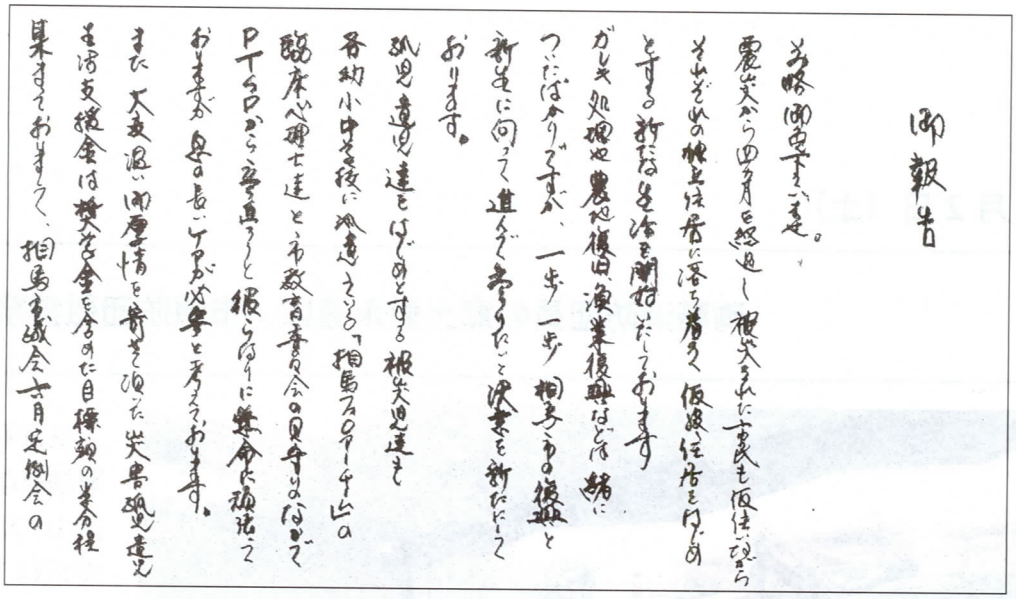
### 殉職消防団員の郷土愛永遠に　市消防団慰霊祭

東日本大震災で地域住民の避難誘導などにあたり殉職した団員10人を悼む相馬市消防団慰霊祭は７月２日、ほこだて仏光堂で行われ、遺族や団員など約700人が参列しました。

## 7月2日（土）

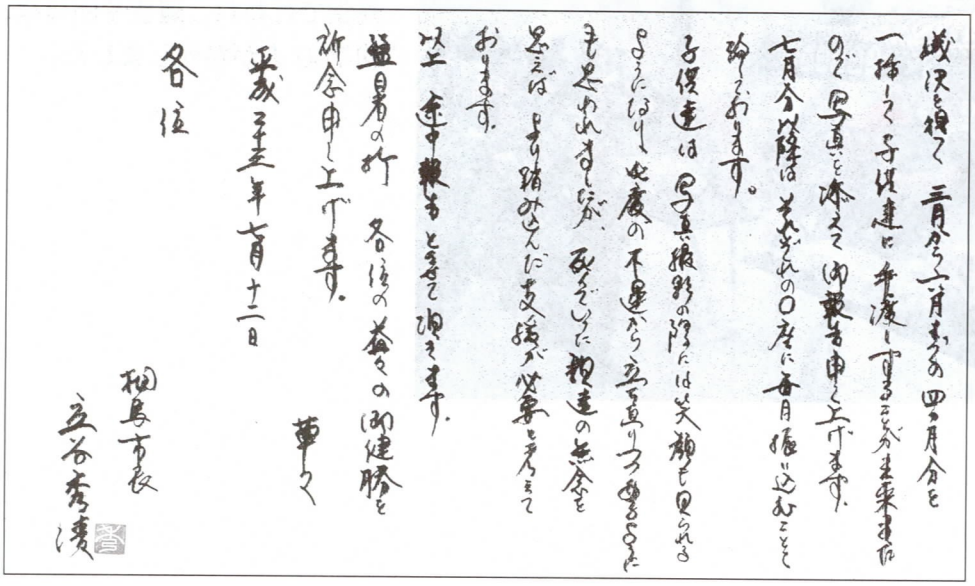
# 震災孤児などへ　支援金支給式

消防団員の殉職を機に創設された「相馬市震災孤児等支援金」が、東日本大震災で親を亡くした子どもやその保護者などに７月２日、手渡されました。



御報告

前略　御免下さいませ。
震災から四カ月を経過し被災された皆様には一日も早く
それぞれの地域社会に落ち着き仮設住居を出ていただき
とする新たな生活を開始されております
がれき処理や農地復旧、漁業復興などは緒に
ついたばかりですが、一歩一歩相馬市の復興と
新生に向って進んでまいりたいと決意を新たにして
おります。
孤児遺児達をはじめとする被災遺児達も
幼小中を経て成長され「相馬方のアーチ山の
設庁舎勤務となり数百名の会員の皆様の
PTSDから立直ろうと懸命に頑張っている
おりますが息の長いケアが必要と考えております。
また大変遅い御報告情を寄せ頂いた災害弔慰金遺児
等支援金は被災者金を含めた目標額の募金
集まっておりまして、相馬市議会六月定例会の



職員を経て三月から一月までの四カ月余を
一緒に子供達に奉仕してまいりましたことが走馬灯
のごとく思い出されます。
七月分以降は、それぞれの自宅に毎月振り込むことと
致しております。
子供達は写真撮影の際には笑顔も見られる
ようになりましたが、心底の不安からか立ち直りつつある
とは思われますが、なおいっそう報道の無念を
思えばより積極的な支援が必要と考えて
おります。
以上、途中報告とさせて頂きます。
益々の御健勝を
祈念申し上げます。
草々
平成三年十月十一日
各位
相馬市長
立谷秀清

## 7月4日（月）

### ウクレレで復興支援　シンガーソングライターの水木ノアさん

シンガソングライターの水木ノアさんは7月4日に相馬市を訪れ、安良教育長にウクレレ110本と義援金を手渡しました。

## 7月6日（水）

### 世界中からの絵本　蟹江さんら相馬に届ける

児童を対象としてライブペインティングと物語を融合させた「お絵かきサーカス団」などの活動を行っているLA・TATAN舎の画家・蟹江杏さんが東日本大震災で被災した子どもたちへ送ろうと、国内外から絵本の寄付を募り、7月6日安良紀男相馬市教育長に届けました。

## 7月7日（木）

### 船橋市から　スクールバス寄贈

船橋市でスクールバスとして活躍していた77人乗りのバス1台が7月7日、相馬市に寄贈されました。

## 7月10日（日）

### 仮設住宅集会所で　マスコットづくり体験

東日本大震災被災者のためのアートプロジェクト、アーツ・フォー・ホープ（東京・代表高橋雅子）は7月10日、東グラウンドや大野台の仮設住宅集会所を会場に、入居者を対象としたマスコットづくり体験を開催しました。

| 第164回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年7月11日（月）　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① 行方不明者の捜索 | → | ア | 捜索体制 | 捜索、自衛隊、警察、消防署、消防団員、6/28・29新田（冠水田・用水路）捜索終了、松川浦内捜索（7/12～14、警察） |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認3/25・28・4/4・14、5/5）、本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② 生存者・死亡者確認等 | → | ア | 不明者状況 | 7/11不明者10人（磯部5、尾浜4、新沼1） |
| | | | | イ | 遺体・死亡・火葬の状況 | 7/11遺体441体（市民414市外住民18不明9）、市民死亡449人（市内414市外19宣告16）、火葬446体（身元判明407体） |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア | 被災状況把握 | 罹災証明（受付6,049件、発行5,192件）、被災家屋調査2,972件、被災証明（発行9,770件）、住宅被害3,791棟（全壊1,039、大規模196、半壊378、一部損壊2,178） |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災地整理 | → | ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去の意思確認、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、流木切断作業、ガレキ等撤去、国交省ポンプ排水（新田終了）、中間処理業者選定、光陽ガレキ仮置 約13万t（7/1） |
| | | ② 被災者・避難者の生活支援 | → | ア | 健康管理 | ボランティア医師巡回（心のケアチーム）、歯科衛生士巡回、保健師巡回、派遣医師市長対応、6/17避難所閉鎖 |
| | | | | イ | 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎366件、巡回247件、計613件（被災者572件、一般41件） |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 | 仮設以外配給（罹災証明）、仮設入居者食事（7/11～給食希望者完全実施）、ハンドスピーカー |
| | | | | エ | 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計4,925人 1億4千775万円、県義援金計1,593件 7,965万円、日赤義援金計1,940件 5億9千26万円 |
| | | | | オ | 雇用 | 市直接（調理員20人）、森林組合（流木作業32人）、ガレキ撤去（建設業159人、環境組合18人）、被災地消毒12人 |
| | | | | カ | 身障者等生活支援 | 支援員（保健協力員、民生委員、7/5説明会）、支援員の訪問開始7/11、リヤカー販売支援員の業務開始7/19 |
| | | | | キ | その他生活支援 | 入浴3/22～6/16終了；22,998人、消石灰・消毒液（家屋関係配布終了）、沖縄県南城市招待（親子9組） |
| | | ③ 今後の教育のあり方 | → | ア | 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬フォロアーチーム；臨床心理士2人、スクールカウンセラー2人、保健師1人、精神保健福祉士1人配置）、学力向上 |
| | | | | イ | 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、区域外就学（飯舘の小中学生7人）、屋内プール水泳実施 |
| | | ④ 市民生活支援 | → | ア | ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事等）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ | 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ健康被害講義、アスベスト対策（濃度測定6/10開始）、市ヘドロ健康障害対策システム（マスク・靴・消毒セット等、シャワー（岩子6/17・日立木6/23、原釜尾浜6/29）、消石灰（側溝等）、洗濯機 |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ | 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ | 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア7/9～11（VC登録61人活動61人、被災宅泥除去等4件24人）、自治体等（長岡市2人、足立区6/13～2人、東北財務局2人、6/28～7/7農林水産省13人）、VC事務所移転 |
| | | | | カ | 情報伝達・開示 | 広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ | 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、原町）、JR常磐線復興調整会議 |
| | | ⑤ 現行警戒体制の維持 | → | ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米119t・水268t）、物資保管リスト、6/29大野市（米6t）、6/30ジゲン（鶏唐揚げ3.5t）、7/4アシックス（5,050足） |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行、西地区等バス運行（6/20～）、患者バス |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 輸送船（3/25・29）、民間船入港（4/28）、港湾施設建設促進協議会総会（6/30） |
| | | ⑥ 避難者自立支援 | → | ア | 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 7/8入居（雇用促進43件、県借上げ民間アパート250件）、自立支援金7/4～ |
| | | ⑦ 仮設住宅 | → | ア | 仮設住宅の建設 | 1,500戸（完成1,326戸、未完成174戸）、 6/15以降市内申込み49件（うち新規申込み28件） |
| | | | | イ | 仮設住宅への移住 | 完成戸数1,326戸（うち空き戸数336戸）、 飯舘村入居済、南相馬市（263戸）・浪江町（93戸）：8月上旬入居予定、 玉野地区申込み18件（児童生徒世帯8件） |
| | | | | ウ | 仮設住宅の管理運営体制 | 組長・戸長体制構築、組長決定（10名）、組長会議（6/27、7/8）、市担当者配置 |
| | | | | エ | 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、7/11～全仮設、おかず2品、ごはん自炊）、自動販売機設置、サポート拠点施設（8月末） |
| | | ⑧ 義援金など | → | ア | 義援金 | 義援金1,088件　5億1千209万円、 支出済額　2億4千764万円（生活支援金1億4千775万円、自立支援金7/4～、仮設住宅入居支度金6,930万円、リックサック856万円、担架67万円、自立支援セット2,136万円）　残額　2億6千445万円 |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 | 該当者30世帯49人（小中学生28人：孤児5人、片親23人）、募金 計1,203件 1億7千982万円、7/2義援金支給式 |
| | | | | ウ | 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等11台支援、船橋市（大型バス1台支援） |
| | | ⑨ 原発事故への対応 | → | ア | 情報開示 | 放射能測定値公表、水道水モニタリング、メッシュ調査（6/18）、学校等ミニHS調査と除染・再調査（7/5）、玉野10mメッシュ調査 |
| | | | | イ | 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康相談（玉野）、市民説明会（5/15～6/27、12箇所、1,850人） |
| 3 | 長期的対応 | ① 復興への取り組み | → | ア | 復興会議 | 復興会議（毎週水曜日）、復興顧問会議（6/19、8/25）、復興計画策定 |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア | 道路・護岸等の復旧 | 常磐道・阿武隈東道路、護岸復旧（大洲8月・古磯部7月、大浜未定） |
| | | | | イ | 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、野菜等摂取出荷自粛、土地改良区、パイプライン、農業生産法人設立、農業復興メニュー |
| | | | | ウ | 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市（リヤカー売り）、漁協市場復興、サンプリング調査（6/13・20）、浦内ガレキ撤去 |
| | | | | エ | 被災商業者支援 | 大野台地区仮設店舗（7月中完成、市、ハローワークなど入居）、塚田（入居者公募、7月末完成） |
| | | | | オ | 市内企業の現状 | 操業再開　共同火力（来春一部発電、作業員宿泊所）、電力制限緩和（5/25）、エムセテック（一部7月中旬）、アデカ（一部7/1） |
| | | ③ 被災者支援 | → | ア | 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者、住居流失・全壊、職業・緊急雇用　など）、国交省調査 |
| | | ④ 後世への伝達 | → | ア | 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア | 原発難民受け入れ | 他市町村の仮設住宅入居依頼：南相馬市（263戸）、飯舘村（161戸、7/2・3入居済）、浪江町（93戸） |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（α米2千食、軽油10kℓ）、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kℓ、紙おむつ等）等 |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所（日立木公民館）利用 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア | 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援、宮教大の学力向上支援、農業復興メニュー |

## 御報告

前略　御免下さいませ。

震災から早くも４カ月を経過し、被災された市民の皆様も、仮住まいながら仮設住宅をはじめとするそれぞれの独立住居に落ち着き、新たな生活を開始いたしております。今後は安全な地区での恒久的な住まいの建設、とりわけ独居老人世帯となった被災者の方々のための共助住宅（＃１）をはじめとして、仮住まいから次のステージを提供できるよう努力してまいります。

一方、ガレキ処理や農地復旧・漁業復興などは緒についたばかりですが、一歩一歩着実に、相馬市の復興と新生に向って進んで参りたいと、決意を新たにしております。

孤児遺児達をはじめとする被災児達も、各幼小中学校に派遣している「相馬フォロワーチーム（NPO 申請中）」の臨床心理士たちと市教育委員会の見守りのなかで、PTSD から立ち直ろうと彼らなりに懸命に頑張っておりますが、我われとしては息の長いケアが必要と考えております。

また、大変温かい御厚情を寄せて頂いた災害孤児遺児生活支援金は、奨学金を含めた目標額の半分程集まっておりまして、相馬市議会六月定例会の議決を得て、三月から六月までの４カ月分を一括して子供達に手渡しすることが出来ましたので、当日の集合写真を添えて御報告申し上げます。

七月分以降は、それぞれの口座に毎月振り込むことと致しております。

子供達は、写真撮影の際には笑顔も見られるようになり、此度の不運から立ち直りつつあるようにも思われましたが、死んでいった親達の無念を思えば、今後、より踏み込んだ支援が必要と考えております。

以上、御礼と途中報告とさせていただきます。

猛暑の折、各位の益々の御健勝を祈念申し上げます。

草々

平成２３年７月１１日

各　位

相馬市長　立谷　秀清

## 7月15日（金）

### 缶バッジで　震災孤児を支援

社団法人相馬青年会議所OB会の「くろ松クラブ」（代表・西村年晴）は7月15日市役所を訪れ、立谷市長に震災孤児等支援金への寄付金を手渡しました。

この寄附金は、震災孤児を経済的に支援するために缶バッジを作成し、災害ボランティアセンターをはじめ、市内の商店などに「缶バッジ募金箱」を設置して市内外の方々に支援を呼び掛けたものです。

## 7月16日（土）

### オーストリア特認全権大使　相馬市を訪問

オーストリア地区と福島県地区の国際ロータリーによる被災学生支援としてオーストリアへ相馬高校生などを短期派遣するプロジェクトの一環として7月16日、在オーストリア連邦日本大使館　特命全権大使ユッタ・シュテファン＝バストル氏が学生へのオリエンテーションのため、相馬市を訪れました。

## 7月17日（日）

### 復興へキックオフ！　光陽サッカー場オープン記念大会

光陽サッカー場のオープンを記念し、7月17日に「取り戻せ！元気な相馬サッカー大会」が同サッカー場で開催されました。

当初4月オープンの予定でしたが、震災の影響もあり約3カ月遅れての開場。

この大会は、被災地を元気づけようと、サッカーの名門・清水商業高校サッカー部OB有志による被災地支援事業として行われたものです。

## 7月19日（火）

### 仮設住宅で　リヤカー販売

7月19日から、被災者が暮らす仮設住宅をリヤカーで行商する生活支援が始まりました。

この事業は、身障者をはじめとする災害弱者の生活をチェックし支援を行うとともに、買物弱者に対して生活品などの購入機会を提供することを目的としたものです。

### 身障者訪問並びにリヤカー引き個別販売　身障者・買物弱者支援事業概要

#### ■事業の目的

（1）身障者をはじめとする災害弱者の生活チェック及び支援
（2）身障者・買物弱者に対して、食材並びに生活品の購入機会を提供すること
（3）以上の活動を通して、仮設住宅集落内での「絆」社会の構築を図ること

#### ■事業の内容

**A組：訪問チェック員（10名）**

被災地区の保健協力員及び民生児童委員が中心となって、被災した身体障害者188名を対象に週に1回訪問し、生活状況や健康状態のチェックをする。

一人あたり1日10件程度の訪問が目安。

**B組：買物兼生活支援員（16名）**

被災地区の漁業従事者、仲買人等が中心となって、仮設住宅に入居する身体障害者をはじめとする買物弱者に対して食材並びに生活品の購入機会を提供するとともに、身体障害者の希望に応じて生活支援（掃除、洗濯、　話し相手等）を実施する。

## 7月21日（木）

### 平成23年第5回相馬市議会臨時会

第5回臨時会で制定された条例については、以下のとおり。

## 相馬市災害危険区域に関する条例

### ■趣旨

東日本大震災の津波により多くの住居等が全壊、流出した原釜、尾浜及び磯部地区について、津波による被災の危険性が著しいため、建築基準法の規定に基づき、災害危険区域を指定し、住居の用に供する建築物の建築を制限するため制定するもの。

### ■災害危険区域

災害危険区域として指定する区域は、津波による災害の危険が著しい区域として、
相馬市尾浜、原釜、新沼及び磯部

### ■建築の制限

指定された災害危険区域内においては、居住の用に供する建物は建築してならない。

## 7月23日（土）

### 騎馬武者らが出陣　相馬野馬追開幕

出陣式では、相馬家33代当主・相馬和胤公の長男で総大将を務める行胤氏が「諸氏一人ひとりが相馬野馬追に秘められた一千七十有余年の伝統の力を信じ、相馬武士の闘魂を持って、妨げとなっている諸々の障りを断ち切り、一日も早い東日本の復興が実現することを念じながら、行軍してほしい」と訓示。

陣螺（じんがい＝ほら貝）の音を合図に、中村城跡の大手門から行列が出発。

甲冑（かっちゅう）に身を包み、色とりどりの指旗を背にした騎馬武者は、威風堂々と市内を行進しました。

## 平成 23 年度　相馬野馬追（東日本大震災復興　三社野馬追）

### 7 月 22 日（金）

○**安全祈願祭**　13 時 30 分（相馬市・相馬中村神社）

○**総大将出陣祝いの宴**　14 時（相馬市・相馬中村神社境内）

・相馬中村藩古式砲術
・相馬流れ山踊り
・相馬太鼓

### 7 月 23 日（土）

○**御発輦祭**　8 時（相馬市・相馬中村神社境内）
御鳳輦の道中安全を祈願する神事

○**出陣式**　8 時 30 分（相馬市・相馬中村神社境内）
境内で出陣の盃をあげた後、長友グラウンドに勢揃いした宇多郷騎馬は総大将の閲兵を受ける

○**宇多郷行列**　9 時 30 分（相馬市内）
御鳳輦と総大将を擁して市街地を行列

○**総大将お迎え**　12 時 40 分（南相馬市鹿島区）

○**お上がり行列**　16 時～ 17 時 ( 相馬市・イオン（旧ジャスコ）相馬店から相馬中村神社へ )
帰路についた騎馬武者らは、市街地を凱旋後、相馬中村神社に御鳳輦を納める

### 7 月 24 日（日）

○**例大祭斎行**　11 時（南相馬市原町区・太田神社）

### 7 月 25 日（月）

○**神事**　10 時（南相馬市原町区・多珂神社）

・出陣式
・上げ野馬神事

| 第168回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年7月29日（金）　17時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① | 行方不明者の捜索 | → ア | 捜索体制 | 捜索、自衛隊、警察、消防署、消防団員、6/28・29新田（冠水田・用水路）捜索終了、松川浦内捜索（7/12～14、警察） |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認3/25・28・4/4・14、5/5）、本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② | 生存者・死亡者確認等 | → ア | 不明者状況 | 7/29不明者6人（磯部2、尾浜3、新沼1） |
| | | | | イ | 遺体・死亡・火葬の状況 | 7/29遺体441体（市民414市外住民19不明8）、市民死亡453人（市内414市外19宣告20）、火葬446体（身元判明407体） |
| | | ③ | 被災地確認 | → ア | 被災状況把握 | 罹災証明（受付6,845件、発行6,451件）、被災家屋調査3,188件、被災証明（発行11,445件）、住宅被害4,784棟（全壊1,049、大規模206、半壊437、一部損壊3,092） |
| 2 | 中期的対応 | ① | 被災地整理 | → ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、流木切断作業、ガレキ等撤去、中間処理業者選定、光陽ガレキ仮置 約13万t（7/1） |
| | | ② | 被災者・避難者の生活支援 | → ア | 健康管理 | ボランティア医師巡回（心のケアチーム）、歯科衛生士巡回、保健師巡回、派遣医師市長対応 |
| | | | | イ | 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎413件、巡回247件、計660件（被災者612件、一般48件） |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 | 仮設以外配給（罹災証明）、仮設入居者給食（7/11）、ハンドスピーカー、殺虫剤等 |
| | | | | エ | 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計5,038人 1億5,114万円、一次配分：県義援金計1,631件 8,155万円、日赤義援金計2,035件 6億1,348万円、二次配分：県義援金計1,966件 1億6,960万円、日赤義援金計1,966件 9億4,940万円 |
| | | | | オ | 雇用 | 7/29現在　雇用計756人（調理20人、流木30人、建設業145人、環境20人、消毒12人、身障者等支援26人、組長等195人、漁協ガレキ撤去308人）※対象者：震災により職を失った人 |
| | | | | カ | 身障者等生活支援 | 支援員（保健協力員、民生委員）、支援員訪問7/11～、リヤカー販売支援員業務7/19～ |
| | | | | キ | その他生活支援 | 沖縄県南城市招待（親子9組）、夏休み子どもたちの交流事業 |
| | | ③ | 今後の教育のあり方 | → ア | 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬FT；6人体制、仮設住宅で教育相談、レポート提出、活動状況報告2学期から）、学力向上（宮教大8月後半から支援） |
| | | | | イ | 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、屋内プール水泳実施、市内公立幼、小、中学校表土剥ぎ |
| | | ④ | 市民生活支援 | → ア | ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ | 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ健康被害講義、アスベスト濃度測定、市ヘドロ健康障害対策システム（マスク・靴・消毒セット等、シャワー設置3箇所、避難所ランドリーの再利用 |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リュックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ | 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ | 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア7/26～29（VC登録77人活動88人、被災宅泥除去等6件28人）、自治体等（長岡市2人、足立区6/13～2人、東北財務局2人、6/28～7/7農林水産省13人）、ボランティア宿泊（中央公民館7/30終了） |
| | | | | カ | 情報伝達・開示 | 広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ | 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、原町）、JR常磐線復興調整会議 |
| | | ⑤ | 現行警戒体制の維持 | → ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米117t・水268t）、物資保管リスト、7/21県（布団400組等）、足立区（電気ポット200個）、JA（米4.5t） |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行、西地区等バス運行、患者バス |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 港湾施設建設促進協議会総会（6/30） |
| | | ⑥ | 避難者自立支援 | → ア | 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 7/25入居（雇用促進42件、県借上げ民間アパート278件）、自立支援金362件 3,620万円 |
| | | ⑦ | 仮設住宅 | → ア | 仮設住宅の建設 | 1,500戸完成、6/15以降市内申込み81件（新規申込み37件のうち鍵引き渡し済27件） |
| | | | | イ | 仮設住宅への移住 | 1,500戸（うち空き戸数392戸）、飯舘村入居済、南相馬市（263戸、柚木20戸：7/20～入居開始、大野台243戸 7/26～入居開始）、浪江町（93戸：7/29～入居開始）、その他市町村12戸（12戸：7/29～入居開始）、玉野地区申込み18件（児童生徒世帯8件） |
| | | | | ウ | 仮設住宅の管理運営体制 | 組長・戸長体制構築、組長決定（10名）、組長会議（6/27、7/8、7/20）、市担当者配置、飯舘組長決定 |
| | | | | エ | 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、7/11～全仮設）、自動販売機設置、サポート拠点施設（8月末）、市民以外にも支援 |
| | | ⑧ | 義援金など | → ア | 義援金 | 義援金1,154件　5億3千308万円、支出済額　2億8千893万円（生活支援金1億5千114万円、自立支援金3千620万円、仮設住宅入居支度金7,100万円、リュックサック856万円、担架67万円、自立支援セット2,136万円）　残額　2億4千415万円 |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 | 該当者31世帯51人（小中学生28人：孤児5人、片親23人）、募金 計1,412件 2億1,719万円、7/2義援金支給式 |
| | | | | ウ | 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等11台支援、船橋市（大型バス1台支援） |
| | | ⑨ | 原発事故への対応 | → ア | 情報開示 | 放射能測定値公表、学校等除染・再調査（7/5）、玉野10mメッシュ調査（7/9）、市内公園調査（7/13）、測定講習会（7/28・29） |
| | | | | イ | 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康相談（玉野）、市民説明会（12箇所、1,850人） |
| 3 | 長期的対応 | ① | 復興への取り組み | → ア | 復興会議 | 復興会議（毎週水曜日）、復興顧問会議（6/19、8/25）、復興計画策定　8月に策定予定 再冷凍車 |
| | | ② | 被災地及び市内復興 | → ア | 道路・護岸等の復旧 | 常磐道・阿武隈東道路、東北中央道未事業化区間：10年以内完成目標、護岸仮復旧（大洲8月・古磯部8月、大浜未定） |
| | | | | イ | 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、土地改良区、パイプライン、農業生産法人設立、農業復興メニュー、放射能影響と補償 |
| | | | | ウ | 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市（リヤカー売り）、漁協市場復興、浦内ガレキ撤去、放射能影響と補償 |
| | | | | エ | 被災商業者支援 | 大野台地区仮設店舗（7/25着工、市、ハローワークなど入居）、塚田（入居応募16件、7/22着工） |
| | | | | オ | 市内企業の現状 | 操業再開　共同火力（来春一部発電）、電力制限緩和（5/25）、エムセテック（一部7月中旬）、アデカ（一部7/1） |
| | | ③ | 被災者支援 | → ア | 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者、住居流失・全壊、職業、雇用状況　など） |
| | | ④ | 後世への伝達 | → ア | 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | | → ア | 原発難民受け入れ | 仮設住宅入居：南相馬市（263戸 7/20～7/28）、飯舘村（161戸 入居済）、浪江町（93戸 7/29～）、米10kg支援 |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援（物資等） | 新地（α米2千食、軽油10kl）、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kl、紙おむつ等）等 |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所（日立木公民館）利用 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | | → ア | 食料・生活物資 | 食糧（米・缶詰・カップメン等）、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援、宮教大の学力向上支援、農業復興メニュー、被災地域小中学校への教員加配 |

## 7月29日（金）

### 太陽光発電システム寄贈　マスク財団

再生可能エネルギーなどを支援している米国のマスク財団（イーロン・マスク会長）が太陽光発電システムを光陽地区に建設し、市に寄贈することなり7月29日、現地で着工式が行われました。

## 7月29日（金）

### 今年も夏の風物詩　玉ノ井部屋夏合宿

大相撲玉ノ井部屋の相馬夏合宿土俵開きは7月29日、松川浦スポーツセンター相撲道場で行われました。

東日本大震災の津波で相撲道場が浸水し、一時合宿開催が危ぶまれましたが、土俵の土を張り替えるなどの復旧作業を進め、相馬の夏の風物詩が今年も始まりました。

## 7月31日（日）

### 恩返し支援　只見、金山両町、三条市へ

相馬市と相馬地方広域水道企業団は7月31日、豪雨災害に見舞われた県内の只見町、金山町、新潟県の三条市に支援物資などを送りました。

主な物資は、ストックしたペットボトル水（240ｔ）のうち、只見町に20ｔ、金山町に10ｔ、新潟県三条市に12ｔを支援。

只見町には職員4人を運送担当として派遣。支援物資のほか、2トン給水車を運送しました。

新潟県三条市にもさらに職員2名を派遣しました。

## 8月4日（木）

### ダウ・ケミカル社　市に災害公営住宅を寄付

相馬市内にイオン交換樹脂工場を持つ、米化学最大手ダウ・ケミカルのアンドリュー・リバリス会長兼CEOは、被災高齢者向け災害公営住宅1棟を建設し相馬市へ寄贈するとして、8月4日相馬市役所で記者会見を行いました。

## 8月4日（木）

### 市立幼小中学校　校庭の表土削り

市立幼小中学校校庭の放射線量を低減させるための表土を削る作業が8月4日から始まりました。

8月24日ごろには作業を終える予定。5月に作業を済ませた玉野幼小中学校以外の市立幼小中学校が作業の対象です。

| 第170回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年8月5日(金)　18時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① 行方不明者の捜索 | → | ア | 捜索体制 | 捜索、自衛隊、警察、消防署、消防団員、新田(冠水田・用水路)捜索終了、松川浦内捜索(7/12～14、警察) |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用(被害調査・作業状況等確認)、本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② 生存者・死亡者確認等 | → | ア | 不明者状況 | 8/5不明者5人(磯部2、尾浜2、新沼1) |
| | | | | イ | 遺体・死亡・火葬の状況 | 8/5遺体441体(市民414市外住民21不明6)、市民死亡454人(市内414市外19宣告21)、火葬446体(身元判明407体) |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア | 被災状況把握 | 罹災証明(受付6,883件、発行6,717件)、被災家屋調査3,422件、被災証明(発行11,651件)、住宅被害4,784棟(全壊1,049、大規模206、半壊437、一部損壊3,092) |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災地整理 | → | ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去(国指針)、車・船撤去、倒壊家屋撤去、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ(集約14ヵ所、運搬)、流木切断作業、ガレキ等撤去、中間処理業者選定、光陽ガレキ仮置 約13万t(7/1) |
| | | ② 被災者・避難者の生活支援 | → | ア | 健康管理 | ボランティア医師巡回(心のケアチーム)、歯科衛生士巡回、保健師巡回、派遣医師市長対応 |
| | | | | イ | 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談;分庁舎433件、巡回247件、計680件(被災者625件、一般55件) |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 | 仮設以外配給(罹災証明)、仮設入居者給食(～H24年3/31)、ハンドスピーカー、殺虫剤等 |
| | | | | エ | 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計5,089人 1億5,267万円、一次配分:県義援金計1,677件 8,385万円、日赤義援金計2,087件 6億2,437万円、二次配分:県義援金計2,086件 1億7,777万円、日赤義援金計2,086件 9億9,504万円 |
| | | | | オ | 雇用 | 8/5現在　雇用計756人(調理20人、流木30人、建設業145人、環境20人、消毒12人、身障者等支援26人、組長等195人、漁協ガレキ撤去308人)※対象者:震災により職を失った人 |
| | | | | カ | 身障者等生活支援 | 支援員(保健協力員、民生委員)、支援員訪問7/11～、リヤカー販売支援員業務7/19～ |
| | | | | キ | その他生活支援 | 沖縄県南城市招待(親子9組)、夏休み子どもたちの交流事業○ |
| | | ③ 今後の教育のあり方 | → | ア | 児童・生徒への対応 | 精神的ケア(相馬FT;6人体制、仮設住宅で教育相談、レポート提出、活動報告2学期～)、学力向上(宮教大8月後半～支援) |
| | | | | イ | 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、屋内プール水泳実施、市内公立幼、小、中学校表上剝ぎ(8/4～) |
| | | ④ 市民生活支援 | → | ア | ライフライン(水道、電気、NTT) | 水道(漏水工事)、電力(未通電178世帯)、魚市場(水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%) |
| | | | | イ | 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ健康被害講義、アスベスト濃度測定、市ヘドロ健康障害対策システム(マスク・靴・消毒セット等、シャワー設置3箇所、避難所ランドリーの再利用、自衛隊(光陽地区の消毒) |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 | 配給済(米66t、毛布等、飯豊:長靴)、市民配給(リックサック11,581個、水65t、米115t) |
| | | | | エ | 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院開頓と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ | 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア8/2～8/5(VC登録57人活動57人、被災宅泥除去等0件0人)、自治体等(長岡市2人、足立区2人、東北財務局2人、6/28～7/29農林水産省20人、新発田市1人8/1～10/31)、ボランティア宿泊(3/23～7/30、1,408人) |
| | | | | カ | 情報伝達・開示 | 広報紙号外(No.1～16)、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ | 交通機関 | 臨時バス(福島、仙台)、JRバス代行(亘理、原町)、JR常磐線復興調整会議 |
| | | ⑤ 現行警戒体制の維持 | → | ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会(3回)、災害弱者192人(寝たきり48人)、物資配給 |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量(米117t・水268t)、物資保管リスト、7/28難民を救う会アイスノン5,000本、花王洗剤1,500個等 |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス;6台、トラック;2台、玉野患者バス運行、スクールバス運行、西地区等バス運行(磯部運行予定)、患者バス |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 港湾施設建設促進協議会総会(6/30)、相馬港建設促進期成同盟会総会(8/5) |
| | | ⑥ 避難者自立支援 | → | ア | 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 8/5入居(雇用促進58件、県借上げ民間アパート274件)、自立支援金695件 6,950万円 |
| | | ⑦ 仮設住宅 | → | ア | 仮設住宅の建設 | 1,500戸完成、6/15以降市内申込み86件(新規申込み41件のうち鍵引き渡し済28件、再移動45件) |
| | | | | イ | 仮設住宅への移住 | 1,500戸(うち空き戸数336戸)、飯舘村入居済、南相馬市(263戸、柚木20戸:7/20～入居開始・大野台243戸:7/26～入居開始)、浪江町(93戸:7/29～入居開始)、その他市町村12戸(12戸:7/29～入居開始)、玉野地区申込み19件(児童生徒世帯8件) |
| | | | | ウ | 仮設住宅の管理運営体制 | 組長・戸長体制構築、組長決定(10名)、組長会議(6/27、7/8、7/20、8/9)、市担当者配置 |
| | | | | エ | 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食(23年度、7/11～全仮設)、自動販売機設置、サポート拠点施設(8月末)、市民以外にも支援 |
| | | ⑧ 義援金など | → | ア | 義援金 | 義援金1,166件　5億4千302万円、支出済額　3億2千376万円(生活支援金1億5千267万円、自立支援金6千950万円、仮設住宅入居支度金7,100万円、リックサック856万円、担架67万円、自立支援セット2,136万円)　残額　2億1千926万円 |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 | 該当者31世帯51人(小中学生28人:孤児5人、片親23人)、募金 計1,486件 2億3,528万円、7/2義援金支給式 |
| | | | | ウ | 物資支援 | 支援者一覧表(庁議室外側の壁面掲載)、軽自動車等11台支援、船橋市(バス1台)、安来市(バス3台) |
| | | ⑨ 原発事故への対応 | → | ア | 情報開示 | 放射能測定値公表、学校等除染・再調査、玉野メッシュ調査、公園調査、測定講習会(7/28・29)、今後の測定・除染計画 |
| | | | | イ | 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康相談(玉野)、市民説明会(12箇所、1,850人) |
| 3 | 長期的対応 | ① 復興への取り組み | → | ア | 復興会議 | 復興会議(毎週水曜日)、復興願問会議(6/19、8/25)、復興計画策定 |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア | 道路・護岸等の復旧 | 常磐道・阿武隈東道路、東北中央道10年以内完成緊急フォーラム(8/9)、護岸仮復旧(大洲8月・古磯部8月、大浜未定) |
| | | | | イ | 農業対策 | 冠水田1,100ha(約40%)、土地改良区、農業生産法人設立、農業復興メニュー、原発と補償(8/29～JA以外の仮払い相談) |
| | | | | ウ | 漁業対策 | 漁船被害(全損336隻など)、はらがま朝市、漁協市場復興(コンテナ6個)、浦内ガレキ撤去、原発と補償(試験操業8月上旬) |
| | | | | エ | 被災商業者支援 | 大野台地区仮設店舗(7/25着工、市、ハローワークなど入居)、塚田(入居応募16件、7/22着工) |
| | | | | オ | 市内企業の現状 | 操業再開　共同火力(来春一部発電)、電力制限緩和(5/25)、エムセテック(一部7月中旬)、アデカ(一部7/1) |
| | | ③ 被災者支援 | → | ア | 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化(支援金等、高齢者、住居流失・全壊、職業、雇用状況　など) |
| | | ④ 後世への伝達 | → | ア | 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア | 原発難民受け入れ | 仮設住宅入居:南相馬市(263戸 7/20～7/28)、飯舘村(161戸 入居済)、浪江町(93戸 7/29～)、米10kg支援 |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援(物資等) | 新地(α米2千食、軽油10kℓ)、飯舘(水3万ℓ等)、南相馬(ガソリン60kℓ、紙おむつ等)等 |
| | | | | ウ | ソフト面での支援 | 浪江町民簡易宿泊所(日立木公民館)利用 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア | 食料・生活物資 | 食糧(米・缶詰・カップメン等)、敷ふとん、スニーカーなど確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援、宮教大の学力向上支援、農業復興メニュー、被災地域小中学校への教員加配、支援生への御礼(報告書) |

## 8月5日（金）

### 復興を祈願して　市民七夕まつり

市ふるさと行事のひとつ「市民七夕まつり」が８月５日から７日にかけて、クロスロードたまちを会場に開催されています。

今年は震災の犠牲者の鎮魂や相馬市の復興への祈りを込めての開催。

## 8月8日（月）

### 潘基文国連事務総長　相馬を視察

潘基文（パン・ギムン）国際連合事務総長が８月８日、相馬市を訪れ、津波で甚大な被害を受けた原釜・尾浜地区を視察しました。

## リヤカー

私の母は相馬市街地近郊の農家の娘。お八重ばあちゃんはよく働く人だった。

近郊農家だから、リヤカーを引いて裏の畑で採れた野菜売りに出かけた。その荷台にちょこんと乗って、私が育った漁村の原釜とは違った町の風景を、恥ずかしいような気持ちで見ていた。ばあちゃんは話好きで、待っていてくれる商店街のお客さんとの世間話が止まらなかった。中村田町と宇多川町の間にあったホーライ食堂もお客さんで、よく売れた日はリヤカーを停めて肉うどんを食べさせてくれた。ばあちゃんは私がうどんの汁をすすり終わっても話に夢中だった。

そういえば、原釜にも三角なっとうを自転車で売りに来る人がいたし、豆腐はリヤカーだったように思う。母に言われて、ボールを持って豆腐を買いに走った私のお手伝いを、おばちゃんが褒めてくれた。50 年前の相馬は、町も浜も時間がゆっくり流れていて、会話と笑顔にあふれていた。私の醤油屋も工場や店の出入り口にいちいち鍵など掛けなかったし、他の家々でも開けっ放しだった。

津波直後はガレキの原だった原釜が、ガレキ撤去が済んで無機質な平地になってしまうと、思い出すのは子どもの頃の記憶ばかりだ。でも被災直前まで、人びとの会話や笑顔は昔のままだったし、鍵をかけない習慣は今でも当たり前のことだった。浜に住んでいる人びとは家々の家族構成はもちろんのこと、それぞれが何をしているかも大抵知っていた。

今、都会では無縁社会と言われ、経済成長時代以来に出来た、個人生活重視の文化的住居ゆえの孤独死が社会問題となっている。それに対し、今回被災してガレキの原となった原釜も尾浜も磯部も、人びとの絆という点では、集落のコミュニケーションが豊かな地域社会だった。今回の災害対策で私が最も感心し、そして合点したことは避難所の整然とした気配り社会である。およそプライバシーとは程遠い空間での生活を、長い人で 3 カ月も辛抱出来たのは、諍いを生じさせなかった彼らの賢さゆえである。避難所を集落単位で指定したことを、思いやりと励まし合いにおいて活かしてくれた。仮設住宅にも集落の形態を保ったまま移住してもらったが、行政支援員として集会所単位で選任した組長さんや副組長さんのもとで、思いやりを交わしてくれるに違いない。

ただ、問題は相馬市以外から仮設住宅に入居する方々を、どのようにコミュニケーションの輪に組み入れるかということである。例えば飯舘村長さんから依頼された 164 世帯については一つのブロックに入ってもらい、組長さんと副組長さんに私の考えを話して理解してもらった。もちろん生活物資の配給や、避難所支援のサービスなどは組長会議を通して相馬市民と同様にさせてもらう。

しかし飯舘村からの入居者のように地域コミュニティが最初から組めるところは心配がないのだが、さまざまな市町村からの入居者で仮設所集落を形成せざるを得ないブロックがどうしても出来てしまう。知らない人たちどうしのコミュニティをどのように作るか？

最低やらなければならないことは、災害弱者支援、つまり身体・精神障害者の方々への支援、要介護老人世帯への気配り、それと災害によって独居世帯となった方々への支援と気配りである。少なくとも平成 23 年度は、これらの方々をはじめ希望する入居者全員への夕食の配給を続けるつもりだが、その他の災害弱者への生活支援なども相馬市民同様に行いたいと思っている。ただし、ふるさと自治体との調整も必要だ。

相馬市としては、出身自治体を問わず、仮設住宅からの立ち上がりを迎える日が来るまで、1,500 戸の方々全体を一体として、均等にサービスを展開したいと考えている。例えば健康維持については負担金なしで一般健診を全員に受けてもらいたい。また買い物支援や孤独死防止なども、全体に網をかけての配慮が必要だ。

この点について、冒頭書いた私の子どもの頃の記憶で恐縮だが、リヤカー引きの戸別販売を考えてみた。16 か所出来る集会所にそれぞれ一人の割合で、リヤカー引き販売員を行政支援員として臨時雇用して、仮設住宅の一棟一棟の間を通って訪問販売をする。雇用対策も兼ねるので一日 8 時間週 5 日勤務とするが、販売以外の時間は障害者の方々へ、たとえば洗濯などの生活支援をしてもらう。

募集したところ、お八重ばあちゃんのような話し好きな浜の女性たちが集まってくれた。小さかった私が

乗った鉄と板で出来たリヤカーを相馬市いっぱい探したが、もう何処の農家にもなく、スタイリッシュなステンレス製折りたたみ式となった。始めて一カ月になるが、最初の計画とは違い二人ひと組で廻っている。その方が会話が弾んでいいのかも知れない。

## 8月8日（月）

### 新たな設備で食事支援　シダックスがキッチンカー寄贈

シダックス株式会社から８月８日、車内に厨房施設を完備したキッチンカーが相馬市に寄贈されました。

このキッチンカーを使い、８月14日から柚木工業団地の仮設住宅で、夕食約500食が提供されます。

他の仮設住宅には、市内民間企業の社員食堂厨房を使い調理された夕食が提供されています。

夕食調理の様子（８月14日）

## 8月9日（火）

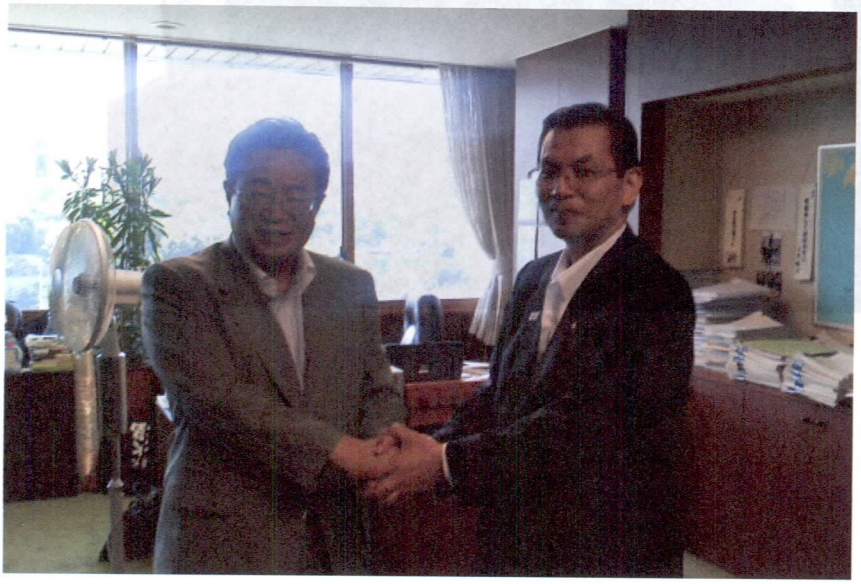
### 幹線道路整備を考える　緊急フォーラムを開催

「東日本大震災後の福島・伊達・相馬地方の幹線道路整備を考える緊急フォーラム」は8月9日、相馬フローラにおいて開催されました。

基調講演では、立谷市長が「命を守った道路」と題し、相馬市の震災直後の被災状況や避難所の状況、災害対策本部の対応を説明しながら道路整備の必要性を説明しました。

社団法人日本損害保険協会副会長の牧野治郎氏をコーディネーターとして「東北中央自動車道の整備」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。

パネラーの渡辺孝男参議院議員、三原じゅん子参議院議員、仁志田昇司伊達市長、加藤憲郎新地町長、立谷市長がそれぞれの立場から道路整備について意見を交わしました。



8月10日、立谷市長は国土交通省を訪れ、大畠章宏大臣に東北中央道福島 - 相馬間の未事業化区間の早期着工を要望しました。

相馬市や伊達市などが9日に市内で開催した「東日本大震災後の福島・伊達・相馬地方の幹線道路整備を考える緊急フォーラム」での決議を受け、地元自治体を代表しての要望。

## 8月10日（水）

### 玉野地区で　除染に関する説明会

市内でも比較的空間放射線量の高い玉野・東玉野地区の約150世帯に高圧洗浄機を配布したことに伴う「除染に関する説明会」は8月10日、玉野中学校体育館で行われ、地区住民など約40人が参加しました。

## 8月12日（金）

### 400年の歴史がある伝統行事　大瓜市開催

8月12日、400年の歴史がある伝統行事、宇多川町の瓜市が開催されました。

この行事は、お盆の行事に用いる品物や供物などを買いそろえる盆市として、恒例となっています。

震災復興を祈願した今回は、子どもたちの願いが書かれた祈願笹流しや、花火大会が催されるなど多彩な内容での開催。

## 8月12日（金）

### 海上遭難者を供養　流灯会

相馬双葉漁協同組合の灯籠流し「流灯会」は8月12日、松川浦漁港で行われました。

この灯籠流しは、水難事故で死亡した人を供養するため毎年行われています。今年は津波の犠牲者の供養も併せ、例年の倍以上となる約1,000個の灯籠が集まりました。

## 8月13日（土）

### 鎮魂と復興への祈り　そうま慰霊花火大会

東日本大震災そうま慰霊花火大会は8月13日、相馬光陽サッカー場で開かれ、夜空に咲く大輪の花に約一万人の来場者が鎮魂の祈りを捧げました。

## 8月14日（日）

### ゆく夏を惜しむ　盆踊り大会

第38回盆踊り大会は8月14日にスポーツアリーナそうま駐車場で行われ、約1,000人がそろいの浴衣や法被姿で参加、鎮魂と復興への祈りを乗せて踊り流しました。

## 8月25日（木）

### より具体的な復興計画策定に向けて　第2回復興会議顧問会議

復興計画策定に向け、有識者から助言を受けるための第2回復興会議顧問会議は8月25日、東京で開催されました。

委員からは「震災を風化させず、本能的に各自の判断で避難できるよう繰り返し訓練することが必要」、「計画を見直す際には、女性からの視点を取り入れたほうがよい」などの意見が出されました。

## NPO はらがま朝市

私の生まれ育った原釜は古来より漁村である。私の子供のころは砂浜に並んだ手漕ぎ船で漁に出ていたが、昭和 30 年代中頃から機械船が普及し、沿岸漁業の規模も港も周辺産業も、徐々に拡大していった。平成 22 年度の松川浦漁港の漁獲高は 50 億円弱。さらに仲買業者、品種によっては加工業者とビジネスが広がっていた。

約 300 隻あった沿岸漁業の漁船の半数以上が失われるという大津波だったが、4 割の漁師たちは地震と同時に自分の船まで一目散に走り、津波が襲ってくる外洋に向かってエンジンを駆った。巨大な津波でも、波が砕ける前に乗り越えさえすれば、沖で無事に待機できる。しかし、砕けた波に巻かれたら漁船も粉々にされてしまう。事実、ちょっとした時間差で大津波にのまれた漁船もあった。

沖で一夜を明かした漁船たちは、帰るにも港の岸壁が損傷し容易に着岸できなかったが、沖で水も食料も尽きれば危険な帰港をせざるを得なかった。やっとの思いで陸地に立った彼らが、変わり果てた原釜の光景を見て何を想ったかは想像するに余りがある。しかし、自分の家ばかりでなく、家族や親せきを失った彼らに、容赦なく襲いかかったのが漁船や漁具の返済ローンである。「1 日も早く漁に出たい。そうしないと借金で首をくくることになる」、実直なある漁師から 1 日も早い漁港仮復旧を訴えられた。また、ある漁師は孫たちを避難させるために、自分の船を沖に出すことをあきらめて車で逃げた。のちに追いかけてくるだろうローン地獄より孫たちの安全を選んだのだ。

船を守った漁師たちが、漁に出るためには津波で流された網やその他の漁労具を新たに買わなければならない。船を失った場合は、生活のために中古なり新造船なり、数千万円の投資が必要である。ほとんどの場合借金が払い終わっていないので、新たな出費は二重ローンとなる。我われ相馬市災害対策本部は急ぎに急いで、やっとの思いで漁港を仮復旧させたが、原発の風評被害のせいで断腸の思いで漁を見合わせている。しかし、この忌まわしい問題が解決しても、漁業再開には二重ローンの問題が立ちはだかる。

周辺産業に対する被害も深刻だ。特に仲買業者は扱う魚がないのだから、せっかく我われが冷凍倉庫を整備しても、漁の再開と風評被害の終息を待たないと仕事にならない。仲買業者のうち、資金力と広域的な取引のネットワークを持つ業者のなかには、既に日本海側で事業を始めたケースもある。私個人としてはその生命力に心からエールを送りたいと思っているが、たいていの事業者は地元での事業再興を待ち望んでいる。そして彼らにも、今までの設備投資の返済が追ってくるのだ。

相馬市災害対策本部としては、復興をガレキの撤去や恒久住宅の提供のみとは考えず、被災者の新たな人生設計と定義してきたので、これは対策本部の課題そのものなのだ。国会で審議中の二重ローン救済法案が待たれる所以である。何とか急いでもらいたい。

5 月のある日、それでも魚介類を市民へ届けて相馬市を元気づけたいと相談に来た、地元に残っている仲買業者たちに、輪島市のような朝市を企画したらどうかと勧めてみた。もともと勘の良い人たちだから、NPO として継続的に食材を提供することや、いずれは原釜に市民の台所となるマーケットを作っていこうとか、新しいアイディアがどんどん出てきた。そして彼らは直ぐに行動に移した。

あれから 3 カ月。中村神社の前の長友グランドで始まった朝市は、一日に 2000 人の市民が訪れるようになった。実は仮設住宅でのリヤカー販売も、彼らとの協議の中で、「自分たちが責任をもって食材を揃えるから、市長は頑張って制度化してくれ」という強い思い入れがあったから出来た。明日の資金にも事欠く彼らだが、足のない被災者のために、食材のみならず日用品まで買いに走る姿に復興の原動力を感じている。

いずれ漁業の再生が適った原釜に産地直接販売のマーケットが出来て、輪島市のような相馬朝市になるとしたら、冷凍倉庫ももっと集めて野菜も保存販売できるようにしたい。いっそのこと福島県の一次産品をここに集めて、相馬を訪れた人たちの一大ショッピングセンターになってくれないだろうか？

彼らと夢を語るのはとても楽しい。いろいろ計画していると、彼らといっしょに少年時代に還ったような気持ちになる。しかし、こんな時代だからこそ少年の

ようなのびのびとした発想が必要なのかもしれないし、ゼロからのスタートは夢を追わなければ何も始まらない。いや、もう始まっているのだ。

NPOは県の認可が下りて登記手続き中だし、現在スポーツアリーナそうまのホワイエで土日開催の朝市は大繁盛で、市民の楽しみにもなった。私自身「夢が適いますように」と思いつつお願いしたコンテナ式冷凍倉庫は、もうすぐあと10台が設置される予定だし、冷凍庫の電源として晴れた日中は使えるメガソーラー計画も、第三セクター方式で企画中である。

地域再生に立ちあがったNPOはらがま朝市には被災地と我われの夢が詰まっている。放射能汚染問題など、立ちはだかる壁は大きいが、上を向いて歩こう。少年の大志よ挫けることなかれ。

# 第172回　災害対策本部　（資料）

平成23年8月19日（金）　18時～

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① 行方不明者の捜索 | → | ア 捜索体制 | 新田（冠水田・用水路）捜索終了、松川浦内捜索（7/12～14、警察）、相双地区捜索（8/9～10警察） |
| | | | | イ 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認）、本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② 生存者・死亡者確認等 | → | ア 不明者状況 | 8/19不明者5人（磯部2、尾浜2、新沼1） |
| | | | | イ 遺体・死亡・火葬の状況 | 8/19遺体441体（市民415市外住民21不明5）、市民死亡454人（市内414市外19宣告21）、火葬446体（身元判明407体） |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア 被災状況把握 | 罹災証明（受付6,968件、発行6,824件）、被災家屋調査3,459件、被災証明（発行12,033件）、住宅被害4,784棟（全壊1,049、大規模206、半壊437、一部損壊3,092） |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災地整理 | → | ア ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去、市外建設業ボランティア、家庭ガレキ（集約14ヵ所、運搬）、流木切断作業、ガレキ等撤去、中間処理業者決定、光陽ガレキ仮置 約17万t（7月末）、家屋撤去（半壊以上） |
| | | ② 被災者・避難者の生活支援 | → | ア 健康管理 | ボランティア医師巡回（心のケアチーム）、歯科衛生士巡回、保健師巡回、派遣医師市長対応 |
| | | | | イ 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎450件、巡回247件、計697件（被災者625件、一般69件） |
| | | | | ウ 食料・物資供給 | 仮設以外配給（罹災証明）、仮設入居者給食（～H24年3/31）、クールマフラー、洗剤 |
| | | | | エ 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計5,145人 1億5,435万円、一次配分：県義援金計1,718件 8,590万円、日赤義援金計2,131件 6億3,399万円、二次配分：県義援金計2,129件 1億8,035万円、日赤義援金計2,129件 10億960万円、二次追加配分：日赤義援金計2,129件 1億3,671万円、弔慰金392件 10億6,000万円 |
| | | | | オ 雇用 | 8/19現在　雇用計739人（調理20人、流木30人、建設業137人、環境20人、消毒0人、身障者等支援27人、組長等202人、漁協ガレキ撤去303人）※対象者：震災により職を失った人 |
| | | | | カ 身障者等生活支援 | 支援員（保健協力員、民生委員）、支援員訪問7/11～、リヤカー販売等業務7/19～、社協生活支援相談員業務 |
| | | | | キ その他生活支援 | 沖縄県南城市招待（親子9組）、夏休み子どもたちの交流事業 |
| | | ③ 今後の教育のあり方 | → | ア 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬PT；6人体制、仮設住宅で教育相談、レポート提出、活動報告2学期～）、学力向上（宮教大8月17日～支援） |
| | | | | イ 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、屋内プール水泳実施、市内公立幼、小、中学校表土剥ぎ（8/4～） |
| | | ④ 市民生活支援 | → | ア ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ健康被害講義、アスベスト濃度測定、雨ヘドロ健康障害対策システム（マスク・靴・消毒セット等、シャワー設置3箇所、避難所ランドリーの再利用 |
| | | | | ウ 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア8/9～8/19（VC登録66人活動66人、被災宅泥除去等0件0人、写真デジタル化）、自治体等（長岡市2人、足立区2人、東北財務局2人、新発田市1人8/1～10/31、流山市3人8/2～10/28）、ボランティア宿泊（3/23～7/30、1,408人） |
| | | | | カ 情報伝達・開示 | 広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、原町）、JR常磐線復興調整会議（8/4） |
| | | ⑤ 現行警戒体制の維持 | → | ア 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米124t・水224t）、物資保管リスト、8/5米沢市（白米3t）、JA（米4.5t） |
| | | | | ウ 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス、スクールバス、西地区等バス運行、花火大会・盆踊り大会送迎バス |
| | | | | エ 相馬港の利活用体制 | 港湾施設建設促進協議会総会（6/30）、相馬港建設促進期成同盟会総会（8/5） |
| | | ⑥ 避難者自立支援 | → | ア 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 8/19現在入居（雇用促進58件、県借上げ民間アパート275件）、自立支援金764件 7,640万円 |
| | | ⑦ 仮設住宅 | → | ア 仮設住宅の建設 | 1,500戸完成、6/15以降市内申込み94件（新規申込み49件のうち鍵引き渡し済42件、再移動45件） |
| | | | | イ 仮設住宅への移住 | 1,500戸（うち空き戸数335戸）飯舘村入居済、南相馬市（263戸のうち入居済90戸）、浪江町（93戸のうち入居済55戸）、その他市町村12戸（12戸のうち入居済7戸）、玉野地区19件（児童等世帯8件）、相馬市民再移動の抽選（8/12） |
| | | | | ウ 仮設住宅の管理運営体制 | 組長・戸長体制構築、組長会議（6/27、7/8、7/20、8/9）、市担当者配置 |
| | | | | エ 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、7/11～全仮設）、自動販売機設置、サポート拠点施設（9月中旬完成予定）、市民以外にも支援、刈敷田交流会（8/22） |
| | | ⑧ 義援金など | → | ア 義援金 | 義援金1,177件　5億4,354万円、支出済額　3億3,554万円（生活支援金1億5,435万円、自立支援金7,640万円、仮設住宅入居支度金7,420万円、リックサック856万円、担架67万円、自立支援セット2,136万円）　残額　2億800万円 |
| | | | | イ 震災孤児のための募金 | 該当者31世帯51人（小中学生28人：孤児5人、片親23人）、募金 計1,580件 2億3,669万円、義援金支給額513万円 |
| | | | | ウ 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側の壁面掲載）、軽自動車等11台支援、船橋市（バス1台）、安来市（バス3台） |
| | | ⑨ 原発事故への対応 | → | ア 情報開示 | 放射能測定値公表、測定講習会（7/28・29）、今後の測定・除染計画、玉野へ高圧洗浄機配付 8/4～、玉野除染説明会（8/10） |
| | | | | イ 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康相談（玉野）、市民説明会（12箇所、1,850人） |
| 3 | 長期的対応 | ① 復興への取り組み | → | ア 復興会議 | 復興会議（毎週水曜日）、復興願問会議（6/19、8/25）、復興計画策定 |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア 道路・護岸等の復旧 | 東北中央道緊急フォーラム（8/9）、国交大臣要望（8/10）、護岸仮復旧（大洲8月・古磯部8月、大浜時期未定） |
| | | | | イ 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、土地改良区、農業法人設立、農業復興メニュー、原発と補償（8/29～JA以外の仮払い相談） |
| | | | | ウ 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市、漁協市場復興（コンテナ6個）、浦内ガレキ撤去、原発と補償（試験操業8月下旬） |
| | | | | エ 被災商業者支援 | 大野台地区仮設店舗（7/25着工、市、ハローワークなど入居）、塚田（入居応募16件、7/22着工） |
| | | | | オ 市内企業の現状 | 操業再開、共同火力（来春一部発電）、電力制限緩和（5/25）、エムセテック（一部7月中旬）、アデカ（一部7/1） |
| | | | | カ 土地利用の規制 | 住民説明会（8/18～8/28） |
| | | | | キ 災害公営住宅 | 馬場野地区説明会（8/8） |
| | | ③ 被災者支援 | → | ア 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者、住居流失・全壊、職業、雇用状況　など） |
| | | ④ 後世への伝達 | → | ア 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア 原発難民受け入れ | 仮設住宅入居：南相馬市（263戸入居中）、飯舘村（161戸入居済）、浪江町（93戸入居中）、その他自治体（12戸入居中）、米10kg支援 |
| | | | | イ 近隣自治体へ支援（物資等・ソフト面） | 新地（α米2千食、軽油10kℓ）、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kℓ、紙おむつ等）等、浪江町民簡易宿泊所利用 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア 食料・生活物資 | 食糧（玄米・缶詰・カップメン等）など確保 |
| | | | | イ 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援、宮教大の学力向上支援、農業復興メニュー、被災地域小中学校への教員加配、支援先への御礼（報告書） |

## 8月25日（木）

### 精神科医療の現状を訴える　精神科病院理事長等研修会で市長講演

第16回精神科病院理事長等研修会は8月25日、東京都内のホテルで開かれ全国の精神科病院の理事長など約200人が出席しました。

この中で立谷市長は「震災と原発事故による医療崩壊」と題して講演。

震災発生直後から医療資源の確保に苦慮したことや、原発事故の影響により精神科疾患を受診できる医療機関が地域からなくなったことなど、相馬地方の精神科医療の厳しい現状を伝え、精神科病院の誘致を訴えました。

## 8月26日（金）

### 相馬の夏を盛り上げる　株式会社ＩＨＩの大夏祭

相馬の夏の風物詩となった株式会社ＩＨＩの大夏祭は8月26日、同社工場敷地内で行われ、大勢の関係者や市民が相馬の夏の夜を堪能しました。

## 8月27日（土）

### 仮設住宅集会所で　健康セミナーや絵本読み聞かせ

被災した住民や子どもたちに心の安らぎを提供しようと、健康セミナーや絵本の読み聞かせなど、メンタルケアを目的とした「ヒューマン・ケア～心の絆～プロジェクト」が8月27日、北飯渕仮設住宅の集会所で行われました。

## 8月29日（月）

### フジモールド工業株式会社と工場立地に関する基本協定書を締結

プラスチック製品成形用金型設計・製作のフジモールド工業株式会社（富岡町・岡田利一代表取締役社長）と市との工場立地に関する基本協定書の調印式は8月29日、市役所で行われました。

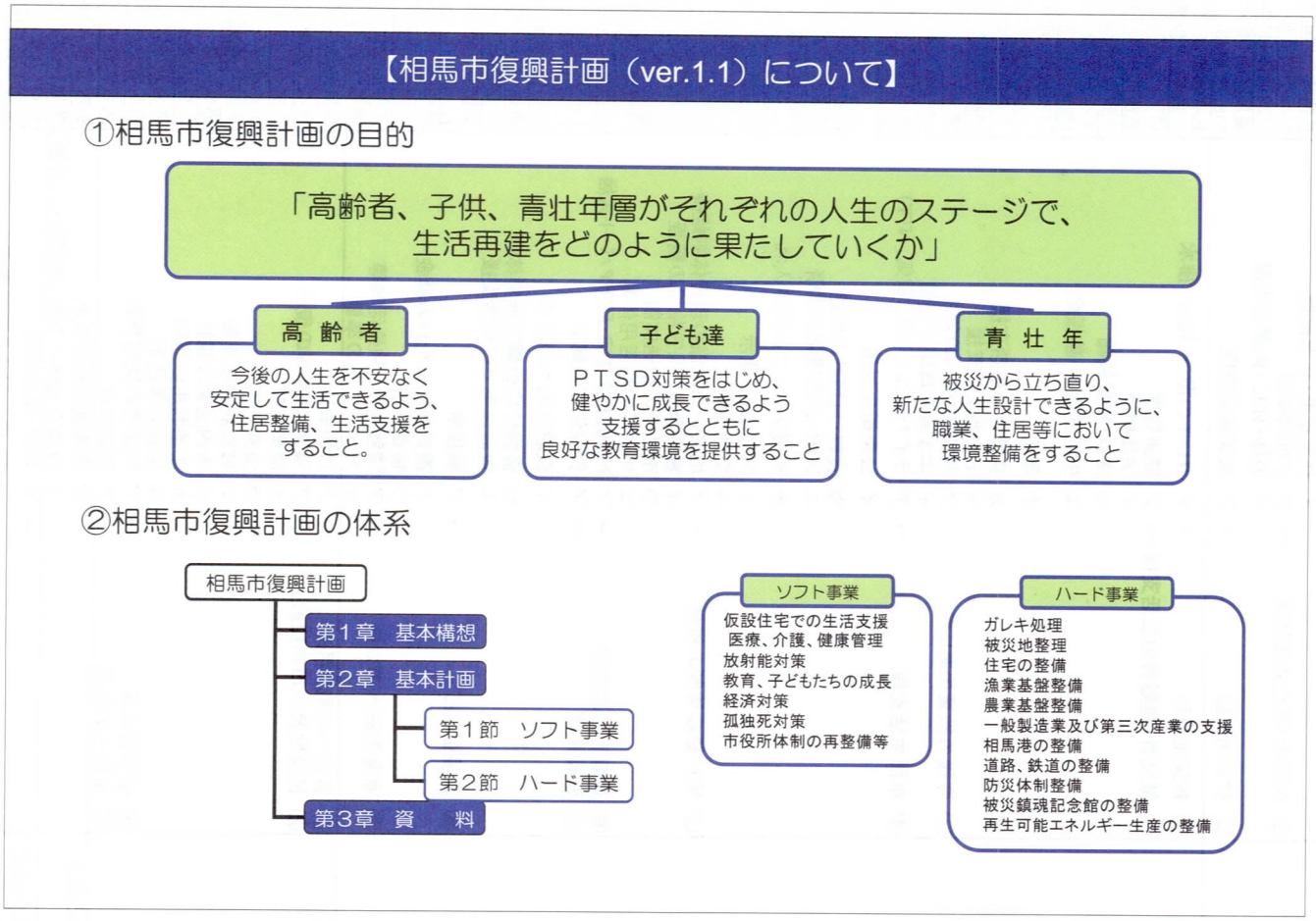
| 第174回　災害対策本部　（資料） | | | | | 平成23年8月29日（月）　16時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① 行方不明者の捜索 | → | ア 捜索体制 | 松川浦内捜索（7/12～14、警察）、相双地区捜索（8/9～10警察）、自衛隊海岸捜索継続（週1回20人規模） |
| | | | | イ 作業推進・状況把握 | 自衛隊ヘリ活用（被害調査・作業状況等確認）、本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② 生存者・死亡者確認等 | → | ア 不明者状況 | 8/29不明者5人（磯部2、尾浜2、新沼1） |
| | | | | イ 遺体・死亡・火葬の状況 | 8/29遺体441体（市民415市外住民21不明5）、市民死亡454人（市内414市外19宣告21）、火葬446体（身元判明407体） |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア 被災状況把握 | 罹災証明（受付7,021件、発行6,842件）、被災家屋調査3,512件、被災証明（発行12,168件）、住宅被害4,784棟（全壊1,049、大規模206、半壊437、一部損壊3,092） |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災地整理 | → | ア ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去、家庭ガレキ（集約14ヵ所）、流木切断作業、ガレキ等撤去、中間処理業者決定、光陽ガレキ仮置：約17.3万t、大洲流木：約1.2万t、汚泥：約5.6万㎥（8/17）、家屋撤去（半壊以上553棟） |
| | | ② 被災者・避難者の生活支援 | → | ア 健康管理 | ボランティア医師巡回（心のケアチーム）、歯科衛生士巡回、保健師巡回、派遣医師市長対応 |
| | | | | イ 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎473件、巡回247件、計720件（被災者636件、一般84件） |
| | | | | ウ 食料・物資供給 | 仮設以外配給（罹災証明）、仮設入居者給食（～H24年3/31）、クールマフラー、洗剤 |
| | | | | エ 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計5,181人 1億5,543万円、一次義援金：県1,728件 8,640万円、日赤2,145件 6億3,787万円、二次義援金：県2,146件 1億8,695万円、日赤2,143件 10億1,576万円、二次追加：日赤2,143件 1億3,755万円、弔慰金399件 10億8,000万円 |
| | | | | オ 雇用 | 8/29現在　雇用計739人（調理20人、流木30人、建設業137人、環境20人、身障者等支援27人、組長等202人、漁協ガレキ撤去303人）※対象者：震災により職を失った人 |
| | | | | カ 身障者等生活支援 | 支援員（保健協力員、民生委員）、支援員訪問7/11～、リヤカー販売等業務7/19～、社協生活支援相談員業務 |
| | | | | キ その他生活支援 | 沖縄県南城市招待（親子9組）、夏休み子どもたちの交流事業（15事業512人参加） |
| | | ③ 今後の教育のあり方 | → | ア 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬FT；6人体制、8/8NPO認可、仮設で教育相談、レポート提出、活動報告2学期～）、学力向上（宮教大支援8/17～） |
| | | | | イ 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、屋内プール水泳実施、市内公立幼、小、中学校表土剥ぎ、小中学校始業式（8/23） |
| | | ④ 市民生活支援 | → | ア ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ健康被害講義、アスベスト濃度測定、市ヘドロ健康障害対策システム（マスク・靴・消毒セット等、シャワー設置3箇所、避難所ランドリーの再利用 |
| | | | | ウ 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院閉鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア8/23～8/29（VC登録25人活動25人、被災宅泥除去等3件12人、写真デジタル化）、自治体等（長岡市2人、足立区2人、財務局2人、新発田市1人、流山市3人、埼玉県1人6ヶ月） |
| | | | | カ 情報伝達・開示 | 広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM |
| | | | | キ 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、原町）、JR常磐線復興調整会議（8/4） |
| | | ⑤ 現行警戒体制の維持 | → | ア 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米124t・水224t）、物資保管リスト、8/5米沢市（白米3t）、JA（米4.5t） |
| | | | | ウ 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス、スクールバス、西地区等バス運行、花火大会・盆踊り大会送迎バス |
| | | | | エ 相馬港の利活用体制 | 港湾施設建設促進協議会総会（6/30）、相馬港建設促進期成同盟会総会（8/5） |
| | | ⑥ 避難者自立支援 | → | ア 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 8/29現在入居（雇用促進58件、県借上げ民間アパート275件）、自立支援金786件 7,860万円 |
| | | ⑦ 仮設住宅 | → | ア 仮設住宅の建設 | 1,500戸完成、6/15以降市内申込み94件（新規申込み49件のうち鍵引き渡し済42件、再移動45件） |
| | | | | イ 仮設住宅への移住 | 1,500戸（うち空き戸数242戸）、飯舘村入居済、南相馬市（263戸のうち入居済96戸）、浪江町（93戸のうち入居済55戸）、その他市町村12戸（12戸のうち入居済7戸）、玉野地区19戸（児童等世帯8戸）、相馬市民再移動の抽選（8/12） |
| | | | | ウ 仮設住宅の管理運営体制 | 組長・戸長体制構築、組長会議（6/27、7/8、7/20、8/9、8/24）、市担当者配置、戸長の仕事内容 |
| | | | | エ 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、7/11～、南相馬夕食実施9/1～）、サポート拠点施設（10月上旬完成予定） |
| | | ⑧ 義援金など | → | ア 義援金 | 義援金1,200件　5億4,380万円、支出済額　3億3,882万円（生活支援金1億5,543万円、自立支援金7,860万円、仮設住宅入居支度金7,420万円、リックサック856万円、担架67万円、自立支援セット2,136万円）　残額　2億498万円 |
| | | | | イ 震災孤児のための募金 | 該当者31世帯51人（小中学生28人：孤児5人、片親23人）、募金　計1,598件 2億5,042万円、生活支援金支給額513万円 |
| | | | | ウ 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側）、支援車両18台（バス4、普通2、普貨1、軽乗5、軽貨4、パッカー1、キッチン1） |
| | | ⑨ 原発事故への対応 | → | ア 情報開示、除染活動等 | 放射能測定値公表、測定講習会、玉野へ高圧洗浄機配付 8/4～、玉野除染説明会（8/10）、除染方針・マニュアル、除染庁内PT |
| | | | | イ 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康相談（玉野）、市民説明会（12箇所、1,850人） |
| 3 | 長期的対応 | ① 復興への取り組み | → | ア 復興会議 | 復興会議（毎週水曜日）、復興願問会議（6/19、8/25）、復興計画Ver1-1決定（8/29） |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア 道路・護岸等の復旧 | 東北中央道緊急フォーラム（8/9、8/30伊達市）、国交大臣要望（8/10）、護岸仮復旧（大洲8月・古磯部9月、大浜9月上旬着手予定） |
| | | | | イ 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、土地改良区、農業法人設立、農業復興メニュー、原発補償（8/29～JA以外の仮払い相談） |
| | | | | ウ 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市、漁協市場復興（コンテナ6個）、浦内ガレキ撤去、放射能対応（試験操業先送り） |
| | | | | エ 被災商業者支援 | 大野台地区仮設店舗（7/25着工、市、ハローワークなど入居）、塚田（入居応募16件、7/22着工） |
| | | | | オ 市内企業の現状 | 操業再開　共同火力（来春一部発電）、電力制限緩和（5/25）、エムセテック（一部7月中旬）、アテカ（一部7/1） |
| | | | | カ 土地利用の規制 | 住民説明会（8/18～8/28 開催20回） |
| | | | | キ 災害公営住宅 | 馬場野地区説明会（8/8、8/25） |
| | | ③ 被災者支援 | → | ア 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者、住居流失・全壊、職業、雇用状況　など） |
| | | ④ 後世への伝達 | → | ア 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア 原発難民受け入れ | 仮設住宅入居：南相馬市（263戸入居中）、飯舘村（163戸入居済）、浪江町（93戸入居中）、その他自治体（12戸入居中）、米10kg支援 |
| | | | | イ 近隣自治体へ支援（物資等・ソフト面） | 新地（α米2千食、軽油10kℓ）、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kℓ、紙おむつ等）等、浪江町民簡易宿泊所利用 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア 食料・生活物資 | 食料（玄米・缶詰・カップメン等）など確保 |
| | | | | イ 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援、宮教大の学力向上支援、農業復興メニュー、被災地域小中学校への教員加配、支援先への御礼（報告書） |

## 8月29日（月）

# 第１回相馬市災害対策復興会議

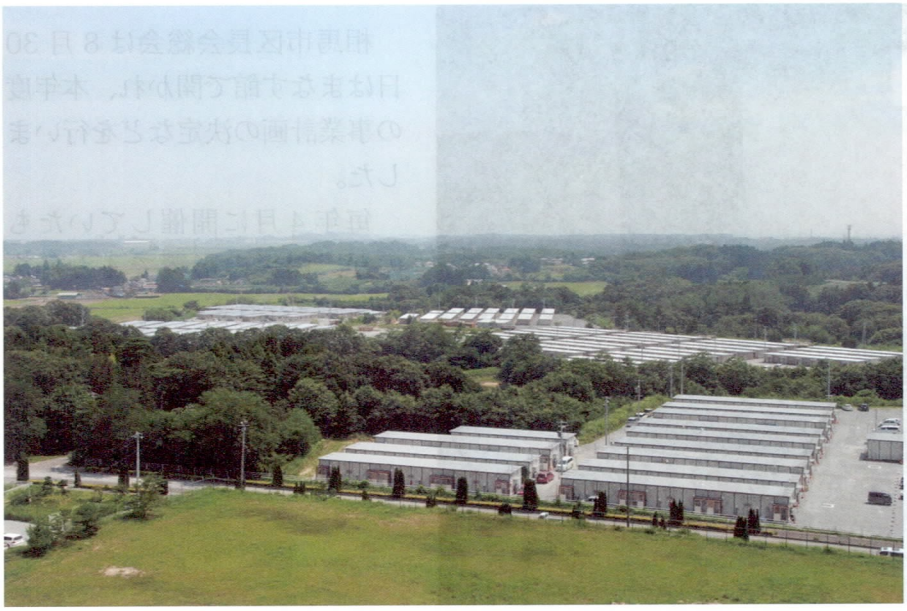
第１回災害対策復興会議は８月29日、市役所で開かれました。

震災から５カ月が過ぎ、復興に向けた取り組みが中期的・長期的な対応となることから、これまでの災害対策本部会議と復興会議を合同で開催するものです。



## 8月29日（月）

### 市内・市外から　応急仮設住宅へ入居



市内14箇所に建設された応急仮設住宅へ、市内・市外から入居が進んでいます。

### 応急仮設住宅入居状況（8月29日現在）

| 応急仮設住宅名 | 入居者地区名 | 設置戸数 | 入居戸数 | 入居人数 |
|---|---|---|---|---|
| 北飯渕東グラウンド東側 | 原釜・尾浜地区 | 114 | 114 | 386 |
| 北飯渕東グラウンド西側 | 飯豊・磯部地区 | 92 | 92 | 339 |
| 刈敷田第1 | 原釜地区 | 48 | 48 | 164 |
| 刈敷田第2 | 尾浜地区 | 24 | 24 | 86 |
| 大野台第1 | 尾浜地区 | 156 | 156 | 397 |
| 大野台第2 | 原釜地区 | 135 | 128 | 336 |
| 大野台第3 | 飯豊地区など | 76 | 69 | 180 |
| 大野台第4 | 原釜・尾浜地区など | 69 | 55 | 151 |
| 大野台第5 | 原釜・尾浜地区など | 77 | 6 | 16 |
| | 玉野地区 | | 6 | 19 |
| | 双葉郡 | | 7 | 15 |
| 大野台第6 | 飯舘村 | 164 | 164 | 360 |
| 大野台第7 | 南相馬市 | 162 | 66 | 201 |
| 大野台第8 | 浪江町など | 93 | 61 | 152 |
| 大野台第9 | 南相馬市 | 81 | 7 | 29 |
| 柚木 | 磯部・蒲庭地区 | 209 | 163 | 452 |
| | 南相馬市 | | 16 | 45 |

## 8月30日（火）

### 行政と市民のパイプ役　市区長会総会

相馬市区長会総会は8月30日はまなす館で開かれ、本年度の事業計画の決定などを行いました。

毎年4月に開催していたものが、震災の影響で4カ月後の開催となりました。

## 8月30日（火）

### 東北中央自動車道の整備促進を求める伊達市総決起大会で市長が基調講演

「東北中央自動車道（福島－相馬間）の整備促進を求める伊達市総決起大会」は8月30日、伊達市ふるさと会館において開催されました。

その後、立谷市長が「命を守った道路」と題し基調講演を行いました。

相馬市の震災直後の孤立者救出や救援物資・生活物資の確保など災害対策本部の対応を説明しながら「今後の道路整備にあたっては災害に強い道路でなければならない」と訴えました。

## 6月～8月

# 全国の自治体と交流　東日本大震災による交流事業

市少年親善使節団（北海道大樹町）

6月から8月にかけ、相馬の子どもたちは全国の自治体と交流を深めました。

姉妹都市の大樹町・豊頃町を訪問する市少年親善使節団のほか、今年は沖縄県南城市をはじめとする交流事業に参加。

交流事業は、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故に伴い、外で元気よく遊ぶことができなくなった子どもたちの心身のリフレッシュを目的として提供されたものです。

| No. | 事業期間 | 主催自治体・団体 | 行先 | 対象者 | 参加人数 | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 7月30日～8月1日 | 相馬市、<br>相馬市教育委員会 | 北海道大樹町・豊頃町 | 小学5年生、6年生 | 40 | 姉妹都市交流 |

| No. | 事業期間 | 主催自治体・団体 | 行先 | 対象者 | 参加人数 | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6月19日～21日 | 沖縄県南城市 | 沖縄県南城市 | 幼稚園児・保護者<br>（磯部・原釜幼稚園） | 18 | 「世界一大きな絵」に参加 |
| 2 | 7月23日～24日 | 栃木県真岡市 | 栃木県真岡市 | 小学生・保護者 | 14 | 「真岡市の夏祭り」に参加 |
| 3 | 7月23日～8月31日 | 文部科学省、<br>国立青少年教育振興機構 | 国立磐梯青少年<br>交流の家 | 小学1年生～<br>中学3年生 | 8 | リフレッシュ・キャンプ<br>7回実施 |
| 4 | 7月23日～8月31日 | 文部科学省、国立青少年<br>教育振興機構 | 国立那須甲子青少年<br>自然の家 | 小学1年生～<br>中学3年生 | 11 | リフレッシュ・キャンプ<br>11回実施 |
| 5 | 7月31日～8月5日 | 京都府教育委員会 | 京都府 | 中学生 | 7 | ふくしまっ子応援<br>京体験プロジェクト |
| 6 | 8月1日～4日 | ＮＰＯ法人子どもの心と身<br>体の成長支援ネットワーク | 栃木県那須塩原市<br>那須野営場 | 小学生 | 72 | キャンプ体験 |
| 7 | 8月2日～4日 | 新潟県新潟市 | 新潟県新潟市 | 小学生 | 20 | 自然体験 |
| 8 | 8月2日～5日 | ＪＴＢなど | 沖縄県 | 小学4年生～中学生 | — | サマーキャンプ |
| 9 | 8月2日～8日 | 鹿児島県徳之島町 | 鹿児島県徳之島町 | 小学生<br>（中二小、飯豊小） | 6 | 徳之島<br>「われんきゃ交流事業」 |
| 10 | 8月4日～5日 | 相馬青年会議所 | ラビスパ裏磐梯 | 小学4年生～6年生 | 80 | 集まれ元気！<br>ふくしまの宝 |
| 11 | 8月5日～7日 | 新潟県新潟市 | 新潟県新潟市 | 小学生 | 11 | 自然体験 |
| 12 | 8月7日 | 栃木県芳賀郡茂木町ツイ<br>ンリンクもてぎ | 栃木県芳賀郡茂木町ツイ<br>ンリンクもてぎ | 小学生・保護者 | 59 | 「MOTEGI 2 & 4RACE」<br>観戦 |
| 13 | 8月7日～9日 | 公益財団法人<br>日本レクリエーション協会 | 国立磐梯青少年交流の家 | 小学3年生～6年生 | 17 | ネイチャー＆レクリエー<br>ション　楽宿 |
| 14 | 8月8日～11日 | 新潟県岩船郡粟島浦村 | 新潟県岩船郡粟島浦村 | 小学生 | 5 | 粟島牧場「島暮らし学校」 |
| 15 | 8月8日～11日 | 京都府教育委員会 | 京都府 | 小学5年生、6年生 | 7 | ふくしまっ子応援<br>京体験プロジェクト |
| 16 | 8月9日～11日 | 都市緑化機構など | 国営みちのく杜の湖畔公<br>園 | 小学生 | 59 | みちのく夏の冒険<br>エコキャンプ |
| 17 | 8月16日～19日 | ＮＰＯ法人子どもの心と身<br>体の成長支援ネットワーク | 栃木県那須塩原市<br>那須野営場 | 小学生 | 46 | キャンプ体験 |
| 18 | 8月17日～19日 | 都市緑化機構など | 国営みちのく杜の湖畔公<br>園 | 小学生 | 68 | みちのく夏の冒険<br>エコキャンプ |
| 19 | 8月20日～21日 | 栃木県真岡市 | 栃木県真岡市 | 小学生・保護者 | 40 | 「尊徳夏祭り」に参加 |

## 9月1日（木）

### 除染対策プロジェクトチーム　第１回会議開催

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、市内に拡散した放射性物質に対し、除染により市民を健康被害から守るため、除染対策プロジェクトチームが庁内に設立され、９月１日第１回会議が市役所で開かれました。

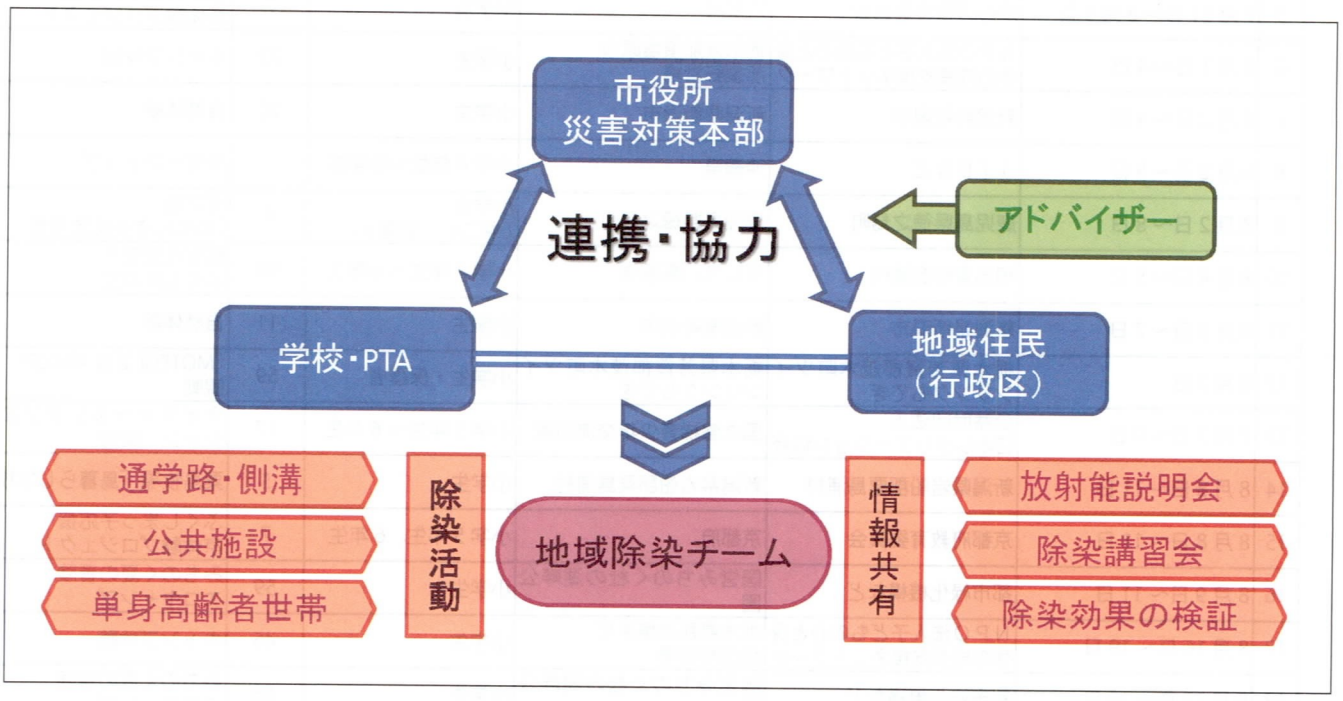
### 放射性物質除染方針

**■目的**

・市民の不安を解消し、原発事故発生前の環境を取り戻す
・地域ぐるみで放射性物質を少なくしていく活動を行う

**■除染目標**

放射線量の半減を目指す。将来的に事故発生以前の放射線量の水準へ



| 第175回　災害対策本部（資料） | | | | | 平成23年9月5日（月）　16時～ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 被災状況確定への取り組み | ① 行方不明者の捜索 | → | ア | 捜索体制 | 松川浦内捜索（7/12～14、警察）、相双地区捜索（8/9～10警察）、自衛隊活動終了（8/31） |
| | | | | イ | 作業推進・状況把握 | 自衛隊へリ活用（被害調査・作業状況等確認）、本部長被災地・捜索状況確認 |
| | | ② 死亡者確認等 | → | ア | 不明者状況 | 9/5不明者5人（磯部2、尾浜2、新沼1） |
| | | | | イ | 遺体・死亡・火葬の状況 | 9/5遺体441体（市民415市外住民21不明5）、市民死亡454人（市内414市外19宮告21）、火葬446体（身元判明407体） |
| | | ③ 被災地確認 | → | ア | 被災状況把握 | 福災証明（受付7,056件、発行6,950件）、被災家屋調査3,552件、被災証明（発行12,236件）、住宅被害4,784棟（全壊1,049、大規模206、半壊437、一部損壊3,092） |
| 2 | 中期的対応 | ① 被災地整理 | → | ア | ガレキの撤去・処分、排水 | 私有物撤去（国指針）、車・船撤去、倒壊家屋撤去、家庭ガレキ（集約14ヵ所）、流木切断作業、ガレキ等撤去、中間処理業者決定、光陽ガレキ仮置：約18.5万t、大洲流木：約1.2万t、汚泥：約6.0万㎥（9/1）、家屋撤去（半壊以上553棟） |
| | | ② 被災者・避難者の生活支援 | → | ア | 健康管理 | ボランティア医師巡回（心のケアチーム）、歯科衛生士巡回、保健師巡回、派遣医師市長対応 |
| | | | | イ | 法律相談 | 経済的相談・精神的援助・自殺予防、弁護士等相談；分庁舎485件、巡回247件、計732件（被災者639件、一般93件） |
| | | | | ウ | 食料・物資供給 | 仮設入居者給食（～H24年3/31）、県借上げ住宅等被災者へ支援物資支給（9月中旬） |
| | | | | エ | 生活支援金・義援金 | 市生活支援金計5,222人 1億5,666万円、一次義援金：県1,739件 8,695万円、日赤2,159件 6億4,073万円、二次義援金：県2,157件 2億475万円、日赤2,157件 10億2,024万円、二次追加：日赤2,157件 1億3,816万円、弔慰金399件 10億8,000万円 |
| | | | | オ | 雇用 | 9/5現在　雇用計739人（調理20人、流木30人、建設業137人、環境20人、身障者等支援27人、組長等202人、漁協ガレキ撤去303人）※対象者：震災により職を失った人 |
| | | | | カ | 身障者等生活支援 | 支援員（保健協力員、民生委員）、支援員訪問7/11～、リヤカー販売等業務7/19～、社協生活支援相談員業務 |
| | | | | キ | その他生活支援 | 夏休み子どもたちの交流事業（15事業512人参加）、市合同慰霊祭（9/10）、「天灯」実施（9/10） |
| | | ③ 今後の教育のあり方 | → | ア | 児童・生徒への対応 | 精神的ケア（相馬FT；6人体制、8/8NPO認可、仮設で教育相談、レポート提出、活動報告2学期～）、学力向上（宮教大支援8/17～） |
| | | | | イ | 学校教育環境の整備 | スクールバス運行、屋内プール水泳実施、学校表土剥ぎ、高圧洗浄機配付、保護者説明会（8/29～8/30）540人 |
| | | ④ 市民生活支援 | → | ア | ライフライン（水道、電気、NTT） | 水道（漏水工事）、電力（未通電178世帯）、魚市場（水道港湾入口まで通水、電力配線100%・NTT柱100%） |
| | | | | イ | 公衆衛生対策 | 東大医科学研究所、ハエ・蚊等対策、ヘドロ健康被害講義、アスベスト濃度測定、市ヘドロ健康障害対策システム（マスク・靴・消毒セット等、シャワー設置3箇所、避難所ランドリーの再利用 |
| | | | | ウ | 食料・日用品の配給 | 配給済（米66t、毛布等、飯豊：長靴）、市民配給（リックサック11,581個、水65t、米115t） |
| | | | | エ | 医療・介護機関の実情 | 開業医、南相馬市病院開鎖と診療再開影響、在宅老人訪問、精神科医2人、公立病院平日夜間診療再開 |
| | | | | オ | 支援グループの受け入れ | 本部長指揮、ボランティア8/30～9/5（VC登録15人活動15人、被災宅泥除去等0件0人、写真デジタル化）、自治体等（長岡市2人、足立区2人、財務局2人、新発田市1人、流山市3人、埼玉県1人6ヶ月） |
| | | | | カ | 情報伝達・開示 | 広報紙号外（No.1～16）、市HP掲載、そうまさいがいFM、義援金使途内容（広報そうま9/15） |
| | | | | キ | 交通機関 | 臨時バス（福島、仙台）、JRバス代行（亘理、原町）、JR常磐線復興調整会議（8/4） |
| | | ⑤ 現行警戒体制の維持 | → | ア | 地域行政組織の現行体制維持 | 区長会（3回）、災害弱者192人（寝たきり48人）、物資配給 |
| | | | | イ | 倉庫運営、保管物資の精査 | 品目別備蓄量（米124t・水224t）、物資保管リスト、8/5米沢市（白米3t）、JA（米4.5t） |
| | | | | ウ | 市独自の輸送体制 | 運送車両バス；6台、トラック；2台、玉野患者バス、スクールバス、西地区等バス運行、花火大会・盆踊り大会送迎バス |
| | | | | エ | 相馬港の利活用体制 | 港湾施設建設促進協議会総会（6/30）、相馬港建設促進期成同盟会総会（8/5） |
| | | ⑥ 避難者自立支援 | → | ア | 市調達集合住宅・民間アパート入居 | 9/5現在入居（雇用促進58件、県借上げ民間アパート279件）、自立支援金804件8,040万円 |
| | | ⑦ 仮設住宅 | → | ア | 仮設住宅の建設 | 1,500戸完成、6/15以降市内申込み105件（新規申込み58件のうち鍵引き渡し済42件、再移動45件） |
| | | | | イ | 仮設住宅への移住 | 1,500戸（うち空き戸数202戸）、飯舘村入居済、南相馬市（263戸のうち入居済96戸）、浪江町（93戸のうち入居済55戸）、その他市町村12戸（12戸のうち入居済7戸）、玉野地区19戸（児童等世帯8戸）、相馬市民再移動の抽選（8/12） |
| | | | | ウ | 仮設住宅の管理運営体制 | 組長・戸長体制構築、組長会議（6/27、7/8、7/20、8/9、8/24）、市担当者配置、戸長の仕事内容 |
| | | | | エ | 仮設住宅での生活支援 | 夕食配食（23年度、7/11～、南相馬夕食実施9/1～）、サポート拠点施設（10月上旬完成予定） |
| | | ⑧ 義援金など | → | ア | 義援金 | 義援金1,208件　5億4,431万円、支出済額　3億4,275万円（生活支援金1億5,666万円、自立支援金8,040万円、仮設住宅入居支度金7,510万円、リックサック855万円、担架67万円、自立支援セット2,136万円）　残額　2億156万円、使途内容（広報そうま9/15号） |
| | | | | イ | 震災孤児のための募金 | 該当者31世帯51人（小中学生28人：孤児5人、片親23人）、募金 計1,668件 2億5,568万円、生活支援金支給額513万円 |
| | | | | ウ | 物資支援 | 支援者一覧表（庁議室外側）、支援車両18台（バス4、普通2、普貨1、軽乗5、軽貨4、パッカー1、キッチン1） |
| | | ⑨ 原発事故への対応 | → | ア | 情報開示、除染活動等 | 放射能測定値公表、測定講習会、玉野高圧洗浄機配付、玉野除染説明会（8/10）、除染方針・マニュアル、除染庁内PT（9/1） |
| | | | | イ | 万が一の為の準備 | 避難計画、東大医科学研究所、健康相談（玉野）、市民説明会（12箇所、1,850人） |
| 3 | 長期的対応 | ① 復興への取り組み | → | ア | 復興会議 | 復興会議（毎週水曜日）、復興顧問会議（6/19、8/25）、復興計画Ver1-1決定（8/29） |
| | | ② 被災地及び市内復興 | → | ア | 道路・護岸等の復旧 | 東北中央道緊急フォーラム（8/9、8/30伊達市）、国交大臣要望（8/10）、護岸仮復旧（大洲8月・古磯部9月、大浜9月上旬着手予定） |
| | | | | イ | 農業対策 | 冠水田1,100ha（約40%）、農業法人設立、農業復興メニュー、原発補償（8/29～JA以外仮払相談）、復興地区説明会（9/5～9/8） |
| | | | | ウ | 漁業対策 | 漁船被害（全損336隻など）、はらがま朝市、漁協市場復興（コンテナ6個）、浦内ガレキ撤去、放射能対応（試験操業先送り） |
| | | | | エ | 被災商業者支援 | 大野台地区仮設店舗（7/25着工、市、ハローワークなど入居）、塚田（入居応募16件、7/22着工） |
| | | | | オ | 市内企業の現状 | 操業再開　共同火力（来春一部発電）、電力制限緩和（5/25）、エムセテック（一部7月中旬）、アデカ（一部7/1）、フジモールド立地協定（8/29） |
| | | | | カ | 土地利用の規制 | 住民説明会（8/18～8/28 開催20回 参加者771人）、住民要望内容 |
| | | | | キ | 災害公営住宅 | 馬場野地区説明会（8/8、8/25、8/31） |
| | | ③ 被災者支援 | → | ア | 被災者の実情把握 | 被災者全員のデータベース化（支援金等、高齢者、住居流失・全壊、職業、雇用状況　など） |
| | | ④ 後世への伝達 | → | ア | 記録保存 | 災害に対する各種取り組み内容の記録保存、資料作成状況の市長報告 |
| 4 | 近隣自治体との支援協力 | | → | ア | 原発難民受け入れ | 仮設住宅入居：南相馬市（263戸入居中）、飯舘村（163戸入居済）、浪江町（93戸入居中）、その他自治体（12戸入居中）、米10kg支援 |
| | | | | イ | 近隣自治体へ支援（物資等・ソフト面） | 新地（α米2千食、軽油10kℓ）、飯舘（水3万ℓ等）、南相馬（ガソリン60kℓ、紙おむつ等）等、浪江町民簡易宿泊所利用 計52人 |
| 5 | 友好自治体及び国・県への支援要請 | | → | ア | 食料・生活物資 | 食料（玄米・缶詰・カップメン等）など確保 |
| | | | | イ | 国・県に対する要望事項 | 弁護士費用国庫負担、漁港・湖岸堤等復旧、被災者給食助成、漁業者支援、焼却場建設、土地改良区支援、宮教大の学力向上支援、農業復興メニュー、被災地域小中学校への教員加配、支援先への御礼（報告書） |

## 9月7日（水）

### ダウ・ケミカル相馬井戸端長屋起工式

被災高齢者向け災害公営住宅「相馬井戸端長屋」の新築工事起工式は９月７日、相馬市馬場野の現地で開催されました。

市内にイオン交換樹脂工場を持つ米化学最大手ダウ・ケミカルが建設し、市に寄贈します。

## 9月9日（金）

### 大震災の現場対応を情報共有　自治体災害対策全国会議

自治体災害対策全国会議（主催：同実行委員会、委員長：井戸敏三関西広域連合長・兵庫県知事）は９月８日～９日、神戸市内のホテルで開催され、自治体関係者約900人が出席しました。

立谷市長は２日目の「福島県の取り組み」で、相馬市の大震災での対応を発表しました。

## 9月10日（土）

### 犠牲者の魂を鎮める　市東日本大震災慰霊祭

東日本大震災の発生から半年の日を翌日に控えた9月10日、スポーツアリーナそうまで犠牲者の冥福を祈る相馬市東日本大震災慰霊祭が開催されました。

磯部地区の避難誘導にあたった消防団副分団長の父・阿部健一さんを亡くした遺族代表の阿部彩音さんが「勉強して大学へ進学し、保育士になる夢を叶えたい」と述べたあと、参列者らがつぎつぎと壇に向かって献花し、犠牲者の冥福を祈りました。

## 9月10日（土）

### 犠牲者の魂を天高く 鎮魂行事「天灯」

山本寛斎氏プロデュース・日本元気プロジェクト、東日本大震災鎮魂行事「天灯」は震災発生から半年の節目を翌日に控えた9月10日、相馬原釜新漁港で開催されました。

当日は市内の被災者など約900人が参加し、灯ろうを夜空に高く上げて震災の犠牲者の魂を弔いました。

日本を代表するフリージャズトランペット奏者、近藤等則さんの演奏とともに、夜空に放たれた無数の灯ろうは、犠牲者の魂を夜空に送り届けながら、幻想的な世界を作り出し、会場の人々の心を静かに癒しました。

災害義援金

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 1 | 3/14 | 菅　美紀子 |
| 2 | 3/15 | ダウケミカル株式会社 |
| 3 | 3/15 | （株）池野産業　代表取締役　池野広志 |
| 4 | 3/15 | アマコウ海運株式会社　代表取締役　桝田幸雄 |
| 5 | 3/17 | 武野　温恭 |
| 6 | 3/17 | 山形県小国町(小国町長　小野精一) |
| 7 | 3/17 | 山形県小国町議会 |
| 8 | 3/18 | 裾野市 |
| 9 | 3/18 | 本田　修平 |
| 10 | 3/18 | 綿田　久子 |
| 11 | 3/21 | 涌井　邦浩 |
| 12 | 3/21 | 足立区　課長会・係長会 |
| 13 | 3/14 | 新沼・北小泉部落一同（中村中部一区） |
| 14 | 3/20 | 范夫妻 |
| 15 | 3/22 | 株式会社大場設備(代表取締役　大場康彦) |
| 16 | 3/22 | 足立区　部課長会 |
| 17 | 3/22 | ハクゾウメディカル |
| 18 | 3/22 | デンロコーポレーション |
| 19 | 3/23 | 匿名 |
| 20 | 3/23 | 飯田　由美子 |
| 21 | 3/23 | 株式会社ワールドサマール（佐藤勝三） |
| 22 | 3/23 | 真岡市役所職員一同 |
| 23 | 3/17 | タケナカ　ヒサコ |
| 24 | 3/17 | アイワコウギョウ |
| 25 | 3/22 | ヨコサワ　ユウキチ　ショウゴ |
| 26 | 3/22 | サトウ　チカコ |
| 27 | 3/22 | タカギ　アキコ |
| 28 | 3/22 | カタヤマ　アキヒト |
| 29 | 3/22 | ホンマ　マサヨ |
| 30 | 3/22 | ナカノ　ミサ |
| 31 | 3/22 | シンメイ　マサヤ |
| 32 | 3/22 | オオタ　ツヨシ |
| 33 | 3/22 | タカハシ　リュウタロウ |
| 34 | 3/22 | タカヤナギ　チヒロ |
| 35 | 3/22 | アベ　リュウヤ |
| 36 | 3/22 | ミズノ　ユミコ |
| 37 | 3/22 | トミトリ　ケイジュ |
| 38 | 3/22 | カトウ　マサユキ |
| 39 | 3/22 | ディエゴ・ドノソ |
| 40 | 3/22 | 酒井　巖 |
| 41 | 3/22 | ソウキカクセッケイ |
| 42 | 3/22 | ヤナギサワショウネンケンドウ |
| 43 | 3/22 | ヤマザキ　セツコ |
| 44 | 3/22 | 久保田　謙三 |
| 45 | 3/22 | エンドウ　ヒロシ　テイコ |
| 46 | 3/22 | ナリタ　ミチコ |
| 47 | 3/22 | タカス　ユウコ |
| 48 | 3/22 | 医療法人産婦人科茅原クリニック　理事長　茅原　保 |
| 49 | 3/22 | コンドウ　ヒロアキ |
| 50 | 3/22 | マツウラ　アキヒコ |
| 51 | 3/22 | オリエンタルモーター株式会社 |
| 52 | 3/23 | ソウマ　ケンイチ |
| 53 | 3/23 | カネコ　シノブ |
| 54 | 3/23 | 匿名 |
| 55 | 3/23 | ワタナベ　ジュンイチ |
| 56 | 3/23 | ミウラ　ヨウコ |
| 57 | 3/23 | ミヤモト　シュンスケ |
| 58 | 3/23 | ソフトボイス |
| 59 | 3/23 | 株式会社　三陽 |
| 60 | 3/23 | ドイ　ヒロシ |
| 61 | 3/23 | カワセ　アキノリ |
| 62 | 3/23 | オオムラ　ユウヤ |
| 63 | 3/23 | シラト　ジュン |
| 64 | 3/23 | オオモリ　ヒデオ |
| 65 | 3/23 | アマノ　ヤスヒサ |
| 66 | 3/23 | ワダ　キヨミ |
| 67 | 3/23 | オオヤ　ノリユキ |
| 68 | 3/23 | シバノ　ユキエ |
| 69 | 3/23 | 今野　洋美 |
| 70 | 3/23 | 今市報徳社　社長 平野 博 |
| 71 | 3/23 | クリバヤシ　ケンイチ |
| 72 | 3/23 | ワタナベ　マサトシ |
| 73 | 3/23 | ハガ　ヒロコ |
| 74 | 3/23 | ワタナベ　シゲヒロ |
| 75 | 3/23 | ノジリ　ノリコ |
| 76 | 3/23 | ナカジマ　アツコ |
| 77 | 3/23 | トキヤマ　ジュンコ |
| 78 | 3/23 | ツキアナ　ヨシヒロ |
| 79 | 3/24 | スズキ　エイコ |
| 80 | 3/24 | ヤマダ　ヨシコ |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 81 | 3/24 | ヤマカワ　クニオ |
| 82 | 3/24 | マエダ　ケンサク |
| 83 | 3/24 | コダマ　ヒロユキ |
| 84 | 3/24 | アライ |
| 85 | 3/24 | ララ |
| 86 | 3/24 | スギノ　ヒデシ |
| 87 | 3/24 | タニダ　ハジメ |
| 88 | 3/24 | ストウ　ヨウコ |
| 89 | 3/24 | フカイ　ユウコ |
| 90 | 3/24 | 菅原　幸三 |
| 91 | 3/24 | 田中　みち子 |
| 92 | 3/24 | 遠藤　政弘 |
| 93 | 3/24 | 高松　克江 |
| 94 | 3/24 | カマグチ　カホリ |
| 95 | 3/24 | ユウキ　サダハル |
| 96 | 3/24 | ナカムラ　テルオ |
| 97 | 3/25 | 流山市議会議員団 |
| 98 | 3/25 | 流山市議会 |
| 99 | 3/25 | 本田　修平 |
| 100 | 3/24 | コウモト　ユキコ |
| 101 | 3/24 | 青木　達之 |
| 102 | 3/24 | イトウ　アキコ　　キョウコ |
| 103 | 3/24 | オガワ　シゲコ |
| 104 | 3/24 | モチヅキ　ヒロアキ　　ケイコ |
| 105 | 3/24 | ヨシダ　トシアキ |
| 106 | 3/24 | カワグチ　カズマサ |
| 107 | 3/24 | 匿名 |
| 108 | 3/25 | ワダ　ツネカズ |
| 109 | 3/25 | エスリジャパン株式会社 |
| 110 | 3/25 | サイタマケンカワゴエシイマ |
| 111 | 3/25 | オオサワ　キヨミ |
| 112 | 3/25 | シカノ　フミオ |
| 113 | 3/25 | フツコウヲネガツテ |
| 114 | 3/25 | シンジョウシコウツウシドウ |
| 115 | 3/25 | メイジ　モリモトゼミ |
| 116 | 3/25 | ナカミナト　クミコ |
| 117 | 3/25 | イトウ　ナツエ |
| 118 | 3/25 | イイムラ　リエ |
| 119 | 3/25 | ワタナベ　ヒロエ |
| 120 | 3/25 | ナカヤマ　ケイゴ |
| 121 | 3/25 | 株式会社エスタ |
| 122 | 3/25 | マツナミ　ノリコ |
| 123 | 3/25 | 吉岡町役場総務課有志一同 |
| 124 | 3/25 | カナザワ　マサノリ |
| 125 | 3/25 | 有限会社クサノデンキケイソウ |
| 126 | 3/25 | コウヤナギ　タカシ　シガケ |
| 127 | 3/25 | ミヤザキ　タケシ |
| 128 | 3/25 | ホリイ　マコト |
| 129 | 3/25 | 財団法人 福島県市町村振興協会 |
| 130 | 3/26 | 聖陵会職員及び職員及び関係者一同 |
| 131 | 3/26 | 巨人軍　鈴木尚広 |
| 132 | 3/26 | 筑西市下館小学校 |
| 133 | 3/26 | 及川　節子 |
| 134 | 3/26 | 金田一　美和子 |
| 135 | 3/28 | サイトウ　サチコ |
| 136 | 3/28 | ＳＯＵＭＡＳＨＩＧＩＥＮＫＩＮ |
| 137 | 3/28 | ヤマグチ　ユカ |
| 138 | 3/28 | ルケツテイ　カオリ |
| 139 | 3/28 | キムラ　カズシ |
| 140 | 3/28 | カワムラ　マナブ |
| 141 | 3/28 | カメノ　ノボル |
| 142 | 3/28 | イシカワ　ヒロエ |
| 143 | 3/28 | ドウミツ　カツヒコ |
| 144 | 3/28 | カンノ　ミチオ |
| 145 | 3/28 | アラキ　マナブ |
| 146 | 3/28 | タケバヤシ　ヒロオ |
| 147 | 3/28 | 河内　明夫 |
| 148 | 3/28 | トヤオ　ヒロシ |
| 149 | 3/28 | オクマ　ナナミ |
| 150 | 3/28 | シミズ |
| 151 | 3/28 | ハヤシ　リョウ |
| 152 | 3/28 | タカノ　ノリコ |
| 153 | 3/28 | ウラノ　サトシ |
| 154 | 3/28 | モリ　ヨウコ |
| 155 | 3/28 | オオコシ　アツシ |
| 156 | 3/28 | クボサワ　ルミコ |
| 157 | 3/28 | タテオカ　リョウコ |
| 158 | 3/28 | オガタ　シジュウロウ |
| 159 | 3/28 | ヤマザキ　マサヨシ |
| 160 | 3/28 | シガケン　オオツシ　ナンゴ |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 161 | 3/28 | 米沢市議会 |
| 162 | 3/28 | ヤマグチ　オサム |
| 163 | 3/28 | カシマ　ツネヒロ |
| 164 | 3/28 | オオアミシラサトマチクチョウカ |
| 165 | 3/28 | タガヤ　ジュンコ |
| 166 | 3/28 | ソウマシギエンキン　アベタ |
| 167 | 3/28 | 株式会社三星化学工業 |
| 168 | 3/28 | イズミヤ　タケヒコ |
| 169 | 3/28 | コイケ　トモヤ |
| 170 | 3/28 | 相楽　勇 |
| 171 | 3/28 | イズミヤタケシロウ |
| 172 | 3/28 | ハタ　チエコ |
| 173 | 3/28 | サカモト　サチコ |
| 174 | 3/28 | ハセガワ　ケイコ |
| 175 | 3/28 | 豊岡市 |
| 176 | 3/28 | 青梅市民のみなさま（代表 安部 里恵） |
| 177 | 3/28 | 篠（青梅市民） |
| 178 | 3/28 | 吉田　めぐみ |
| 179 | 3/28 | 吉田　さやか |
| 180 | 3/28 | ＡＧスクエア豊川店従業員一同 |
| 181 | 3/28 | 恒松　昭次 |
| 182 | 3/28 | 福島県区画整理協会　藁谷　伸一 |
| 183 | 3/28 | ササキ　ユウスケ |
| 184 | 3/28 | イシイ　イズミ |
| 185 | 3/28 | モリ　ヨシオ |
| 186 | 3/28 | オヌキ　ススム |
| 187 | 3/28 | ハタ　ヨシコ |
| 188 | 3/28 | カワシマ　チハル |
| 189 | 3/28 | コシロ　ケイコ |
| 190 | 3/28 | オノ　ユキコ |
| 191 | 3/28 | ナカジマ　カズノリ　タケコ |
| 192 | 3/28 | 阿部　正一 |
| 193 | 3/28 | オオヒサ　ミツヒロ |
| 194 | 3/28 | トウキョウムサシノライオンズ |
| 195 | 3/28 | ササキ　ツカサ |
| 196 | 3/29 | ミゾグチ　ケンタロウ |
| 197 | 3/29 | ゴイノ　ヒカリ |
| 198 | 3/29 | サカグチ　ショウタ |
| 199 | 3/29 | 株式会社ヤマナカシャツ |
| 200 | 3/29 | ホウトクドウケンシユイマイ |
| 201 | 3/29 | オオグロ　カオリ |
| 202 | 3/29 | イワタ　ミツヨ |
| 203 | 3/29 | ミチミ　トモエイ |
| 204 | 3/29 | カトリ　タツオ |
| 205 | 3/29 | ソウマギエンキン |
| 206 | 3/29 | ムナカタ　マサアキ |
| 207 | 3/29 | 山中　絹子 |
| 208 | 3/29 | 山中　奈々 |
| 209 | 3/29 | 袖ヶ浦市農業委員会 |
| 210 | 3/29 | マツミヤ　トモコ |
| 211 | 3/29 | ハンダ　ヤスヒロ |
| 212 | 3/29 | 株式会社コスモネツト |
| 213 | 3/29 | ウイルソン　ナオコ |
| 214 | 3/29 | ユ）シキコーポレーション |
| 215 | 3/29 | 自民党東京都足立区第27支部 支部長 古性重則 |
| 216 | 3/29 | 足立区部課長会 |
| 217 | 3/29 | 足立区議会 |
| 218 | 3/29 | 鈴木　営子 |
| 219 | 3/29 | 浅草革工房（玉田　眞二郎） |
| 220 | 3/29 | 桜川市職員互助会 |
| 221 | 3/29 | 鹿島印刷所 |
| 222 | 3/29 | 渡部　龍範　幸子 |
| 223 | 3/29 | カマダ　ダイスケ |
| 224 | 3/29 | フシミ　ヨシノリ |
| 225 | 3/29 | カワカミ　ヒデヒト |
| 226 | 3/29 | スズキ　チホコ |
| 227 | 3/29 | アサヌマ　シュウ |
| 228 | 3/29 | オガワ　カツエ |
| 229 | 3/29 | ワタナベ　カツエ |
| 230 | 3/29 | ハタ　ミホコ |
| 231 | 3/30 | カワクボ　コウヘイ |
| 232 | 3/30 | 菊池みゆき |
| 233 | 3/30 | エンドウ　シゲヒコ |
| 234 | 3/30 | タカヤナギ　トモヒロ |
| 235 | 3/30 | ナカソネ　ヤスタカ |
| 236 | 3/30 | タカオカ　マコト |
| 237 | 3/30 | フジタ　サチコ |
| 238 | 3/30 | モリヤ　ヨシタカ |
| 239 | 3/30 | オオバ　アヤ |
| 240 | 3/30 | ホソヤセイキ株式会社 |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 241 | 3/30 | キタバヤシ　シンイチ |
| 242 | 3/30 | ナカヤ　トシコ |
| 243 | 3/30 | カワクボ　マサミチ |
| 244 | 3/30 | ケラ　ミツコ |
| 245 | 3/30 | トミヤマ　カナ |
| 246 | 3/30 | ウエマツ　レイコ |
| 247 | 3/30 | ミズオチ　キヨシ |
| 248 | 3/30 | サイトウ　ヒデキ |
| 249 | 3/29 | ヤマキ　ミツコ |
| 250 | 3/30 | カワバタ　ノボル |
| 251 | 3/30 | 小諸市 |
| 252 | 3/30 | 森田　照明　泰子 |
| 253 | 3/30 | 千葉県流山市 |
| 254 | 3/30 | 流山市特別職一同 |
| 255 | 3/30 | 流山市役所課長会 |
| 256 | 3/30 | 流山市役所部長会 |
| 257 | 3/18 | ニシゴオリ　トキコ |
| 258 | 3/24 | 小田原市議会 |
| 259 | 3/31 | 山本　島子 |
| 260 | 3/31 | カトウ　ヨシコ |
| 261 | 3/31 | サカモト　マサトシ |
| 262 | 3/31 | 斉藤　隆夫 |
| 263 | 3/31 | シユトコウデンキメンテナンス |
| 264 | 3/31 | 流山市 |
| 265 | 3/31 | モリ　ヨウイチ |
| 266 | 3/31 | 株式会社ア・フアクトリー |
| 267 | 3/31 | 生出　早苗 |
| 268 | 3/31 | 岸本　紀昭 |
| 269 | 3/31 | マエダ　タカコ |
| 270 | 3/31 | ヤマダ　キヨコ |
| 271 | 3/31 | タカハシ　マサノリ |
| 272 | 3/31 | トウキヨウフクシマケンジン |
| 273 | 3/31 | 神奈川県藤沢市 |
| 274 | 3/31 | 横手市 |
| 275 | 3/31 | 吉田　千枝 |
| 276 | 3/31 | カスガ　ヨシアキ |
| 277 | 3/31 | エノモト　アツコ |
| 278 | 3/31 | カワサキ　エリ |
| 279 | 3/31 | ツカダ　アツコ |
| 280 | 3/31 | カ）タテノセイサクシヨ |
| 281 | 3/31 | 株式会社ＡＤＥＫＡ |
| 282 | 3/31 | ゴトウ　ユウコ |
| 283 | 3/31 | 日本共産党中央委員会 |
| 284 | 3/31 | タダ　ミナエ |
| 285 | 3/31 | 株式会社ニホンメディカルプロ |
| 286 | 3/31 | 江幡　千恵子 |
| 287 | 3/31 | タナカ　ミチコ |
| 288 | 3/31 | キダ　アキラ |
| 289 | 3/31 | チヨウフシリツジンダイチユ |
| 290 | 3/31 | コイワ　ヨウヘイ |
| 291 | 3/31 | オオニシ　カズヨ |
| 292 | 3/31 | ガイコクソウキン |
| 293 | 3/31 | アユセ　ヒロコ |
| 294 | 3/31 | 畠山　悦郎 |
| 295 | 3/31 | スズキ　ヒロツグ |
| 296 | 3/31 | 志賀　幸子 |
| 297 | 3/31 | 山都町長　甲斐　利幸 |
| 298 | 3/31 | 鐘江　くに江 |
| 299 | 3/31 | 匿名 |
| 300 | 3/31 | 札幌ラーメンどさんこ大将持舘弘道 |
| 301 | 3/31 | 福島綜合警備保障 |
| 302 | 3/31 | 門馬　ハルミ |
| 303 | 3/31 | バジョウカイケンシブ |
| 304 | 3/31 | ソウマシギエンキン　ヨシダマサヒロ |
| 305 | 3/31 | 大坪 克也 |
| 306 | 3/31 | ニノミヤホウトクカイ |
| 307 | 3/31 | モトブ　ジュンコ |
| 308 | 3/31 | 相良　知章 |
| 309 | 3/31 | アヅマ　トシオ |
| 310 | 3/31 | アラ　イワオ |
| 311 | 3/31 | タジマタ　ミコ |
| 312 | 4/1 | オオタ　ナホコ |
| 313 | 4/1 | ウエノ　トモヒロ |
| 314 | 4/1 | ソウマシギエンキン　サノマサ |
| 315 | 4/1 | オダ　マサコ |
| 316 | 4/1 | ハヤシ　キョウコ |
| 317 | 4/1 | オグラ　テルヨシ |
| 318 | 4/1 | オガタ　ヒデオ |
| 319 | 4/1 | ソウマシギエンキン　ヨコヤマ |
| 320 | 4/1 | イコマ　ダイスケ |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 321 | 4/1 | ワタナベ　ツヨシ |
| 322 | 4/1 | サイトウ　ジュンコ |
| 323 | 4/1 | サイトウ　カズキ |
| 324 | 4/1 | サイトウ　ミドリ |
| 325 | 4/1 | ウエノ　サイキチ |
| 326 | 4/1 | イケダ　キイチ |
| 327 | 4/1 | ミヤサカ　シンジ |
| 328 | 4/1 | モトヤマ　リョウスケ |
| 329 | 4/1 | モリタ　ヨウイチ |
| 330 | 4/1 | サトウ　カネ |
| 331 | 4/1 | カンノ　ヤスコ |
| 332 | 4/1 | マツダ　ウニ |
| 333 | 4/1 | アキニアワ　マサユキ |
| 334 | 4/1 | ヨコヤマ　カズモリ |
| 335 | 4/1 | イアマフク　ユキ |
| 336 | 4/1 | ヤマカワ　ヒデカズ |
| 337 | 4/1 | ヤスカワ　シマ |
| 338 | 4/1 | ワラガイ　タダシ |
| 339 | 4/1 | 匿名 |
| 340 | 4/2 | 立谷　泰久 |
| 341 | 4/2 | 野口　三枝子 |
| 342 | 4/2 | 高橋　ユリ子 |
| 343 | 4/2 | （株）リゾン |
| 344 | 4/2 | 奥多摩町選挙管理委員会 |
| 345 | 4/2 | 加藤　直樹 |
| 346 | 4/2 | 山久保　美佐子　陽希 |
| 347 | 4/2 | 足立区東渕江小学校　ＰＴＡ会長　中村範男 |
| 348 | 4/2 | 大井　博之 |
| 349 | 4/3 | 山本　裕紀、直美、千陽 |
| 350 | 4/3 | 信濃町認定農業者協議会 |
| 351 | 4/3 | 門馬　宏和 |
| 352 | 4/1 | テラシマ　アキラ |
| 353 | 4/1 | ナガオヤキタホウリツジムショ |
| 354 | 4/1 | コオリ　シンジ |
| 355 | 4/1 | マスナガ　ミツコ |
| 356 | 4/1 | アラ　アキヒロ |
| 357 | 4/1 | タカハシ　ミミコ |
| 358 | 4/1 | チェンライ日本人会 |
| 359 | 4/4 | サトウ　ヒサイチ |
| 360 | 4/4 | イシワタ　ヒロユキ |
| 361 | 4/4 | キシシタ　キョウコ |
| 362 | 4/4 | ササキ　ナツミ |
| 363 | 4/4 | ソウマシギエンキン　オオワタ |
| 364 | 4/4 | ソウマシギエンキン　サトウ |
| 365 | 4/4 | タジリ　アユミ |
| 366 | 4/4 | アオキ　トシアキ |
| 367 | 4/4 | ギフノイケダ　シュウイチ |
| 368 | 4/4 | サトウ　ヒサコ |
| 369 | 4/4 | サトウ　ユウコ |
| 370 | 4/4 | ハギハラジエイソン |
| 371 | 4/4 | タダ　マチコ |
| 372 | 4/4 | サキ　ケン |
| 373 | 4/4 | カシワミドリライオンズクラブ |
| 374 | 4/4 | タカサキ　カズヨシ |
| 375 | 4/4 | スギ　フミヒコ |
| 376 | 4/4 | サトウ　カズヒコ |
| 377 | 4/4 | ローモンドカントリークラブ |
| 378 | 4/4 | モリ　サツキ |
| 379 | 4/4 | 半沢　隆 |
| 380 | 4/4 | 静岡県裾野市　今里共有会 |
| 381 | 4/4 | 静岡県裾野市　久根区 |
| 382 | 4/4 | 静岡県裾野市　平成15年度西地区区長会 |
| 383 | 4/4 | 静岡県裾野市　民芸衆団奏鳴曲 |
| 384 | 4/4 | 静岡県裾野市深良財産区管理者　裾野市長　大橋　俊二 |
| 385 | 4/4 | 静岡県裾野市　深良地区区長会 |
| 386 | 4/4 | 裾野市議会親睦会 |
| 387 | 4/4 | サナダ　トオル |
| 388 | 4/4 | ナガタ　マドカ |
| 389 | 4/4 | ミウラ　ヨシエ |
| 390 | 4/4 | タナカ　タツヨ |
| 391 | 4/4 | タナカ　タツヨ |
| 392 | 4/4 | ウチダ　フミコ |
| 393 | 4/4 | ニノミヤチクウシシユベツホウ |
| 394 | 4/5 | ハママツ　ケンイチ |
| 395 | 4/5 | マツムラ　オサム |
| 396 | 4/5 | イシイ　シゲノリ |
| 397 | 4/5 | イシヤマ　エイコ |
| 398 | 4/5 | モトキ　レイコ |
| 399 | 4/5 | ワタナベ　ユキヒデ |
| 400 | 4/5 | クラタ　マサル |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 401 | 4/5 | タカイ　マモル |
| 402 | 4/5 | コウライ　キヨウタ |
| 403 | 4/5 | ギエンキンヨサコイトウカイト |
| 404 | 4/5 | ミナミダテ　ヨシノリ　レイコ |
| 405 | 4/5 | サケマルイレブンダイヒヨ |
| 406 | 4/5 | アンドウ　チハル |
| 407 | 4/5 | カ．アルフサービス |
| 408 | 4/5 | 井本商運（株）代表取締役社長　井本隆之 |
| 409 | 4/5 | 酒井　悦子 |
| 410 | 4/5 | 西郷　和夫 |
| 411 | 4/5 | 寺田　文夫 |
| 412 | 4/5 | アオキ　ナオト |
| 413 | 4/5 | 財団法人　福島民報厚生文化事業団 |
| 414 | 4/6 | ハタ　ケイコ |
| 415 | 4/6 | 壮瞥町 |
| 416 | 4/6 | ホウトクダイコノカイダイ |
| 417 | 4/6 | はあと・デザイン建築事務所　綿谷 裕明 |
| 418 | 4/6 | レインボータウンエフエム放送（株）リスナー一同 |
| 419 | 4/6 | 株式会社　タクマ |
| 420 | 4/6 | 米子プリント社　難波　収 |
| 421 | 4/6 | 福村建設　福村　徹 |
| 422 | 4/6 | ホスピタウウン　医療法人真誠会　小田　貢 |
| 423 | 4/6 | 門馬　ハルミ |
| 424 | 4/6 | ミサワセンキョカンリイインカ |
| 425 | 4/6 | ROBERT A GREENBERG MD |
| 426 | 4/6 | MOREL BRUNO |
| 427 | 4/6 | カネダ　ヨシノ |
| 428 | 4/6 | イシヅカ　メグミ |
| 429 | 4/6 | カナザワクミツウラミナミ |
| 430 | 4/6 | タカハシ　チアキ |
| 431 | 4/6 | ナカムライツチユウ４１ネンド |
| 432 | 4/6 | ナカタ　サナエ |
| 433 | 4/6 | タカハシ　ヒロシ |
| 434 | 4/7 | 相馬あしがら尊徳の会 |
| 435 | 4/7 | ソウマシサイガイギエンキン |
| 436 | 4/7 | メグロジュンイチ |
| 437 | 4/7 | ミズモト　ヒデカツ |
| 438 | 4/7 | アマノ　シノブ |
| 439 | 4/7 | ミナミノ　タカシ |
| 440 | 4/7 | シマダ　マサヒロ |
| 441 | 4/7 | カンノ　シズコ |
| 442 | 4/7 | ヨネモト　ユミコ |
| 443 | 4/7 | ユ）ケイアンドエム．トレイテ |
| 444 | 4/7 | 金原　成圭・房子 |
| 445 | 4/7 | 奥村　秀哉 |
| 446 | 4/7 | ＡＤＥＫＡ　労働組合 |
| 447 | 4/7 | テスコ株式会社 |
| 448 | 4/7 | 瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会 |
| 449 | 4/7 | スガワラゼンタ |
| 450 | 4/7 | シノハラ　セイジ |
| 451 | 4/7 | テラダ　シゲト |
| 452 | 4/8 | 萩原　知章 |
| 453 | 4/8 | エビハラ　ノブカズ |
| 454 | 4/8 | ナカイエ　ダイシン |
| 455 | 4/8 | 深澤　美由紀 |
| 456 | 4/8 | カワグチ　ユキオ |
| 457 | 4/8 | ユ）アオキシヨウテン |
| 458 | 4/8 | イトウ　ユキコ |
| 459 | 4/7 | ＭＡＲＣＥＬＯ　ＰＩＧＬＩＡＰＯＣＯ |
| 460 | 4/8 | 有限会社　嵯峨コーポレーション |
| 461 | 4/8 | 橋本　茂代 |
| 462 | 4/8 | コスモ精機株式会社 |
| 463 | 4/8 | 匿名希望者 |
| 464 | 4/8 | 宍戸　昇　照子 |
| 465 | 4/8 | 中川　源美 |
| 466 | 4/8 | 秋山　健一 |
| 467 | 4/8 | Sandora Donoso |
| 468 | 4/8 | 走馬会 |
| 469 | 4/8 | 真如苑 |
| 470 | 4/8 | 荒川　淳　綾乃　裕 |
| 471 | 4/9 | 紺野　広一 |
| 472 | 4/9 | 津藤　潔 |
| 473 | 4/9 | 殿畑　典弘 |
| 474 | 4/9 | 二宮ありの会 |
| 475 | 4/9 | 永久保　延二 |
| 476 | 4/10 | 佐藤　慶一 |
| 477 | 4/10 | 鈴木　勝也 |
| 478 | 4/10 | 井口　満宏 |
| 479 | 4/10 | アトリエ　さんく |
| 480 | 4/10 | 釘貫、毛利 |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 481 | 4/10 | 木下　ひとみ |
| 482 | 4/10 | 高橋　博 |
| 483 | 4/10 | 小田原市 |
| 484 | 4/10 | 日光清風塾 |
| 485 | 4/8 | イマダ　トシアキ |
| 486 | 4/8 | イシヤマ　アキコ |
| 487 | 4/8 | ハセガワ　シゲミ　ホカ3メイ |
| 488 | 4/8 | クリヤマ　ジユン |
| 489 | 4/8 | 国土交通省道路局総務課 |
| 490 | 4/8 | ヨシイ　サチコ |
| 491 | 4/11 | サトウ　マサコ |
| 492 | 4/11 | 全国友の会中央部 |
| 493 | 4/11 | トベ　ワタル |
| 494 | 4/11 | シンカイ　マサアキ |
| 495 | 4/11 | マツシタ　ヨウジ |
| 496 | 4/11 | ホリナカ　クミ |
| 497 | 4/11 | テルヤ　ヨウコ |
| 498 | 4/11 | スギモリ　トシオ |
| 499 | 4/11 | イシヤマ　ユウイチロウ |
| 500 | 4/11 | ソウマ　シゲユキ |
| 501 | 4/11 | ホンダ　ムネハル |
| 502 | 4/11 | 昭和電工株式会社 |
| 503 | 4/11 | ヒキチ　ユウコ |
| 504 | 4/11 | タカハシ　タツヤ |
| 505 | 4/11 | テラオカフアシリテイーズ |
| 506 | 4/11 | シブサワ　チアキ |
| 507 | 4/11 | 福島民友愛の事業団 |
| 508 | 4/11 | 持舘　孝幸 |
| 509 | 4/11 | 齊藤　正次 |
| 510 | 4/11 | 粕谷　利子 |
| 511 | 4/11 | 宍戸　重雄 |
| 512 | 4/11 | 佐藤　純 |
| 513 | 4/11 | 佐藤　藤清 |
| 514 | 4/11 | トールペイント　アグノリア田中 |
| 515 | 4/11 | 斉藤　史子 |
| 516 | 4/11 | 山川　正博 |
| 517 | 4/11 | 鈴木　亜聖 |
| 518 | 4/11 | 中島ストア |
| 519 | 4/11 | （株）フォーラムエイト有志一同 |
| 520 | 4/11 | 伊藤　裕二 |
| 521 | 4/11 | 流山市　原新田青年会 |
| 522 | 4/11 | 流山市役所建設技術協会 |
| 523 | 4/11 | 三六法Ｇ会 |
| 524 | 4/11 | イガラシ　キミコ　クミ |
| 525 | 4/11 | アベ　ノブユキ |
| 526 | 4/12 | フルオヤ　ミツヒロ |
| 527 | 4/12 | モリ　テツヤ |
| 528 | 4/12 | スギモト　マサヒロ |
| 529 | 4/12 | エンドウ　ミツノリ |
| 530 | 4/12 | イツチユウ41ネンソツ　サトウ |
| 531 | 4/12 | カ）カナイサンギヨウ |
| 532 | 4/12 | ミウラ　ヨウコ |
| 533 | 4/12 | 初代栃東　志賀　駿男 |
| 534 | 4/12 | 松本　文和 |
| 535 | 4/12 | 富双電気（株）オーナー佐藤　博 |
| 536 | 4/12 | ZORAN RAJKOVIC |
| 537 | 4/12 | ヨコスカ　ヨシエ |
| 538 | 4/13 | ヨシムラ　シンゴ |
| 539 | 4/13 | クドウ　セイイチ |
| 540 | 4/13 | カネミネ　ミノル |
| 541 | 4/13 | フクダ　ヨウコ |
| 542 | 4/13 | サナダ　ヤスハル |
| 543 | 4/13 | アソコウイチ |
| 544 | 4/13 | キノシタ　タカコ |
| 545 | 4/13 | 大樹町役場三役 |
| 546 | 4/13 | 大樹町民からの義援金 |
| 547 | 4/13 | 大樹町農業委員会委員懇話会 |
| 548 | 4/13 | 大樹町議会議員会 |
| 549 | 4/13 | 大樹町役場管理職会 |
| 550 | 4/13 | 大樹町立病院医局会 |
| 551 | 4/13 | 大樹町職員一同 |
| 552 | 4/13 | オクヤアマ　ミツル |
| 553 | 4/13 | ナカニシ　ヨウスケ |
| 554 | 4/13 | 片原　永貢子 |
| 555 | 4/13 | 山田　宏亨 |
| 556 | 4/13 | 小田原おでん有志の会 |
| 557 | 4/13 | 輪島市（全国市長会経由） |
| 558 | 4/13 | 北斗市（全国市長会経由） |
| 559 | 4/13 | タカハシ　ヨシヒロ |
| 560 | 4/13 | 根本　俊明 |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 561 | 4/13 | スイサントシキヨウギカイ |
| 562 | 4/13 | タカツカノリオ |
| 563 | 4/13 | サカイ　ウメコ |
| 564 | 4/14 | タテオカ　ミカコ |
| 565 | 4/14 | 紺野　浩一 |
| 566 | 4/14 | 高橋　甲 |
| 567 | 4/14 | ムラタ　タカコ |
| 568 | 4/14 | スミダコーポレーション株式会社 |
| 569 | 4/14 | カマタ　シヨウレイ |
| 570 | 4/14 | SHAOREN GOU |
| 571 | 4/14 | オオサク　ユタカ |
| 572 | 4/14 | サワムラ　キヨミ |
| 573 | 4/14 | オカムラ　ヒロユキ |
| 574 | 4/14 | 吉野石膏株式会社　代表取締役　須藤永一郎 |
| 575 | 4/14 | 相馬商事　株式会社 |
| 576 | 4/14 | イナガキシオリ |
| 577 | 4/14 | ヤギヌマ　ヒデオ |
| 578 | 4/14 | 瀧澤　功　光子 |
| 579 | 4/14 | 藤田　明 |
| 580 | 4/14 | 沖見　智子 |
| 581 | 4/14 | 中塚　智子(故　山口道然　御会葬の皆様) |
| 582 | 4/15 | 十津川村 |
| 583 | 4/15 | 裾野市 |
| 584 | 4/15 | イド　トシノリ |
| 585 | 4/15 | クサノ　ヨシヒサ |
| 586 | 4/15 | カ）メイセイ　シヤインイチド |
| 587 | 4/15 | カアイ　セイジ |
| 588 | 4/15 | 茂木町議会一同 |
| 589 | 4/15 | 茂木町職員一同 |
| 590 | 4/15 | 岡山の桃太郎 |
| 591 | 4/15 | 佐々木　正良 |
| 592 | 4/15 | 志賀　隆雄 |
| 593 | 4/16 | 東京都健康長寿医療センター |
| 594 | 4/16 | 大木　美保子 |
| 595 | 4/16 | 中島　哲史 |
| 596 | 4/17 | 匿名 |
| 597 | 4/17 | ビーズバザール |
| 598 | 4/17 | 高橋　洋一 |
| 599 | 4/17 | 木下　ひとみ |
| 600 | 4/17 | オフィスさんく　後藤　謙次 |
| 601 | 4/15 | シオザキ　ナミエ |
| 602 | 4/15 | シラオタニ　マキコ |
| 603 | 4/15 | オオヌマ　アサコ |
| 604 | 4/18 | カ）コウシンセイコウジヨロ |
| 605 | 4/18 | カワシマ　テツペイ |
| 606 | 4/18 | ゲロシシヨウボウダンチヨ |
| 607 | 4/18 | カネコ　ジュンイチ |
| 608 | 4/18 | オオニシ　ユウヤ |
| 609 | 4/18 | ワタナベ　ケイ |
| 610 | 4/18 | モリヨシハル　ナカムラダイイ |
| 611 | 4/18 | モリ　タエコ　チバケンフナハ |
| 612 | 4/18 | アキモト　ナオトシ |
| 613 | 4/18 | 日光市 |
| 614 | 4/18 | （有）アラン |
| 615 | 4/18 | 飯野　由美子 |
| 616 | 4/18 | 株式会社シー・エス・シー |
| 617 | 4/18 | 株式会社シー・エス・シー社員一同 |
| 618 | 4/18 | 荒井　二郎 |
| 619 | 4/18 | 下郷町 |
| 620 | 4/18 | ケンビヤ（カ |
| 621 | 4/18 | シブヤ　キミヨシ |
| 622 | 4/18 | ワタナベ　ヒデコ |
| 623 | 4/18 | カワダ　スミエ |
| 624 | 4/19 | フジワラ　ユウイチ |
| 625 | 4/19 | 龍ヶ崎市 |
| 626 | 4/19 | キクイリ　ヨシコ |
| 627 | 4/19 | 第一法規　株式会社 |
| 628 | 4/19 | サトウ　トシヒロ |
| 629 | 4/19 | コタニ　ノリユキ |
| 630 | 4/19 | ヒライ |
| 631 | 4/19 | ソウマ　ユウスケ |
| 632 | 4/19 | ミヤムラ　ヒデヒラ |
| 633 | 4/18 | サイトウ　サチコ |
| 634 | 4/18 | エイバヤシ　サチコ |
| 635 | 4/19 | 特別養護老人ホーム　北上の郷 |
| 636 | 4/19 | 江頭　れい |
| 637 | 4/19 | キャンベル　ジヨン |
| 638 | 4/19 | フルカワ　クニコ |
| 639 | 4/19 | ハルタ　セイロウ |
| 640 | 4/19 | タカオカ　トシカズ |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 641 | 4/19 | ヨコタ　マサコ |
| 642 | 4/20 | ヨシダ　ケイスケ |
| 643 | 4/20 | 共英製鋼　株式会社 |
| 644 | 4/20 | 匠サポートサービス　株式会社 |
| 645 | 4/20 | 匿名 |
| 646 | 4/20 | 長谷川　稔事務所 |
| 647 | 4/20 | 成松 |
| 648 | 4/20 | イイヅカ　サエコ |
| 649 | 4/21 | 株式会社ジエイエスピー |
| 650 | 4/21 | シブヤ　キミヨシ |
| 651 | 4/21 | 株式会社プロメデイア |
| 652 | 4/21 | 市川運送　市川次彦 |
| 653 | 4/21 | 原田　ヒロシ |
| 654 | 4/21 | 菊地　光男 |
| 655 | 4/21 | 柳下商事 |
| 656 | 4/21 | 加賀　重三 |
| 657 | 4/21 | 斉藤　稔 |
| 658 | 4/21 | 松岡　敬之 |
| 659 | 4/21 | アオキ　クニヒロ |
| 660 | 4/21 | スズキ　アズサ |
| 661 | 4/21 | モトヤマ　ミチコ |
| 662 | 4/21 | アルヤマ　アイ |
| 663 | 4/21 | 星野　雅夫 |
| 664 | 4/21 | 東京都教職員組合足立支部 |
| 665 | 4/21 | 野辺　陽子 |
| 666 | 4/21 | 清水　房雄 |
| 667 | 4/21 | 野澤　キヨ子 |
| 668 | 4/21 | 家庭倫理の会足立区　会長 櫻井 春子 |
| 669 | 4/21 | 社団法人 日本善行会東京都足立支部 |
| 670 | 4/21 | 足立区子育てアドバイザー連絡会　会長 掛川 秀子 |
| 671 | 4/21 | 坂田　道夫 |
| 672 | 4/21 | 鈴木　恒年 |
| 673 | 4/21 | 榎本　清太郎 |
| 674 | 4/21 | 佐久間　俊一 |
| 675 | 4/21 | 株式会社　建匠　代表取締役 塚越 伸博 |
| 676 | 4/21 | 芝園開発株式会社　代表取締役 海老沼 孝二 |
| 677 | 4/21 | 田中　榮一 |
| 678 | 4/21 | 梅田上町睦　会長 渋谷 哲彦 |
| 679 | 4/21 | 足立区硬式野球連盟　代表 飯塚 克己 |
| 680 | 4/21 | 東和四丁目自治会　会長 村越 鍾二 |
| 681 | 4/21 | 株式会社　似鳥工務店　協力会グループＮＴＳ |
| 682 | 4/21 | ミハタ電設株式会社　代表取締役　畠山 久夫 |
| 683 | 4/21 | 下田　尚保 |
| 684 | 4/21 | 杉本　義昭 |
| 685 | 4/21 | 満車会　会長 小林 満 |
| 686 | 4/21 | ニツコウシヒラガサキチヨウシ |
| 687 | 4/22 | 米本　和弘 |
| 688 | 4/22 | 田代　清 |
| 689 | 4/22 | 鈴木　聡 |
| 690 | 4/22 | 駿河　友香 |
| 691 | 4/22 | 涌井　邦浩 |
| 692 | 4/22 | 鈴木　営子 |
| 693 | 4/22 | ほっともっと　沖ノ内店 |
| 694 | 4/22 | 匿名 |
| 695 | 4/23 | 裾野市富岡地区区長会 |
| 696 | 4/23 | 裾野市富岡地区　富岡連合商店会 |
| 697 | 4/23 | ＮＰＯ法人　地球再生計画 |
| 698 | 4/24 | 西井　英恵 |
| 699 | 4/24 | 伊藤　洋史 |
| 700 | 4/25 | ワダ　ツネカズ |
| 701 | 4/25 | タチヤ　アズサ |
| 702 | 4/25 | カク　ノブユキ |
| 703 | 4/25 | タケザワ　カツヒコ |
| 704 | 4/25 | ババ　ミチエ |
| 705 | 4/25 | イシヤマ　ユウイチロウ |
| 706 | 4/25 | タグチ　ケイコ |
| 707 | 4/25 | 沖縄ダイビング協同組合 |
| 708 | 4/25 | 浅野　大輔 |
| 709 | 4/25 | キンセイマテック株式会社社員一同 |
| 710 | 4/25 | 山和建設株式会社 |
| 711 | 4/22 | 株式会社ナガホリ |
| 712 | 4/25 | オオバ　アヤ |
| 713 | 4/25 | モリタ　ダイスケ |
| 714 | 4/25 | 寺島　弘樹 |
| 715 | 4/25 | オーレンヴィル市（フランス） |
| 716 | 4/25 | モリタ　レイスケ |
| 717 | 4/25 | フシミ　カオリ |
| 718 | 4/25 | チリ　タエコ |
| 719 | 4/26 | ババ　レイコ |
| 720 | 4/26 | イトウ　アキコ |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 721 | 4/26 | スズキ　マナエ |
| 722 | 4/26 | ワカマツ　リエ |
| 723 | 4/26 | ハシモト　キミコ |
| 724 | 4/26 | ニシ　マサオ |
| 725 | 4/26 | オダカジユク |
| 726 | 4/26 | アイサワ　カオリ |
| 727 | 4/26 | シークラブシエア |
| 728 | 4/26 | 有限会社オオタ設備　代表取締役　太田弘一 |
| 729 | 4/26 | 小国町民謡研究会 |
| 730 | 4/26 | テヅカ　トモコ |
| 731 | 4/26 | シシド　マサテル |
| 732 | 4/27 | 株式会社シンコウ |
| 733 | 4/27 | 本間　美奈子 |
| 734 | 4/27 | 大森　優 |
| 735 | 4/27 | 小林　義治 |
| 736 | 4/27 | 森田　エリ子 |
| 737 | 4/27 | 有限会社　明星　相馬グランドホール |
| 738 | 4/27 | 新日本婦人の会　中央本部 |
| 739 | 4/27 | 足立区　西荒井西町会 |
| 740 | 4/27 | 美保姿きもの学院　代表取締役　三浦　淳一 |
| 741 | 4/27 | 足立区議会議員　白石　正輝 |
| 742 | 4/27 | 石原　朋弘 |
| 743 | 4/27 | 富岡市商店街連合会、富岡市商店街サービス事業協同組合 |
| 744 | 4/27 | 中村フミ |
| 745 | 4/27 | （株）ＩＨＩエアロスペース「はやぶさ回収カプセル帰還成功」功労表彰被表彰者一同 |
| 746 | 4/27 | パアトナアチバ　デグチ |
| 747 | 4/27 | ハンダ　ツトム |
| 748 | 4/27 | モリヤ　ヨシタカ |
| 749 | 4/27 | 長野県小諸市 |
| 750 | 4/27 | 株式会社ＩＨＩ |
| 751 | 4/28 | 半田　勝利 |
| 752 | 4/28 | 松本　暁洋 |
| 753 | 4/28 | 岡田　三枝子 |
| 754 | 4/28 | 岡田　早織 |
| 755 | 4/28 | 流山市農業委員会 |
| 756 | 4/6 | SIPILA JORMA |
| 757 | 3/31 | LOMBARDO　ANTONELLO |
| 758 | 4/29 | 横山　理恵 |
| 759 | 4/29 | 伊那市 |
| 760 | 4/30 | 内野　邦康 |
| 761 | 4/30 | 財団法人　道路開発振興センター　有志一同 |
| 762 | 4/30 | 古川　洋 |
| 763 | 4/30 | 西尾　佳久 |
| 764 | 5/1 | team-G surf 代表　有山勇大 |
| 765 | 5/1 | 渡辺　英夫 |
| 766 | 5/2 | 斉藤　利恵 |
| 767 | 5/2 | 木下 |
| 768 | 5/2 | 岸田　雅子 |
| 769 | 5/2 | 井上　君江 |
| 770 | 5/2 | 池田　久夫・裕子 |
| 771 | 5/2 | 島田　靖孝 |
| 772 | 5/2 | 杉山　竹生 |
| 773 | 5/2 | 長谷川　久美 |
| 774 | 5/2 | ＪＥＷＥＬ |
| 775 | 5/2 | 播磨　敬和 |
| 776 | 5/2 | 狩野　千枝子 |
| 777 | 5/2 | テラダ　キハチロウ |
| 778 | 5/2 | イワイ　マサユキ |
| 779 | 5/2 | シイキ　ヒロシ |
| 780 | 5/2 | ウエノ　トモヒロ |
| 781 | 5/2 | ホンマ　ノブユキ |
| 782 | 5/2 | 流山市 |
| 783 | 5/2 | 七尾市（全国市長会経由） |
| 784 | 5/2 | カワモト　ジュンコ |
| 785 | 5/2 | ムラヤマ　サトミ |
| 786 | 5/2 | ナカジマ　ヒロマサ |
| 787 | 5/2 | ミヤヤマ　ヒロシ |
| 788 | 5/3 | 株式会社　モード |
| 789 | 5/3 | 中村　光一 |
| 790 | 5/3 | 松村　一夫 |
| 791 | 5/4 | 匿名 |
| 792 | 5/4 | 四本松　健 |
| 793 | 5/4 | 山形　洋子 |
| 794 | 5/4 | 株式会社嶋田建設 |
| 795 | 5/4 | 有賀　しのぶ |
| 796 | 5/4 | 小関　正志 |
| 797 | 5/4 | 闇魔堂 |
| 798 | 5/4 | 渡辺　ひろみ |
| 799 | 5/6 | 東海林　和夫 |
| 800 | 5/6 | 森谷　京子 |

災害義援金

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 801 | 5/6 | 大阪あすなろ会 |
| 802 | 5/6 | 上中　克範 |
| 803 | 5/6 | 三木　一之 |
| 804 | 5/6 | 谷元　新治 |
| 805 | 5/6 | 渡部　貴洋 |
| 806 | 5/6 | 吉田　雅子 |
| 807 | 5/6 | 門馬　仁 |
| 808 | 5/6 | ヨシダ　マユミ |
| 809 | 5/6 | 株式会社大沢事務所 |
| 810 | 5/6 | カマイシ　ケイコ |
| 811 | 5/6 | 株式会社シコクフォーム |
| 812 | 5/6 | タダ　ルミコ |
| 813 | 5/7 | 日高　とよ子 |
| 814 | 5/7 | 福井　剛 |
| 815 | 5/7 | 沼田　美紀 |
| 816 | 5/7 | キクチ　マサノリ |
| 817 | 5/7 | スギムラ　タカオ |
| 818 | 5/8 | 四本松　秀 |
| 819 | 5/9 | アイタ　ヒカル |
| 820 | 5/9 | ウスイ　ミサト |
| 821 | 5/9 | アビコ　ゼンイチロウ |
| 822 | 5/9 | 封馬　晃 |
| 823 | 5/9 | 福原　進 |
| 824 | 5/9 | 広部　尚武 |
| 825 | 5/9 | 島　義重 |
| 826 | 5/9 | 加藤　祐輔 |
| 827 | 5/9 | 加藤　弘 |
| 828 | 5/9 | 日本橋の人形町有志一同 |
| 829 | 5/10 | 本郷　光一 |
| 830 | 5/10 | サンギヨウブンカフエステイ |
| 831 | 5/10 | カトウ　イクエ |
| 832 | 5/10 | ARTHUR AND YORIKO MARSHALL |
| 833 | 5/11 | ノハタ　ヒロ |
| 834 | 5/11 | タカハシ　マコト |
| 835 | 5/11 | マスダ　アヤコ　ナカムライツチ |
| 836 | 5/11 | オチ　ミエ |
| 837 | 5/11 | カスガ　ヨシユキ |
| 838 | 5/11 | チバ　イチカワシヨウボ２３ |
| 839 | 5/11 | スズキ　エイコ |
| 840 | 5/11 | 林　玲子 |
| 841 | 5/11 | 門馬　ハルミ |
| 842 | 5/11 | ＡＮＴＯＮＩＯ　ＧＡＬＩＮＤＥＺ ＭＡＲ　ＭＩＮＧＯ |
| 843 | 5/11 | 全国地域人権運動総連合 |
| 844 | 5/11 | ムネムラ　ヨウイチ |
| 845 | 5/12 | サトウ　ヒロユキ |
| 846 | 5/12 | 川口　幸恵 |
| 847 | 5/12 | 佐藤　貞雄 |
| 848 | 5/12 | 多米裕太郎、西田周平 |
| 849 | 5/12 | 雁畑　康男 |
| 850 | 5/12 | 桜川市区長会連合会 |
| 851 | 5/12 | ヒライソ　カツミ |
| 852 | 5/12 | タカアラ　トシカツ |
| 853 | 5/13 | マツモト　ミドリ |
| 854 | 5/13 | ヒキチ　ユウコ |
| 855 | 5/13 | ホシノ　マサオ |
| 856 | 5/13 | 一條　知康 |
| 857 | 5/13 | 全国議会議長会 |
| 858 | 5/13 | 斎藤　俊美 |
| 859 | 5/13 | 社会福祉法人　富岳会　職員一同 |
| 860 | 5/13 | 株式会社　フジヤマリゾート |
| 861 | 5/13 | 医療法人　聖陵会 |
| 862 | 5/16 | ヘアーデザイン　ビームス |
| 863 | 5/16 | 鳴尾　美佐子 |
| 864 | 5/16 | 古川　順子 |
| 865 | 5/16 | 山雄　健次 |
| 866 | 5/16 | 荒　義明 |
| 867 | 5/16 | タダノ　キョウコ |
| 868 | 5/16 | フルヤマ　マサアキ |
| 869 | 5/16 | マツモトキヨシ　ホールディングス株式会社　エムケイ東日本販売 |
| 870 | 5/16 | シバヤマ　リョウコ |
| 871 | 5/16 | ミツイ　ヒロスケ |
| 872 | 5/17 | かずさスタイル推進協議会　会長　石川 のりひさ |
| 873 | 5/17 | 長島　静枝・増田　光世 |
| 874 | 5/17 | 市川　弘・市川　孝子 |
| 875 | 5/17 | 稲城市　理事者部長会・課長協議会 |
| 876 | 5/17 | テスコ株式会社　代表取締役会長　髙橋　久治 |
| 877 | 5/17 | フルカワ　クニコ |
| 878 | 5/17 | ワタナベ　ヒロノリ |
| 879 | 5/17 | 足立ケアコミュニティ そよ風 |
| 880 | 5/17 | 千住中央懇話会　会長 鈴木 秀夫 |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 881 | 5/17 | 鈴木　秀夫 |
| 882 | 5/17 | 株式会社　サンベルクス |
| 883 | 5/17 | 株式会社　サンベルクス従業員・来客者のみなさま |
| 884 | 5/17 | 株式会社　花徳 |
| 885 | 5/17 | 株式会社　花徳従業員一同 |
| 886 | 5/17 | 伊藤　敢 |
| 887 | 5/17 | ＳＣクラブ |
| 888 | 5/17 | ♪葦の会　代表 田口 芳子 |
| 889 | 5/17 | 髙場　芳枝 |
| 890 | 5/17 | 広井　久子 |
| 891 | 5/17 | トラマツ　ユウシ |
| 892 | 5/18 | ＤＯＳＡ　ＩＮＣ |
| 893 | 5/18 | 田中　徳郎 |
| 894 | 5/18 | 平野　茂 |
| 895 | 5/18 | サイトウ　サチコ |
| 896 | 5/18 | オノ　タケシ |
| 897 | 5/19 | ミズオチ　サトシ |
| 898 | 5/19 | 越河駅前盆踊り実行委員会 |
| 899 | 5/20 | イシヤマ　ユウイチロウ |
| 900 | 5/20 | サツポロテイネＢＡＧＤＡＤＳ |
| 901 | 5/20 | 有限会社マインドホープ　佐々木　幹夫 |
| 902 | 5/20 | 酒匂区自治会　会長　川瀬　正揚 |
| 903 | 5/20 | 村田　秀美 |
| 904 | 5/20 | 多摩美装興業　株式会社 |
| 905 | 5/20 | キツタ　キミヒト |
| 906 | 5/23 | タチヤ　シンタロウ |
| 907 | 5/23 | 三浦　海士 |
| 908 | 5/23 | ｓｔｕｄｉｏ　ｉＤｅｙ　多聞　記江 |
| 909 | 5/23 | 草津市　草津学区民生委員児童委員協議会　中村陽子 |
| 910 | 5/23 | 吉浜　昭夫 |
| 911 | 5/24 | 安野　東生 |
| 912 | 5/24 | 旬菜工房　大喜　安原　純 |
| 913 | 5/24 | 児玉　迅 |
| 914 | 5/25 | マツ　ヤスシ |
| 915 | 5/25 | エイチエーピー |
| 916 | 5/25 | セキネ　ユウゴ |
| 917 | 5/25 | ホンマ　ノブユキ |
| 918 | 5/25 | ワダ　ツネカズ |
| 919 | 5/25 | フクシマ　ナオコ |
| 920 | 5/25 | トリイ　ケンイチ |
| 921 | 5/26 | 千木良　よし子 |
| 922 | 5/26 | 柴　譲一郎 |
| 923 | 5/26 | サクヤマショウニカクリニック |
| 924 | 5/26 | 株式会社ミズノマシナリー |
| 925 | 5/26 | フゼキ　アキノブ |
| 926 | 5/26 | サトウ　ヨシエ |
| 927 | 5/26 | タカハシ　マサノブ |
| 928 | 5/26 | イトウ　アキコ |
| 929 | 5/27 | 株式会社　ぎょうせい |
| 930 | 5/27 | ワタナベ　マサトシ |
| 931 | 5/27 | キムラ　テルコ |
| 932 | 5/27 | ハヤシ　ケイコ |
| 933 | 5/27 | 株式会社アズノウアズ |
| 934 | 5/27 | サカモト　ヒロコ |
| 935 | 5/27 | 花沢　悦子 |
| 936 | 5/27 | ダイナミックゴルフ成田 山口スクール生一同 |
| 937 | 5/28 | 教法寺佛教婦人会 |
| 938 | 5/28 | 西本願寺上川南組 |
| 939 | 5/28 | 教法寺　千葉　考史 |
| 940 | 5/28 | 山本　直美 |
| 941 | 5/28 | 福島県市議会議長会会長 |
| 942 | 5/30 | モリヤ　ヨシタカ |
| 943 | 5/30 | イナガキ　ヨシカズ |
| 944 | 5/30 | ムラヤマ　サトミ |
| 945 | 5/30 | アルバス写真ラボ |
| 946 | 5/30 | 荒　祐 |
| 947 | 5/30 | 村田　隆 |
| 948 | 5/30 | スガ　ミキコ |
| 949 | 5/30 | トウキヨウカタバサミサンシカイ |
| 950 | 5/31 | 中西　武夫 |
| 951 | 5/31 | ミウラヨウコ |
| 952 | 5/31 | プログレ震災チャリティ　シルバーエレファント　増田 |
| 953 | 5/31 | 増戸　美幸 |
| 954 | 6/1 | 村田　秀美 |
| 955 | 6/1 | 吾妻　健治・富美子 |
| 956 | 6/1 | 相馬電器商工組合 |
| 957 | 6/1 | ローモンドカントリークラブ |
| 958 | 6/1 | シロタニ　マキコ |
| 959 | 6/1 | ゴトウ　トオル |
| 960 | 6/1 | イコマ　ダイスケ |

災害義援金

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 961 | 6/2 | 川口　義男 |
| 962 | 6/2 | 鈴木　英之 |
| 963 | 6/2 | ナカジマ　ヒロマサ |
| 964 | 6/2 | イシカワ　アキラ |
| 965 | 6/2 | 小料理屋　彌次喜多 |
| 966 | 6/3 | 日本郵政募金会　代表　片野　健一 |
| 967 | 6/3 | 裾野市観光協会 |
| 968 | 6/5 | 田口　哲郎　聡子 |
| 969 | 6/6 | 加藤　克彦 |
| 970 | 6/6 | 藤田　正高 |
| 971 | 6/6 | 株式会社　メイプルイングリッシュスクール |
| 972 | 6/6 | 小栁　敏弘 |
| 973 | 6/6 | 佐藤　あい子 |
| 974 | 6/6 | 栗原　晃広 |
| 975 | 6/6 | ワタナベ　タクヤ |
| 976 | 6/6 | フクロ　ノブコ |
| 977 | 6/6 | イヅチ　ハルキ |
| 978 | 6/6 | イナバ　クニヒコ |
| 979 | 6/7 | ＨＥＹＫＯＨ |
| 980 | 6/7 | 斉藤　寛 |
| 981 | 6/7 | スズカワ　シヨウコ |
| 982 | 6/7 | トミトリ　ケイジユ |
| 983 | 6/8 | 本郷　光一 |
| 984 | 6/8 | 五市パークゴルフ会　会長　植木　五市 |
| 985 | 6/8 | 永井　華子 |
| 986 | 6/8 | タナカ　ヒロタロウ |
| 987 | 6/9 | 日本大学 オンボロ歩兵隊 隊員一同 |
| 988 | 6/9 | セイシンジヨガクイン |
| 989 | 6/10 | 高崎　隆二　かごしま５０人会 |
| 990 | 6/10 | 但野　光良 |
| 991 | 6/10 | 相馬民謡保存会支部連合会　代表　米倉　昌 |
| 992 | 6/10 | 鈴木　秀志 |
| 993 | 6/13 | 工藤　紀子 |
| 994 | 6/13 | 中村　誠 |
| 995 | 6/10 | 島崎　貴光 |
| 996 | 6/10 | カスガ　ヨシユキ |
| 997 | 6/10 | 日本共産党中央委員会 |
| 998 | 6/13 | サトウ　ヒロユキ |
| 999 | 6/13 | ヒタチアプライアンス |
| 1000 | 6/14 | ヒキチ　ユウコ |
| 1001 | 6/14 | ソウマ　ユウスケ |
| 1002 | 6/14 | ヨネダ　アキコ |
| 1003 | 6/14 | サトウ　ヒデアキ |
| 1004 | 6/14 | 畑　由子 |
| 1005 | 6/15 | ニシガキ　マユミ |
| 1006 | 6/15 | クニシゲ |
| 1007 | 6/15 | 山本　小枝子 |
| 1008 | 6/16 | 扇田　智成 |
| 1009 | 6/16 | 濵田　輝夫 |
| 1010 | 6/16 | ホシノ　マサオ |
| 1011 | 6/16 | ヨコヤマ　クニオ |
| 1012 | 6/16 | バヌアツ共和国の人々、バヌアツ日本人会、日本バヌアツ親善協会 |
| 1013 | 6/16 | ＮＰＯ法人　日本バヌアツ親善協会　代表　大数加　蕃信 |
| 1014 | 6/17 | 裕遊会　代表　山内　裕二 |
| 1015 | 6/17 | 斉藤　元宏 |
| 1016 | 6/17 | 笛木　正明 |
| 1017 | 6/18 | 大和　孝子 |
| 1018 | 6/18 | 積和建設東東京株式会社 |
| 1019 | 6/18 | 真殿　珠理 |
| 1020 | 6/20 | イシヤマ　ユウイチロウ |
| 1021 | 6/20 | ワダ　ツネカズ |
| 1022 | 6/20 | 有限会社　嵯峨コーポレーション |
| 1023 | 6/21 | 白石　健二 |
| 1024 | 6/21 | マイルストーン総合法律事務所　弁護士　児玉　晃一 |
| 1025 | 6/21 | 落合　源三 |
| 1026 | 6/21 | ミウラ　カズエ |
| 1027 | 6/21 | イケベ　シンジ |
| 1028 | 6/21 | ミヤギクマサン．カ |
| 1029 | 6/22 | マツイ　ナミ |
| 1030 | 6/22 | イケダ　タカアキ |
| 1031 | 6/22 | ハヤカワ　アケミ |
| 1032 | 6/22 | フルカワ　クニコ |
| 1033 | 6/22 | 関場　愛子 |
| 1034 | 6/23 | コバヤシ　シンイチ |
| 1035 | 6/23 | ワカヤマジヤンジヤンヨコ |
| 1036 | 6/23 | 株式会社　中村印刷 |
| 1037 | 6/23 | 匿名 |
| 1038 | 6/24 | 麻生飯塚ゴルフ倶楽部 |
| 1039 | 6/24 | 脇坂　秀二 |
| 1040 | 6/27 | 戸田市水道協同組合　代表理事　市村　勉 |
| 1041 | 6/27 | 渕江町会自治会連合会　会長　澤田　栄介 |
| 1042 | 6/27 | 有限会社　かみや　代表取締役　佐藤　慎一 |
| 1043 | 6/28 | 居酒屋　志布志　オーナー　前迫　和子 |
| 1044 | 6/28 | サトウ　ヨシエ |
| 1045 | 6/28 | ミヤモト　アキコ |
| 1046 | 6/28 | イトウ　アキコ |
| 1047 | 6/28 | ムラヤマ　サトミ |
| 1048 | 6/28 | スズキ　エイコ |
| 1049 | 6/28 | ナカシマ　テルミ |
| 1050 | 6/28 | サイトウ　サチコ |
| 1051 | 6/28 | アラセキ　ヨシアキ |
| 1052 | 6/28 | 社会福祉法人　産経厚生文化事業団 |
| 1053 | 6/29 | ACT FOR JAPAN 共催カリヨンコンサート　則定　まり・松江　万里子 |
| 1054 | 6/29 | 齋藤　慎太郎 |
| 1055 | 6/29 | 桑田　俊一 |
| 1056 | 6/29 | モリヤ　ヨシタカ |
| 1057 | 6/29 | 株式会社　ニック　代表取締役社長　松浦　豊喜 |
| 1058 | 6/29 | ナカミナト　リエ |
| 1059 | 6/29 | ソウマシサイガイギエンキン |
| 1060 | 6/30 | ケンビヤ株式会社 |
| 1061 | 6/30 | 旭電設工業株式会社　代表取締役　八巻　正隆 |
| 1062 | 7/1 | カネオカ　メグミ |
| 1063 | 7/1 | 草木染伝習所　山崎　樹彦 |
| 1064 | 7/1 | 富岡甘楽危険物安全協会 |
| 1065 | 7/1 | 富岡市からの義援金 |
| 1066 | 7/1 | コウノ　ササトシ |
| 1067 | 7/1 | 柴田　昌代 |
| 1068 | 7/2 | 荒　安明 |
| 1069 | 7/2 | 吉井　伸二 |
| 1070 | 7/4 | 日光清風塾 |
| 1071 | 7/4 | 長岡市土木部有志 |
| 1072 | 7/4 | 植村　俊広 |
| 1073 | 7/4 | 佐藤　あい子 |
| 1074 | 7/4 | ACT FOR JAPAN BE 松江 |
| 1075 | 7/5 | ギエンキン |
| 1076 | 7/5 | ウノジユン |
| 1077 | 7/6 | ナカニシカオル |
| 1078 | 7/7 | 井上　尚 |
| 1079 | 7/7 | 本郷　光一 |
| 1080 | 7/8 | 内山　直哉 |
| 1081 | 7/8 | 田仲　雅彦 |
| 1082 | 7/7 | タナカ　サオリ |
| 1083 | 7/8 | イザワ　ノリコ |
| 1084 | 7/8 | 学校法人鳥海学園弘道幼稚園 |
| 1085 | 7/8 | 梅田親睦会　会長 梅沢 賢 |
| 1086 | 7/8 | 有限会社オートサービス足立 |
| 1087 | 7/8 | 髙島　義雄 |
| 1088 | 7/8 | 金子　嘉雄 |
| 1089 | 7/8 | 足立区更生保護女性会　会長 瀬田 貞子 |
| 1090 | 7/8 | 家庭倫理の会足立区　会長 櫻井 春子 |
| 1091 | 7/8 | ＫＩＴクラブ２１ |
| 1092 | 7/8 | 東京都教職員組合足立支部 |
| 1093 | 7/8 | 株式会社建匠ゴルフ会　代表 塚越 伸博 |
| 1094 | 7/11 | 有限会社　アクト　代表取締役　山田　典央 |
| 1095 | 7/11 | 奈良　かよ子、高原　初江 |
| 1096 | 7/11 | 相馬　富士子 |
| 1097 | 7/11 | カルピア　美保 |
| 1098 | 7/11 | ㈱やまとダイニング |
| 1099 | 7/11 | 待井　正司 |
| 1100 | 7/11 | 田口建設㈱ |
| 1101 | 7/11 | 有限会社荒造園工業 |
| 1102 | 7/11 | たちや動物病院 |
| 1103 | 7/11 | ヒキチ　ユウコ |
| 1104 | 7/11 | カスガ　ヨシユキ |
| 1105 | 7/12 | 荒川　仁 |
| 1106 | 7/12 | 小貫　隼男 |
| 1107 | 7/13 | マイルストーン総合法律事務所　弁護士　児玉　晃一 |
| 1108 | 7/13 | 荒　ヨリ子 |
| 1109 | 7/14 | 中村　民子 |
| 1110 | 7/14 | 福島県社会保険労務士会 |
| 1111 | 7/14 | エンドウトシオ |
| 1112 | 7/14 | カタハラ　エクコ |
| 1113 | 7/14 | ホシノ　マサオ |
| 1114 | 7/14 | 目黒　武史 |
| 1115 | 7/14 | オガタ　ジユンイチ |
| 1116 | 7/14 | キタオカ　ユウコ |
| 1117 | 7/15 | 菊地　昇 |
| 1118 | 7/15 | ﾙｰﾍﾟﾝ化粧品　入間サロン　中根 |
| 1119 | 7/15 | ニホンデンシケイサンキ株式会社 |
| 1120 | 7/16 | 加藤　弘 |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 1121 | 7/16 | 櫻田産業株式会社　従業員 |
| 1122 | 7/18 | 大橋　幸雄 |
| 1123 | 7/18 | 水本　真弘 |
| 1124 | 7/19 | 高木　敏子 |
| 1125 | 7/19 | 植西　美紀代 |
| 1126 | 7/19 | 河辺　浩幸 |
| 1127 | 7/19 | 鈴木　幸子 |
| 1128 | 7/20 | 郭凌　主席 |
| 1129 | 7/20 | ナカツ　カツシゲ |
| 1130 | 7/20 | サカモトヤクヒンコウギヨウ |
| 1131 | 7/20 | アラキ　ナオミ |
| 1132 | 7/20 | イシグロ　タケシ |
| 1133 | 7/20 | ワダツネカズ |
| 1134 | 7/20 | サトウ　カズオ |
| 1135 | 7/21 | 島田　靖孝 |
| 1136 | 7/21 | 高橋　照吉 |
| 1137 | 7/22 | フルト　マサト |
| 1138 | 7/22 | シロタニ　マキコ |
| 1139 | 7/22 | オオバ　アヤ |
| 1140 | 7/22 | 大洲ゴルフ協会　理事　正木　洋一 |
| 1141 | 7/22 | スズキ　エイコ |
| 1142 | 7/22 | 菅原　節子 |
| 1143 | 7/22 | 静岡県立湖西高等学校 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ部顧問 杉本 尚子 |
| 1144 | 7/22 | 田中　千鶴子 |
| 1145 | 7/22 | 流山市 |
| 1146 | 7/22 | ソウマ　ユウスケ |
| 1147 | 7/25 | 飯田　洋 |
| 1148 | 7/25 | スズウラ　コウサク |
| 1149 | 7/25 | アオキ　ヒロユキ |
| 1150 | 7/25 | タブチ　セツコ |
| 1151 | 7/26 | 木っころの会 |
| 1152 | 7/26 | 江村　康成 |
| 1153 | 7/27 | サトウ　ヨシエ |
| 1154 | 7/27 | イトウ　アキコ |
| 1155 | 7/27 | フルカワ　クニコ |
| 1156 | 7/27 | 仏生山デイトレネクスト |
| 1157 | 7/28 | 山下　輝美朗 |
| 1158 | 7/28 | ケアサポート　ふれんず |
| 1159 | 7/29 | 相馬市立大野小学校　児童会・ＪＲＣ委員会 |
| 1160 | 7/29 | アサノ　トモヤ |
| 1161 | 7/29 | サトウ　ヒロユキ |
| 1162 | 7/29 | ナカニシ　カオル |
| 1163 | 7/29 | ニシガキ　マユミ |
| 1164 | 7/29 | タカツキ　タカシ |
| 1165 | 7/29 | サクヤマ　マサノリ |
| 1166 | 7/29 | 小児科加藤医院　加藤　直樹 |
| 1167 | 7/29 | ツカダ　サトル |
| 1168 | 7/29 | 株式会社福島工作所 |
| 1169 | 7/29 | 富岡市 |
| 1170 | 7/29 | 富岡市商店街連合会　会長　春田　充雄 |
| 1171 | 8/1 | 藤木　俊一 |
| 1172 | 8/2 | ナカジマ　ヒロマサ |
| 1173 | 8/2 | 澤田　章 |
| 1174 | 8/2 | 吉武　顕二 |
| 1175 | 8/3 | 大川　融子 |
| 1176 | 8/4 | 真壁　珠理 |
| 1177 | 8/4 | 田淵　生子 |
| 1178 | 8/4 | 堀中モンティ倫子 |
| 1179 | 8/4 | フクシマケンシギカイギチョウカイ |
| 1180 | 8/4 | モリヤヨシタカ |
| 1181 | 8/5 | 齊藤　真弓 |
| 1182 | 8/5 | 早田　洋平 |
| 1183 | 8/8 | 野本　裕二 |
| 1184 | 8/8 | 田口建設（株） |
| 1185 | 8/8 | 揖斐川町立　おじま幼稚園　保護者会 |
| 1186 | 8/8 | 全国報徳研究市町村協議会 |
| 1187 | 8/8 | オオバ　アヤ |
| 1188 | 8/9 | ヘアデザイン　ビームス |
| 1189 | 8/10 | 弁護士　児玉　晃一 |
| 1190 | 8/16 | 大西　徹也 |
| 1191 | 8/19 | 本郷　光一 |
| 1192 | 8/19 | 荒　孝道 |
| 1193 | 8/19 | 橋本　正直 |
| 1194 | 8/22 | モンマ　ミエコ |
| 1195 | 8/22 | サトウ　ヒロユキ |
| 1196 | 8/22 | カスガ　ヨシユキ |
| 1197 | 8/22 | ヒキチ　ユウコ |
| 1198 | 8/22 | モリ　ジロウ |
| 1199 | 8/22 | ナカイ　ノブヒロ |
| 1200 | 8/22 | ソウマ　ユウスケ |

| Ｎｏ | 受付日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 1201 | 8/22 | イシグロ　タケシ |
| 1202 | 8/22 | フクロ　ノブコ |
| 1203 | 8/22 | フルカワ　クニコ |
| 1204 | 8/22 | ナカコウジ　アツミ |
| 1205 | 8/22 | アラキ　メグミ |
| 1206 | 8/22 | ホシノ　マサオ |
| 1207 | 8/22 | タブチ　セツコ |
| 1208 | 8/22 | ワダ　ツネカズ |
| 1209 | 8/23 | サトウ　トオル |
| 1210 | 8/23 | ワタナベ　アキコ |
| 1211 | 8/25 | テルヤ　ヨウコ |
| 1212 | 8/25 | ワタナベ　タカヒサ |
| 1213 | 8/25 | サトウ　ヨシエ |
| 1214 | 8/26 | イトウ　アキコ |
| 1215 | 8/26 | イオハラ　エツコ |
| 1216 | 8/29 | カワイ　マサノリ |
| 1217 | 8/30 | モリヤ　ヨシタカ |
| 1218 | 8/30 | 川口　幸恵 |
| 1219 | 8/30 | 麻生飯塚ゴルフ倶楽部 |
| 1220 | 8/30 | アオヌマ　ヤスヒロ |
| 1221 | 8/31 | サクヤマ　マサノリ |
| 1222 | 8/31 | イトウ　カオル |
| 1223 | 9/1 | キムラ　カズシ |
| 1224 | 9/1 | 甘　美玲 |
| 1225 | 9/5 | トクヒ）アジアアリガトウシ |
| 1226 | 9/6 | タイキチョウミン |
| 1227 | 9/9 | サトウ　ヒロユキ |
| 1228 | 9/9 | カスガ　ヨシユキ |

ふるさと振興基金義援金（フォロアーチームへの寄付金を含む）

| No | 月日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 1 | 3/22 | 石井　信人 |
| 2 | 4/2 | 匿名希望 |
| 3 | 4/7 | 野口　和彦 |
| 4 | 4/7 | 髙橋　博子 |
| 5 | 4/2 | 畑田　実 |
| 6 | 4/7 | 菊田　豊 |
| 7 | 4/12 | 三協商事株式会社 代表取締役 藤平　繁 |
| 8 | 4/12 | 豊頃町 |
| 9 | 4/14 | 古池　宏 他　計４６名 |
| 10 | 4/12 | 大津漁業協同組合 |
| 11 | 4/14 | パスコ株式会社　社員有志一同 |
| 12 | 4/14 | 福島県市長会　会長　瀬戸　孝則 |
| 13 | 4/16 | 三橋　耕士 |
| 14 | 4/17 | 千葉県山武市 |
| 15 | 4/18 | 匿名希望 |
| 16 | 4/18 | 株式会社フローラ　代表取締役社長　三浦　進 |
| 17 | 4/18 | 匿名希望 |
| 18 | 4/18 | 匿名希望 |
| 19 | 4/14 | 下山田　裕彦 |
| 20 | 4/14 | 長谷川　高子 |
| 21 | 4/1 | 福島県市町村振興協会 |
| 22 | 4/20 | 菊地　徹夫 |
| 23 | 4/20 | オリエンタルモータ株式会社 従業員　代表　高橋　良昌 |
| 24 | 4/20 | 村上　紀通 |
| 25 | 4/20 | 瀧岡　雅博 |
| 26 | 4/20 | 竹内　洋子 |
| 27 | 4/20 | 知念　ゆきみ |
| 28 | 4/21 | 旭工商 新谷　治 |
| 29 | 4/21 | 渡辺　政巳 |
| 30 | 4/22 | 堺　英世 |
| 31 | 4/17 | 堀江　福男 |
| 32 | 4/17 | 三浦　康雄 |
| 33 | 4/25 | 林　幹 |
| 34 | 4/26 | 社団法人　大日本水産会　会長　白須　敏朗 |
| 35 | 4/26 | 余西　吉巳 |
| 36 | 4/26 | 宮崎　裕市 |
| 37 | 4/26 | 匿名希望 |
| 38 | 4/27 | 匿名希望 |
| 39 | 4/27 | 匿名希望 |
| 40 | 4/26 | 匿名希望 |
| 41 | 4/28 | 匿名希望 |
| 42 | 4/19 | 福島県　市長会 |
| 43 | 4/15 | 株式会社IHI　代表取締役社長　釜　和明 |
| 44 | 4/28 | 匿名希望 |
| 45 | 5/1 | 匿名希望 |
| 46 | 5/2 | 匿名希望 |
| 47 | 4/29 | 平野　輝重 |
| 48 | 4/29 | 佐藤　政男 |
| 49 | 5/6 | 横川　祐之 |
| 50 | 5/6 | 福島県市長会 会長　瀬戸　孝則 |
| 51 | 5/6 | 相馬原釜朝市元気市場 |
| 52 | 5/7 | 匿名希望 |
| 53 | 5/7 | 水田　岩雄 |
| 54 | 5/5 | 大迫　真 |
| 55 | 5/10 | 匿名希望 |
| 56 | 5/10 | 匿名希望 |
| 57 | 5/13 | 匿名希望 |
| 58 | 5/6 | 株式会社西原環境 |
| 59 | 5/10 | 山田　和子 |
| 60 | 5/12 | 国分　正一 |
| 61 | 5/14 | 匿名希望 |
| 62 | 5/17 | 株式会社　NSD 代表取締役社長　今城　義和 |
| 63 | 5/17 | 匿名希望 |
| 64 | 5/17 | 匿名希望 |
| 65 | 5/18 | 北海道　大樹町町長 伏見　悦夫 |
| 66 | 5/5 | 松平　順子 |
| 67 | 5/16 | 本馬　貞夫 |
| 68 | 5/23 | 株式会社レキオエナジー　代表取締役　照喜名　悟 |
| 69 | 5/22 | 堺　英世 |
| 70 | 5/19 | 生活協同組合　全国都市職員災害共済会 会長（鹿児島市長）森　博幸 |
| 71 | 5/24 | 愛知淑徳大学　人間情報学部　講師　石丸　緑 |
| 72 | 5/27 | 平野　進 |
| 73 | 5/27 | アルプス電気株式会社 代表取締役　片岡　政隆 |
| 74 | 5/23 | 社団法人　相双法人会　会長　熊川　喜八郎 |
| 75 | 5/24 | 小峰　知子 |
| 76 | 5/24 | 小峰　慎太郎 |
| 77 | 5/17 | 藤田　隆男 |
| 78 | 5/26 | 松山　耕三 |
| 79 | 6/2 | 匿名希望 |
| 80 | 6/2 | Honolulu Sunrise RC |

| No | 月日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 81 | 6/8 | 前田　和平 |
| 82 | 6/9 | オリエンタルモーター株式会社 代表取締役社長　倉石　芳雄 |
| 83 | 6/9 | 河内　政美 |
| 84 | 6/9 | 坂巻　忠志 |
| 85 | 6/10 | 株式会社光電製作所代表取締役会長　伊藤　良昌 |
| 86 | 6/10 | アクティオグループ |
| 87 | 6/10 | 匿名希望 |
| 88 | 6/10 | 株式会社光電製作所 |
| 89 | 6/13 | 奥墨　元治 |
| 90 | 6/13 | ニッケン建設株式会社 代表取締役　溝上　西二 |
| 91 | 6/14 | 稲　久 |
| 92 | 6/8 | 石川県能登町長　持木　一茂 |
| 93 | 6/14 | 石川県珠洲市長　泉谷　満寿裕 |
| 94 | 6/15 | 曹洞宗　宗務庁 |
| 95 | 6/1 | 松浦　岳 |
| 96 | 6/9 | 匿名希望 |
| 97 | 6/17 | 匿名希望 |
| 98 | 6/17 | 株式会社　サンノハシ 代表取締役　長島　武 |
| 99 | 6/17 | 社団法人　全国信用金庫協会　会長　大前　孝治 |
| 100 | 6/20 | 宗教法人念法眞教　総本山小倉山金剛寺 |
| 101 | 6/21 | 静岡バルーンバレーボール　有志一同 |
| 102 | 6/21 | 静岡バルーンバレーボール協会　会長　山本　堅二 |
| 103 | 6/21 | 株式会社　ガスセンター山本 代表取締役　山本　堅二 |
| 104 | 6/22 | 堺　英世 |
| 105 | 6/2 | 匿名希望 |
| 106 | 6/17 | 江井　誠 |
| 107 | 6/20 | 吉野　光子 |
| 108 | 6/22 | 喜多方市 |
| 109 | 6/22 | 匿名希望 |
| 110 | 6/22 | ＩＨＩ生活協同組合 |
| 111 | 6/23 | 京都電子工業株式会社 代表取締役　勝木　謙三 |
| 112 | 6/21 | 株式会社日本香堂 |
| 113 | 6/24 | 新明和工業株式会社 |
| 114 | 6/25 | 匿名希望 |
| 115 | 6/22 | 福島県市長会 会長　瀬戸　孝則 |
| 116 | 6/27 | 及川　真樹 |
| 117 | 6/9 | 株式会社KATEKYOグループ |
| 118 | 6/28 | 匿名希望 |
| 119 | 7/4 | 吉岡町議会 |
| 120 | 7/1 | みなと新聞東日本大震災義援金口　代表株式会社みなと山口合同新聞社　代表取締役社長　井上正明 |
| 121 | 7/3 | 中村　敏章 |
| 122 | 7/1 | 村瀬　芳昭 |
| 123 | 7/7 | ＩＨＩ生活協同組合 |
| 124 | 7/7 | サウンドユニットあ♪ん |
| 125 | 6/29 | 髙橋　宣男 |
| 126 | 7/1 | 山田　由紀恵 |
| 127 | 7/9 | 日野　康昭 |
| 128 | 6/27 | 小嶋　勲 |
| 129 | 7/11 | 相双信用組合　理事長　庄子　勇雄 |
| 131 | 7/12 | シダックス株式会社　代表取締役社長　志太　勤一 |
| 132 | 7/10 | 赤毛のアン募金 |
| 133 | 7/15 | 匿名希望 |
| 134 | 7/16 | 匿名希望 |
| 135 | 7/19 | 匿名希望 |
| 136 | 7/21 | 相馬　文宣 |
| 137 | 7/20 | 杉田　栄樹 |
| 138 | 7/21 | 堺　英世 |
| 139 | 7/22 | 豊頃町 |
| 140 | 7/22 | 社団法人　大日本水産会　会長　白須　敏朗 |
| 141 | 7/23 | 千葉県流山市 |
| 142 | 7/23 | 匿名希望 |
| 143 | 7/25 | 後藤　謙次 |
| 144 | 7/26 | 久保　千矢 |
| 145 | 7/26 | 匿名希望 |
| 146 | 7/27 | 匿名希望 |
| 147 | 7/27 | 田中　康彦 |
| 148 | 7/27 | 匿名希望 |
| 149 | 7/2 | 匿名希望 |
| 150 | 7/31 | 匿名希望 |
| 151 | 8/3 | 匿名希望 |
| 152 | 8/3 | 星　旦二 |
| 153 | 8/4 | 株式会社日本環境認証機構(JACO)代表取締役　取締役社長　下井　泰典 |
| 154 | 8/4 | 相馬東高等学校同窓会東京支部　支部長　羽根田　種子 |
| 155 | 8/8 | 福島県市長会　会長　瀬戸　孝則 |
| 156 | 8/8 | 福島県立相馬東高等学校同窓会東京支部　東日本大震災義援金募金委員会　事務局長　大久保　まさ子 |
| 157 | 8/12 | 大谷　寛 |
| 158 | 8/17 | 株式会社　福島リビング新聞社 |
| 159 | 8/17 | 広島リビング新聞社 |
| 160 | 8/17 | 静岡県裾野市 |
| 161 | 8/18 | 全日本磯釣連盟　東北支部 |

ふるさと振興基金義援金（フォロアーチームへの寄付金を含む）

| No | 月日 | 寄附者 |
|---|---|---|
| 162 | 8/18 | 高知県梼原町 |
| 163 | 8/19 | 愛知県尾張旭市長　谷口　幸治 |
| 164 | 8/7 | 匿名希望 |
| 165 | 8/22 | 匿名希望 |
| 166 | 8/19 | 社団法人日本精神科病院協会 |
| 167 | 9/1 | 相馬商工会議所　会頭　荒井　宏美 |
| 168 | 8/24 | 下井　芳之 |
| 169 | 9/2 | 舞鶴市長 |
| 170 | 9/2 | 匿名希望 |
| 171 | 9/6 | 会津若松商工会議所女性会 |
| 172 | 9/6 | 相馬商工会議所女性会 |
| 173 | 9/6 | Astral　Japan |
| 174 | 9/6 | 東京福島県人浜通り会　会長　馬場　信房 |
| 175 | 9/6 | 薬師寺 |
| 176 | 9/6 | JEWEL　中道　公二 |
| 177 | 9/8 | 匿名希望 |
| 178 | 9/9 | 加藤　操 |
| 179 | 9/9 | IHI生活協同組合 |
| 180 | 9/10 | 社団法人湘南建設業組合 |
| 181 | 8/29 | 久恒　仰平 |

# 相馬市震災孤児等支援金寄附者（寄附額10万円以上）

| | |
|---|---|
| (株)ロードアンドスカイ | ゴラクカン　マドグチニン |
| (株)茨木金属商会 | サガラ　カヨ |
| (株)横浜瀬里奈　小池　規夫 | サニー・サイド・スカラシップ |
| (有)オートステップ代表取締役　文岩　祥二 | サマシャンティ |
| (有)つるや薬局　灘波　道弘 | サン　クリニック/アイナリーホール |
| (有)ミタカスタジオ　代表　水口　透 | サンキュークラブ　第10期会長　朴　裕司 |
| 『陽は、また昇る』プロジェクト　萩原　信芳 | ジヨウジ　ケイコ |
| AKTION　MISSION　UND　LEPRAHILFE SIEFBAHN　E.V. | NPO法人ルワンダの教育を考える会理事長 KAMBENGA　MARIE　LOUISE |
| ALAN　SALZMAN　海田昭彦 | ゼオングループ従業員一同 |
| Barbara　Heinemann | セシリア募金 |
| EDDING　AKTIENGESELLSCHAFT | そうまカンガルーおばさん |
| FUMIKO ISHII | ダウニホンソウマサイセイキキ |
| Honolulu Sunrise RC | タカラヅカゴルフクラブ |
| INSENSES,Aquaeria　Gambare　香港柔術 | ダニエラと仲間たち　ダニエラ・オージック |
| IPSG包括歯科医療研究会　稲葉　繁 | タニカワ　エミコ |
| JJ−KASAI | ダンディーフォー　イシマル |
| K'z　Uniteds　Jazz　Nations　代表　齋藤　和彦 | チエン　チアキ |
| Mr.Fulvio　De　Marco | ツノカケ　ジユンコ |
| NPOバラエティクラブジャパン代表理事　千葉　祇暉 | ディンク株式会社 |
| NPO法人　1冊の会　会長　大槻　明子 | デビツト　ゾペテイ |
| スズキ　ミエコ | とどけ相馬へ〜チーム西新井大師 |
| NPO 法人湘南版おたすけ隊 | ナカネセイチヤ(カ |
| SANDRA DONOSO | ニツコウシミンカツドウシエン |
| SAYAKA　NELSON | ネパール教育支援の会　小田原事務所代表　松本　章 |
| The　Rotary　Club　Of　Ascot | ノースフィールドハイスクール |
| TOP-UP 建築事業團隊社員一同 | パスクリエイト株式会社　代表取締役　飯原　崇暁 |
| UIゼンセン同盟ニラクユニオン　組合員一同 | ハセガワ　マサエ |
| アーティスティック　スマイル　クリニック院長　小川康子 | バラの会　代表　村上　悦子 |
| アイ・ティ・エル株式会社　代表取締役　林　昂昂 | ヒラタ　マリ |
| あさだ和宏を育てる会 | フヨウサキナビューティースペース相馬　鈴木　奈美 |
| アスノマツシマヲカンガルカ | マットハウス　モーター　スポーツ　クラブ　代表　杉山　哲 |
| アズマ　リツコ | メキシコ政府外務省 |
| アドフロンテ　代表取締役　木村　謙吉 | メキシコ大使館 |
| あらき産婦人科クリニック院長　荒木　壮 | メグレ・ジャパン株式会社　コンシューマーグループ |
| アワヤ　ユウジ | もてぎ九条の会代表　澤村　康男 |
| イシヤマ　ユウイチロウ | ヤマトコウツウ(カ |
| イトウ　サトシ | ヤマモト　ケイイチ |
| イトウシカイイン　イトウ　サト | ユ)トウゴウシゼンリヨウ |
| ウメツ　シズコ | ラハール　ヨシダ　ジユンコ |
| エムセテック株式会社　代表取締役　謝　勝傑 | ル・アンジュ |
| オーエムツウシヨウ(カ | 阿部　ちゆり |
| オカザキマリコ | 安藤　園枝 |
| おだわらを拓く力事務局長　西側　恭二 | 安部　均 |
| オメルバニー・アンド　マイヤーズ法律事務所 | 安良　一美 |
| カ)アシユラン　ソウマシシンサ | 伊崎　信子 |
| カ)マチヅクリハチノヘ | 伊藤　時子 |
| カサハラ　ツネコ | 医療法人　レスポアール　理事長　齋藤　憲康 |
| カシムラ　タク | 医療法人　誠育会　理事長　杉山　誠治 |
| カタオカ　エミ | 医療法人　大那　理事長　近藤　健 |
| カワイ　キヨシ | 医療法人愛語会　室谷醫院　理事長　室谷　民雄 |
| ギエンキン　ナカジマ　ダイ | 医療法人社団　若鮎　理事長　北島　清彰 |
| キネツトキユジユウナナ | 医療法人府洲会介護老人保健施設ロマン理事長別府亮一 |
| グループ　オブ　ラテンアメリカ | 井上　玄之 |
| クルムファンタイジャパン椿事務局　藤田　等 | 財団法人　国づくり人づくり財団 |
| くろ松クラブ　会長　西村　年晴 | 社団法人　Gジャパンフロンティア協会理事長　廣瀬一美 |
| コウベ　ヨシロウ | 稲城市職員有志一同 |

# 相馬市震災孤児等支援金寄附者（寄附額10万円以上）

| | |
|---|---|
| 永戸　茂久 | 宇多郷騎馬会 |
| 岡本　芳樹 | 玉ノ井部屋 |
| 音楽館　水木　ノア | 芹澤　慎 |
| 加藤　雅人 | 桑原　理貴哉 |
| 河合　孝子 | 桑本　剛 |
| 滑川市自治会連合会　会長　髙田　衛 | 原田　英雄 |
| 株式会社　IHI　航空宇宙事業本部　武蔵総務部 | 後藤　亨 |
| 株式会社　IHIキャスティングス代表取締役社長<br>齋藤　道夫 | 社会福祉法人いろどり福祉会　ケアハウス・在宅複合型施設　花紬理事長　別府　亮一 |
| 株式会社　アールビーサポート代表取締役　別府亮一 | 荒井　静 |
| 株式会社　インヴェル・ジャパン　平田　マリオ | 高塚　広行 |
| 株式会社　ウィルドゥ　代表取締役　塩屋　俊 | 高田　崇史 |
| 株式会社　ウルズ　代表取締役　角川　美恵子 | 高田馬場わたなべ |
| 株式会社　エコプライム | 国際コンテナ輸送株式会社代表取締役社長　宮田　哲 |
| 株式会社　カスタマワイズ　代表取締役　村中　明彦 | 国際ロータリー　第2530地区　ガバナー大橋　廣治 |
| 株式会社　キーワードマーケティング研究所 | 今泉記念ビルマ将学会学友一同 |
| 株式会社　サブリナフェア　代表取締役　川田　喜弘 | 佐貫　眞木子 |
| 株式会社　サンギョウサプライ代表取締役　日下　善彦 | 在日米国商工会議所 |
| 株式会社　たまや　代表取締役　安保　尚雅 | 坂本　浩 |
| 株式会社　ぱむ | 三谷　宏治 |
| 株式会社　ピース | 山形リサ・烏野慶太ディオリサイタル |
| 株式会社　ファーストスキル　代表取締役　庄司　一 | 山上区長会 |
| 株式会社　フローラ　代表取締役社長　三浦　進 | 市原　健一 |
| 株式会社　ベンリーコーポレーション　代表取締役<br>前田　満定 | 株式会社　メディサイエンスプラニング代表取締役<br>酒井　杏郎 |
| 市村　朋子 | 死ぬまでつきあう会天灯参加者　東海林　小百合 |
| 株式会社　ライブナビ　代表取締役　野口　裕 | 滋賀県　米原市 |
| 株式会社　安電　代表取締役　安納　勉 | 耳川広域森林組合役職員一同 |
| 株式会社　宮本工業所 | 自民党東京都足立区第二十七支部　支部長　古性重則 |
| 株式会社　好試力研究所代表取締役社長　大野　伸介 | 実戦空手道　叢林塾 |
| 株式会社　小松製作所　代表取締役社長（兼）CEO<br>野路　國夫 | 酒匂幼稚園(その他小田原市民一同)PTA会長<br>古尾谷　佳子 |
| 株式会社　新宿経営センター | 社会福祉法人　読売光と愛の事業団　理事長　長尾　立子 |
| 株式会社　聖文館　若松塾　理事長　井沢　督二 | 紅谷　俊介 |
| 株式会社　大場設備代表取締役　大場　康彦 | 社団法人　日本補償コンサルタント協会　東北支部長　賢木　新悦 |
| 株式会社　東京三和　代表取締役　福木　昌康 | 関西学院大学総合政策学部教職員有志代表　木曽　秀子 |
| 株式会社　藍 | 宗教法人　正敬寺 |
| ㈱アイエージー内　元町なでしこ会　代表　日吉　英行 | 出崎　哲 |
| 鴨宮ひかりスタンプシール会 | 緒方　我郎 |
| 管野　升 | 小宮　ひろみ |
| 観音寺　白川　梅仁 | 小児科加藤医院　加藤　直樹 |
| 篠田　一晴　Paul　Davis | 小泉ゴルフクラブ |
| 関東砥石組合 | 小田原市民一同 |
| 丸栄コンクリート工業株式会社　代表取締役　棚橋　肇 | 小田原市民有志一同 |
| 丸山　利恵子 | 小畑　強子　小畑　祐里 |
| 丸子中央総合病院　平野　賢 | 小野内工務店　小野内重喜・小野内重雄 |
| 岩井　雄一 | 小林　七重 |
| 岩田　啓史 | 庄司　圭子 |
| 吉原産業株式会社 | 沼生　隆 |
| 吉川　由紀 | 沼谷　勝之 |
| 吉田　賢治 | 笑顔再生プロジェクト　庵はずき代表　吉川恵美子 |
| 吉田　篤雄 | 上西　博 |
| 吉田　文代 | 信濃町柏原ノウマンズ　小林　大剛 |
| 吉野　和夫 | 森　節子 |
| 久保井　佳子 | 真弓　実果 |
| 久保井　清 | 真宗大谷派　仙台教務所長　森田　茂美 |

# 相馬市震災孤児等支援金寄附者（寄附額 10 万円以上）

| | |
|---|---|
| 宮下　博壮 | 内尾　洋美 |
| 宮沢　佐知子 | 二瓶　日出司 |
| 玉ノ井　太祐 | 日本共産党中央委員会 幹部会委員長 志位　和夫 |
| 清林寺 | 日本自治体労働組合総連合中央執行委員長 野村幸裕 |
| 聖ミカエル国際学校職員一同 | 埜庵　キシダ　サキコ |
| 西村　利彦 | 白金カンタービレ 代表　谷口　久美 |
| 青沼　楢文 | 白鳥　政孝 |
| 青木　嘉子 | 板垣　徹也 |
| 静岡県医師会　静岡県医師信用組合 | 苗苗の会　代表　李　陽 |
| 静岡県裾野市地域活動(母親クラブ) | 冨士縄　愛 |
| 石黒　徹 | 武蔵野美術大学セーリングクラブ　代表　大島　純一 |
| 石川　義治 | 福田産業株式会社 |
| 流山市 ミューズ熊坂音楽スタジオ　老･ゆう大音楽専科 OB 連合会 | 福島県相馬市被災者協力基金 発起人 株式会社 LHASA デザイナー畠中　恵子 |
| 石田　雅美 | 平井　滋 |
| 石附　浩太郎 | 平井　裕之 |
| 赤石澤　珍夫 | 北海道豊頃町 |
| 川崎宮前ロータリークラブ | 堀中モンティ倫子 |
| 川田　規夫　野口　俊夫 | 本田　幸代 |
| 川田　俊絵 | 本田　美津子 |
| 洗顔洗心塾 代表 今野　華都子 | 命のバトン　プリティ長嶋 |
| 善行雑学大学代表理事　宮田　英夫 | 木村　幸治 |
| 全日本教職員組合 中央執行委員長 北村　佳久 | 木村　八重子 |
| 倉吉アサヒほろにが会 | 有限会社　SUNBEAM　サンビーム |
| 相馬あしがら尊徳基金会　代表　松本　茂 | 有限会社ファースト 代表取締役 髙玉　紀雄 |
| 相馬高校OBとその仲間 | 有馬　端 |
| 東海鋼管株式会社代表取締役　乾　公昭 | 裕和会 理事長 長尾　和宏 |
| 多賀谷　吏花 | 立岩　厚隆 |
| 大嶋　義博　河村　淳子 | 立正佼成会 |
| 大日本報徳社 社長 榛村　純一 | 石川　太郎 |
| 大迫　芳郎 | 鈴木　正徳 |
| 大鷲　清人 | 練馬区立光和小学校 PTA 一同 |
| 滝学園　同窓会　会長　堀尾　浩二 | 和光石材株式会社 |
| 丹野　貴浩 | 和泉本町一丁目町会 会長 野田　孝幸 |
| 着方くらぶ　和着相愛 | 和田　トミ子 |
| 中見　利男 | 齋藤　陽子 |
| 猪野　宏子 | 絆プロジェクト |
| 長谷川　基子 | 颯佐医院院長　颯佐　正俊 |
| 鳥取を元気にする会 | 高桑　キヌエ |
| 津村　朋樹 | 須崎市行政関係職員一同 |
| 坪谷　透 | 須崎消防団　団長　藤田昌秀　外団員一同 |
| 天理教佐野原大教会 代表 鈴木　理一 | 菅原　恵子 |
| 田村　京子 | 藤花ちゃん東日本応援Project 実行委員会委員長 村瀬　正臣 |
| 田辺家　福島家　いとこ会代表　田辺　晃久 | 藤本　文義 |
| 渡辺内科クリニック'院長　渡辺伸明 | 特定非営利活動法人　Hands　On　Tokyo |
| 土肥　圭一 | 特定非営利活動法人　気象キャスターネットワーク |
| 相洋産業株式会社納涼会実行委員会 代表取締役 内田　治光 | 特定非営利活動法人　日本古民家保存協会代表 瀧下嘉弘 |
| 東京西新井ライオンズクラブ会長　高橋　啓生 | 特定非営利法人ピースコミュニケーション研究所 |
| 東北地方太平洋沖地震チャリティトライアル参加者 | 特別養護老人ホーム金沢美浜ホームセンター長高野幸枝 |
| 藤　公雄 | |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 3/12 | 米沢市 | 毛布600枚、水、144本 |
| 3/12 | コカコーラ | 水1,800本 |
| 3/12 | 足立区 | アルファ米11,600食、水1,200本、毛布710枚 |
| 3/12 | 流山市 | アルファ米4,000食、水920本、毛布650枚 |
| 3/12 | 流山市 | アルファ米20,350食、クラッカー5,600食、携帯ポリ袋4,000枚 |
| 3/12 | 東京都 | 毛布2,880枚 |
| 3/12 | 上越市 | 水2,400本 |
| 3/12 | ヨークベニマル | 歯ブラシ266本、歯磨き粉108本、粉ミルク112缶 |
| 3/12 | ケーズデンキ | カイロ1,652個、乾電池1,616本、マスク5,770枚 |
| 3/12 | （個人） | カイロ368個、ポケットティッシュ300個、歯ブラシ90本 |
| 3/13 | 松沢新聞店 | ポケットティッシュ500個、ボックスティッシュ240箱、トイレットペーパー168ロール |
| 3/13 | 成田食品 | もやし　30,000食 |
| 3/13 | au | ポケットティッシュ300個、携帯充電器40器 |
| 3/13 | カワチ | 水240本 |
| 3/13 | ろうきん | タオル67枚 |
| 3/13 | サントリー | 水18,576本 |
| 3/13 | 南会津町 | カップ麺600食、ブルーシート71枚 |
| 3/13 | 旭電設 | タオル100枚 |
| 3/13 | ジャスコ相馬店 | カイロ2,400個、毛布500、水540本 |
| 3/13 | ヨークベニマル相馬店 | ウェットティッシュ32個 |
| 3/13 | 那須青年会議所 | 水360本 |
| 3/13 | 新潟県災害対策本部 | パン500個 |
| 3/13 | 小諸市 | アルファ米3,350食、水1,360本、クラッカー630食 |
| 3/14 | 墨田区 | 毛布4,590枚 |
| 3/14 | ABC福島 | おむつ（小人用）30袋、生理用品27枚 |
| 3/14 | 裾野市（静岡県） | 水3600ℓ、毛布100枚、米168kg、ブルーシート他 |
| 3/14 | 福島県市町村職員共済組合 | 水1,360本、タオル400枚 |
| 3/14 | ジャスコ相馬店 | 粉ミルク139缶、レインコート75着、軍手72組 |
| 3/14 | コメリ | ブルーシート30枚 |
| 3/14 | 日光市 | 毛布500枚 |
| 3/14 | 小諸市 | アルファ米1,500食、水616本、クラッカー70食 |
| 3/15 | （個人） | マスク3,600枚、乾電池660本、トイレットペーパー312ロール |
| 3/15 | 池野産業 | 水120本、インスタントラーメン300食 |
| 3/15 | 米山商店 | レインコート143着、ラップ60本 |
| 3/15 | ジャスコ相馬店 | 歯ブラシ730本、歯磨き粉220本、ラップ46本 |
| 3/15 | ホテル飛天 | 歯ブラシ264本 |
| 3/15 | セブンイレブン | 歯ブラシ57本、歯磨き粉18本 |
| 3/15 | （株）伸東運輸 | 水108,480本 |
| 3/15 | 片品村 | 水100本 |
| 3/15 | ベル少額短期保険（株） | タオル2,000枚、カップ麺200食、パン100食 |
| 3/15 | 裾野市 | 水7,200本、ブルーシート280枚、乾電池720個 |
| 3/15 | 稲城市消防本部 | 毛布20枚 |
| 3/15 | 流山市 | マスク2,000枚、水216本 |
| 3/15 | 滑川市 | アルファ米1,400食、カイロ2,400個、アルコール消毒液120個 |
| 3/16 | （個人） | タオル1,000枚、毛布100枚、マスク100枚 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 3/16 | 諏訪市 | 水2,000本、マスク5,000枚、ボックスティッシュ1,000箱 |
| 3/16 | IHI | 毛布1,820枚、 |
| 3/16 | 流山市 | 水2,424本、ブルーシート72枚、アルファ米128食 |
| 3/16 | 吉岡町・大樹町 | パン1,920食、マスク10,000枚、乾電池1,600個 |
| 3/16 | 須崎市 | タオル8,000枚、カップ麺2,000食、ポケットティッシュ3,000個 |
| 3/16 | アサヒビルメンテナンス | トイレットペーパー960ロール |
| 3/16 | ジャスコ相馬店 | おむつ81袋、石鹸200個、紙コップ、割り箸2525膳　他 |
| 3/16 | ABC福島 | ウェットティッシュ131、お尻拭き87、懐中電灯　他 |
| 3/16 | 中村神社 | カイロ289個、生理用品200袋、紙コップ146個 |
| 3/16 | （有）今野畜産 | 豚肉2,000kg、牛肉1,000kg、その他肉500kg |
| 3/16 | 茨城県薬剤師会 | 薬品（詳細不明） |
| 3/17 | 小諸市 | 水7,200本、マスク2,400枚、タオル2,002枚 |
| 3/17 | 流山市 | 衣類（古着等）4,500着、トイレットペーパー200ロール |
| 3/17 | 滑川市 | 衣類265着、下着1100着、ボックスティッシュ400、米480kg　他 |
| 3/17 | （個人） | タオル1,000枚、長靴2、歯ブラシ50 |
| 3/17 | ジャスコ相馬店 | ごみ袋32,700枚 |
| 3/17 | 横浜市 | アルファ米900食、水14,400本 |
| 3/17 | ㈱IHI | トイレットペーパー5,760ロール、ボックスティッシュ2,700箱、毛布750枚 |
| 3/17 | アデカ | タオル1,000枚、毛布100枚 |
| 3/17 | 河淳㈱ | スリッパ4,000足、タオル4,400枚 |
| 3/17 | ㈱フジタ東北支店 | カラーコーン、バー100セット |
| 3/17 | 福島県災害対策本部 | 土のう袋5,000枚 |
| 3/17 | あらき産婦人科 | 赤ちゃん用おくるみ200枚、歯ブラシ300本 |
| 3/17 | ひまわりの家 | 古着等500着、毛布100 |
| 3/17 | 国際石油開発帝石㈱ | ブルーシート1000枚、トイレットペーパー1,440ロール、ごみ袋3,500枚 |
| 3/17 | 白河市 | 冷凍ごはん39,000食 |
| 3/17 | 福島県災害対策本部 | パン4,078食、水4,078本、毛布250枚 |
| 3/18 | 笛吹市・同社協・旅館組合 | アルファ米5,000、お米900kg、おむつ（大人用）1,119袋 |
| 3/18 | 小諸市・観光協会 | マスク3,540枚、ポケットティッシュ2,000個、缶詰110缶 |
| 3/18 | 国土交通省 | 水12,000本 |
| 3/18 | 大阪府泉州7市3町 | マスク189,000枚、アルファ米3,500食、パン6,000食 |
| 3/18 | 流山市 | カイロ300個、マスク3,000枚、レインコート100着 |
| 3/18 | かっぱ寿司 | お米216kg |
| 3/18 | 相馬市ガス | ガスコンロ160台、ガスボンベ3,000本 |
| 3/18 | 静岡ボランティアセンター | 毛布10,000枚 |
| 3/18 | 自民党群馬支部 | お米2,725kg、下着等300着、古着300着 |
| 3/18 | ジャスコ相馬店 | うがい薬100個、かぜ薬100個、ガスボンベ30台 |
| 3/18 | ヤクルト | 飲料48,090本 |
| 3/18 | 福島市 | パン5,000食 |
| 3/18 | 河淳（株）日光 | バスタオル7,730枚、靴下642足 |
| 3/18 | 能登町 | 水2,400本、毛布1,000枚 |
| 3/18 | 日本プライス | お米7,000kg |
| 3/19 | ビックパン㈱ | 毛布140枚、布団類26枚 |
| 3/19 | 大野市 | お米5,000kg、缶詰700個、衣類5,100着 |
| 3/19 | 河南町 | お米450kg、毛布200枚、おしりふき200袋 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 3/19 | 茂木町 | お米805kg、毛布2,000枚、おむつ（小人用）200袋 |
| 3/19 | 伊東ハム | ミートボール60,000個 |
| 3/19 | 国際石油開発 | おむつ（大人用）2,704袋、ガスコンロ56台、ガスボンベ528本 |
| 3/19 | 佐藤　和明 | 水450ℓ、カップ麺120食 |
| 3/19 | 東北三之橋 | トイレットペーパー108ロール、水120本 |
| 3/19 | 大樹町　他 | バスタオル1,190枚、マスク11,950枚、水1,812本 |
| 3/19 | ㈱ニトリ | 布団類420枚、毛布420枚 |
| 3/19 | 福島県災害対策本部 | おむつ（小人用・大人用）600袋、おしりふき7,000個、トイレットペーパー1,000ロール |
| 3/19 | 裾野市 | アルファ米11,000食、缶詰600個 |
| 3/19 | 能登町 | 毛布1,000枚、水2,400本 |
| 3/19 | 小国町 | お米650kg、毛布300枚 |
| 3/19 | 帝北ロジスティックス | カップ麺4,000食、割り箸4,000膳 |
| 3/19 | 諏訪市 | お米180kg、カップ麺310食、紙皿・紙コップ各350個 |
| 3/19 | 農林水産省 | 水14,004本 |
| 3/19 | 京丹後市 | お米1,040kg、歯ブラシ1,666本、バスタオル2,841枚 |
| 3/19 | 豊頃町 | カイロ2,400個、おむつ（大人用）300袋、毛布・布団類各150枚 |
| 3/19 | 農林水産省 | お米5,000kg |
| 3/19 | （個人） | カップ麺120食、水300本、生理用品100袋 |
| 3/19 | ㈱フジタ | レミファルト300袋 |
| 3/19 | 龍ヶ崎市 | アルファ米1,000食、お米660kg、クラッカー1,000食 |
| 3/19 | 滑川市 | お米5,500kg、バスタオル7,100枚、下着160着 |
| 3/19 | 日光市 | お米430kg、バスタオル1,500枚、おむつ（大人用）240袋 |
| 3/19 | 福島市生協 | 飲料水1,350本、その他食材1,225個 |
| 3/19 | 男鹿市 | お米140kg、缶詰1,002缶、下着等773着 |
| 3/19 | NPO | レトルト食品3,600食、カップ麺500食、古着等1,000着 |
| 3/20 | 高山市 | お米1,000kg、衣類1,000着、バスタオル1,000枚 |
| 3/20 | たちあがれ日本 | マスク20,000枚、防寒着150着、おむつ（大人用）228袋 |
| 3/20 | 福島県災害対策本部 | 衣類500着、下着等4,000着、カップ麺700 |
| 3/20 | NPO難民を助ける会 | 下着等4,000着、衣類500着、カップ麺700食 |
| 3/20 | 国土交通省 | お米2,000kg、アルファ米1,296食、レトルト食品14,100食 |
| 3/20 | 酒田市 | お米360kg、レトルト食品1,300食、トイレットペーパー960ロール |
| 3/20 | つくば市 | アルファ米1,080食、お米450kg、トイレットペーパー1,920ロール |
| 3/20 | 民主党議員連盟 | カイロ2,400個、下着500着、防寒着200着 |
| 3/20 | NPOみんなの居場所 | お米200kg |
| 3/20 | 匿名希望 | マスク16,000枚、生理用品20袋、おしりふき15袋 |
| 3/20 | 石川県薬剤師会 | かぜ薬110箱、胃腸薬20箱、うがい薬10本 |
| 3/20 | 我孫子市 | サバイバルフーズ30,000食 |
| 3/20 | 敦賀市 | お米1,800kg、サバイバルフーズ2,800食、おむつ（小人・大人）各2,250袋 |
| 3/21 | 足立区 | LPガスボンベ56本 |
| 3/21 | 信濃ナウマンズ | リンゴ3箱、オレンジ3箱、お菓子　他 |
| 3/21 | 匿名希望 | お米6,000kg |
| 3/21 | 自衛隊 | 缶詰2,000個、レトルト食品4,200個 |
| 3/22 | 茂木町 | お米300kg |
| 3/22 | ジャスコ相馬店 | 石鹸191個 |
| 3/22 | NIPPO | かぜ薬20箱、割り箸1,000膳、カップ麺、缶詰　他 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 3/22 | ライオンズクラブ国際協会 | 衣類100着、マスク1,000枚、カップ麺7,000食　他 |
| 3/22 | ビッグバン | 衣類、軍手、布団類　他 |
| 3/22 | 住友生命 | はらまタオル8,000枚、マスク1,000枚　他 |
| 3/22 | 法華宗 | かぜ薬、下着類、タオル、食品　他 |
| 3/22 | 日本土木工業工業協会 | 米450kg、カップ麺1,160食、水1,320ℓ　他 |
| 3/22 | 西条市 | お米2,047kg、カップ麺2,913食、飲料水等4,034本、紙おむつ8,055枚 |
| 3/22 | 橿原町 | お米4,500kg、お茶1,200本、軍手5,500組 |
| 3/22 | 加古川市 | ふとん100セット、缶詰4,056缶、ふりかけ2,740袋 |
| 3/23 | 流山市 | 衣類1200、ウエットティシュ3500、タオル1500、トイレットペーパー1800ほか |
| 3/23 | アルプス電気 | 衣類、カイロ、歯ブラシ、マスク、乾麺、クスリ他 |
| 3/23 | 大阪 | 水7200本 |
| 3/23 | NPO法人星 | レトルト食品数種類 |
| 3/23 | 福島県災害対策本部 | 長くつ300足、缶詰他 |
| 3/23 | 平野農園 | 梅干し　50,000個 |
| 3/23 | 帝北ﾛｼﾞｽﾃｨｯｸ | 粉ミルク、水 |
| 3/23 | 那須烏山市 | 米780kg、ブルーシート100枚、うどん70箱 |
| 3/23 | 伊達市 | 米、パン、野菜類 |
| 3/23 | 筑西市 | 米2.4t、水6,000ℓ |
| 3/23 | 紀ノ川市 | 缶詰1500個 |
| 3/23 | 株式会社フードマン | 冷凍お好み焼き10000食、マヨネーズ、ソースなど |
| 3/23 | 真岡市 | カイロ400枚、タオル2500枚、トイレットペーパー936個、米840Kgほか |
| 3/23 | 菓匠三全 | 萩の月10050箱 |
| 3/23 | 米沢市農業委員会 | 下着、タオル、毛布35枚、缶詰、レトルト食品他 |
| 3/23 | 米沢市 | シーツ、ふとん類700枚、米1350Kg |
| 3/23 | 大宮 | トイレットペーパー |
| 3/23 | 御殿場市 | 紙おむつ1300袋、カイロ720枚、タオル37500枚、カップめん1532食、水30000本ほか |
| 3/24 | ㈱IHI相馬事業所 | 紙おむつ、シーツ、タオル、ブルーシート、粉ミルク |
| 3/24 | 流山市 | オムツ、生理用品、歯ブラシ、米、粉ミルク、水 |
| 3/24 | メーシ福島 | 紙コップ、紙皿、トイレットペーパー、ﾎﾟｹｯﾄﾃｨｼｭｰ、米、パン、水 |
| 3/24 | （社）日本道路建設業協会 | 水1324L、乾電池3400個、生理用品8200個、小児用オムツ8294枚、インスタント味噌汁7200袋他 |
| 3/24 | 中津川市 | 米1200Kg、離乳食260食、毛布100箱、紙おむつ164箱など |
| 3/24 | 十津川村 | 米866Kg、水18箱、毛布ほか食料品生活用品多数 |
| 3/24 | つくばみらい市商工会青年部 | 米、衣類、水ほか |
| 3/24 | ㈱クオーレ | 米399袋 |
| 3/24 | 鹿児島市 | 缶詰246ケース、毛布100ケース |
| 3/24 | 川添　隆司 | 衛生用品、ミルク、米45Kg |
| 3/24 | 日本土木工業協会東北支部 | 水、お茶1000本、味噌汁2131食ほか食料品 |
| 3/24 | 取手市商工会青年部 | 衣料、水、食品、マスク、おむつほか |
| 3/24 | 福島県災害対策本部 | 石鹸4箱 |
| 3/24 | 福島県災害対策本部 | 米23トン |
| 3/24 | 軽井沢町 | 日用品 |
| 3/24 | 軽井沢GC | 日用品 |
| 3/24 | NHK福島放送局 | 小型ラジオ100台 |
| 3/24 | 冬柴事務所 | 梅干し |
| 3/24 | 相馬家 | 灯油、カップめん、衣類、骨壷95、木箱83ほか多数 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名(敬称省略) | いただいた救援物資(主なもの) |
|---|---|---|
| 3/24 | 飯塚市 | 日用品 |
| 3/24 | 相馬救援隊 | 水600L、米2.5トン、バナナ20ケース、スイーツ、食品40ケース、薬品など |
| 3/24 | 麻生事務所 | ドリンク、カップ麺、水　他 |
| 3/24 | 福島県 | 缶詰110箱、カップめん3000食、チョコレート3000食、カロリーメイト3000食 |
| 3/25 | 茂木町 | タオル30箱、毛布30箱、衣類30箱、日用品60箱、米300Kg、水 |
| 3/25 | 日本土木工業協会東北支部 | 水500ml228箱、2.0l×6本 15箱、お茶2.0l×6本 15箱、カップめん35箱、 |
| 3/25 | 浜田市 | カロリーメイト1020食、紙おむつ、消毒液　ほか |
| 3/25 | ㈱リコー | デジタルカメラ5台 |
| 3/25 | 筑西市 | 米15.8t、カップ麺660食、水214ℓ、毛布 |
| 3/25 | 豊岡市 | 水2.0L134箱、500ml36箱、缶詰41箱、カップめん124箱、米5.0トン他 |
| 3/25 | 大樹町　他 | 缶詰4788缶、カップめん2280食、食料品、野菜、下着他 |
| 3/25 | 福島県 | 梅干10Kg、ツナ缶3箱、お菓子100箱、おむつ60箱、他 |
| 3/25 | 八幡平市 | 米3.0トン、水500ml3000本、紳士肌着220枚、婦人肌着220枚、靴下440足、食品多数 |
| 3/25 | 福島県災害対策本部 | お菓子330箱、食料品600箱、菓子パン20箱 |
| 3/25 | 福島県土地家屋調査士会 | 粉ミルク42缶、オムツ2000枚、生理用品150袋、カップめん20箱 |
| 3/25 | 福島県災害対策本部 | ヨーグルト29000本、ヤクルト7938本 |
| 3/25 | 九州地方整備局 | 水20箱、ソフトドリンク10箱、カップめん100箱、生活用品5箱他 |
| 3/25 | 東日本コベルコ | トイレットペーパー52箱、カセットコンロ、ボンベ各3箱、ストーブ3台ほか |
| 3/25 | ワコール | 下着各種 |
| 3/25 | 文泉社 | ノート80冊、鉛筆300本、筆入れ50個　他 |
| 3/25 | 日光市 | 米1.5トン |
| 3/25 | アルプス電気角田工場 | オムツ大人用30袋、子供用30袋 |
| 3/25 | シブヤレックス | 下着男女、紙おむつ、カップめん、生理用品ほか |
| 3/25 | アサヒビール | 水500ml×24本　48ケース |
| 3/25 | NPO法人星 | 大人用オムツ120セット、子供用オムツ140セット、生理用品144セット、野菜ほか |
| 3/25 | 志士経営者倶楽部 | 男女下着900着 |
| 3/26 | 開成町 | 家庭用医薬品(ﾊﾞﾌｧﾘﾝA60錠　10箱、ﾉﾝﾌｨｰﾌﾞﾙ100錠　10箱、新ルルA180錠　10箱ほか) |
| 3/26 | 青木　寛文 | サバ缶10Kg |
| 3/26 | ㈱アイティアール | 衣類140Kg |
| 3/26 | 緑川　大樹 | お茶90Kg |
| 3/26 | ｷﾝｾｲﾏﾃｨｯｸ | 水20Lポリ袋40袋、炊飯器1台 |
| 3/26 | ダイソー | 女性用下着15,000枚 |
| 3/26 | アディダスジャパン | タオル、ﾚｯｸﾞｳｫｰﾏｰ　25箱 |
| 3/26 | 福島県災害対策本部 | 長くつ20足 |
| 3/26 | 鳥取市 | アルファ米500食、乾パン1280食 |
| 3/26 | 武井　康年 | 女性用下着 |
| 3/26 | 京丹後市 | 米、毛布、ラーメン、衣類 |
| 3/26 | 野州市 | 米2.1トン、カップめん72食、水2L6箱、500mL24箱、紙おむつ(小児用、大人用)44箱ほか |
| 3/26 | 福島県災害対策本部 | ｳｴｯﾄﾃｨｼｭ24個、紙皿600枚、ｶｾｯﾄｺﾝﾛ20台、ﾎﾞﾝﾍﾞ60本 |
| 3/26 | 横手市 | 米2.0トン、カップラーメン215食、漬物200個、焼きそば215食、梅干370個ほか |
| 3/26 | 恵那市 | 米0.5トン、アルファ米3350食、小児用紙おむつ438個、マスク60000枚ほか |
| 3/26 | 瑞浪市 | 米1.29トン、風邪薬1200錠、ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ4箱、ﾚﾄﾙﾄｶﾚｰ100食ほか |
| 3/26 | 豊頃町 | 米2.0トン、缶詰2000個、布団セット100組 |
| 3/26 | 会津若松市 | ﾚﾄﾙﾄｶﾚｰ3000食 |
| 3/26 | 自治労福島県本部 | ｶｯﾌﾟﾒﾝ、レトルト食品、ｼﾞｭｰｽ、菓子類 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 3/27 | 塚本　侃（熊本市） | 缶詰3箱 |
| 3/27 | 久保田産婦人科麻酔病院 | 医薬品、マスク、使い捨てカイロ、タオル　ほか |
| 3/27 | 矢内（川崎市） | 乳児用お菓子（ミルクボーロ）180袋 |
| 3/27 | アート引越センター | ウェットティッシュ、使い捨てカイロ　ほか |
| 3/27 | シキボウ株式会社 | 男性下着（半袖U首100枚、トランクス100枚） |
| 3/27 | 流山市 | 食料品（カップメン、調味料、お菓子など）、水107L、衛生用品、寝具、台所用品ほか多数 |
| 3/27 | 大和市 | タオル13600枚、トイレットペーパー6000ロール、紙おむつ17000枚、ゴミ袋12400枚、マスク58000枚ほか |
| 3/27 | 南城市 | 粉ミルク25箱、トイレットペーパー1002箱、生理用品54箱、食品、サーターアンダギー1.3万個ほか |
| 3/27 | 福島県災害対策本部 | パン385ケース、胴長40着、バスタオル10箱、生活用品、食料品ほか |
| 3/27 | 西条市 | カップメン723食、缶詰126食、梅干590パック、生活用品、布団109枚、シーツ75枚、衣類ほか |
| 3/27 | 我孫子市 | 缶詰530食、レトルトカレー4450食、カップメン210食、水320本（各サイズ）、布団セット55セットほか |
| 3/27 | 福島県災害対策本部 | カップメン3240食、梅干1樽、お菓子、牛乳1080本、レトルト食品570個 |
| 3/27 | 石垣島お母さんグループ | 衣類（3トントラック） |
| 3/27 | 関根エンタープライズ | 水256ケース（3072L）食品多数、生活必需品ほか |
| 3/27 | ホクレン | 玉ねぎ（20Kg）200箱 |
| 3/27 | JR東日本水戸支社 | カップメン120食、ドリンク100本、ジュース180本、マスク10000枚 |
| 3/28 | 福島県災害対策本部 | 野菜ジュース9600本、コーンフレーク40箱、焼き鳥165箱、スープでおこげ500箱ほか |
| 3/28 | 「夢・エール」上野剛 | 米300Kg、飲物10箱、水10箱、缶詰4箱、カップメン3箱ほか |
| 3/28 | セコム㈱ | うがい薬800ml 24個、サージカルマスク（50入）1776個、立体マスク（7入）1728個ほか |
| 3/28 | 日本土木工業協会東北支部 | 米450Kg、水2238L、カップメン（12入）34箱ほか |
| 3/28 | 豊岡市 | 水465L、缶詰2400食、カップメン5292食、米30Kg、生活用品ほか |
| 3/28 | 福島県災害対策本部 | カップメン（12入）500箱、カロリーメイト（30個）100箱、牛乳（1L×12本）125箱、赤カブ酢漬け（10Kg）10箱 |
| 3/28 | 福島県災害対策本部 | 米菓（10袋入）300箱、焼き鳥缶詰（24缶入）250箱、レトルトカレー（20入）150箱 |
| 3/28 | 伊達市 | りんご1.3トン、ねぎ（20束）21箱、しいたけ（15袋入）14箱ほか |
| 3/28 | 松井奈緒 | 男女セーター・上着・防寒衣46着、子ども服ほか |
| 3/29 | JR東日本水戸支社 | ライス 40食入3箱、カップメン444食、缶詰144食、トイレットペーパー 60個入8箱ほか |
| 3/29 | 福島県市町村職員共済組合 | ドリンク100本、家庭用27種　他 |
| 3/29 | 掛川市 | 米7.4トン、食料品9箱、葛湯10箱、お茶101箱、水348L、マスク31000枚、衣類10箱ほか |
| 3/29 | 秋田市 | 米2.0トン、ほうれん草（5Kg）60ケース、しいたけ（3Kg）20ケース |
| 3/29 | アメリカ軍 | 水25830L |
| 3/29 | ㈱二丸屋 山口商店 | 水300L、下着、カップメン、お菓子、レトルトカレー |
| 3/29 | 増井啓太 | カロリーメイト60食 |
| 3/29 | 桜川市職員互助会 | 米3.7トン、タオル7500枚、バスタオル117枚、子供服6箱、救急セット2箱ほか |
| 3/29 | ホクレン | 馬鈴薯（10Kg）200箱、玉ねぎ（20Kg）100箱 |
| 3/29 | 釧路市 | 水6000L、カップメン300食、消毒液（8Kg）11箱、紙おむつ（大人用）8箱、（子供用）3箱ほか |
| 3/29 | 室蘭建設業協会 | ソーセージ440個、ハム70個、缶詰166食、梅干96個、トイレットペーパー2544ロールほか |
| 3/29 | 北海道港湾空港建設協会 | ソーセージ600個、ハム100個、缶詰144食、水3600L、トイレットペーパー3840ロールほか |
| 3/29 | 阿部精肉店 | 豚肉20kg |
| 3/29 | 室蘭市 | 水4800L |
| 3/29 | 釧路からの船からの支援 | 電子レンジ12台、ポット4台、炊飯器2台、畳50枚、米60Kgほか |
| 3/30 | 日本郵便東北支社 | 軍手960双 |
| 3/30 | 真木進学＆英会話スクール | 鉛筆16ダース、消しゴム（30入）4箱、ノート（20冊）6包、レッスンバッグ（12入）5袋 |
| 3/30 | 福島県災害対策本部 | フルーツ缶詰5000缶 |
| 3/30 | 冬柴事務所 | 梅干し |
| 3/30 | 裾野市 | 米6.03トン、缶詰5502個、カップメン6957食、下着一式 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 3/30 | 福島ヤクルト販売 | レトルトカレー55箱、レトルトライス55箱、紙皿（2種）22箱、湯たんぽ1.8,3.0各19箱ほか |
| 3/30 | 福島中央テレビ | 水120L、ご飯80個、カレー30個、サンマ缶詰180個、カップウドン36食 |
| 3/30 | 神川町 | 米0.45トン、水1312L、作業服（上）56、（下）11、下着（男性）98、靴下（男女子供）520ほか |
| 3/30 | 静岡総合法律事務所 葦名アキ | 缶詰2箱 |
| 3/30 | きつかわ共同法律事務所 | 缶詰9箱 |
| 3/30 | あすなろ法律事務所 岩本 | 缶詰1箱 |
| 3/30 | ㈱ニッキ及び社員一同 | 衣類等 |
| 3/30 | 小国町 | 米1.0トン、水2200L、トイレットペーパー10000個、ティッシュペーパー3000個、タオル4000枚ほか |
| 3/30 | 小西　浩一 | 飲物、レトルト食品、缶詰、ティッシュペーパーほか |
| 3/30 | 相馬救援隊NPO小さなありの手 | 生活用品、食料品、衣類等 |
| 3/30 | ㈱シーボーン・ジャパン | レトルト食品15箱 |
| 3/30 | 総務省東北総合通信局 | 携帯用ラジオ100台 |
| 3/30 | 徳之島三町（徳之島町、伊仙町、天城町） | 馬鈴薯4トン |
| 3/30 | 福島県災害対策本部 | 医薬品（ドリンク 58個、セノール 41個、ふうねつ 58個） |
| 3/30 | 福島県災害対策本部 | 卵スープ（6食入）20箱、海草スープ（600袋）6箱、コーンビーフ缶詰（120入）13箱ほか |
| 3/30 | 第一三共ヘルスケア㈱ | 風邪薬3箱 |
| 3/30 | 宿毛市 | 水1928L、Tシャツ1000枚、カップメン865食、粉ミルク43缶、大人子供用下着（各サイズ）1654枚ほか |
| 3/30 | 安芸市 | 水2256L、米0.4トン、スポーツ飲料（500mL)591本ほか |
| 3/30 | 南国市 | 水1200L、米0.2トンほか |
| 3/31 | 原沢製薬工業㈱ | 除菌ジェル（12入×2）5箱 |
| 3/31 | 大台町 | 米1.8トン、だいこん300Kg、キャベツ300Kg、きゅうり50Kg、トマト40Kg、玉ねぎ600Kgほか |
| 3/31 | 東秩父村 | 水1200L |
| 3/31 | 山梨県笛吹市 | 水732L、アルファ米1540食、白かゆ150食、トイレットペーパー30箱、ミルク（4入）8箱ほか |
| 3/31 | 橿原市 | 缶詰1530缶、まぐろ・鮭フレーク600缶、肌着（男女各種）2130枚、米3.0トン、ふとん50組ほか |
| 3/31 | 福島県災害対策本部 | カイロ10箱、トイレットペーパー（100入）2箱、ハンドソープ5箱、アルコール除菌液（12入）2箱、ウェットティシュ（24入）10箱 |
| 3/31 | 彩長旭（八王子市） | 洋服4箱、ふとん、靴下、ティッシュペーパー、トイレットペーパー |
| 3/31 | 平 学（二本松市） | 女性、子供の衣類 |
| 3/31 | 流山市 | 水、ジュース、お茶、カップメン、米、缶詰、ランドセル、ポリタンク、食器ほか |
| 3/31 | 福島綜合警備保障㈱ | マスク1500枚 |
| 4/1 | 流山市 | 日用品、ランドセル、生活雑貨 |
| 4/1 | 真木進学＆英会話スクール | 色鉛筆　ほか |
| 4/1 | ㈱オオタ事務機 | ノート480冊 |
| 4/1 | JC青年会議所 | カップメン、米、水、衣類 |
| 4/1 | マルコメ㈱ | 即席味噌汁5000食、生味噌473Kg |
| 4/1 | シダックス | カレー2,400食 |
| 4/1 | 豊頃町 | 米3.0トン、寝具、紙おむつ |
| 4/1 | 福島県災害対策本部 | 寝具50セット |
| 4/1 | 相馬救援隊 | 洋服22㎥、食料品8㎥、日用品25㎥、ベビー用品5㎥、ペットフード2㎥、ドリンク200本 |
| 4/1 | パールライン福島 | 長いも（10Kg）90箱、玉ねぎ（20Kg)280箱 |
| 4/1 | 大牟田市 | シャンプー・リンス各180本、ティッシュペパー（5入)240パック、トイレットペーパー（18入）180パックほか |
| 4/1 | 福島県災害対策本部 | T字カミソリ400個 |
| 4/1 | 日光市 | 米0.9トン、ウーロン茶（2L）48本、うどん・そうめん・311束、インスタントラーメン348食、菓子ほか |
| 4/1 | 偕和会 | みそ、しょうゆ、衣類 |
| 4/1 | 矢吹町 | 米120Kg、カップメン10箱 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 4/1 | 喜多方市 | 米2.25トン、水1200L |
| 4/1 | 福島県災害対策本部 | 生活用品 |
| 4/2 | NGO法人サイド・バイ・サイドインターナショナル | 毛布33袋、生理食塩水（30入）186箱、レトルト食品ほか |
| 4/2 | 埼玉県 | 米40箱、水2676L、カップメン、お菓子、缶詰の混載 30箱、粉ミルク12箱 |
| 4/2 | カレントジャパン | 保存食品、紙おむつ、チェーンソー　ほか |
| 4/2 | グリーンコープ連合 | 水2500L |
| 4/2 | 遍照寺・徳恩寺（横浜市） | マイクロフリース28箱、下着30箱 |
| 4/2 | 竜ヶ崎青年会議所 | 水72L、米60Kg、生活用品 |
| 4/2 | メガネの半谷 | 老眼鏡70ヶ |
| 4/2 | 惜和會東北事務所 | 下着2箱、生理用品1箱、シャツ1箱、ジャガイモ1箱、靴下1箱 |
| 4/2 | サイダスファーマ㈱ | パウチパック（300入）6箱 |
| 4/2 | NPO　ZEPHYR. Com | 水624L、トイレットペーパー12箱、毛布16箱ほか |
| 4/2 | ㈱浅沼組北陸営業所 | 水48L |
| 4/2 | 齋藤尚彦（裾野市） | 水36L、ポリタンク（5L）10ヶ |
| 4/2 | ㈱ワールド | 保温性下着162枚 |
| 4/2 | 埼玉県朝霞市商工会 | 缶詰600個 |
| 4/2 | 長野県茅野商工会議所青年部 | りんご7箱、玉ねぎ3箱、漬物1箱、人参7箱、しょうゆ1箱、みそ20箱ほか |
| 4/2 | 会津若松商工会議所青年部 | 子供用本、玩具、菓子、カップメン、子供服、ほか |
| 4/2 | 山和建設㈱ | カップメン120食、缶詰3箱、餅1箱、水60L |
| 4/2 | ㈱興伸 | 下着1520枚 |
| 4/3 | 西条市 | おしりふき（12入）46箱、粉ミルク22缶、カップメン688食、ふとん3箱、水840L、梅干（80入）43箱ほか |
| 4/3 | ICA文化事業協会（NPO） | 空気清浄機20台、暖房機80台 |
| 4/3 | 中央石油販売事業協同組合 | 軽油3kl、日用品 |
| 4/3 | 京都南の風同志会 | レインコート5ケース、ハンドジェル（300ml×20入）5箱、歯ブラシ（120入）5箱、数珠200ヶほか |
| 4/3 | 福島県災害対策本部 | ヒートテック2箱、婦人下着10箱、衣類（婦人・紳士）10入51箱ほか |
| 4/3 | ㈱パソナパソナ福島 | 米50Kg、水96L、カップメン8箱、レトルト食品2箱 |
| 4/3 | 山崎 旬（八王子市） | 缶詰3箱、レトルト食品2箱、カップメン9箱ほか |
| 4/3 | 福島病院 | お菓子2箱、飲物2箱、ベビーハム27個、缶詰31缶ほか |
| 4/3 | 伊藤 啓一（郡山市） | ティッシュペーパー4パック、ぬいぐるみ4つ |
| 4/3 | 有限会社タカクニ（協力メーカー 福島ヨット服） | Tシャツ220着、ハーフパンツ400着、トレシャツ60着、トレパン200着 |
| 4/3 | ㈱ミシロ境港支店 | 米120Kg、ホッカイロ2箱 |
| 4/3 | 長野県信濃町 | 電気コタツ10台、米450Kg、水180L、お菓子5箱ほか |
| 4/3 | 日本先端科学研究所 | 衣類4箱 |
| 4/3 | ㈱アントワークス | カップメン20箱、米1470Kg、クッキー（12入）28箱、クラッカー（12入）16箱、水1236L |
| 4/3 | イオン（東北RDC） | 子供歯ブラシ600本、歯磨き粉200ピース、サランラップ300ピースほか |
| 4/4 | 羽島市 | 米9500kg |
| 4/4 | 姉崎商運（株） | 梅干１００パック |
| 4/4 | （株）たらみ | ゼリー416箱 |
| 4/4 | （株）プレマスペース | ラスク4箱 |
| 4/4 | 東北支援・中野 | ランドセル５０個、絵本１３箱、ノート９箱、文房具９箱、おもちゃ２箱、石鹸３箱、スニーカー２箱ほか |
| 4/4 | 譲矢　久成 | 飲料水５箱、お菓子２箱、レトルト３箱、缶詰３箱、おむつ３箱、おしりふき２箱 |
| 4/4 | 今山住建（株） | 米120kg、レトルトカレー１０２０個、ウーロン茶等５７６本、ティッシュ５６０箱、ポケットティシュ９６０個 |
| 4/4 | 平澤　隆 | 子供の古着、文房具 |
| 4/4 | 第一物流 | おでん９ケース、味噌汁１５ケース、石鹸２箱、靴１箱 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名(敬称省略) | いただいた救援物資(主なもの) |
|---|---|---|
| 4/4 | みちのくボランティアプロジェクト | 米100kg、じゃがいも1箱、水20L、お茶30ケース |
| 4/4 | ハクゾウメディカル | ハンドソープ14箱 |
| 4/4 | コープふくしま | 毛布、古着 |
| 4/4 | 川上事務所 | 米、缶詰、使い捨てカイロ　他 |
| 4/4 | 福島県災害対策本部 | カップメン6000食、　トンガリコーン6000食 |
| 4/4 | 資生堂販売(株)福島支店 | 水2L800個、ご飯類1450個、インスタントラーメン1600個、缶詰300個、お茶200個 |
| 4/4 | 多治見市 | 多治見あられ12箱 |
| 4/4 | 匿名希望 | Tシャツ(男)364枚、男女下着786枚 |
| 4/5 | 三菱電機福島支店 | 味噌汁16箱、おでん5箱、レトルトカレー10箱、ウエットティッシュ9箱 |
| 4/5 | 国土交通省 | 水(1.5ℓ)1448本、レトルトごはん20箱、缶詰20箱、スープ20箱、カップメン50箱 |
| 4/5 | ベネズエラ国(外務省経由) | ツナ缶4368缶、イワシ缶5000缶 |
| 4/5 | 樋高事務所 | フットサルボール、バレーボール　他 |
| 4/5 | 山口工房 | 水110本、米30kg1袋・10kg3袋、お茶216本、マスク1700枚、トイレットペーパー200ロールほか |
| 4/5 | カワチ相馬店 | 水500ml864本、2ℓ174本 |
| 4/5 | 福島県災害対策本部 | ドライシャンプー3ケ入れ12個 |
| 4/5 | シダックス | 水1200本、缶詰3500食、カップラーメン |
| 4/5 | コープふくしま | 水23箱、毛布56箱 |
| 4/5 | レインボータウンエフエム放送(株) | ブルーシート37枚、マスク1600枚、軍手1500枚、雑巾500枚、土嚢用袋400枚ほか |
| 4/6 | 男鹿市・秋田みなみ農協 | 米500kg、男女下着1437枚、子供下着51枚、男女靴下160足、子供靴下5足、タオル類1223枚 |
| 4/6 | 米原市 | 米5.6t、水(1,500ml)500、本(500ml)1700本、掛け布団1000枚、缶詰1000個　ほか |
| 4/6 | 須崎市ほか(個人70、法人8、団体7) | ランドセル19個、寝具108個、粉ミルク49個、紙おむつ119個、保存食45箱　ほか |
| 4/6 | ナチュラルコープヨコハマ | 薬37個、マスク4箱、缶詰33缶、ほか |
| 4/6 | エイトマン | トイレットペーパー396個、カセットボンベ144個、カセットコンロ6台　ほか |
| 4/6 | 流山市 | ランドセル334個、カップめん11箱、おむつ27箱、文具78箱　ほか |
| 4/6 | 日東タオル | タオル200枚 |
| 4/6 | 東部産業株式会社自動車部 | 消防ゴム長靴33足 |
| 4/6 | ヤマトインターナショナル(株) | 男女用Tシャツ89着 |
| 4/6 | NPO法人小さなアリの手相馬救援隊 | カイロ5箱、ぬいぐるみ5箱、子供くつ1箱、タオル2箱、古着83箱+36袋 |
| 4/6 | (株)きんでん | 生理用品4箱、おむつ16パック、シャンプー3箱 |
| 4/6 | 仙台管区気象台 | 米350kg、カップ麺750個 |
| 4/6 | 外務省南部アジア部南東アジア第1課 | コート3箱、ブランケット4箱、セーター11箱、キルト布16箱 |
| 4/6 | 福島ミドリ安全(株) | マスク33000枚、消毒剤1560本、感染防止用手袋50000枚 |
| 4/6 | 台湾観光局 | 八宝粥缶詰240個、ウーロン茶240本、パイナップルケーキ240個、あげパン200個　ほか |
| 4/6 | 入谷法律事務所 | 肌着(大人用・子供用)883枚 |
| 4/6 | 尾張旭市 | 保存米350食、乾パン640食、クラッカー350食、トイレットペーパー500ロール、ブルーシート100枚 |
| 4/6 | 相馬ライオンズクラブ | ランドセル400個 |
| 4/7 | きんとぴ | ひやむぎ50ケース、そーめん50ケース、麺つゆ(1.8ℓ)96本 |
| 4/7 | 那須鳥山市 | 白米(30kg)140袋、せんべい50缶 |
| 4/7 | 出雲市、斐川町 | カップ麺1364個、缶詰58缶、トイレットペーパー137ロール、野菜(じゃがいも・人参等)　ほか |
| 4/7 | ホープインターナショナル | ミネラルウオーター(236mℓ35本)1792ケース |
| 4/7 | 愛知県津島市 | 水(1.5ℓ)23本、(500mℓ18本入)1箱・(500mℓ24本入)15箱、1ℓ1本、(2ℓ6本入)104箱 |
| 4/7 | セブン＆ホールディングス・イトーヨーカ堂 | 衣類61箱 |
| 4/7 | 岐阜県恵那市 | 学生服6箱(80着) |
| 4/7 | 米子市 | トイレットペパー・衣類4箱 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 4/7 | 三本テキスタル | 靴下等2箱 |
| 4/7 | 相双地方災害対策本部 | パン2892個 |
| 4/7 | 小林　幸子 | 無洗米10t |
| 4/7 | UNWOMENさくら・NPO一冊の会 | 児童用図書・文房具・ぬいぐるみ |
| 4/7 | ㈱ドキュメンタリージャパン | 子供用絵本37冊、土嚢袋150枚 |
| 4/7 | 磐梯酒造（株） | 水（2ℓ6本入）45箱 |
| 4/7 | 八王子市内タクシー会社（八王子市協賛） | 古着3箱、電子レンジ1台、電気ストーブ1台 |
| 4/7 | （株）五輪 | チョコレート4箱 |
| 4/7 | 大牟田市 | 味付けのり3箱、ミックスナッツ4箱 |
| 4/7 | 上田商工会議所（東塩田商工振興会） | タオルケット3箱（30枚）、洗剤2箱（14個）タオル類5箱、米60kg、　ほか |
| 4/7 | 資生堂販売（株） | 袋ラーメン（5個入）12袋、　ほか |
| 4/7 | 追川　タカ子 | タオルケット10枚、バスタオル5枚、タオル50枚 |
| 4/7 | 山口工房 | 靴下（12足入）24ダース |
| 4/7 | 福島県災害対策本部 | 腹巻き10. |
| 4/8 | 四家　　裕（能登町） | 米（30kg）4袋 |
| 4/8 | 蓬田　和俊 | 冷蔵庫1台、電子レンジ1台、洗濯機1台 |
| 4/8 | 植農・里山再生ネットワーク | 米（30kg）11袋、お菓子（12個入）6箱、缶詰2箱、子供用菓子2箱 |
| 4/8 | 生活クラブ連合会 | ふ菓子9箱、ランドセル（女子用）5個 |
| 4/8 | 小池　孝明（名取市） | 水（500mℓ）284本、（2ℓ）120本、お茶（500mℓ）96本　ほか |
| 4/8 | 福島県災害対策本部 | ドライシャンプー（3ケ入れ12個）6箱 |
| 4/8 | 相馬ライオンズクラブ | 長靴600足 |
| 4/8 | 福島県災害対策本部 | ハンドソープ4箱、石油ストーブ1台、電気ポット4台、やかん20個 |
| 4/8 | 石田　法子（大阪市北区） | 缶詰（60個入）4箱 |
| 4/8 | 玉名市 | 水1644本、粉ミルク250缶、タオル2000枚、とまと100ケース |
| 4/8 | 輪島市 | 米1100kg、水1000ℓ、缶詰84個、土のう袋5000枚　ほか |
| 4/8 | 自民党災害本部 | ハンドジェル（24本入）750ケース |
| 4/8 | JA新潟、JA伊達みらい | 米（30kg）360袋 |
| 4/8 | 米沢市 | 水4t、ふとん25組、カッセトボンベ200本　外 |
| 4/8 | 野洲市 | 米6814kg、缶詰518個、カップメン430食　ほか |
| 4/8 | 伊達市 | 水（12ℓ）126箱、米（10kg）50袋、　ほか |
| 4/8 | 佐伯市 | 米（10kg）500袋、水417箱 |
| 4/8 | 福島県災害対策本部 | 米（30kg）34袋、パックごはん（200g×40個）500個、梅干し（12個入）257個 |
| 4/8 | 福島県災害対策本部 | 米（10kg）400袋、電気ポット2台、やかん2個、石油ストーブ1台　ほか |
| 4/8 | （宗）真如苑 | 水10箱、トイレットペーパー10箱　義援金300,000円 |
| 4/8 | （株）マブワールド | ブーツ（18足入）59箱 |
| 4/8 | 大牟田市 | シャンプー180個、リンス180個、石鹸1800個、味付けのり4000束　ほか |
| 4/8 | （株）テクノアップライズ | ウエットティシュ28個、ガスコンロ20台、ガスボンベ2箱、米60kg、　ほか |
| 4/8 | 山崎　ゆうき（木津川市） | 敷きパット2枚、軍手300本、タオル15枚、バーベキュコンロ1台　ほか |
| 4/8 | 落合　秀幸（市原市） | 学用品（ノート・ペンケース・下敷き　etc） |
| 4/8 | （株）河野 | 作業着 |
| 4/8 | （株）インヴェルジャパン | サポーター40個・アイマスク100個 |
| 4/9 | 天坂　晴美 | ふとん20枚、缶詰5個、古着19個、タオル1箱、　ほか |
| 4/9 | 福島中央市民医療生協 | 米（30kg）6袋、（10kg）26袋、醤油5本、味噌1樽　ほか |
| 4/9 | （株）ヒューモス | 米（30kg）10袋 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 4/9 | 秋月内科医院　秋月　健 | 半熟タマゴ900個 |
| 4/9 | 福島県災害対策本部 | アンパン2655個 |
| 4/9 | 齋藤　啓一 | 米（30kg）1袋 |
| 4/9 | 立正佼成会原町協会 | タオル300枚、紙コップ1000個、ウエットティッシュ38個 |
| 4/9 | 栗原　葉子 | 子供服95枚、ポロシャツ36枚、Tシャツ149枚　ほか |
| 4/9 | （株）日立戸塚 | マスク733箱、インフルエンザキッド110箱、消毒用アルコール（500mℓ）120箱 |
| 4/9 | Lee税理士事務所 | カップメン240個、水24ℓ、レトルト食品7個、お菓子8個 |
| 4/9 | 相馬青年会議所 | 紙おむつ39箱、トイレットペーパー（18ロール）4袋、粉ミルク60個 |
| 4/9 | エムソーラーシステム（株） | 水（500mℓ）1920本 |
| 4/9 | 珍田酒店 | 軍手40組、ゴム手袋35組 |
| 4/9 | 酒井　千春（玉野） | 冷蔵庫1台、洗濯機1台 |
| 4/9 | 齋藤　博英（いわき市） | 毛布　10枚 |
| 4/9 | 山下法律事務所（広島市） | 漬物10箱 |
| 4/9 | 鈴木　年子 | 子供用プラスチックプレート10枚、ピアニカ1個 |
| 4/9 | 柳沢事務所 | バナナ80房、パイナップル56個、デコポン200個、　ほか |
| 4/9 | 神尾　龍三（中野） | いちご16パック |
| 4/9 | 埼玉県トラック協会 | カップメン43箱、水372ℓ |
| 4/9 | ポープインターナショナル開発機構 | ミネラルウオーター（236mℓ35本）1792ケース |
| 4/9 | 広島リビング新聞社 | 缶詰3箱 |
| 4/9 | 三井住友海上埼玉自動車営業部 | カップ麺5箱、レトルトカレー3箱、米（5kg）4袋、水72ℓ |
| 4/9 | こうべ市民福祉振興会 | レトルトカレー250箱、上履き500足、肌着2500枚、靴下1200足　ほか |
| 4/9 | 白河市 | 米（10kg）5袋、（5kg）50袋、水2400ℓ、クラッカー40箱 |
| 4/9 | 西郷　進太郎（鎌倉市） | 米（30kg）6袋、タオルケット50枚　ほか |
| 4/9 | 真岡市 | 米（30kg）9袋、（15kg）2袋　、缶詰2箱 |
| 4/9 | 伊藤忠丸紅鉄鋼（株） | ふんわりごはん96個、缶詰2箱、カセットコンロ8台、カセットボンベ96本 |
| 4/9 | 齋藤　容久 | 水　衣類等 |
| 4/9 | 被災した子供たちを応援する母の会 | ランドセル194個　ほか |
| 4/9 | 立川　和彦（燕市） | マスク1箱、チッシュペーパー1箱　ほか |
| 4/9 | 喜多方市 | 白粥缶詰（24缶入）83箱、サケ缶（40個入）40箱、　ほか |
| 4/9 | さくら配送会 | フェイスタオル1200枚、バスタオル50枚、ハンドタオル300枚　ほか |
| 4/9 | 福島県災害対策本部 | ゴム手袋50組 |
| 4/9 | さくら市社会福祉協議会 | ごはん（50食）2箱、乾パン1箱 |
| 4/10 | 熊谷組 | 水（20ℓﾎﾟﾘﾀﾝｸ）6本、（18ℓﾎﾟﾘﾀﾝｸ）30本、軽油（20ℓ）9本 |
| 4/10 | ソフィア工房 | 掛けふとん7枚、毛布5枚、タオルケット2枚 |
| 4/10 | 銚子青年会議所 | 水63ℓ、米229kg、ティッシュペーパー（5個入）30個　ほか |
| 4/10 | 福島県災害対策本部 | パン80ケース、石油ストーブ21台、電気ポット7個 |
| 4/10 | 福島めばえ幼稚園 | 絵本8箱、オモチャ5箱、文具9箱、ハンドソープ12個　ほか |
| 4/10 | 大垣市 | カップメン457個、インスタントメン5424個、乾パン295個,　ほか |
| 4/10 | （株）大視 | 米500kg　（新）タオル4箱、（新）毛布1箱、（新）衣類5箱　ほか |
| 4/10 | 千吉良鈑金塗装 | 毛布7袋、カップメン17箱、ジュース9箱 |
| 4/10 | 堀江　志朗（大宮の医師） | カップメン4箱、サプリメント1箱、水1箱、ライト1 |
| 4/10 | 神山　嘉之 | 衣類（子供用2箱、男性用1箱、女性用1箱）、子供カバン1箱 |
| 4/10 | 偕和東北事務所（福島市） | 米（5kg）1袋、カッセトボンベ（54本入）2箱、ドリンク60本 |
| 4/10 | Lee税理士事務所 | ミネラルウオーター（2ℓ6本）10箱 |
| 4/10 | かずさスタイル推進協議会 | 女性用下着10,000点、ガスコンロ10台、ガスボンベ48本 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 4/10 | 伊藤ハム | ミートボール340箱 |
| 4/10 | 座間青年会議所 | 水（2ℓ）55本、ガスコンロ1台、ガスボンベ12本　ほか |
| 4/10 | 森　秀一（愛知県豊山市） | 灯油200ℓ、軽油200ℓ、ガソリン90ℓ　ほか |
| 4/10 | （有）日向 | 灯油（20ℓ）5缶、軽油（20ℓ）5缶、紙おむつ26,290個 |
| 4/10 | 流山市 | 台所洗剤200個、ウエットティッシュ120個　ほか |
| 4/10 | （有）四季の企画社 | カップメン180個、抹茶くず湯40個、　ほか |
| 4/10 | 佐藤　慶一（仙台市） | 米（30kg）1袋 |
| 4/10 | 錦町 | 水（500mℓ）48本、（2ℓ）18本、カップメン399個　ほか |
| 4/10 | 河合　正男（小山市） | 水（500mℓ24本入）4箱 |
| 4/10 | 可児ライオンズクラブ（岐阜県） | マスク（50枚入）200箱、缶詰24缶、サイダー240パック　ほか |
| 4/10 | 福島県災害対策本部 | 水20t |
| 4/11 | 安彦　紀昭（福島市） | 缶ジュース24個、水（2ℓ）3個、酒（2ℓ）3本　ほか |
| 4/11 | GSD | 空気清浄機 |
| 4/11 | （株）鈴木 | せんべい4缶 |
| 4/11 | 三原事務所 | スキンケア用品12箱、カップメン230個、　ほか |
| 4/11 | 平澤　みどり（相馬市） | 文房具1セット、　古着 |
| 4/11 | 佐久間　路子（福島市） | 玉子スープ200食、電池200本 |
| 4/11 | 国づくり人づくり財団（株）ｴｯﾎﾟｸﾓｱ | 水（1.5ℓ）2300本 |
| 4/11 | 流山市 | 米240kg、食品、オムツ　ほか |
| 4/11 | （株）boid | レトルト147個、粉ミルク5缶、米140kg　ほか |
| 4/11 | 浜通り農民連合 | 米（30kg）39袋、水（500mℓ30本、2ℓ15本、1ℓ12本）、カップメン276個 |
| 4/11 | 福島県相双対策本部 | 米（10kg）500袋、パックごはん5000食、　パン2601個 |
| 4/11 | 野畑　弘幸（知立市） | 高圧洗浄器1台、折りたたみ自転車2台 |
| 4/11 | 福島民友新聞社 | 膝かけ560枚、スポーツタオル1600枚 |
| 4/11 | 菅野　源太郎（梁川町） | 布団15枚、毛布15枚、タオル50枚、バスタオル50枚 |
| 4/11 | 菅野　里芳子（北飯淵） | ランドセル2個、服30着、ズボン10本 |
| 4/11 | 相馬市社会福祉協議会 | 懐中電灯（ｿｰﾗｰ）650個、ランタン（ｿｰﾗｰ）168個 |
| 4/11 | 松戸市社会福祉協議会 | ルーペ500枚 |
| 4/11 | （株）唐房米穀 | 米6170kg |
| 4/11 | 唐津市 | お茶96ℓ、ジュース36本、カップメン600食 |
| 4/12 | 大韓航空 | 水（1.5ℓ12本入）1000箱 |
| 4/12 | エディバウアー川口店 | 米（5kg）14袋、缶詰20缶　ほか |
| 4/12 | 福島県災害対策本部 | やかん20個、ソーラーライト32個 |
| 4/12 | 神川町 | 米880kg、水745ℓ、缶詰30個、学用品　ほか |
| 4/12 | 細川　正幸 | タオル10枚、下着10枚 |
| 4/12 | ジョイパックレシャー㈱ | 文房具セット450セット |
| 4/12 | 照井　千枝子 | タオルケット5枚 |
| 4/12 | NPO法人ﾊﾋﾞﾀｯﾄ･ﾌｫｰ･ﾋｭｰﾏﾆﾃｨｰ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ | トイレットペーパー19520ロール、ティッシュペーパー2960個 |
| 4/12 | アジア太平洋子ども救済センター　このゆびとまれ | ランドセル |
| 4/12 | 京丹後市 | 米3720kg、毛布359枚　ほか |
| 4/12 | 天理教奈良地区松山市医師会 | 洗濯機2台、味噌3袋、みかん2箱、砂糖20袋　ほか |
| 4/12 | 矢吹町 | 米1400kg、粉ミルク16箱、敷き布団7枚、掛け布団10枚、ほか |
| 4/12 | 北辰商事（株） | 米600kg、カップメン324個、Tシャツ313枚、　ほか |
| 4/13 | 日本こども支援協会 | 米82kg、缶詰149缶、醤油34本、みそ40kg、カップメン60個　ほか |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名(敬称省略) | いただいた救援物資(主なもの) |
|---|---|---|
| 4/13 | テレビユー福島 | 鉛筆セット500セット |
| 4/13 | 天理教河原町大協会 | 水(2ℓ)30本 |
| 4/13 | 荒　和子(中野北反町) | バスタオル6枚、毛布3枚、シーツ7枚、 |
| 4/13 | いまみち整骨院 | タオル類 |
| 4/13 | 片橋　るみ(立川市) | バック、学用品、薬　等 |
| 4/13 | 櫻井　崇(川崎市) | タオル類 |
| 4/13 | 福田　格(取手市) | 靴、衣類、薬　等 |
| 4/13 | 大輪　小次(さいたま市) | バック、衣類、薬　等 |
| 4/13 | (株)佐浩商会 | けずりぶし30kg |
| 4/13 | (宗)八大龍神宮 | 米1000kg、つけもの150kg |
| 4/13 | 小川町役場 | 毛布180枚、水144ℓ、子供用おむつ25箱 |
| 4/13 | 美濃加茂市・坂祝町・川辺町 | 水930ℓ、乾電池814本、米1054kg(うち玄米805kg)カップメン93個、土嚢袋1100枚、缶詰42缶 |
| 4/13 | 佐賀県 | 水3698ℓ、その他の飲料2692ℓ |
| 4/13 | 日本テトラパック(株) | 牛乳9216本 |
| 4/13 | 伊勢原青年会議所　越水崇史 | ベビーカー1台、水(500mℓ)48本、粉ミルク1缶、　ほか |
| 4/13 | 三浦　義彦(一関市) | くつ3箱 |
| 4/13 | 黒須　崇(富谷町) | 米10kg、タオル1箱 |
| 4/13 | 福島県災害対策本部 | 電子レンジ8箱 |
| 4/13 | 高橋　貫太郎 | 米1222kg、水60ℓ、ガスコンロ4台、　ほか |
| 4/13 | 仙台コカコーラボトリング(株) | 水12000ℓ |
| 4/13 | 日光市 | 米400kg、味噌10kg、タオル17000枚 |
| 4/13 | 福島県災害対策本部 | パン3315個、まぜこみワカメ320個 |
| 4/13 | 立正佼成会原町協会 | タオル405枚、バスタオル160枚 |
| 4/13 | 吉田　利彦(坪田) | 掃除機1台 |
| 4/13 | 田中　大河(板橋区) | ランドセル1個 |
| 4/13 | 仙台青年会議所 | 毛布10枚、大豆水煮缶144缶 |
| 4/13 | (株)イースト | 毛布10枚、水煮缶120缶、靴下372足 |
| 4/13 | (株)加美乃素本舗 | 手肌洗浄ジェル180本 |
| 4/13 | 齋藤　佐知子(大曲) | ぬいぐるみ3箱 |
| 4/13 | (有)ご縁満開本舗 | 水180ℓ、ｽﾆｰｶｰ等8箱、ｳｴｯﾄﾀｵﾙ1箱、　ほか |
| 4/13 | 中沢　研(板橋区) | 米40kg、レトルトカレー50個、ふとん3枚　ほか |
| 4/13 | 明治乳業グループ | 牛乳100本 |
| 4/13 | 高橋　博行(丸森町) | 衣類10袋、靴3袋 |
| 4/14 | 天理教災害対策本部 | 水　2ℓ6本入/箱　120箱 |
| 4/14 | 福島県災害対策本部 | 精米5t、レトルト米5t |
| 4/14 | (株)秩父源流水 | 水　2ℓ8本入/箱　720箱 |
| 4/14 | 錦町 | 衣類571点(子供用38・女性用170・男性用96・毛布類139・おむつ55・タオル52.その他21) |
| 4/14 | (株)郡山製餡 | 精米(学校給食用)500、ふんわりごはん(200g×3p×8) |
| 4/14 | (株)シキボウ物流システム　堺センター | 子供用肌着　4箱 |
| 4/14 | 小長谷稔と安全なくらしを創る会 | マスク3箱、おむつ2箱、靴3箱、Tシャツ1箱、肌がけ1枚、敷き布団11枚外 |
| 4/14 | 日立金属工具工 | 水2ℓ24本、お茶2ℓ18本、500mℓ48本、スポーツドリンク2ℓ　6本外 |
| 4/14 | 日本BD(株)福島工場 | 水1ℓ12本入/箱　70箱 |
| 4/14 | 羽村市 | カップメン150ケ、レトルト食品859ケ、乾燥粥500食、アルファ米500食外 |
| 4/14 | 富山　一夫 | カップメン36箱、春雨6箱外 |
| 4/14 | トランスコスモス(株) | 米5kg4袋/箱　24箱、カレー8箱、缶詰4箱、カップメン50箱 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 4/14 | （宗）真如苑 | カップメン2640食、スープ26食、米1675k外 |
| 4/14 | 福島市 | 米20kg、水2ℓ6本/箱　10箱　10本/箱10箱、土嚢袋2000枚外 |
| 4/14 | 平澤　美久 | ランドセル1ケ |
| 4/14 | 福島県災害対策本部 | 洗濯機10台、乾燥機10台、乾燥機ユニット10台 |
| 4/14 | （株）エイル | 水330mℓ24本・500mℓ48本、米48ケ、アルファ米10ケ外 |
| 4/14 | 福島県災害対策本部 | パン　77c/s |
| 4/15 | ICA文化事業協会 | 電化製品6点セット（洗濯機・テレビ・空気清浄機・冷蔵庫・電子レンジ・炊飯器）が50セット |
| 4/15 | 全日本紙製品工業組合 | スケッチブック2000 |
| 4/15 | ゴリ　フラビオ | ブルーシート4枚、長靴17足、スコップ5丁、デッキブラシ5本　ほか |
| 4/15 | 齋藤　容久 | 水（500mℓ）432本、牛乳（200mℓ）168本、野菜　ほか |
| 4/15 | 八興化成（株） | ゴミ袋（35ℓ・40ℓ・45ℓ用）1t |
| 4/15 | 片山事務所 | 冷蔵庫101台、カラーテレビ1台 |
| 4/15 | 中川　敏郎（江戸川区） | バック・タオル・・・2箱 |
| 4/15 | 飯塚秋男 | 長靴105足 |
| 4/15 | 高島　禮子（板橋区） | バック・衣類・・・2箱 |
| 4/15 | 藤田　正一（五所川原） | かばん、衣類・・・3箱 |
| 4/15 | 福島県災害対策本部 | 水20000ℓ |
| 4/15 | 福島県災害対策本部 | パン50個、牛乳（200mℓ）120箱、お茶（500mℓ）72箱 |
| 4/15 | 茂木町 | 洗濯用洗剤23個、ボディソープ2箱、ハンドソープ1箱、石鹸1箱　ほか |
| 4/15 | 川田　さゆり | 女性用くつ9足 |
| 4/15 | 福島県災害対策本部 | レインウエアー200着 |
| 4/15 | 福島県災害対策本部 | パン1200個 |
| 4/15 | 福島テレビ | 水（500mℓ）168本、 |
| 4/15 | 熊谷組東北支店 | ブルーシート800枚、土嚢袋5200枚 |
| 4/15 | 原　ふみい（立谷） | 子供服3箱 |
| 4/15 | 茨城県議会副議長　飯塚　秋男 | 長靴105足 |
| 4/16 | 福島県災害対策本部 | 水18777.ℓ |
| 4/16 | 武士　雄飛 | スープ40食、缶詰20個 |
| 4/16 | 積水化学工業 | ポリバケツ800個、ゴミ箱800個 |
| 4/16 | 横浜市 | 消石灰500袋 |
| 4/16 | NPO法人「甲斐のめぐみ」 | 米5910kg、ランドセル50個 |
| 4/16 | JAM | カップラーメン576食、レトルトカレー600食、飲むゼリー748個 |
| 4/16 | 矢部　朋子 | 粉ミルク22缶、おしりふき16袋 |
| 4/16 | （株）日本文芸社 | 本　1箱 |
| 4/16 | （株）キーストンパートナース | 水（500mℓ）10000本 |
| 4/16 | 佐藤　知里（仙台市） | 靴　3箱 |
| 4/16 | 長野県信濃町支援隊 | 米110kg、ポリタンク5個、りんご5箱、洗濯機1台、菓子30箱、水を入れる非常袋200パック |
| 4/16 | 神戸市民福祉振興会 | 応援メッセージ　1箱 |
| 4/16 | 大沼　秀樹（大津市） | 酒1.8ℓ、たばこ2カートン、梅干し2パック |
| 4/16 | 菅原　善満 | 缶詰48缶 |
| 4/16 | 福島県災害対策本部 | パン2620個 |
| 4/16 | 福島県災害対策本部 | シャンプー2箱、トリートメント2箱 |
| 4/16 | 天理教埼玉教区婦人会 | 水324ℓ、洗濯機2台、野菜、米70kg |
| 4/17 | 三起商行（株） | 子供用（パンツ100、ジャケット130、Tシャツ60、ソックス650）、シューズ（ベビー用35、キッズ用100） |
| 4/17 | 京丹後市 | 消毒液（5ℓ）9本、シップ薬30袋、電池41本、ライト2 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名(敬称省略) | いただいた救援物資(主なもの) |
|---|---|---|
| 4/17 | 相馬救援隊 | 原動機付自転車4台 |
| 4/17 | (有)拓里 | はっさく100箱、オレンジ54箱、きりたんぽスープセット30箱 |
| 4/17 | 南　恵美 | 水48ℓ、カップメン24食、レトルト米20食、　ほか |
| 4/17 | 災害支援救助隊アガペCGN | 懐中電灯24個、電池2箱、レトルト食品10箱、ラーメン81箱　　ほか |
| 4/17 | 天理教猪苗代分教会 | 米165kg(うち玄米120kg)、水96ℓ、トイレットペーパー96ロール、野菜　ほか |
| 4/17 | 愛知県建設業協会 | 水、お茶24本、マスク50枚、カット綿1個、ガーゼ1箱　ほか |
| 4/17 | 天理教東王子分教会 | 土嚢袋150枚、カップメン48個、ブルーシート10枚、軍手20枚、　ほか |
| 4/17 | 福島県災害対策本部 | 非常用ごはん949個、スープごはん3個、おこわセット110個　ほか |
| 4/17 | 黒須　崇(富谷町) | タオル9枚、菓子1箱、毛布1枚、衣類1箱 |
| 4/17 | 大野　輝雅(木更津市) | 安全靴1足、米20kg、ティッシュペーパー4箱、カップメン2箱 |
| 4/17 | 山都町 | 洗剤3箱、靴下3箱、衣類1箱、チリ紙1箱 |
| 4/17 | 福島県災害対策本部 | パン2006個 |
| 4/17 | ICA文化事業協会 | 缶詰45箱、魚肉ソーセージ30箱、真空いかめし44箱、ニシンの昆布煮9箱　ほか |
| 4/17 | 橋本　徳美 | 大人用服6箱 |
| 4/17 | 福島県災害対策本部 | 米5000kg |
| 4/18 | TARA11 | ランドセル27個 |
| 4/18 | 福島民報社 | 老眼鏡60個 |
| 4/18 | 三協立山アルミ(株) | 水120ℓ、マスク600枚、軍手100双、はと麦茶(500mℓ)120本 |
| 4/18 | MVP－JAPAN<br>みちのくボランティアプロジェクト | 水120ℓ、米45kg、味噌汁400食、衣類　ほか |
| 4/18 | 小林　康明(大阪府和泉市) | 水24ℓ、カセットコンロ4セット、ガスボンベ1箱、紙コップ等1箱　ほか |
| 4/18 | 福島県災害対策本部 | 水18777.ℓ |
| 4/18 | 積水成型工業(株) | ポリタンク2000個 |
| 4/18 | (株)ガイア | レトルトカレー200個、スープ90個、缶詰パン1020個、ぬいぐるみ14箱、ホーチ4箱 |
| 4/18 | 山口　豪広 | 水120ℓ、米20kg、生理用品1箱、トイレットペーパー24ロール、缶詰1箱　ほか |
| 4/19 | (株)アクアライン | 水(500mℓ)46080本 |
| 4/19 | 茂木町 | 衣類307個、カバン11個、　ほか |
| 4/19 | 日本ベクトンディッキンソン | 水71箱 |
| 4/19 | ネクスト・ウェイ(株) | 手・指消毒剤50箱 |
| 4/19 | 新井　光夫(高崎市) | 婦人服40着 |
| 4/19 | 高橋　博行(丸森町) | 長靴1足、古着10着 |
| 4/19 | 福島県災害対策本部 | 菓子103箱、ぜり―35箱、 |
| 4/19 | 〃 | ようかん11箱、リンゴジュース132本　ほか |
| 4/19 | 〃 | 雨合羽100着 |
| 4/19 | 〃 | 飲むフルーチェ412箱、ようかん1300個、みかんジュース123箱 |
| 4/19 | 鈴木康弘・高橋ひでき事務所 | インスタント食品12箱 |
| 4/19 | 北芝電機(株) | サバイバルフーズ1700食、味噌汁509食、カップメン1297食　ほか |
| 4/20 | ワークマン相馬店 | 軍手1000双、ゴム手袋1460双、下着100着 |
| 4/20 | 全日本紙製品工業組合 | ノート50000冊 |
| 4/20 | ローソン | 幼稚園、小、中学校給食用弁当10,400食 |
| 4/20 | 小貫さおり(福島市) | 食器5個、シャンプー1個、タオル7個 |
| 4/20 | ドキュメンタリージャパン | 土嚢袋300枚、玩具2、本1箱、缶詰1箱 |
| 4/20 | 弓削　直樹(大田区) | 本2箱 |
| 4/20 | 黒田　秀巳(朝霞市) | 粉ミルク2缶 |
| 4/20 | ソニー生命保険(株)郡山市社 | ゴム手袋6箱 |
| 4/20 | 太田 | 寝具7点セット25組 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 4/20 | 緊急支援災害援助隊アカベーCGN | 袋ラーメン120箱 |
| 4/20 | 公益財団法人日本ユニセフ協会<br>東日本大震災緊急支援本部 | 文房具セット1000セット |
| 4/20 | （有）えん家 | 米100kg、漬物3箱 |
| 4/20 | ミセリコルディア日本 | 靴50足、パンケーキ15箱、缶詰72缶、長靴48足　ほか |
| 4/20 | 松山市医師会 | 甘夏9箱、レトルトカレー96袋、米480kg、　ほか |
| 4/20 | 長井市 | 米700kg、水120ℓ、レトルトカレー5箱、缶詰4箱　ほか |
| 4/20 | 福島県災害対策本部 | 米5000kg、レトルトご飯23700食 |
| 4/21 | 青葉　美由規（大坪） | 粉ミルク5缶、おむつ1箱 |
| 4/21 | 学校法人水谷学園北陵幼稚園 | 文房具、児童用絵本、衣類　ほか |
| 4/21 | 市澤　廣子（市川市） | 茶碗32個、コップ12個、湯のみ19個、皿35枚 |
| 4/21 | 九星飲料工業（株） | 水（2ℓ）16800本 |
| 4/21 | 日本財団 | 防毒マスク7箱、缶ジュース47箱、サンダル3箱、婦人くつ7箱、婦人服2箱 |
| 4/21 | メキシコ大使館 | ゴム手袋600双 |
| 4/21 | NPO法人いきがいサロンオリーブ<br>小平ユネスコ協会 | マスク1000枚、バスタオル16枚、カップメン64個 |
| 4/21 | ショーワグローブ | 軍手60箱（6000双） |
| 4/21 | 丸山　みち子（つくば市） | 長靴3足 |
| 4/21 | 世田谷区上野毛町会 | 男性用衣類20箱、女性用衣類39箱、子供用衣類18箱　ほか |
| 4/21 | 福島県災害対策本部 | カセットコンロ用ボンベ240本 |
| 4/21 | 京丹後市 | シップ薬160個 |
| 4/22 | 片山事務所 | 冷蔵庫100台 |
| 4/22 | アディダスジャパン | シューズ416箱 |
| 4/22 | 日本ユニセフ協会大使　アグネスチャン | 水（1.5ℓ12本入）90ケース |
| 4/22 | 大牟田市 | 茶碗400個、皿360枚、海苔（半切）28800枚 |
| 4/23 | ICA文化事業協会 | 布団セット100セット、バスタオル50箱、組立式家具100セット、　ほか |
| 4/23 | 阿部　基子（練馬区） | おむつ2個、歯ブラシ20本、男性肌着3着、靴下5足 |
| 4/23 | （株）キョーエイ | バナナ等 |
| 4/23 | 国際サイエントロジーボランティア<br>災害救援チーム代表　小倉 | 自転車30台 |
| 4/23 | 羽島市 | パックごはん15000食 |
| 4/23 | 名古屋市緑区の一般市民 | 文具類5箱 |
| 4/23 | （株）ワコー商事 | 女性用肌着10セット、男性用肌着18セット、男児用肌着10セット　ほか |
| 4/23 | 神尾　龍三（中野） | いちご4箱 |
| 4/23 | リチャード・ノーマン | シャンプー・歯ブラシ等セット　24セット |
| 4/23 | 旭ガラス（株） | 掛け布団33箱、毛布30枚 |
| 4/23 | 名雪　友美　ほか28名 | 古着15箱 |
| 4/23 | つくば市 | 米670kg、缶詰2328個、カップメン、医薬品　ほか |
| 4/23 | 上村　正樹（鳩ケ谷市） | 掛け時計10個 |
| 4/23 | 飯塚市 | ブルーシート50枚、土嚢袋10000枚、米1000kg、　ほか |
| 4/23 | 上越市 | 玄米1020kg、白米1504kg |
| 4/23 | クロックス・ジャパン合同会社 | 靴141箱 |
| 4/24 | 天理教埼玉県支部 | 米160kg、洗濯機2台、ほか |
| 4/24 | 匿名希望 | 男性用肌着2800枚、女性用肌着600～900枚、女児用下着1000枚 |
| 4/24 | アイビス | トレーナー4着 |
| 4/24 | 紺野　和子 | 食器ほか2箱 |
| 4/24 | （有）リファインパーツ誠和 | 布団、毛布、ティッシュペーパー、トイレットペーパー　ほか |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 4/24 | （株）ワコー商事 | 入れ歯洗浄剤2箱、生理用品3セット、尿とりパット1セット　ほか |
| 4/24 | 風鈴丸（木版画家） | 絵本3箱 |
| 4/24 | 篠田　英子（茂原市） | 敷き布団8枚、ほか |
| 4/24 | 福島県災害対策本部 | パックご飯（40食/箱）625箱 |
| 4/24 | 福島県災害対策本部 | 米（10kg）500袋 |
| 4/25 | 金丸　生果（黒木） | 敷き布団3枚、 |
| 4/25 | 高橋　孝治 | テレビ2台 |
| 4/25 | （株）カワチ薬品 | 水（2ℓ6本入）200ケース |
| 4/25 | 我孫子市 | 米1732kg、掛・敷ふとん15枚、タオルケット81枚、缶詰7箱　ほか |
| 4/26 | 土浦市 | 米2210kg、缶詰1箱、歯ブラシ3箱、トイレットロール5箱　ほか |
| 4/26 | 東西しらかわ農業協同組合 | 米500kg、 |
| 4/26 | 愛媛県松山市医師会 | 洗濯機5台、冷蔵庫2台、オムツ5箱　ほか |
| 4/26 | 我孫子市 | 掛け布団14枚、敷き布団19枚、布団セット（掛け・敷き）22セット　ほか |
| 4/26 | 医療法人社団　和楽仁<br>医師　多賀　千之 | 絵本1箱、おもちゃ等2箱 |
| 4/26 | （株）森本組 | 米350kg |
| 4/26 | 杉岡　ヤス（富士宮市） | ボール20個、キャラメル等 |
| 4/26 | 美幌広域連 | 玉ねぎ（20kg）90ケース |
| 4/27 | 富岡市 | そば枕750個 |
| 4/27 | （株）アクアライン | 水（500mℓ）960ケース |
| 4/27 | （株）ダイナム | パン500個、野菜ジュース2000本、スコップ100本、長靴100足 |
| 4/27 | ホクレン（士幌農協） | じゃがいも（10kg）270箱 |
| 4/27 | ホクレン（川西農協） | 長いも（10kg）40箱 |
| 4/27 | 世田谷区上野毛町会（片瀬町内会） | 衣類77箱、石鹸2箱、タオル10箱　ほか |
| 4/27 | テラル（株） | ミネラルウオーター（2ℓ6本入）14箱 |
| 4/27 | 近内　　真一（江東区） | ホッカイロ30個、古着4箱 |
| 4/27 | 東日本高速道路（株）相馬工事事務所 | 米750kg、乾電池2150本 |
| 4/27 | 新開　美和子（名取市） | 婦人服2箱 |
| 4/27 | カルビーポテト（株）帯広 | ジャガリコ800箱 |
| 4/28 | ひまわり会　代表菅野　吉（梁川町） | 肌掛け15枚、タオルケット15枚、毛布10枚　ほか |
| 4/28 | 米原市 | 電気炊飯器100個、布団セット100組、石鹸10箱、ラップ8箱、洗濯機1台　ほか |
| 4/28 | 相馬　行胤 | 児童・生徒用傘550 |
| 4/28 | （株）アクアライン | 水（500mℓ）960ケース |
| 4/28 | 群馬県 | 米949kg |
| 4/28 | 伊那市 | 土嚢袋2000枚、ゴム手袋400束、軍手480双 |
| 4/28 | 柏崎市刈羽郡医師会 | 自転車10台、靴8箱、タオルケット8袋　ほか |
| 4/28 | 福島県災害対策本部 | 目薬（大人用・子供用）各100個 |
| 4/29 | （株）アクアライン | 水（500mℓ）960ケース |
| 4/29 | 北海道 | 米795kg、カップメン113箱、缶詰28箱、インスタントラーメン134箱　ほか |
| 4/29 | 横浜市 | レトルトカレー3000個 |
| 4/29 | 情報労連滋賀県協議会 | トイレットペーパー378ロール、ティッシュペーパー117個 |
| 4/29 | 天理教柴山分教会 | 洗濯機3台 |
| 4/29 | 佐藤　静香（尾浜） | 女子高制服1着 |
| 4/29 | （代表）山上公民館 | 電気コタツ　ほか |
| 4/29 | （有）新海自動車工業 | 菓子2箱 |
| 4/29 | 日本通運 | 米・カップ麺・缶詰　他 |

## 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 4/29 | 天理教猪苗代分教会 | 米480kg、レトルトカレー2箱、　ほか |
| 4/29 | 天理教松川分教会 | トイレットペーパー67ロール、ホッカイロ2箱　ほか |
| 4/30 | 日本マニュファクチャリングサービス(株)福島営業所 | 男性用下着1枚、女性用下着99枚、おむつ1袋、女性用くつ1足 |
| 4/30 | 飛澤　祐子（多摩市） | カップメン3箱、米15kg、靴6足 |
| 4/30 | 口田　剛史（米子市） | Tシャツ3箱、衣類2箱 |
| 4/30 | 千枝　桂子 | マスク500枚 |
| 4/30 | シマセイキ | セーター3323枚 |
| 4/30 | 相馬　行胤 | 絵の具セット150セット |
| 4/30 | 三井物産（株）新潟支店 | 米200kg、カップメン360個、缶詰96缶、カレー100個　ほか |
| 4/30 | 中村　一雄 | 葉物野菜　6箱 |
| 5/1 | 立正佼成会福島教会 | 米630kg、レトルト食品、缶詰、調味料　ほあk |
| 5/1 | 被災した子供たちを応援する母の会 | 鍵盤ハーモニカ200 |
| 5/1 | 有機ネットちば | 食用オイル（400g）10本、米60kg、ピーナツ40袋　ほか |
| 5/1 | 縄田　秀史（嘉麻市） | 米90kg |
| 5/1 | 犬飼　芳幸（名古屋市） | 水（2ℓ）6本、マスク2箱、ゴム手袋4枚、缶詰5個 |
| 5/1 | （株）セーフティーアイランド | 紙ショーツ1500枚 |
| 5/2 | 京丹後市 | 布団セット（掛・敷）1組、ボディソープ9個、レトルトカレー35個 |
| 5/2 | 倉持　佳奈子（所沢市） | 女性用下着15枚、女性用靴下15足 |
| 5/3 | 菊地　妙子（杉並区） | 女性用衣類3袋 |
| 5/3 | 三戸　敬三（防府市） | 松葉つえ1ケ |
| 5/3 | 萱山　秀樹（日高市） | ﾚﾄﾙﾄｶﾚｰ30食、足揉みマッサージ器1台 |
| 5/3 | 白井　多美子（町田市） | 肌着3袋 |
| 5/3 | リビングストン・アメリカンスクール上海、バイリンガル幼稚園橋浦友 | 絵本20冊、縄跳び4本 |
| 5/3 | 只野　サク（宇多川町） | 肌掛け8枚 |
| 5/3 | 播磨　敬和（神戸市） | おもちゃ1箱 |
| 5/3 | 末満　　圭（滋賀県日野町） | カップメン3箱、ﾚﾄﾙﾄｶﾚｰ3袋、缶詰　ほか |
| 5/3 | 竹之内　さやか（群馬県） | 絵本2箱、お菓子2箱、おもちゃ2袋 |
| 5/3 | 生活クラブふくしま生活協同組合 | ﾘﾝｺﾞｼﾞｭｰｽ（30缶入）32箱、更科そば6箱　ほか |
| 5/3 | 嶋崎　　誠（神奈川県寒川町） | 水（2ℓ6本入）17箱、洗剤1箱、ﾎﾟｶﾘｽｳｪｯﾄ10箱　ほか |
| 5/3 | 穂積　陽一（ひたちなか市） | 米20kg、コンロ3台、ｶﾞｽﾎﾞﾝﾍﾞ15本　ほか |
| 5/3 | 貝瀬　一成（ふじみ野市） | ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ2箱、水（2ℓ6本入）1箱 |
| 5/3 | プロサーチ（株） | ｻｯｶｰﾎﾞｰﾙ30個、ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ5個、 |
| 5/3 | 鈴木　典夫 | 敷き布団45枚 |
| 5/4 | 飯田　瑠璃（福島市） | トイレットペーパー36ﾛｰﾙ、水24ℓ、生理用品1袋 |
| 5/4 | 久留米市 | ゴミ袋50000枚、ゴム手袋530双 |
| 5/4 | 鍋島　貴行（横浜市）<br>清水　俊介（川崎市） | カップメン12食、洗剤等1箱、手袋9双 |
| 5/4 | 上田　博正（播磨町） | 手袋3双、スコップ3丁、サラダ油（16.5kg）1缶、ほか |
| 5/4 | 阿久津　　俊（品川区） | サッカーボール2個、ボックスティッシュ2個、缶詰1袋　ほか |
| 5/5 | （株）KANKO | マスク30000枚、ウエットティシュ200個 |
| 5/5 | （有）ジラフ | クラシックギター、フォークギター、とびなわ |
| 5/5 | セーラー万年筆㈱ | ボールペン、書き方シャープペン、消しゴム　ほか |
| 5/5 | 渡會　　誠 | 菓子540本、子供用靴下30足 |
| 5/6 | 三浦　　真（杉並区） | カップメン7箱、ティッシュペーパー15個、ヘルスメーター7個　ほか |
| 5/6 | 菊地　京子（杉並区） | タオル1箱、バスタオル5枚、電気カーペット1枚 |

## 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 5/6 | 渡部　弘（大崎市） | 水24ℓ、マスク60枚、さとうのごはん36個 |
| 5/6 | 宇部市 | 米321kg |
| 5/6 | リビングストン・アメリカンスクール上海、バイリンガル幼稚園 | 絵本1袋 |
| 5/6 | 富士山まごころネットワーク<br>ニノ宮　義明（裾野市） | 大人用おむつ1袋、大人用パット2袋、富士さんの写真2枚　ほか |
| 5/6 | 佐藤　美和子（市内新沼） | 子供服（男児用）3袋 |
| 5/6 | （有）駒のり店 | 味海苔1箱 |
| 5/6 | 滑川市 | 米900kg、薬4箱、土嚢袋2000枚、　ほか |
| 5/6 | 三木　一之（淀川区） | おかき1箱 |
| 5/6 | 福島下飯坂わかば会 | タオルケット7枚、缶詰60個、レトルト食品21個、シーツ13枚 |
| 5/7 | （株）秀光ビルド | 米4000kg、タオルケット510枚 |
| 5/7 | 天理教猪苗代分教会 | 野菜・調味料等　ほか |
| 5/8 | 立谷　栄子 | Tシャツ、タオル |
| 5/9 | ヤマトロジスティクス（株） | 敷き毛布1056米 |
| 5/9 | 三菱マテリアル（株） | アルコール消毒液（1ℓ）12本、トイレットペーパー（12ロール8袋入）4箱、水（2ℓ）30本 |
| 5/9 | 石岡市 | 米（30kg）100袋 |
| 5/9 | （有）ミツワ通商 | 水36ℓ、洗剤7本、米30kg　ほか |
| 5/10 | 岡　武明（猪苗代町） | カラーコーン10個、タオル20枚、歯ブラシ20本　ほか |
| 5/10 | ㈱アーテック | 絵の具セット80セット |
| 5/10 | 小田原市61区ひばり子供会 | 文房具 |
| 5/10 | セーラー万年筆㈱ | ボールペン、シャープペン、書き方鉛筆　ほか |
| 5/11 | ㈱協和 | ランドセル |
| 5/11 | 福島県災害対策本部 | 米7967kg |
| 5/12 | 福島県災害対策本部 | 米23350kg |
| 5/12 | （株）菅原善治商店 | カレンダー500部 |
| 5/12 | 井本商運 | くつ2060足 |
| 5/12 | はすぬま | 生めん2000食 |
| 5/12 | つくば市 | 米180kg、カップメン360食、缶詰1728缶 |
| 5/13 | （株）ワコー商事 | シューズ49足 |
| 5/13 | ㈱アーテック | 絵の具セット180セット |
| 5/13 | 福島県災害対策本部 | バナナ4000本 |
| 5/14 | （株）アクアライン | 水（500mℓ24本入）1920箱 |
| 5/14 | 鈴木　典夫 | 布団セット10セット、敷き布団5枚 |
| 5/14 | 龍ヶ崎市 | ノートパソコン60台 |
| 5/15 | 上田　様（豊中市） | 紳士靴2足 |
| 5/15 | オフィス　ノリコイケ | 女性用衣類13箱、男性用衣類5箱 |
| 5/15 | 高橋　理美 | 食器10箱 |
| 5/15 | 福島県災害対策本部 | 菓子82箱 |
| 5/16 | 土浦市 | 帽子3420個、生麺8箱 |
| 5/16 | シャチハタ㈱ | 8色サインペンセット |
| 5/16 | HOYA日本本部フレームセンター | 防塵めがね23個 |
| 5/17 | （株）丸福 | 缶詰10ケース、カップメン19ケース、土嚢袋800枚 |
| 5/17 | 山陽小野田市 | 米168kg |
| 5/17 | 多治見市陶磁器卸商業協同組合 | 食器158箱 |
| 5/17 | 三井化学労働組合千葉支部 | インスタントコーヒー6本 |

## 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 5/17 | かずさスタイル推進協議会 | 米400kg、缶詰120個 |
| 5/18 | 台湾国 | 毛布1000枚 |
| 5/18 | 岡山県 | 土嚢袋250枚 |
| 5/18 | メキシコ大使館 | 食品パック30個 |
| 5/18 | 福島県災害対策本部 | バナナ40.箱 |
| 5/18 | 天理教北陸大教会 | ねぎ15袋 |
| 5/18 | 柏木　核（えびの市） | 水540ℓ、タオル5枚 |
| 5/19 | キーストンパートナーズ | 水500ℓ |
| 5/19 | キーコーヒー（株） | 計量カップ6個、コーヒー保存缶3缶、コップ8個 |
| 5/19 | 埼玉県 | カップメン78箱、タオルケット20枚 |
| 5/19 | 南城市 | 車3台、菓子20箱 |
| 5/19 | 自立研修所「えんどう豆」 | マウンテンバイク30台、空気入れ6個 |
| 5/19 | 江黒　直美（行田市） | 事務用品1箱 |
| 5/20 | NPO法人「地域のめばえ21」 | 自転車18台、空気入れ2台、工具セット1個 |
| 5/20 | 三輪伸一郎（富士市） | 水156ℓ |
| 5/20 | 生活クラブ生協ふくしま | 柑橘類80箱 |
| 5/21 | アクアライン | 水11520ℓ |
| 5/22 | 榎本　晴子［所沢市） | ﾀｵﾙｹｯﾄ2枚、ﾊﾞｽﾀｵﾙ2枚、ｽﾆｰｶｰ1足 |
| 5/24 | マミーシンガーズ平山智香子 | 食器1箱、電子レンジ1箱、お茶 |
| 5/25 | 信濃町 | 米500kg |
| 5/25 | 糸魚川市 | シーツ8箱、タオルケット8箱、マスク22箱、洗濯洗剤10箱　ほか |
| 5/25 | （株）アクティオ北陸支社 | 米340kg |
| 5/25 | フレスコキクチ相馬店 | スープの素288個、キャベツ144個、ニラ144束、豚バラ肉43.6kg、しいたけ1736個 |
| 5/26 | （株）アルファー | まな板480枚 |
| 5/26 | 内田　久仁子（豊島区） | ボストンバック1個 |
| 5/26 | （株）あいうえ | レトルトカレー540個 |
| 5/26 | （株）ワコー商事 | シューズ67足 |
| 5/27 | 静岡県弁護士会有志 | カップメン500食 |
| 5/27 | 静岡県弁護士会会長 | お茶（ﾃｨｰﾊﾟｯｸ）200.ﾊﾟｯｸ |
| 5/27 | 本願寺津村別院内大阪教区教務所 | レトルト食品15箱、缶詰6箱 |
| 5/27 | 任天堂（株） | トランプ1000個 |
| 5/27 | ヤマトインターナショナル（株） | 長靴106足 |
| 5/27 | 長崎県 | 組布団1組、シーツ5箱、タオルケット41箱、肌布団30箱、タオル類500枚　ほか |
| 5/27 | 平栗　裕美（飯田市） | バック9個 |
| 5/28 | 静岡県弁護士会有志 | カップメン54箱 |
| 5/28 | ワミレスコスメティクス（株） | タオル2箱 |
| 5/29 | （有）矢島自動車 | （学童用）かさ25本、ノート200冊、鉛筆4ダース、水着40着 |
| 5/29 | 天理教岡大教会　吉田　孝敏 | カップうどん72食、カップメン180食、　ほか |
| 5/29 | 日光市青年会議所 | カップメン156食、レトルトカレー420食、水12ℓ、お茶12ℓ　　ほか |
| 5/29 | 福島県災害対策本部 | 虫よけスプレー1500本 |
| 5/30 | （株）アクアライン | 水11520ℓ |
| 5/30 | （株）アサヒ | 乾電池1500本 |
| 5/30 | 大島運輸（株） | マスク14000枚 |
| 5/30 | 生活クラブふくしま生協 | ジュース852個、バナナ11箱　ほか |
| 5/30 | 小次郎の里　　縄田　秀史 | 米90kg |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名(敬称省略) | いただいた救援物資(主なもの) |
|---|---|---|
| 5/30 | 福島県災害対策本部 | 米10500kg、水35722ℓ　ほか |
| 5/31 | 多治見市 | 食器類　3800セット |
| 5/31 | 国境なき楽団　庄野　真代 | 雑巾470枚 |
| 6/1 | (株)森本組東北営業所 | 米455kg |
| 6/1 | ㈱ぎょうせい | 歴史図表等大型掛図、大三角定規等 |
| 6/1 | 国立大学法人　宮城教育大学 | 教員用文房具セット40　他 |
| 6/1 | 吉原産業(株) | 米1500kg、菓子40箱 |
| 6/1 | 伊達市 | 米3000kg |
| 6/2 | 原田　悠里 | 米600kg |
| 6/2 | (株)カワチ薬局相馬店 | 米365kg、サランラップ10ケース、缶詰5ケース、カップスープ16ケース　ほか |
| 6/5 | (株)渡辺和哉商店 | 米100kg、タオル14個、カレンダー8個 |
| 6/6 | ヤマトインターナショナル(株) | 長靴(婦人用)90足 |
| 6/7 | 足立区 | レトルトカレー2100食、米400kg |
| 6/9 | 山口　幸男(相模原市) | ミニトマト20kg |
| 6/10 | 上ノ原　憲人(渋谷区) | レトルト食品30食 |
| 6/11 | 阿賀野市認定農業者会 | 米1514kg |
| 6/12 | 小笠原　　真(我孫子市) | レトルトカレー40袋、缶詰75缶、グラス11個 |
| 6/12 | 樋山　義一(霊山町) | 軍手1袋、ブルーシート3枚、長靴3足 |
| 6/12 | セントモニカスイミングクラブ | 米(5kg)17袋 |
| 6/13 | 山口　幸男(相模原市) | ミニトマト8kg |
| 6/13 | 東北電力(株)人材サポートセンター | 米1335kg、カップ麺1076食 |
| 6/13 | KATEKYO学院 | 文房具等 |
| 6/13 | 堀内　早苗(練馬区) | 子供用布団5枚 |
| 6/15 | WFP 国連世界食糧計画<br>日本事務所　東京出張所 | カップヌードル71箱、レトルトカレー12箱、醤油11箱、ごま油4箱、　ほか |
| 6/15 | (株)ミーティア | レトルトハンバーグ126食、サバの水煮缶詰90缶 |
| 6/16 | 長瀬印刷㈱ | ノート、鉛筆 |
| 6/16 | 新庄市 | 米10200kg(玄米290袋・精米50袋) |
| 6/17 | 福島県災害対策本部 | 米12t |
| 6/18 | 米原市 | ぬいぐるみ枕100個 |
| 6/20 | フヨー株式会社大阪支店 | カップメン46食、水12ℓ |
| 6/20 | ㈱学研ネクスト | 辞典セット(1セット15冊)10セット |
| 6/20 | 山口　幸男(相模原市) | ミニトマト20kg |
| 6/20 | アース製薬　株式会社 | アースノーマット125箱 |
| 6/21 | 山田　豊栄(馬場野) | 子供用Tシャツ1箱 |
| 6/22 | どんぐり工房　永野典子 | うちわ66本、虫よけスプレー18本、キンカンミニ6個　ほか |
| 6/23 | 福島県災害対策本部 | 米3t |
| 6/24 | イトキン(株)・(株)福田屋百貨店 | カップメン1800個 |
| 6/24 | (株)森本組 | 米450kg |
| 6/27 | 山口　幸男(相模原市) | ミニトマト20kg |
| 6/28 | フジミビルサービス(株) | 米270kg |
| 6/28 | しんきん若手経営者の会(SYMS)桐林支部(群馬県飯田市) | 米52kg、缶詰73個、カップメン等231食、タオルケット等66枚　ほか |
| 6/28 | 福島県災害対策本部 | タオルケット204枚 |
| 6/28 | 内田　良子(流山市) | 絵6枚 |
| 6/28 | 大塚　加代子(流山市) | うちわ50本 |

## 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 6/28 | 大野市 | 米6000kg |
| 6/29 | ㈱IHI　相馬事業所 | ハンドマイク3個 |
| 6/30 | CPF TOKYO㈱ | 鶏のから揚げ（冷凍）990箱、 |
| 6/30 | （有）大東製作所 | ライン引き6台、石灰6袋、遊具2台 |
| 6/30 | 福島県災害対策本部 | 毛布2000枚 |
| 7/4 | 水木　ノア | ウクレレ110 |
| 7/4 | NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所　代表　小野寺　哲 | 英語罫線ノート305 |
| 7/4 | 山口　幸男（相模原市） | ミニトマト20kg |
| 7/6 | （株）大林組東北支店 | 米1620kg、水480ℓ、カップメン57箱、ブルーシート150枚 |
| 7/6 | 河南町 | 玄米3330kg |
| 7/11 | 幻冬舎 | 本33冊 |
| 7/11 | 日本女子大学同窓会「桜楓会」 | ガイガーカウンター　5台 |
| 7/11 | 山口　幸男（相模原市） | ミニトマト20kg |
| 7/14 | アース製薬　株式会社 | アースジェット1500本 |
| 7/14 | 福島県災害対策本部 | シーツ350枚 |
| 7/14 | 日野自動車（株）福島県人会 | うちわ700本、タオル400本 |
| 7/15 | （財）日本出版クラブ内大震災出版対策本部事務局 | 図書カード |
| 7/16 | 放置自転車を考える全国自転車問題自治体連絡協議会 | 中古自転車200台（東京都（武蔵野市20台、中野区50台、東村山市50台120台）<br>奈良市30台、八尾市50台 |
| 7/17 | 名波　浩 | 書籍、飲料水、Jリーグジュビロ磐田グッズ |
| 7/17 | 長谷部　誠 | 書籍 |
| 7/17 | 清水商業サッカー部OB会 | Tシャツ |
| 7/17 | 川口　能活 | 書籍 |
| 7/17 | 望月　重良 | 書籍 |
| 7/17 | 阿部　勇樹 | 書籍 |
| 7/17 | メディカルプロモーション | 使い捨て歯ブラシ1,000本 |
| 7/17 | 朝比奈　伸 | Jリーグ　ガンバ大阪グッズ |
| 7/17 | 菊池　直哉 | スパイク |
| 7/17 | 藤田　俊哉 | サッカーボール |
| 7/17 | (株)四季の自然舎　マホロバマインズ　三浦 | 壁掛け時計　15個 |
| 7/19 | 岡本　行夫他 | パソコン20台 |
| 7/19 | 中川　則子（小田原市） | クローバーフラワー20個 |
| 7/20 | コクヨファニチャー（株）<br>コクヨ東北販売（株） | 片袖机11、脇机1、OAチェアー11、折りたたみ椅子5 |
| 7/21 | 福島県災害対策本部 | 布団5セット400組、マットレス400枚 |
| 7/22 | 足立区 | 電気ポット20台 |
| 7/22 | （有）ペペナーレ | クッキー1箱 |
| 7/22 | 高崎隆二かごしま五十人会 | 衣類3袋、食器1箱、　ほか |
| 7/23 | （有）夢叶商事　伊藤　よしろう | 巾着100個 |
| 7/23 | JA松本ハイランド（長野県）<br>西村　彰彦 | ひまわり焼酎30本 |
| 7/26 | ファーマシーつるや薬局 | 紙おむつ（大人用）14袋、　除菌消臭剤130個 |
| 7/27 | （株）カレントジャパン | 米（30kg）4袋、衣類（古着）40箱 |
| 7/27 | 島根県安来市、島根県消防防災課　JAやすぎ、（株）農援隊、安 | バス3台、タオル115箱、米1t、グリーンハウスクーラー1台　　ほか |
| 7/28 | 花王カスタマーマーケティング（株） | 生活用品セット1500セット |
| 7/28 | Yadea | 原動機付自転車5台 |

# 東日本大震災　救援物資等一覧

| 月日 | 団体名（敬称省略） | いただいた救援物資（主なもの） |
|---|---|---|
| 7/28 | 難民を助ける会 | マフラー型アイスノン　50箱（5000本） |
| 7/29 | （株）ブリックス | 発電機 |
| 7/30 | （株）えこ・ファクトリー | 虫よけスプレー200本、カップヌードル500食 |
| 7/30 | （株）川上商店 | フマキラー100缶、米200kg |
| 8/1 | （有）リファインパーツ誠和 | 洗濯機、粉ミルク |
| 8/3 | 福島県災害対策本部 | マットレス50枚、布団セット500組、扇風機12台 |
| 8/3 | エックスワン | ネオランドリーD（洗濯用洗剤）1504個、ネオホームC詰替12個、スプレイヤ5個 |
| 8/4 | 難民を助ける会 | 掃除機1000台 |
| 8/4 | 福島県災害対策本部 | |
| 8/5 | 福島県災害対策本部 | ポリバケツ20個、タオルぞうきん2940枚、懐中電灯945本　　ほか |
| 8/5 | 米沢市 | 米3000kg |
| 8/5 | JAそうま | 米4500kg |
| 8/6 | 伊藤季子（足立区） | 衣類（女子用下着21枚、Tシャツ26枚） |
| 8/9 | 恵那市 | 米3000kg |
| 8/9 | 福島県災害対策本部 | 虫よけネット312個 |
| 8/10 | ベネック（株） | 衣類30箱 |
| 8/11 | 難民を助ける会 | コタツ500台、ドライヤー1000台 |
| 8/11 | エプソン販売（株）仙台支店 | 大型プリンタ1台 |
| 8/12 | 難民を助ける会 | コタツ500台、扇風機2000台 |
| 8/16 | 鈴江コーポレーション | タオル2箱 |
| 8/16 | エムセテック | 自転車6台 |
| 8/18 | 味の素 | ギフトセット1500箱 |
| 8/23 | 須賀まゆ（三石由紀子）台東区 | ハンガーラック5個、物干し・お盆・洗剤等2箱 |
| 8/29 | 朝霞商工会議所 | 軽貨物自動車1台 |
| 9/6 | 薬師寺 | 御守り　他 |
| 9/6 | 福島県災害対策本部 | 布団700組 |
| 9/8 | ガルーダ・インドネシア航空 | 色鉛筆9箱（2160個）、スケッチブック35箱（2100冊） |
| 9/9 | 鈴廣かまぼこ㈱ | かまぼこ4000セット |

## 秋の夜

虫の声が
窓の外から聞こえる
ページをめくる音
ストーブの火
今日も静かな夜

## 雨の日

雨の日は
窓の外を眺めて
ぼんやりと
過ごすのも
悪くない

## 春の朝

春の朝
鳥の声で
目が覚める
窓を開けると
風が気持ちいい

## 夏の海

夏の海
青い空
白い雲
波の音
潮の香り

## 夏の夜

佐藤 美咲

蝉の声が
窓の外で
重なり合って
一つの音楽になる頃
私は
まだ
宿題の
算数ドリルを
前に
ぼんやりと
座っている

## 冬の朝

高橋 健一

吐く息が
白く
凍りついて
窓ガラスに
模様を
描いている
母が
台所で
味噌汁を
温める
匂いが
ここまで
届いてくる
今日は
学校まで
歩いて
行こう

## 夢



## 夢



## 夢



## 夢

# 8月15日（月） 現場写真

原釜字仲田・北谷地（地点①）

原釜字北谷地（地点②）

尾浜字原と松川浦（地点③）

復活した旅館／尾浜字船越（地点④）

原釜字大津（地点⑤）

原釜字大津（地点⑥）

# 相馬中核工業団地西地区の仮設住宅（大野台二丁目）

# 相馬市復興計画

# Ver.1.1

平成２３年８月２９日

相馬市復興会議

目　　次

第１章　基本構想 ―― 1
第１節　計画方針 …… 1
第１項　基本理念　1
第２項　計画の期間　2
第３項　計画の進行管理　2

第２章　基本計画 ―― 3
第１節　ソフト事業 …… 3
第１項　応急仮設住宅での生活支援　3
第２項　医療、介護、健康管理　6
第３項　放射能対策　8
第４項　教育、子どもたちの成長　10
第５項　経済対策　13
第６項　孤独死対策　16
第７項　市役所体制の再整備、他の自治体職員・ボランティアの受入体制整備　17
第２節　ハード事業 …… 18
第１項　ガレキ処理　18
第２項　被災地整理　19
第３項　住宅の整備　21
第４項　漁業基盤整備　24
第５項　農業基盤整備　26
第６項　一般製造業及び第三次産業の支援　28
第７項　相馬港の整備　29
第８項　道路、鉄道の整備　30
第９項　防災体制整備　32
第１０項　被災鎮魂記念館の整備　33
第１１項　再生可能エネルギー生産の整備　34

第３章　資料 ―― 36

# 第１章　基本構想

## 第１節　計画方針

### 第１項　基本理念

平成２３年３月１１日午後２時４６分に発生した東日本大震災によって、本市では、行方不明者を含む死者４５９名、津波による家屋等の流出が１，０００棟を超えるなど、人的にも物的にも甚大な被害を受けました。

震災後約３ヶ月間は、４，０００名を超える市民が避難所生活を余儀なくされていましたが、現在は、仮住まいながら応急仮設住宅をはじめとするそれぞれの独立住居で新たな生活を開始しております。

今後、応急仮設住宅から恒久的住宅に移り、被災者が自立した生活を営むことができるように、「高齢者、子供、青壮年層がそれぞれの人生のステージで、生活再建をどのように果たしていくか」を念頭に置いて、ソフト事業を展開していきます。

また、津波により生活・職業空間が失われた被災地の土地利用を図り、基幹産業であった漁業、農業を復活させることは、被災者の方々の人生設計の基盤となる事業となります。

加えて、最終的には恒久住居を確保して、可能な限り地域コミュニティを維持した、思いやりとふれあいにあふれた、新たな地域社会を再構築することを目標としていきます。

この復興計画を策定する現在において、被災土地の取り扱いや、新たな住宅地と恒久住宅の青写真が明確に計画できる状況にはありませんが、今後、国の方針決定を待って、更なる具体化を進めていきます。

福島第一原子力発電所の事故による被害には、健康管理面、産業面において注力していきますが、本市はこの地にとどまって、被災者とともに復興新生を果たすと決意し、今日まであらゆる努力をしてきましたので、今後も風評被害等に負けることなく、地域一丸となって努力していきます。

我々相馬市には、報徳仕法で育てられた市民の勤勉性と、古より幾多の苦難を郷土一体となって乗り越えてきた強力な住民の絆があります。

近年は、市役所で取得したＩＳＯ９００１などの近代的行政手法を身につけてきました。これら市民の絆と行政の総合力は、本市の持つ大きなパワーです。

市民一丸となって、平成のこの時代に我々を襲ったこの災害を力強く乗り切っていくために、相馬市復興計画の第一弾を策定します。

- ●高 齢 者　…今後の人生を不安なく安定して生活できるよう、住居整備、生活支援をすること。
- ●子ども達　…ＰＴＳＤ（心的外傷後ストレス障害）対策をはじめ、健やかに成長できるよう支援するとともに、良好な教育環境を提供すること。
- ●青 壮 年　…被災から立ち直り、新たな人生設計ができるように、職業、住居等において環境整備をすること。

## 第２項　計画の期間

この計画の期間は、平成２７年度までの５年間とします。

この計画に基づき、応急仮設住宅から恒久住宅等への移住を平成２５年度までを目標とします。ガレキの処理については、平成２５年度までに完了。漁業の復興については平成２４年度。農業の復興については、概ね平成２７年度までに完了することを目標とします。

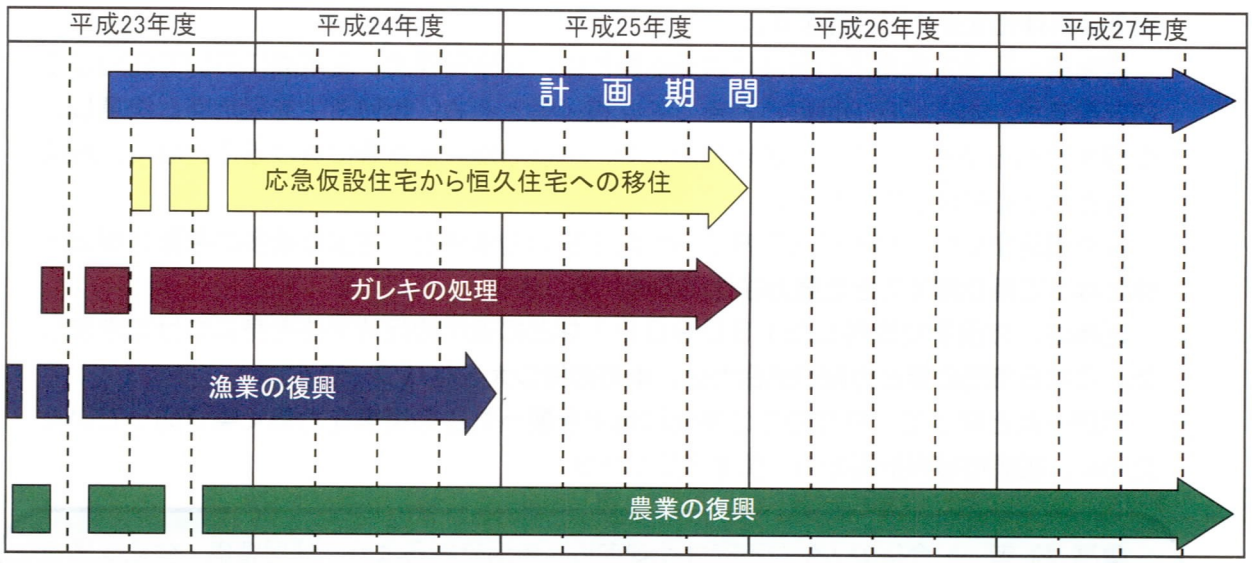
## 第３項　計画の進行管理

東日本大震災からの復興について、着実な実現を図るため、市民代表や関係団体から構成される「相馬市復興対策会議」を定期的に開催することにより、各事業の推進状況を把握するとともに新たに発生する課題についても対応し、事業の見直し・充実を図ります。

また、本計画は、市民の積極的な参画を求めるとともに、常に情報の開示に努めながら、市民と共に復興新生を考えていくことを基本とします。

したがって、計画をホームページ上で公開し、年度ごとの実績と検証及び市内外を取り巻く情勢の変化を踏まえ、年度ごとに見直しをします。

さらに、国や県が策定する各復興計画・指針との整合性を図るとともに、的確な財政分析のもとに計画を見直し、その計画に沿って真に本市の発展に必要な施策を検討します。



# 第2章　基本計画

## 第1節　ソフト事業

### 第1項　応急仮設住宅での生活支援

#### 課　　題

地震・津波被害により被災した多くの住民が、応急仮設住宅や県借り上げ住宅、親類宅などに避難しておりますが、市が支援をしていくためには、被災者の居住地、就労状況等の把握が必要条件となりますので、被災者のデータベース化に尽力しています。

家屋に被害を受けた被災者の多くは、今まで住んでいた場所を離れ、慣れない場所で制約の多い生活を送っていることや、将来設計が見えない中での生活により、体調不良やストレスを抱える人も多く、健康管理や身体的、精神的なケアが必要となっています。

また、旧集落が分散化され、旧来の近所付き合いが一時的に中断していることにより、孤独者が発生する可能性があるため、この点に対するきめ細やかなマネジメントが必要となっています。

応急仮設住宅での生活では、高齢のため、自ら買い物に行けない、医療機関に診療を受けに行くことができない、いわゆる交通・買い物弱者が発生しているため、この点についても対応が必要です。

応急仮設住宅などの避難先では、生活に必要な物資が不足しているため、その需要を把握するとともに、必要な物資を調達し、供給することが必要です。

#### 復興方針

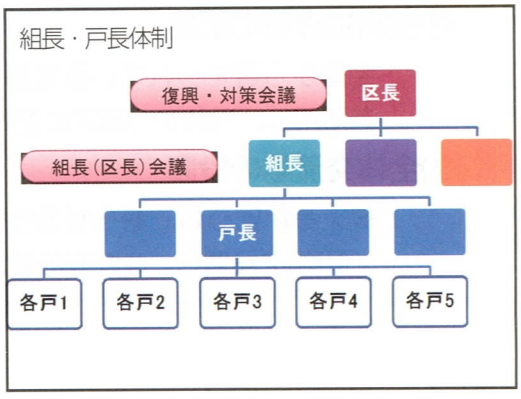
・被災住民の状況把握と支援体制の確立
・応急仮設住宅のマネジメント体制の確立
・応急仮設住宅での各種サービスの提供
・ボランティア活動の支援

応急仮設住宅

#### 具体的施策

①被災住民のデータベース化

・震災における被災者の被災状況や家族状況・現住地の把握に努めます。
・被災者の就労状況や震災により職を失った人たちの状況について確認します。
・被災住民の把握に際しては、市のみならず行政区長や民生委員、農協、漁協等の協力を得ながら実施します。




②マネジメント体制づくり

・応急仮設住宅の管理体制を構築するため、各応急仮設住宅ごとに、入居者の代表となる組長と各棟ごとに置く戸長からなる組織体制「組長戸長体制」を構築し、安心して暮らせる場所づく

りに努めるものとします。

・各応急仮設住宅ごとの課題と対応及び安心して暮らせる場所づくりについて連絡調整を密にするため、各組長で構成する組長会議を開催し、意見を集約します。

・上記「組長戸長体制」については、他自治体からの入居者にも適用し、組織体制を構築するものとします。なお、市においては、各応急仮設住宅ごとに担当部所を編成、迅速な連絡体制を構築します。

・応急仮設住宅入居者の状況把握のため、「組長戸長体制」と併せて、福島県社会福祉協議会が雇用する「生活支援相談員」との連携を図り、きめ細やかな支援体制を構築するものとします。

### ③各種行政サービスの提供

・相馬市社会福祉協議会と連携し、「相馬市生活復興ボランティアセンター」や「生活支援相談員」を活用した応急仮設住宅の見守り、相談、交流の場づくり等、きめ細やかな各種行政サービスを展開します。

・応急仮設住宅において、行政サービスを低下させないよう、被災者への支援を行う各種業務を実施する場所を設置します。

おでかけバス

### ④買い物支援

・自ら移動手段をもたない被災者を対象として、応急仮設住宅と市街地商店街、公共施設及び医療機関等を結ぶ巡回車「おでかけバス」を運行し、生活の利便性を向上させます。

・身体障がい者をはじめとする災害弱者の生活チェック及び買い物弱者に対する食材並びに生活品の購入機会を提供することを目的とした身障者訪問並びにリヤカー引き個別販売「身障者・買物弱者支援事業」を実施します。

### ⑤買い物場の提供

・被災者の応急仮設住宅での利便性の向上及び店舗を失った被災者のため、応急仮設住宅地区に買い物場となる仮設店舗を設置し、生活の利便性を向上させます。

・仮設店舗での販売は、被災した事業主が行うことにより、雇用の確保や緊急的生活基盤の確保となるものとします。

### ⑥イベントの開催

・ボランティアによるイベント開催については、市担当部所と「組長戸長体制」での間で調整し、善意が適切にコミュニティに反映されるようマネジメントします。

### ⑦食料物資等の配給

・全国から寄せられている救援物資等については、各組織（行政区長、組長戸長体制）を活用し、迅速かつ確実に配付できるよう配給システムを構築します。

### ⑧全体交流場の設置

・被災者が安心して暮らせるサポート体制を確立、維持するためサポート拠点センター（仮称)を設置し、高齢者の憩いの場、介護予防事業の実施等、各種業務を運営します。

### ⑨ボランティア参加募集と系統的運用

・ボランティア活動については、相馬市社会福祉協議会で運営する相馬市生活復興ボランティアセンターにおいて集約し、運用の一元管理を実施します。

・応急仮設住宅におけるボランティア活動においては、各組長との調整のうえ、必要となる活動について支援をします。

ボランティアセンター

ボランティア作業

ボランティア作業

## 第２項　医療、介護、健康管理

### 課　　題

本市では、幸いにも医療機関や介護事業者の施設などへの直接的な被害はありませんでした。

しかし、障がい者、要介護者のみならず多くの住民が、生活環境が大きく変わったことによる身体的・精神的ストレスを受けているため、より一層充実した、かつ、きめ細やかなケアが必要となっています。あわせて、近隣市町村から本市に避難している方が増えてきているため、その方々のケアについても考えなければいけません。

また、沿岸部におけるガレキ処理やヘドロ除去作業など復興作業においては、ガレキ粉じんやアスベスト被害の影響が大きいため、健康被害の低減化を図る必要があります。

あわせて、本市を含む相双地方の地域医療を考えた場合、精神科医療の不足が生じているため、診療体制の確保が急務となっています。

### 復興方針

・住民の集団検診体制の確立
・ガレキ粉じん被害対策システムの構築
・アスベスト被害対策の把握
・医療体制の充実

集団検診

### 具体的施策

#### ①医療機関通院の利便性確保

・応急仮設住宅に居住する被災者の通院の利便性を確保するため、応急仮設住宅と各医療機関を結ぶ巡回車「おでかけバス」を運行し、医療機関での診療を受けやすくします。

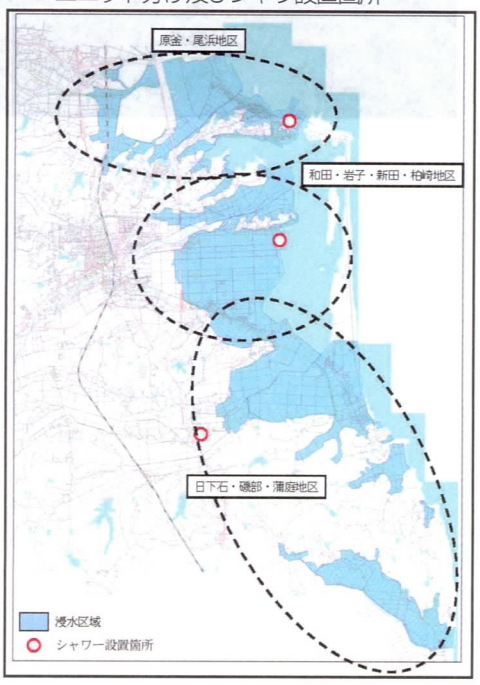
#### ②集団検診体制

・被災者の健康状態の把握のため、集団での健康診断を定期的に実施します。

#### ③ガレキ粉じん被害対策

・沿岸部を襲った津波により相当量のヘドロが堆積しており、復興作業に際して、その健康障がいが懸念されるため、浸水領域ごとにシャワーを設け、作業員あるいは住民が粉じんを生活領域に持ち込まないようにするなど、本市独自のシステムを構築し、健康障がいの低減化を図ります。
・沿岸部に堆積したヘドロについて、その処理方法について検討します。

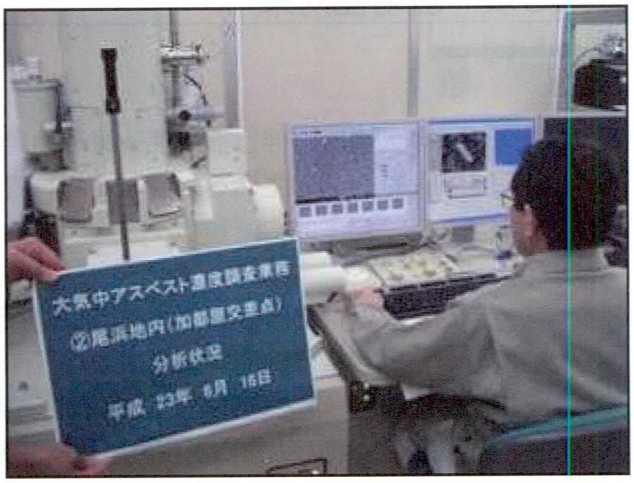
ユニット分け及びシャワ設置箇所



### ④アスベスト被害対策

・建物の倒壊により、吹きつけアスベストやアスベストを含む断熱材などがガレキとなっており、その粉じんにより健康被害が生じる恐れがあるため、空中に浮遊するアスベスト濃度測定を実施します。また、その測定結果をホームページ及び広報そうまに掲載し周知します。

・継続的に測定するアスベスト濃度を注視し、今後想定される健康被害等に対する対応策について検討します。



アスベスト濃度調査

### ⑤公立相馬総合病院病棟対策

・本市における災害拠点病院としての役割を担う公立相馬総合病院の医療の質の向上に努めます。

・震災により被害を受けた公立相馬総合病院第１病棟の機能回復の内容及び方法について検討をします。

・震災により被害を受けた公立相馬総合病院第２病棟の応急的復旧を迅速に行い、診療体制の維持に努めます。

### ⑥精神科診療の充実

・相双地域の中核となる南相馬市の精神科診療施設が、震災により休診となっているため、福島県立医大と連携のうえ応急的精神科診療体制の維持に努めます。

・震災の復興状況を踏まえ、相双地域での精神科診療が可能な医療機関の誘致に努めます。

集団検診

## 第３項　放射能対策

### 課　　題

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所における原子力災害では、多くの市民が不安を抱えながらの生活を余儀なくされているほか、一部では、幼児等の健康への影響を懸念して、自主的に避難し、家族が離ればなれに生活することを選択するケースがでています。

また、放射性物質が大気へ拡散し、野菜や肉用牛などの出荷停止の措置がとられたほか、高濃度汚染水の海洋流出により、津波被害を乗り越え再建に取り組んでいる漁業者においても、操業を自粛せざるを得ない状況に追い込まれています。

加えて、今回の災害により生じた風評被害は、農林水産業はもとより、製造業や商業、観光産業等のあらゆる分野に及び、本市の産業は極めて深刻な影響を受けています。

さらには、放射性物質に汚染された汚泥やガレキの最終処理ができず、今後の復旧・復興に大きな弊害を及ぼしています。

本市では、東京電力に対し、これらの事態を一刻も早く収束させることを求めた内容で要求書を提出しました。

### 復興方針

・放射線量の測定と公開
・生活環境除染対策
・状況悪化時における緊急対策
・市内における放射線メッシュ測定と対策
・教育施設における放射線量ミニホットスポット調査と高線量地点の除染
・除染計画（ＰＤＣＡサイクルによる測定、除染作業を行い住民の理解を得るよう努める）

住民説明会

### 具体的施策

#### ①広報体制の整備

・放射能について正しい知識を身につけるために、市内において放射能に関する住民説明会を開催します。

#### ②市内における放射線メッシュ測定

・市内における放射線量とホットスポットを測定するため、市内全地区においてメッシュ測定を実施します。市内各ポイントでの放射線量の測定を継続的に実施します。
・測定結果について、速やかにホームページ及び広報そうまにて公表します。

#### ③教育施設への対応

・学校における詳細な放射線量を把握するため、各学校ごとの50ポイントのミニホットスポット調査を実施します。
・児童生徒に対する正しい放射線の知識を伝えるため、学校教諭への放射線に関する講習会を実施します。

### ④玉野地区への対応

・放射線量が高い玉野地区において、より詳細なメッシュ測定を実施します。
・放射性物質による汚染の除去が必要な場所について高圧洗浄機による除染を行います。また、正しい除染方法についての講習、訓練を実施します。
・玉野地区の居住について健康不安を解消するため、地区住民を対象とした健康相談を実施します。また、応急仮設住宅への入居の受け入れを行います。

メッシュ測定

### ⑤除染計画

・除染に関する計画を策定するとともに、対策についての指針をまとめます。
・放射線量測定→除染作業→放射線量測定のサイクルにより、放射線量の低減化に努めます。

### ⑥風評被害対策

・原子力災害における農林水産物及びその加工品、工業製品の製造業、さらには観光産業等の風評被害を払しょくするために、関係機関とともに、あらゆる対策に取り組みます。
・風評被害による減収については、その状況を調査し、必要な負担は東京電力に要求します。

校庭の表土入れ

玉野地区健康相談

## 第4項　教育、子どもたちの成長

### 課　　題

今回の震災により、多くの住民が家を失い、避難生活を強いられています。特に住環境、教育環境の変化や家族関係、友人関係などの変化により、将来を担う、児童、生徒の多くが精神的ストレスを抱えているため、心のケア対策が必要です。

また、震災により親を亡くした子どもたちも少なくないため、子どもたちの生活や就学の支援を継続的かつ長期間にわたり行っていく必要があります。

これらに対応するため、震災によって再確認できた人のつながりや温かみなど、災害によって得られた教訓を生かし、共に生きる豊かな心を育てる教育環境の整備を図る必要があります。

さらには、震災による急激な環境変化に対しても、将来たくましく主体的に生きていくことのできる人づくりを目指し、家庭、学校、地域の連携を強化・充実していく必要があります。

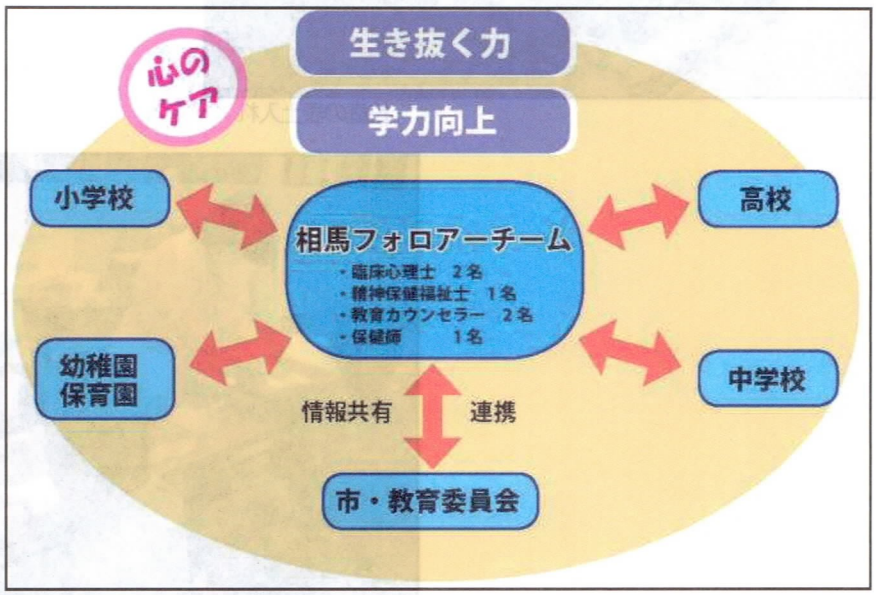
### 復興方針

・被災した子どものＰＴＳＤ（心的外傷後ストレス障害）対策
・震災孤児・遺児に対する支援
・児童・生徒の学力向上

### 具体的施策

#### ①被災した子どものＰＴＳＤ（心的外傷後ストレス障害）対策

・被災したことによる精神的ダメージが今後の成長の妨げになることが懸念されるため、被災した児童、生徒の精神ケアを行うことで、健やかに成長していくことを理念としている、「特定非営利活動法人相馬フォロアーチーム」との協働体制により、臨床心理士、保健師等が持続的かつ系統的に相馬市内の児童・生徒や教員を支援します。



## ②孤児、遺児への支援金支給と奨学金の給付

・親を亡くした孤児・遺児等に対して、学業や生活の支援を行うことを目的として、震災孤児等支援金を支給します。

・継続的な支援体制を確立するため、国内・国外に募金活動を実施し、寄せられた多くの支援を基金として積み立て、長期的に支給できる体制とします。

・寄附者の意向を踏まえ、積み立てた基金は、支援金とあわせて高等教育就学支援のための奨学金として給付することを検討します。

震災孤児等支援金式支給

相馬市震災孤児等支援金支給条例

（目的）
第一条　この条例は、東日本大震災により親を亡くした孤児等に対して、支援金を支給し、その学業や生活を支援することを目的とする。
（支給を受ける者の要件）
第二条　支援金は、次の各号のいずれかに該当する者（以下「震災孤児等」という。）に対して支給するものとする。ただし、十八歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある者に限る。
一　平成二十三年三月十一日に本市に住所を有する者であって、東日本大震災により、両親又はその一方を亡くした者
二　前号に準ずる者で、市長が認めたもの
2　前項の規定にかかわらず、震災孤児等が次の各号のいずれかに該当するときは、支援金は支給しない。
一　養子縁組により養父母を得たとき。
二　生活保護法（昭和二十五年法律第百四十四号）に規定する被保護者となったとき。
三　その他支援金の支給を受ける者として適当でないと市長が認めたとき。
（支援金の額）
第三条　支援金の額は、月額三万円とする。
（支援金の財源）
第四条　この条例に定める支援金の財源は、相馬市震災孤児等支援金支給基金をもってこれに充てるものとする。
（申請）
第五条　震災孤児等が、支援金の支給を受けようとするときは、市長に申請しなければならない。
（支援金の支給）
第六条　支援金は、震災孤児等本人に支給する。
（支援金の返還）
第七条　市長は、偽りその他不正な手段により支援金の支給を受けた者があるときは、当該支給金をその者から返還させることができる。
（委任）
第八条　この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

### ③被災児童・生徒の学力向上

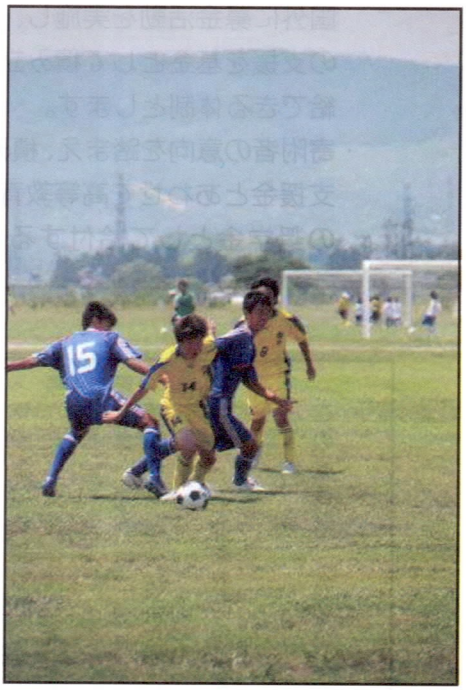
・震災による急激な環境変化に対しても、将来たくましく主体的に生きていくことのできる人づくりを目指し、学力向上のための取り組みを実施します。

### ④復興イベント開催及び運動施設の利用

・スポーツを通じた地域交流、支援体制と精神的ダメージに対してもあきらめない心を養うため、相馬光陽サッカー場オープン記念大会を皮切りに本市運動施設を利用した各種イベントを実施します。

・震災により亡くなった方への慰霊・鎮魂と復興のための花火大会を実施します。

・被災した人たちが、震災への思いと将来を考える場としての鎮魂の行事を実施します。



サッカー場オープン記念大会

自衛隊によるイベント

全国から寄せられた支援

## 第５項　経済対策

### 課　　題

復興するまでの期間、震災によって職業を失った被災者の収入をどのように確保するかを政策化しながら、起因する二次的な問題の解決を図る必要があります。

特に、深刻なことは、以前の事業の債務から被災者をどのように保護するかですが、この点については、積極的に国に要請していきます。

本市では、無料法律相談所を設け、弁護士による相談事業のほか、行政書士、土地家屋調査士、などへの相談をワンストップで対応できるようにしました。

また、可能な限り、雇用創出を図る目的で、被災を免れた企業の雇用拡大を要請するとともに、復興作業を担当する業者が、多くの被災者を雇用できるように働きかけをしています。

さらに、応急仮設住宅生活のマネジメントや、身体障がい者などの災害弱者支援のスタッフを行政支援員として雇用し、減収対策を進めておりますが、これを継続・充実させます。

また、原子力災害による産業への悪影響や、市民生活への被害については、東京電力に対して各テーマごとに補償を要求していきます。

### 復興方針

・漁業・農業支援
・第２次産業支援
・第３次産業支援
・雇用対策

### 具体的施策

#### ①無料法律相談

・国民向けの法的支援を行う中心的な機関として設立されている「法テラス」を活用し、法的トラブルの解決に努めます。
・県弁護士会による無料法律相談事業を継続的に実施するよう働きかけを行います。
・震災による国からの弁護士費用助成が受けられるよう支援します。

#### ②漁業支援

ア 操業再開の支援

鹿野農林水産大臣、漁業関係者と意見交換

・漁港の整備を、現在の仮護岸から恒久的な漁港機能整備に向けて取り組みます。
・漁業再開に向けた必要条件となる放射線量のサンプリング調査を実施します。
・漁業再開に向けて、試験的に操業し、漁場の調査を実施するとともに、調査で水揚げされた水産物を試験的に販売することによって、消費者のニーズの把握に

努めます。

・水産物の放射線量測定を本市が自主的に迅速かつ継続的に行うため、ベクレル計測器の配置を検討します。

### イ 付帯設備の整備支援

・漁港としての基盤整備に不可欠な製氷機の整備について、国及び関係団体に対し支援を求めます。

・水産物販売時における商品付加価値の向上を図るため、高機能冷凍設備を導入し、より安心・安全な供給体制を構築します。

### ウ 仲買、加工業への支援

・仲買、加工業の事業再開に向けて、必要となる施設、設備について、相馬双葉漁業協同組合と連携し、速やかな事業再開が行えるよう、支援を行います。

・高機能冷凍設備を活用した冷凍加工業者の育成に努めます。

### エ 市民向け市場の支援

・本市の魚介類をはじめとした野菜、米等の地産地消の推進を図り、新たな観光資源の開発と市民に元気と活力を与え、地域振興に期することを目的とした、特定非営利活動法人「相馬はらがま朝市クラブ」等の活動について積極的に支援します。

・本市水産物、農産物の地元消費の推進について検討します。

はらがま朝市

## ③農業支援

### ア 干拓システムの復旧

・震災により被災した干拓システム等について、東京農業大学と共同で今後の土地利用も含めた復旧方法を検討します。また、国・県等に対し早期復旧を要請していきます。

### イ 被災水田農業主の法人化

・被災地域での農業の主体となる農業法人の設立を積極的に支援します。

・被災地域での今後の農業のあり方について、地区説明会を実施し、農業を続ける方策について意見を集約します。

### ウ 法人による復旧事業受注

・津波によりガレキ、ヘドロの堆積した田畑の復旧や塩害の対策については、市内農業法人による受託を推進し、雇用の安定化に努めます。

・田畑に関して、全体的な整備計画を策定します。

### エ 土地改良区の経営支援

・土地改良事業を施行しているそうま土地改良区について、その経営が逼迫しているため、国及び関係機関に対して支援等について要請します。

オ 農業法人による新たな農業の模索

・被災者の農業のあり方や市内全般に渡る耕作放棄地対策及び次世代の農業経営について、東京農業大学の研究成果を活用し、国・県等と協議し、新たな農業の実現を図っていきます。

④第２次産業支援

ア 新規工場での支援

・本市に進出を希望する企業等の情報について、県との連携体制を密にします。

・本市に移転した企業の状況把握に努め、必要な支援策について検討します。

⑤第３次産業支援

ア 応急仮設住宅集合地での仮設店舗運営

・被災者の応急仮設住宅での利便性の向上及び、店舗を失った被災者のため、応急仮設住宅地区に買い物の場となる仮設店舗を設置することにより、被災事業主への支援とともに、雇用の確保や緊急的生活基盤を確保します。

イ 応急仮設住宅への各種サービスの進出

・応急仮設住宅入居者のニーズ把握に努め、必要となる各種サービスの実施について検討します。

⑥雇用対策

ア 新規工場での採用

・県及び関係団体と連携のうえ、本市に立地を希望する新規事業者等の情報収集に努め、雇用者確保のための対策を講じます。

・被災者雇用に関して、ハローワークとの連携のもと必要な情報の提供に努めます。

イ 既存工場の新規雇用

・本市誘致企業や市内事業者において、雇用の状況や被災者の新規採用等の情報の把握に努めます。

・本市誘致企業へ、緊急的な被災者の雇用とその後の継続的な雇用を増やす働きかけを積極的に行います。

ウ 復興産業での雇用

・ガレキ処理等の復興を行う事業者が雇用する従業員について、その採用情報の収集に努め、本市における被災者が最大限雇用されるよう、働きかけを行います。

２トンダンプ寄贈

## 第６項　孤独死対策

### 課　　題

震災によって、家族を失い、たったひとりきりになった世帯が孤独・孤立化したこと、また地域に支えられて生活してきた高齢者のみの世帯が、新たな生活環境で不自由な生活を強いられることにより、社会的ケアが必要な状態にあると考えています。

したがって、行政支援員やリヤカー販売員と組長が連携しながら地域コミュニティの中で、これらの人々を支援、見守る体制が必要です。

また、恒久住宅での生活についても同様に、ふれ合いと助け合いのなかで、孤独者が地域や隣人との絆が実感できるよう支援策を展開します。

本市においても、１，５００戸の応急仮設住宅が建設されており、慣れない場所での生活により、孤独化、孤立化が進み、孤独死に至る恐れも十分に考えられます。

本市としては、データベース化によるマネジメントを徹底させ、応急仮設住宅での孤独死対策と集合住宅でのケア体制を進めていきます。

### 復興方針

・被災者用住宅の提供
・応急仮設住宅での集団給食配食

リヤカー販売

### 具体的施策

#### ①集合住宅の建設と運営対策

・震災により家を失い、かつ資金の問題等により自己再建が困難な高齢者等のため、集合住宅の建設を進めます。
・集合住宅の運営に際しては、ボランティア、各種団体との協働を推進します。
・集合住宅については、共助の精神が反映されるよう集会所や談話室といった共有スペースを設け、高齢者等の孤独状態を防ぐよう配慮します。

#### ②応急仮設住宅での集団給食

給食の配食

・応急仮設住宅での孤独化、孤立化を防ぐため、適切な栄養管理を行った給食を配食します。
・配食にあたっては、組長戸長体制による配食システムを構築します。
・高齢世帯、独居世帯等、特に見守りが必要な世帯については、応急仮設住宅の各集会所において、毎日会食を実施し、健康状態等を確認しながら必要な支援を実施していきます。

## 第７項　市役所体制の再整備、他の自治体職員・ボランティアの受入体制整備

### 課　　題

今回の震災では、通常の行政業務に加えて震災に関する業務も行わなければならないため、職員数が圧倒的に不足しています。また、復旧工事に関する事務についても、専門的技術が必要なため、特定の職員に負担が生じています。

震災に関する業務については、新たに発生する事業や、庁内各部で横断的に取り組まなければならない項目も多く、迅速な対応に弊害が出ています。

また、日本全国からの助け合いの精神をありがたく受け止め、本市復興の大きな力とするために、ボランティアの方々のパワーを最大限に発揮していただくよう、受け入れ体制をつくっていきます。

相馬市復興会議

### 復興方針

・市役所庁内体制の再整備
・人材支援

### 具体的施策

#### ①庁内体制の再整備

・今回の震災への対策については、全庁的な復興体制を構築し、維持することが必須であるため、迅速かつ適切な対応が講じられるよう組織の再整備を行います。
・庁内組織体制の整備にあたっては、緊急時において適切な指示が迅速に行えるよう、本部機能を代行できるような組織とします。

#### ②国からの人材支援（要請）

・震災に関する業務のうち、専門的技術が必要な業務について、国へ職員の支援を要請します。

#### ③他自治体からの支援

・姉妹都市及び災害時応援協定を結んでいる市町村等からの支援については、これを広く受け入れ、復興に関する業務に従事してもらうよう調整を行います。

#### ④ボランティア受け入れ体制

・全国からのボランティア活動受け入れについては、相馬市社会福祉協議会が運営する相馬市生活復興ボランティアセンターと連携し、必要な復興作業に従事できるよう調整を行います。

東京都稲城市史との災害時相互応援協定締結

## 第2節　ハード事業

### 第1項　ガレキ処理

#### 課　　題

東日本大震災により発生した津波により本市沿岸部の家屋及び建屋の多くが流出し、また相馬港等に停泊していた船舶や防潮林として植樹されていた松林も押し流され、ガレキとなって市内に散乱しました。

打ち上げられたガレキについては、国、県の支援を受けながら撤去を進めています。

なお、さらに細かいガレキの撤去や撤去したガレキの分別、適切な処理を経た最終的な処分については、円滑に進める必要があります。

#### 復興方針

・迅速なガレキの撤去
・環境に配慮したガレキの処分

ガレキ処理

#### 具体的施策

##### ①事業者選定

・迅速なガレキの処理にあたっては、適切な事業者を選定するためプロポーザル方式による公募を実施しました。また、事業者選定については、市だけでなく住民代表も含めた委員会を組織し、公平性・客観性・透明性を確保しました。なお、選定の経過については市ホームページに掲載しています。
・事業実施にあたっては、環境に配慮し、かつ経費を抑制できる適切な処理能力を有した設備を導入することとしています。
・ガレキ処理においては、中間処理決定事業者と地元事業者の連携を密にするとともに、地元からできるだけ多く雇用するよう、働きかけを行いました。なお、今後も地元経済の活性化につながるよう継続的に働きかけをしていきます。
・ガレキ処理については、ヘドロや粉じんによる作業員やその家族の健康への影響が懸念されるため、シャワールームを備えた「粉じん関所」を設置するなど、健康被害の予防体制を整備しています。

##### ②相馬市災害対策本部と工程管理

・ガレキ処理については、迅速な処理を進めるため中間処理完了目標を定め、適切なスケジュールのもと、定期的に相馬市災害対策本部に報告するものとします。あわせて、随時本市ホームページ等で周知するものとします。

##### ③最終処分

・国の方針決定を得て、放射能問題を適切に処理できるようにしていきます。

## 第２項　被災地整理

### 課　　題

本市沿岸部のうち、建築物が流出し、多くの犠牲者を出した地域については、居住するための新たな建物を建築することは危険と判断し、市民の安全を確保するため、「災害危険区域」として建築制限を行うこととします。

また、被災した宅地等は、公用地として買い取ることを国に要請し、ソーラーパネル用地や事業用地など新たな土地利用を検討します。

なお、農用地については、原則的には、従前の状態に復旧することを目指します。

### 復興方針

・津波浸水地区の有効な土地利用

### 具体的施策

#### ①建築制限

・現在、堤防の決壊や地盤沈下等により、再度津波が来襲した場合、甚大な被害の恐れがある地区を「災害危険区域」として告示し、建築制限を行います。

・「災害危険区域」の区域決定にあたっては、住民の意見を取り入れ、必要最小限の区域とします。

相馬市災害危険区域に関する条例

（趣旨）

第一条　この条例は、建築基準法（昭和二十五年法律第二百一号。以下「法」という。）第三十九条第一項の規定による災害危険区域（以下「災害危険区域」という。）の指定及び同条第二項の規定による建築物の建築の制限に関し必要な事項を定めるものとする。

（災害危険区域）

第二条　災害危険区域として指定する区域は、津波による災害の危険が著しい区域として、相馬市尾浜、原釜、新沼及び磯部の区域内で市長が指定する区域とする。

２　市長は、前項の規定により災害危険区域を指定したときは、その区域を告示するものとする。

３　災害危険区域の指定は、前項の規定による告示によりその効力を生ずる。

４　前二項の規定は、災害危険区域の指定の変更又は解除について準用する。

（建築の制限）

第三条　前条の規定により指定された災害危険区域内においては、住居の用に供する建築物は、建築してはならない。

（委任）

第四条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

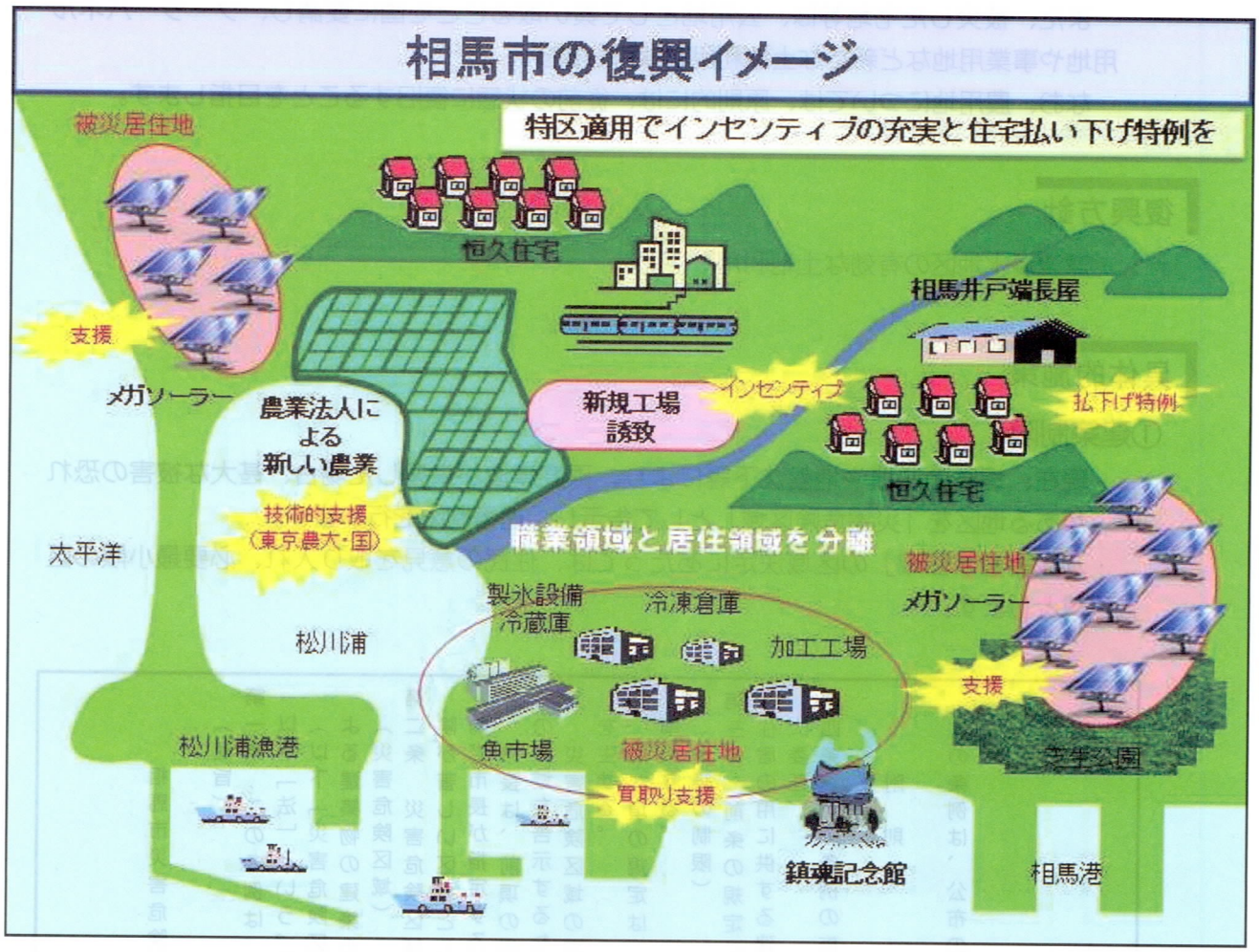
附　則

この条例は、公布の日から施行する。

## ②土地利用計画

・津波浸水区域においては、新たな土地利用を検討する必要があるため、今後の防災対策や、住民意向などをもとに、今後の土地利用計画について検討を行います。

・津波浸水区域のうち、家屋流出等、甚大な被害を受けた地域については、職業領域と居住領域を分離する方向で、今後の土地利用を考えていきます。




※インセンティブ

目標への意欲を高める刺激。特に企業で与える報奨金・奨励金　【出典】広辞苑

## 第３項　住宅の整備

### 課　　題

今回の震災において市内の建物の被害は、８月８日現在、全壊が約１，０４９棟となっており、うち津波による流出が７７２戸となっています。また、市内全域においても地震による被害が発生しており、大規模半壊・半壊、一部損壊を含めると４，７８４棟となり、全棟数の３割を超える被害となっています。（全居宅棟数１５，６１６棟）

生活基盤の整備のためには、基本となる住家の整備が必須であり、生活を再開するために、被災した住宅の早期再建を進めていくことが急務です。

そのためには、自立再建・改修への支援、災害公営住宅等の整備、新たな住宅地の整備などが考えられます。

また、住宅再建については、環境に配慮した施策を検討することが重要です。

### 復興方針

・災害公営住宅の建設
・独居被災者対策
・将来への対応

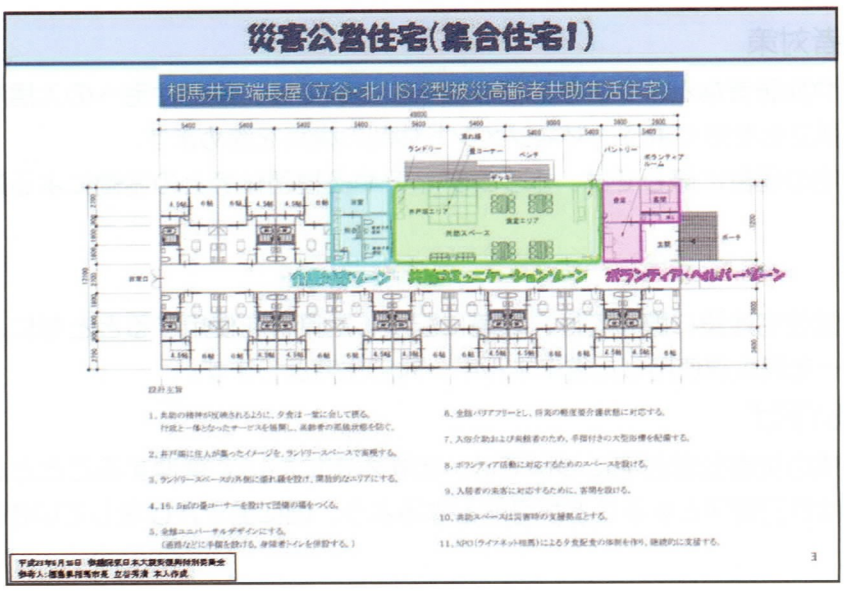
### 具体的施策

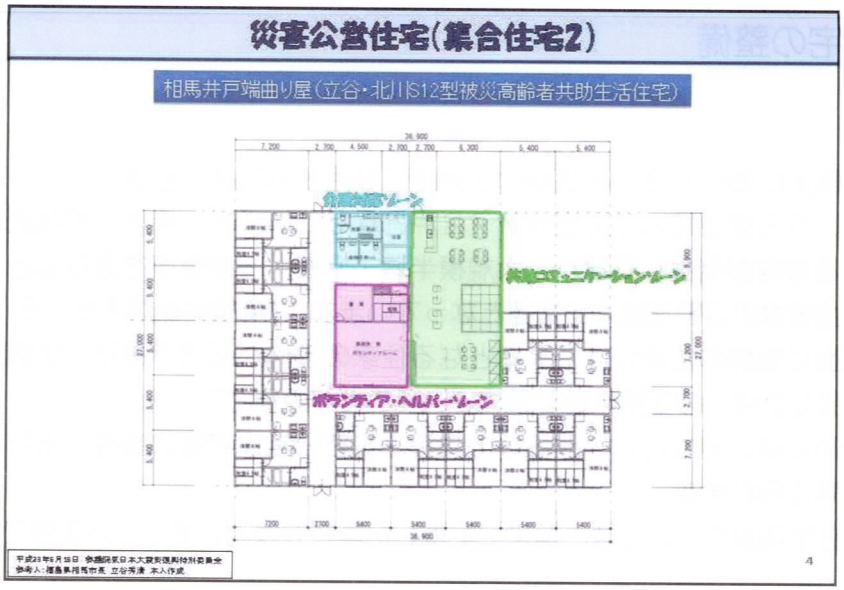
#### ①応急仮設住宅

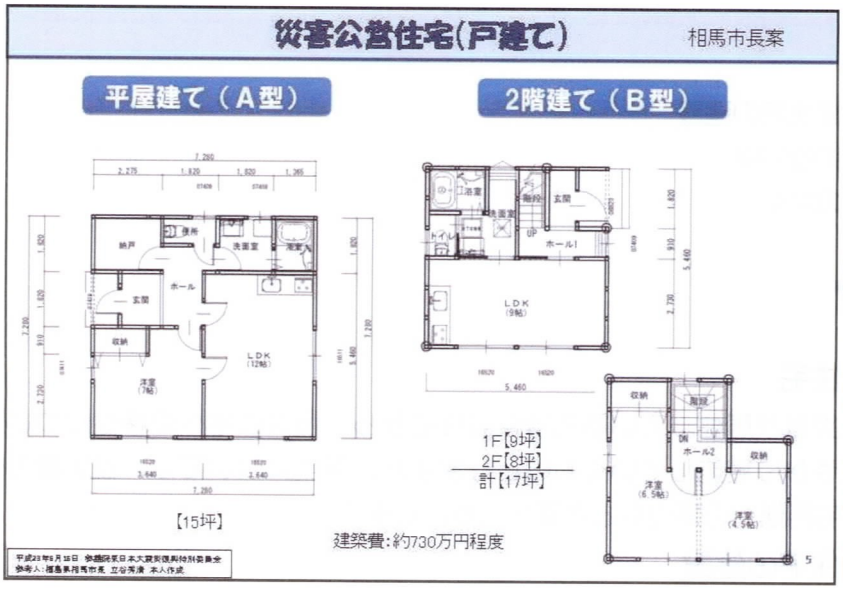
・現在被災者が居住している応急仮設住宅から、恒久住宅への移住については、できる限り速やかに実施していくものとしますが、時期については、被災者の住宅整備の状況や住宅再建への意向などを踏まえ検討します。

#### ②災害公営住宅の建設

・災害公営住宅については、被災者への入居に関する意向調査を実施します。
・意向調査の結果をもとに、必要な数の災害公営住宅を建設します。災害公営住宅については、戸建形態と集合形態の２形態としますが、その数については、住民の意向踏まえ不足がないよう整備に努力します。






### ③原則公用地の使用

・災害公営住宅の建設地については、原則、市が保有する公有地への建設を優先しますが、住民の意向を踏まえたうえで、用地の取得、住宅地としての整備をすることも検討します。

### ④独居被災者対策

・高齢者や独居者など、ケアが必要な世帯については、集合住宅への入居をすすめ、孤独化、孤立化を防ぐよう、マネジメント体制の構築を進めます。

・集合住宅の運営に際しては、ボランティアや各種団体等との協働による運営を目指します。

### ⑤環境配慮

・災害公営住宅建設に際しては、環境に配慮した資材を使用するとともに、再生可能エネルギーを最大限使用した省エネルギー対応住宅とします。

### ⑥将来の払い下げ

・戸建形態の災害公営住宅については、当初本市において管理することとしますが、最終的には自己管理とすることが可能となるよう、国に働きかけをしていきます。

### ⑦新たな住宅地整備等の検討

・家屋流出等、甚大な被害を受けた地域については、防災対策や土地利用等に合わせて、新たな住宅地整備等を検討します。

・新たな住宅地等は、被災者への入居に関する意向調査等をもとに、津波被害等からの安全性が確保できる地域を検討します。

被災地の現況（原釜）

被災地の現況（原釜）

## 第４項　漁業基盤整備

### 課　　題

本市には、松川浦漁港及び磯部漁港の２つの漁港がありますが、震災により両漁港ともに壊滅的な被害を受けました。また、漁港に併設されていた魚市場、加工施設等も被害を受け、漁及び水産加工業が再開されていない状況です。

漁港及び付随施設の被災により、漁業の再開が不透明となっているため、早期の本格的漁港整備及び施設整備を進める必要があります。

また、本格復旧に際しては、防災機能を高めるため、十分な沖防波堤を備えた漁港を整備する必要があります。

相馬双葉漁業協同組合施設

### 復興方針

・漁港及び加工施設等の早期本格整備
・防波堤を備えた漁港の本格的な復旧

### 具体的施策

#### ①仮設漁港

・松川浦漁港については、早期に漁業再開を行うため、当面必要となる最低限の漁港施設、設備の復旧を早急に実施しました。
・漁港施設の復旧にあたっては、いち早い漁業再開のため、電気、水道、通信のライフラインはもちろんのこと、暫定航路や仮岸壁、付帯施設等の早期復旧を行いました。

#### ②船曳場整備

・今回の震災により多数の漁船が損傷を受けたため、早期に修繕をする必要があるため、漁船の修繕に不可欠な船曳場の整備を行います。

#### ③事務所

・相馬双葉漁業協同組合本所及び各支所は、津波により壊滅的な被害を受けているため、事務所機能の本格復旧に向けて支援を行います。
・当面の事務所機能の維持のため、必要な施設、機器について支援を行いました。

#### ④ガレキ撤去

・津波により、松川浦内や航路に大量のガレキが堆積し、漁船等の航行や浅海漁業再開に支障があるため、ガレキの本格撤去を実施します。
・津波により沖防波堤が決壊したことによる静穏度の低下のため、漁船等の着岸ができなくなっているため、沖防波堤の復旧・整備を早急に実施します。

#### ⑤漁港の本格復旧

・仮設漁港の復旧の後、本格的な漁港整備に必要な施策について国・県と調整協議を実施し、必要な要請を行います。

#### ⑥冷凍設備、製氷設備

・漁港としての基盤整備に不可欠な冷凍設備、製氷設備の整備について、広く支援を求めます。

・水産物販売時における商品付加価値の向上のため、高機能冷凍設備を導入し、より安心・安全な供給体制を構築します。

⑦加工業等

・漁港再開に伴い、二次産業となる加工業等の誘致を行うとともに、新たな事業を目指します。

・加工業等の再開に伴い、必要となる施設、設備について、相馬双葉漁業協同組合と連携し、加工された商品が魅力あるものとなるよう必要な支援を行います。

被災地の現況（尾浜）

被災地の現況（尾浜）

## 第５項　農業基盤整備

### 課　　題

本市の主な農産物は、米や梨などの果樹ですが、震災による津波で市内沿岸部の田畑が浸水しました。

浸水地区は、市内農用地の約４０%にものぼっており、田畑が塩水に浸かったことで、除塩等の処理をしなければ、農業を再開することができない状況にあります。

また、震災により農業従事者の所有する農機具も流出したため、新たに農機具を調達する必要があります。

以上のように、個人で解決するには困難な課題が多くあるため、これまでのように、個人で農業に携わるだけでなく、農業法人を設立し農業に従事するといった新しい形の農業展開を進める必要があります。

### 復興方針

・被災農用地の再整備と農業の早期再開
・農業法人の設立の促進と支援

### 具体的施策

#### ①干拓堤防

・今回の震災により決壊した干拓堤防については、早急にかさ上げ整備を行い、農地復旧に取りかかれるようにします。
・松川浦護岸の復旧については、早急に仮護岸の整備をしてもらうよう県に要請します。
・仮護岸の整備後、農地復旧と並行して本格復旧に着手できるよう、国及び県に対し支援を要請します。

芹谷地排水機場の状況

#### ②排水ポンプ

・今回の震災により農地の多くが地盤沈下を起こし、より多くの排水を行う必要があるため、その対策として、従来より能力の高い排水ポンプを設置し、農地の復旧を図ります。

#### ③農業施設、農地の復旧

・津波により甚大な被害を受けた用水路、排水路、農道、パイプラインなどの施設復旧を図ります。
・農地内に大量に堆積した土砂・ガレキの撤去や塩分除去作業等の農地復旧事業を実施し、農地を回復します。
・これらの復旧については、新たに設立する農業法人を積極的に活用することによって、雇用、収入の安定を図ります。

・農地におけるヘドロの除去方法について、国及び東京農業大学との共同研究により、速やかな対策を検討します。
・農業基盤整備に際して、国の積極的関与を促すため、国職員の常駐を要請します。

被災地の現況（磯部）

被災地の現況（磯部）

## 第６項　一般製造業及び第三次産業の支援

### 課　　題

市内には、相馬中核工業団地（西部・東部）及び柚木工業団地があり、多数の企業が立地しております。震災により工場の操業が停止していましたが、現在は工業団地内の企業を始め、一般企業も含めてほぼ操業を再開しております。

電力不足を懸念する国の方針により電力制限が指導されてはいますが、本市においては新たな雇用創出に取り組む必要があるので、雇用創出の妨げにならないよう、電力制限の対象としないことを国に要請したことにより、一定の雇用を確保した事業所の電力制限は対象外となりました。

また、市内沿岸部には、旅館や民宿が数多く立地していましたが、津波により建物が流出したり建屋内が浸水したため、本格的な営業再開のためには、大規模な修繕が必要となるところもあります。

旅館業再開のためには多大な費用がかかるため、中には営業再開をあきらめる事業者も出てきていますが、事業再開に向けて融資制度の情報提供をするなど積極的な支援をする必要があります。

### 復興方針

・製造業の早急な事業再開と稼働の確保
・新規企業立地に関しての積極的な支援
・旅館・民宿などの観光関連事業者への支援

被災地の現況（尾浜）

### 具体的施策

#### ①被災工場の再建支援

・被災した事業者においては、早急な事業再開と稼働の安定が必要不可欠であるため、必要な対策を行います。なお、電力制限については、新たな雇用創出に取り組む必要があるので、雇用創出の妨げにならないよう、電力制限の対象としないことを国に要請したことにより、一定の雇用を確保した事業所の電力制限は対象外となりました。

#### ②宿泊施設業の復興支援

・津波により被災した地域においては４０の宿泊施設が存在し、その約半数が休業もしくは廃業となっているため、観光地としての宿泊施設へと復旧できるよう可能な限り誘導していきます。
・震災対策のため、本市には多くの復旧作業員が訪れ、そのほとんどが長期滞在であるため、この機会を復興のチャンスとして、事業展開し基盤の再生が図られるよう調整を行っていきます。

#### ③移入企業の操業支援

・震災を契機に本市に移入してくる企業に対しては、早期に操業が開始できるよう、必要な支援を講じていきます。

## 第７項　相馬港の整備

### 課　　題

相馬港は、多目的クレーンとリーチスタッカー等を備えた港湾で、コンテナ定期航路により相双地方の物流拠点港として、重要な役割を担ってきました。

今回の震災により、沖防波堤や１号～２号埠頭の港湾施設が甚大な被害を受け、ほとんどが使用できなくなっているため、物流機能が大きく低下しており、利用企業の復興や地域の経済活動に大きな影響を及ぼしている状況となっています。

本市のみならず、相双地方の物流機能も低下しているため、港湾施設の早期復旧を図り、地域経済の復興に不可欠な相馬港の物流機能を回復する必要があります。

### 復興方針

・港湾施設及びコンテナ物流機能の早期復旧

### 具体的施策

#### ①沖防波堤の早期復旧

・津波により沖防波堤がほぼ全壊したことによる港内静穏度の低下のため、船舶の安全な接岸や貨物の荷役作業に大きな支障をきたしているため、仮復旧による早期の静穏度確保も含めて、早急な沖防波堤の復旧・整備を国・県等に要望します。

#### ②係留施設（岸壁）の早期復旧

・地震と津波により壊滅的な被害を受けている岸壁等の復旧については、県との調整、協議を行い、早期の復旧を目指します。

#### ③コンテナ物流機能の早期復旧

・今回の津波よりコンテナ荷役に必要な荷役機械に甚大な被害が生じており、コンテナ定期航路が休止中のため、必要な荷役機械設備について早期に整備を行い、一日も早いコンテナ物流機能の回復を図ります。また、リーチスタッカーは修繕後の貸し出し、修繕者への補助を国に要望していきます。

・コンテナクレーンについては、県が整備することとなっていますが、物流機能には必要不可欠な施設であるため、早期回復を国・県等に要望していきます。

リーチスタッカー

# 第８項　道路、鉄道の整備

## 課　　題

本市の幹線道路は国道６号及び国道６号バイパス、国道１１５号及び国道１１３号があり、これまで、さらなる市の発展のため、常磐自動車道の整備や阿武隈東道路の整備に取り組んできました。

しかしながら、今回の震災及び原子力災害により、常磐自動車道（常磐富岡～警戒区域）の工事再開の見通しが立たない状況となり、また、国道６号は南相馬市以南で通行止めとなっているため、現在国道１１５号が首都圏方面と相馬地方を結ぶ唯一の幹線道路となっています。

今後、被災地域の市道・県道と合わせ、南相馬インターチェンジ（仮称）以北の常磐自動車道の整備及び東北中央自動車道（福島～相馬間）等の幹線道路の整備を早急に進める必要があります。

さらに、本市内を唯一運行していたＪＲ常磐線も、今回の震災により、その運行ルートのいたるところで線路流出や駅舎流出が起こり、併せて原子力災害の影響もあり、現在久ノ浜駅～亘理駅間で運行を休止しています。

このまま運行休止が続けば、住民生活の利便性をはじめ、地域経済に大きな影響を及ぼすことが予想されるため、ＪＲ常磐線の早期復旧を働きかけていく必要があります。

## 復興方針

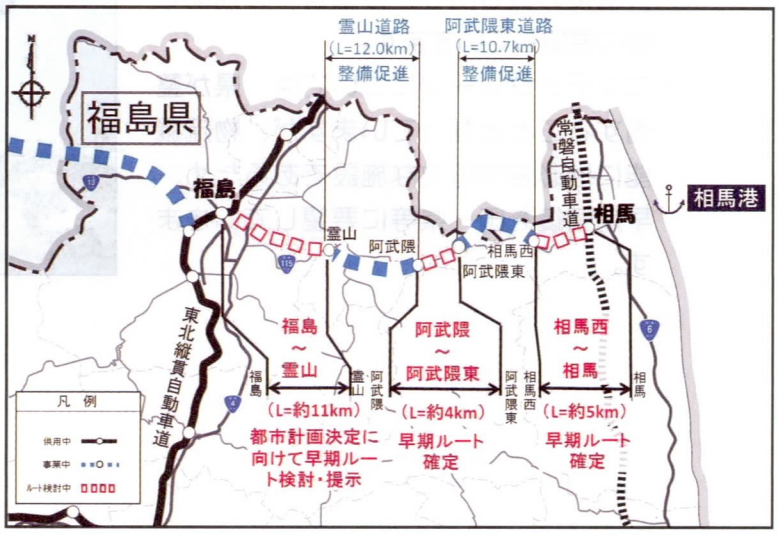
・道路の再整備
・鉄道の早期運行復旧

## 具体的施策

### ①東北中央自動車道の必要性

・今回の震災時に唯一の幹線道路として機能した福島～相馬間ルートについて、復旧復興作業のための物流や、浜通りの住民生活を支え、災害時にも確実に機能する「復興幹線道路」としての役割を持つ、東北中央自動車道（福島～伊達～相馬間）の未事業化区間について、早期に完成させることを強く要望していきます。

・事業中の阿武隈東道路・霊山道路についても、早期完成を図り、中通りと浜通りの高速交通ネットワークによる住民生活の安全・安心を実現できるよう、各種要望活動を実施していきます。



### ②常磐自動車道の整備

・本市における高速交通網の整備は必要不可欠ですが、今回の原子力災害により常磐自動車道建設工事が一時中断しておりましたが、警戒区域以北の工事が再開しました。今後は、警戒区域～山元間について、幹線道路として早期に整備が図られるよう、強力に要請を行います。

### ③市道の整備

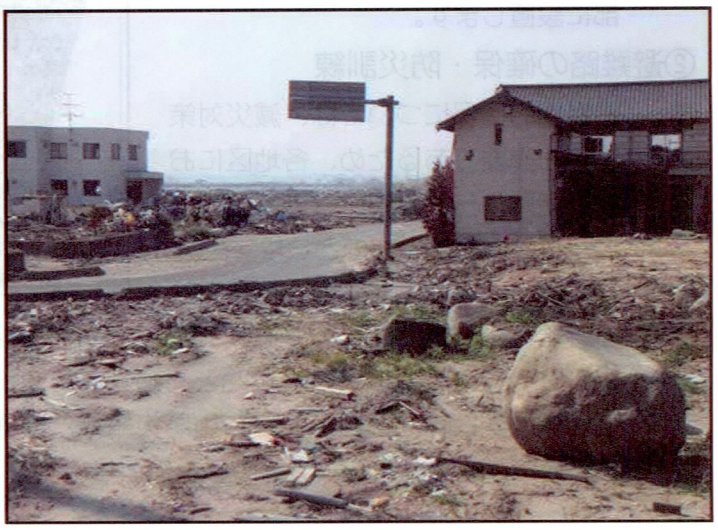
・被災地域内における市道については、未だ復旧できない箇所も多いため、今後復興計画に基づき計画される被災地の土地利用の具体的案に合わせて、市道の復旧復興計画を策定し、計画的に整備していきます。

### ④ＪＲ常磐線の復旧

・東日本旅客鉄道株式会社に対し、早期復旧を要請するとともに、ＪＲ常磐線沿線市町で構成する「ＪＲ常磐線復興調整会議」においても、早期復旧に向けて協議を実施していきます。

・ＪＲ常磐線運休に伴う代行バスについて、乗客のニーズを踏まえ、従来どおりの利便性を確保できるよう働きかけを継続的に行っていきます。

被災地の現況（磯部）



被災地の現況（磯部）

## 第９項　防災体制整備

### 課　　題

今回の震災により沿岸部においては、約２，０００ヘクタールが津波により浸水し、また、各種警報を周知する防災行政無線についても、津波により使用不能となっています。

このため、東日本大震災の教訓を生かし、今後発生するであろう様々な災害から市民の生命と財産を守るため、避難路の整備などの減災対策や減災体制強化、また防災拠点施設等の整備、防災行政無線をはじめとする情報通信基盤の整備などの防災対策を強力かつ迅速に推し進める必要があります。

また、今回の震災で重要であることを再認識された確実な情報伝達や初動体制の確立等については、日頃の訓練やマニュアル等で、常日頃から確認できる体制を構築することが必要です。

### 復興方針

・防災施設・設備の整備
・減災対策
・防災対策

相馬市の浸水区域

### 具体的施策

#### ①サイレンの整備

・今回の震災により使用不能となっている防災行政無線の代替機能として、各種災害を伝達するためのサイレンを早急に設置し、安全性の確保を図ります。
・サイレン設置にあたっては、当面津波被害の恐れがある沿岸部と市中心部に設置します。

#### ②避難路の確保・防災訓練

・避難路の確保については、減災対策上最も必要であるため、各地区における避難ルート、第１次避難場所を選定し、周知するものとします。
・避難ルートを設定する際、必要となる避難道路については、優先的に整備が可能となるよう、道路整備計画を策定します。
・避難路や避難場所の選定、周知とあわせて、減災対策が確実に実行できるよう、市及び関係機関団体をはじめ、各自主防災組織と連携した防災訓練を実施し、各地域での減災対策が講じられるよう努めるものとします。

## 第１０項　被災鎮魂記念館の整備

### 課　　題

東日本大震災の被害は甚大で、行方不明者を含む死亡者が４５９名にのぼりました。市内沿岸部に居住していた方が多数亡くなられており、これは地震によって引き起こされた津波による被害の大きさを物語っています。

このような状況の中、天皇、皇后両陛下が黙礼された地に、亡くなった人の追悼のため、また、この痛ましい震災をいつまでも忘れることなく、後世に託す義務があるため、生き残った私たち市民は、震災により亡くなられた方への哀悼の意を胸に、強く未来を歩んでいく決意を示すため、被災鎮魂記念館を整備することとします。

### 復興方針

・震災犠牲者の慰霊
・市民の防災意識の啓蒙

### 具体的施策

①目的

・今回の震災を忘れることなく、かつ震災の犠牲者となられた方々の慰霊のために施設整備等について検討します。
・施設整備にあたっては、今回の震災の記録等を残し、経験した教訓を正確に次世代に伝え、安全・安心のまちづくりや、防災教育、防災・危機管理に関する研究などに役立てることができる機能を持たせることを検討します。

②モニュメントの設置

・天皇、皇后両陛下がご視察され、被災を悼み黙礼された地に、祭壇を作り手を合わせる施設等を整備します。

## 第１１項　再生可能エネルギー生産の整備

### 課　　題

福島第一原子力発電所の事故により、国及び県ではエネルギー政策見直しの議論が積極的に行われております。これらの議論の中で、太陽光発電や地熱発電といった再生可能エネルギーの有用性や積極的推進の方向性が述べられております。

本市における再生可能エネルギーの導入促進の施策については、震災以前には、これから取り組むべき施策として太陽光発電システムを学校施設の建設に際し導入してきました。

再生可能エネルギーについては、様々な議論はあるものの、独力でのエネルギー調達等、その有用性を十分に発揮するため、本市ではこれから新しく建設をする公共施設についてシステムの積極的な導入を図ること、また、再生可能エネルギーの必要性を世界中に訴える必要があります。

なお、再生可能エネルギーの設置場所については、市有地での検討としますが、今後策定する被災地域の土地利用計画の中で検討する必要があります。

### 復興方針

・新しい公共施設の建設時における太陽光発電導入促進

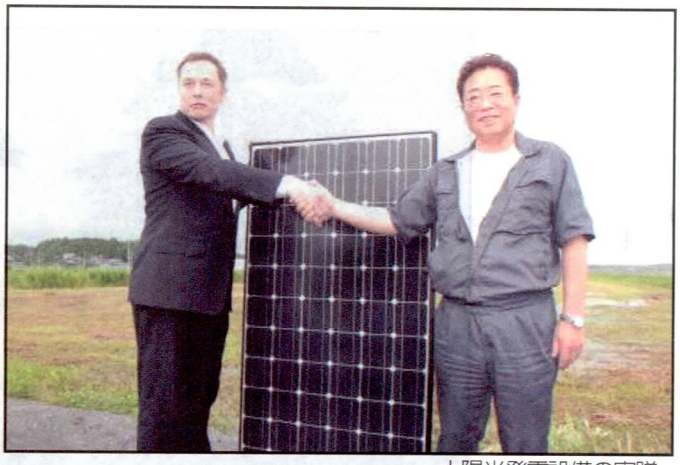
### 具体的施策

#### ①災害公営住宅へのソーラー搭載

・新しく建設する災害公営住宅には、再生可能エネルギーを利用します。
・今後、復旧・再建する公共施設においては、最大限再生可能エネルギーの活用を検討します。

#### ②各種企業、団体からの寄贈と利活用

・再生可能エネルギーの利活用については、被災地における新たな土地利用計画の策定とあわせて、本市としての大規模エネルギー生産地としての方針について検討を行います。
・各種企業、団体からの再生可能エネルギー導入に関する寄贈等については、これを広く受け入れ、本市における再生可能エネルギーの積極的利用をＰＲするため、積極的に広報します。


太陽光発電設備の寄贈

・寄贈される再生可能エネルギー施設、機器等については、当面はこれを公共施設等で活用し、国のエネルギー施策の動向を踏まえた中で、水産業や誘致企業での利活用が可能となった際には、立地企業への優遇措置として利活用を図るべく検討を行います。

### ③ソーラー設置の呼びかけ

・震災後に高まっている再生可能エネルギーへの転換、特にソーラー発電については、その有用性を広く訴え、世界的に設置を呼びかけます。

被災地の現況（原釜）

被災地の現況（尾浜）

# 第３章　資料

## 相馬市復興会議　設置要領

（趣旨）

第１条　この要領は、東日本大震災からの復興について検討を行うため、相馬市復興会議（以下「復興会議」という。）を設置し、その運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

（協議事項）

第２条　復興会議は、次に掲げる事項を検討するものとする。

（１）被災地の復興に関する事項

（２）復興計画に関する事項

（３）その他市長が必要と認める事項

（復興会議の委員）

第３条　復興会議は、委員２６人で組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

（１）関係諸団体の代表者

（２）市長が必要と認める者

（委員の任期）

第４条　委員の任期は、２年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第５条　復興会議に委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は市長とし、副委員長は委員の中から互選により選任する。

３　委員長は、復興会議を代表し、会務を総括する。

４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（復興会議の開催）

第６条　復興会議は、委員長が招集し、その議長となる。

２　復興会議は、委員の過半数が出席しなければ開催することができない。

３　会議の議事は、出席委員の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（理事会）

第７条　復興計画を策定するにあたり、議論の取りまとめを行うために理事会を置くことができる。

２　理事は、市長が委嘱する。

３　理事会の運営に関し必要な事項は、その都度委員長が復興会議に諮って定める。

（事務局）

第８条　復興会議の事務局は、企画政策部企画政策課内におく。

（委任）

第９条　この要領に定めるもののほか、復興会議の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附　則

（施行期日）

1　この要領は、平成２３年６月３日から施行する。

## 相馬市復興会議委員

平成２３年８月１日現在

| 団　体　名 | 役　職　等 | 氏　名 |
|---|---|---|
| 行政区長 | 相馬市区長会　中村東部地区　理事 | 飯土井光毅 |
| | 相馬市区長会　飯豊地区　理事 | 幾世橋重夫 |
| | 相馬市区長会　磯部地区　理事 | 鈴木　陽一 |
| | 相馬市区長会　日立木地区　理事 | 今村　清忠 |
| 相馬市議会 | 相馬市議会　議長 | 波多野広文 |
| | 相馬市議会　副議長 | 佐藤　　満 |
| 相馬商工会議所 | 相馬商工会議所　会頭 | 荒井　宏美 |
| 相馬双葉漁業協同組合 | 相馬双葉漁業協同組合　代表理事組合長 | 南部　房幸 |
| そうま農業協同組合 | そうま農業協同組合　相馬中村地区担当理事 | 山田　一男 |
| 相馬市社会福祉協議会 | 相馬市社会福祉協議会　会長 | 只野　裕一 |
| そうま土地改良区 | そうま土地改良区　副理事長 | 島　　義重 |
| 相馬市消防団 | 相馬市消防団　団長 | 荒　　忠夫 |
| 相馬市関係 | 相馬市　市長 | 立谷　秀清 |
| | 相馬市　副市長 | 佐藤　憲男 |
| | 相馬市　教育長 | 安良　紀男 |
| | 相馬市　総務部長 | 菊地　利宗 |
| | 相馬市　企画政策部長 | 橘川　茂男 |
| | 相馬市　民生部長 | 青田　　稔 |
| | 相馬市　保健福祉部長 | 星　　光 |
| | 相馬市　産業部長 | 吉野　光一 |
| | 相馬市　建設部長 | 小山　健一 |
| | 相馬市　議会事務局長 | 長沢　宏昌 |
| | 相馬市　教育部長 | 臺内　吉重 |
| | 相馬市　生涯学習部長 | 渡部　　卓 |
| | 相馬方部衛生組合　事務局長 | 松野　泰章 |
| | 相馬地方広域水道企業団　事務局長 | 荒　　政明 |

## 相馬市復興会議「顧問会議」委員

| 氏　名 | 役　職　等 |
|---|---|
| 北川正恭 | 早稲田大学大学院　公共経営研究科　教授<br>元三重県知事 |
| 大澤貫寿 | 東京農業大学　学長 |
| 大石久和 | 財団法人 国土技術研究センター　理事長<br>元国土交通省　技監 |
| 牧野治郎 | 社団法人 日本損害保険協会　副会長<br>元国税庁長官 |
| 上　昌広 | 東京大学医科学研究所 先端医療社会コミュニケーションシステム<br>社会連携研究部門　特任教授 |
| 新浪剛史 | 株式会社 ローソン　代表取締役社長<br>ローソン大学　学長 |
| | |


| | |
|---|---|
| 新浪剛史 | 株式会社 ローソン　代表取締役社長<br>ローソン大学　学長 |
| 長　有紀枝 | 立教大学大学院　２１世紀デザイン研究科　教授<br>特定非営利活動法人　難民を助ける会（ＡＡＲ）理事長 |

## 相馬市復興会議　会議経過

・第１回　相馬市復興会議　平成２３年６月３日
　・（１）復興に向けた基本方針について
　・（２）相馬市復興会議理事の選任について
　・（３）今後のスケジュールについて
・第２回　相馬市復興会議　平成２３年６月１５日
　・（１）復興計画（第一次計画）の概要について
・第３回　相馬市復興会議　平成２３年６月２２日
　・（１）復興計画（第一次計画）の概要について（ハード事業の概要について）
・第４回　相馬市復興会議　平成２３年６月２９日
　・（１）復興計画（バージョン１－①）について
・第５回　相馬市復興会議　平成２３年７月１３日
　・（１）復興計画（バージョン１－①）について
・第６回　相馬市復興会議　平成２３年７月２０日
　・（１）復興計画（バージョン１－①）について
・第７回　相馬市復興会議　平成２３年８月３日
　・（１）復興計画（バージョン１－①）について
・第８回　相馬市復興会議　平成２３年８月１７日
　・（１）復興計画（バージョン１－①）について
・第９回　相馬市復興会議　平成２３年８月２４日
　・（１）復興計画（バージョン１－①）について
・第１０回　相馬市復興会議　平成２３年８月２９日
　・（１）復興計画（バージョン１－①）の策定について

## 相馬市復興会議「顧問会議」　会議経過

・第１回　相馬市復興会議「顧問会議」　平成２３年６月１９日
　・（１）相馬市復興計画の概要について
・第２回　相馬市復興会議「顧問会議」　平成２３年８月２５日
　・（１）相馬市復興計画について

相馬市役所 復興スタッフ一同